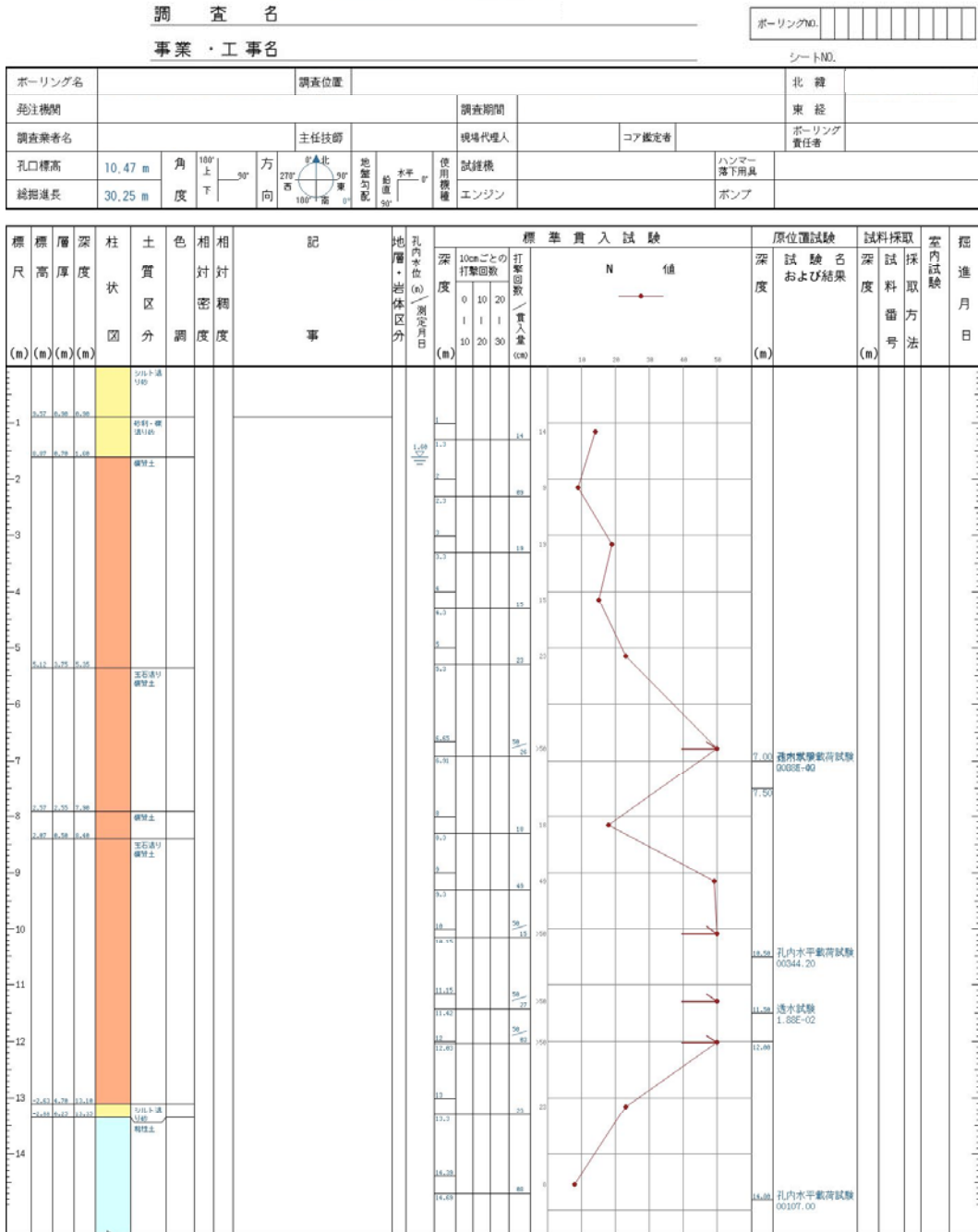
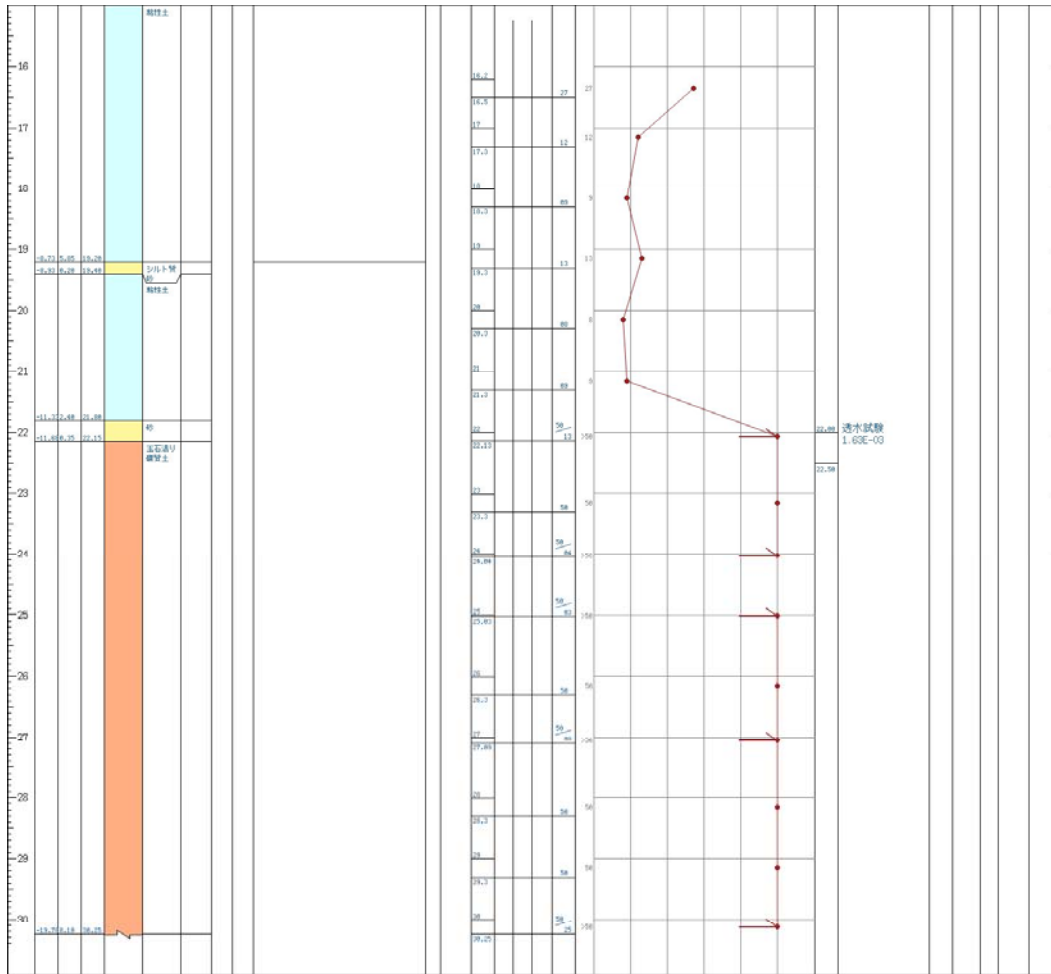


ボーリング柱状図



(参考55-1)



ボーリング柱状図

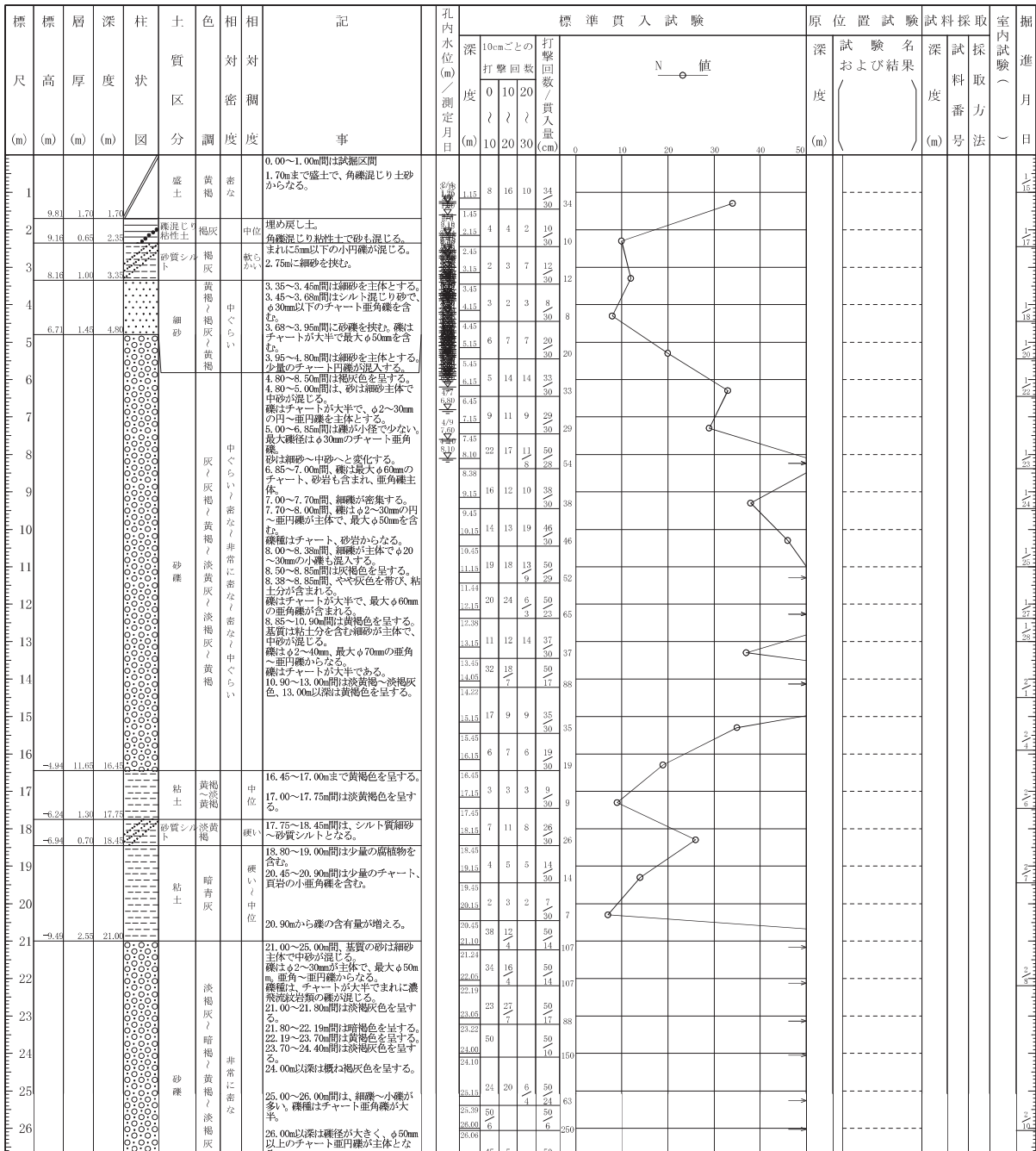
調査名

事業・工事名

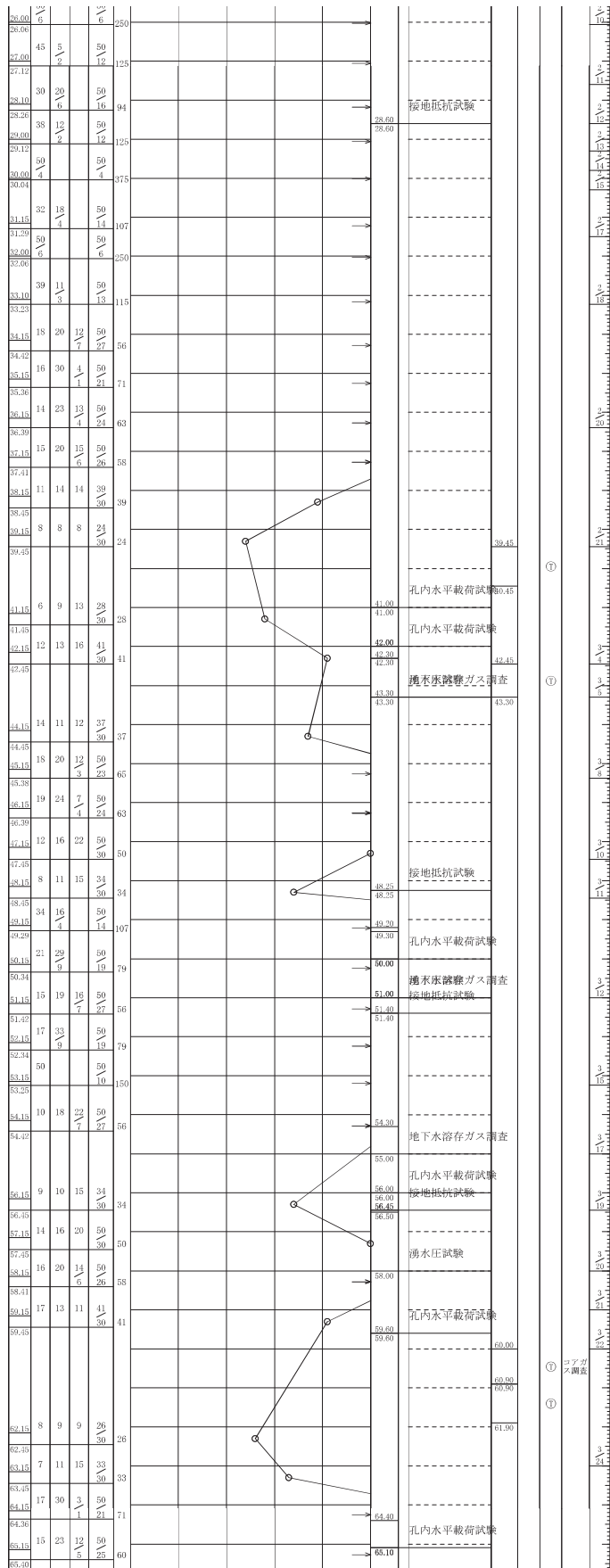
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo

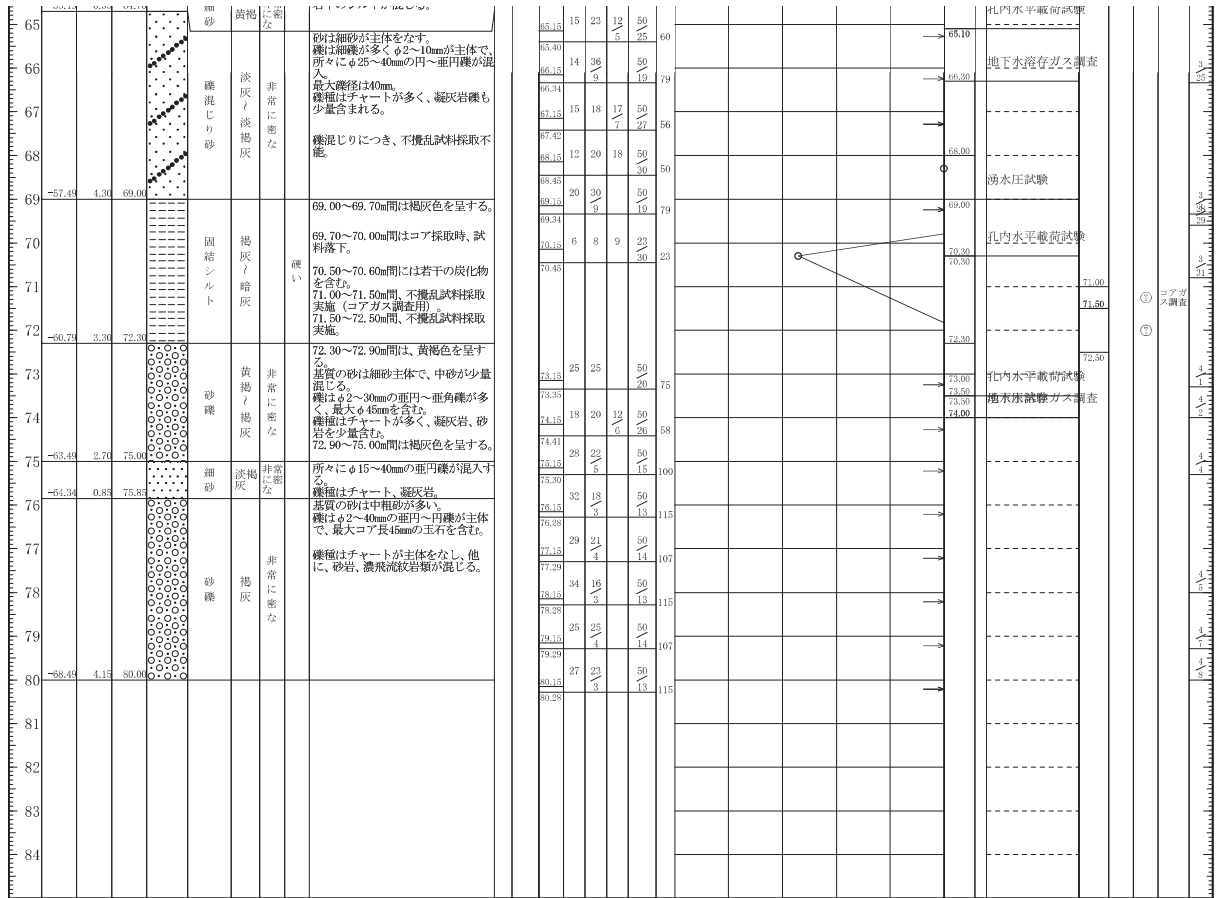
ボーリング名	調査位置			北緯						
発注機関	調査期間			東経						
調査業者名	主任技師		現代場	ボーリング責任者						
孔口標高	11.51m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	コア 鑑定者	ハンマー 落下用具
総掘進長	80.00m	度		向		配		エンジン		ポンプ



26			淡褐色 褐灰			半。 26.00m以深は礫径が大きく、φ50mm以上のチャート亜円礫が主体となる。 26.50~28.70m間、基質の砂は中砂主体で粗砂が混じる。まれに玉石が混入する(26.9m地点、φ90mm)。
27						
28						
29	-17.19	7.70	28.70	玉石混じり砂礫	非常に密な	基質の砂は中砂~粗砂が主体。礫はφ40~50mm程度の亜円礫が多い。 玉石はコア長で170mm、220mmに達する。 玉石は濃黄褐色岩類が多く、チャートの礫も含まれる。 30.00~30.70m間はCTによるコア採取で、礫率が非常に高いことが観える。 30.70~33.00m間は細粒分の大半が流失している。 31m地点、標準貫入試験試料落下。
30						
31						
32						
33	-21.94	4.73	33.47	雑泥じり砂	非常に密な	砂は細砂が主体で、中粗砂が混じる。礫は細礫が多くφ2~15mm主体で、まれにφ30mm程度を混入する。礫種はチャートが大半で、亜円~亜角礫を占す。
34						
35	-24.14	2.20	35.63	粗砂	非常に密な	中粗砂が主体をなす。礫種はチャートが大半で、まれにφ20mm程度の亜円礫(チャート)を混入する。 37.75~38.00m間は、強い酸化が見られ、褐色色を呈する。
36						
37						
38	-26.64	2.50	38.14	固結シルト	硬い	灰色を呈した固結シルト。 39.45~40.45m間、不攪乱試料採取実施。
39						
40	-28.85	2.23	40.41	砂質シルト	硬い	40.80m地点、幅30cmで褐色化し強い礫が見られる。 40.70~40.90m間は少量の炭化物が混入する。
41	-29.94	1.05	41.46	細砂	中くらい	細砂主体で、中砂が少量混じる。 42.45~43.30m間、不攪乱試料採取実施。
42						
43	-31.94	2.00	43.45	雑泥じり砂	密な	砂は細砂主体で、中粗砂が混じる。礫は細礫主体、礫種は、チャートが大半で、まれにφ20mm程度の亜円礫(チャート)を混入する。 44.25~44.90m間は細砂主体。
44	-32.74	0.80	44.25	砂	非常に密な	44.90~46.39m間は細礫が混じる。まれにφ20mmが混じる。 礫はチャート亜円礫からなる。 45.00~45.15m間は淡灰色シルト状を呈する。 46.39~47.00m間は細砂主体、細礫が少量混じる。
45						
46						
47	-35.43	2.73	47.00	雑泥じり砂	非常に密な	砂は細砂が主体。礫はφ2~30mmの亜角~亜円礫。 礫種はチャートが多く、所々に石灰質~灰白色を呈する凝灰質シルトの軟質化した礫を含む。
48	-37.33	1.50	48.90	砂礫	非常に密な	基質の砂は細砂が主体で、中粗砂が混じる。礫はφ2~40mmの亜円~亜角礫からなる。 礫種はチャートが大半で、所々に軟質化した凝灰質シルト~粘土礫を含む。
49						
50						
51						
52						
53						
54	-42.33	5.00	53.90	雑泥じり砂	非常に密な	53.90~55.50m間、砂はシルト混じり細砂が主体。 礫は少量であるが、まれにφ40mm前後のチャート亜円礫、φ10mm程度の軟質化した凝灰質粘土礫が混入する。 55.50~58.00m間、砂は細砂主体となるが、礫の含有量が増える。 雑泥じりにつき、不攪乱試料採取不能。 56.50~58.00m間では中粗砂~細礫が多く含まれる。 58.00~58.55m間は細礫~小礫が密集する砂礫。 58.55~59.15m間、砂は中粗砂が多い。 59.85~59.90m間には軟質化した凝灰質礫が多く含まれる。 59.00~59.15m間は強い酸化により褐色化した細砂~中砂。 59.15~61.90m間は灰色を呈する固結シルト。 60.00~60.90m間、不攪乱試料採取実施(コアガス調査用)。 60.90~61.90m間、不攪乱試料採取実施。
55						
56						
57						
58						
59	-47.64	5.23	59.11	固結シルト	非常に硬い	62.55~63.25m間は褐炭、腐植物を少量含み、暗灰色を呈する。 63.60~63.70m間は砂質シルト。 63.85m地点は幅30cmで強い酸化褐色化が見られる。 若干のシルトが混じる。
60						
61						
62						
63	-51.74	4.10	63.21	砂質シルト	非常に硬い	砂は細砂が主体をなす。礫は細礫が多くφ2~10mmが主体で
64	-52.64	0.90	64.11	細砂	非常に密な	
65	-53.19	0.53	64.71			



( JR-56 )



( JR-56 )

ボーリング柱状図

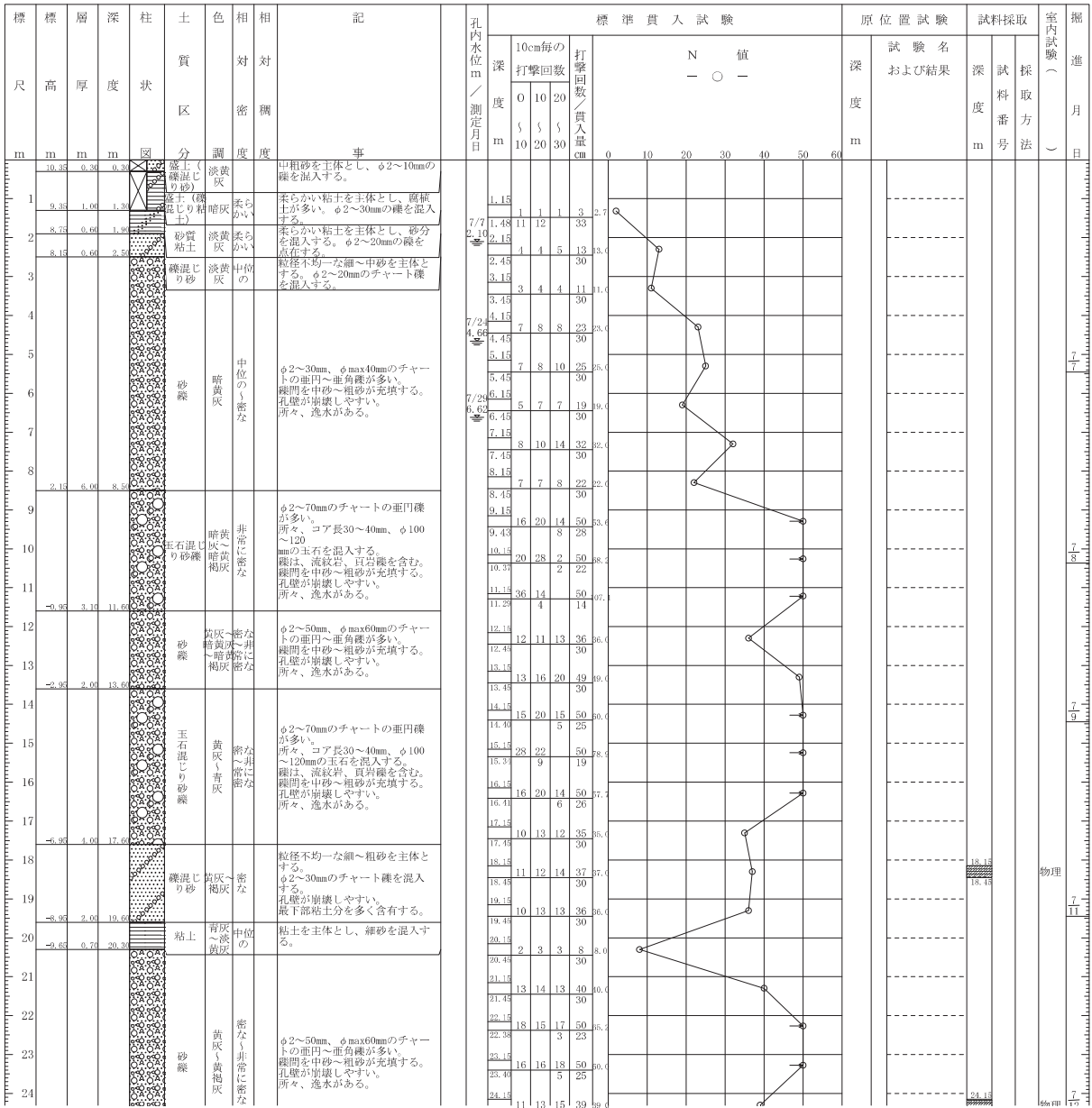
調査名

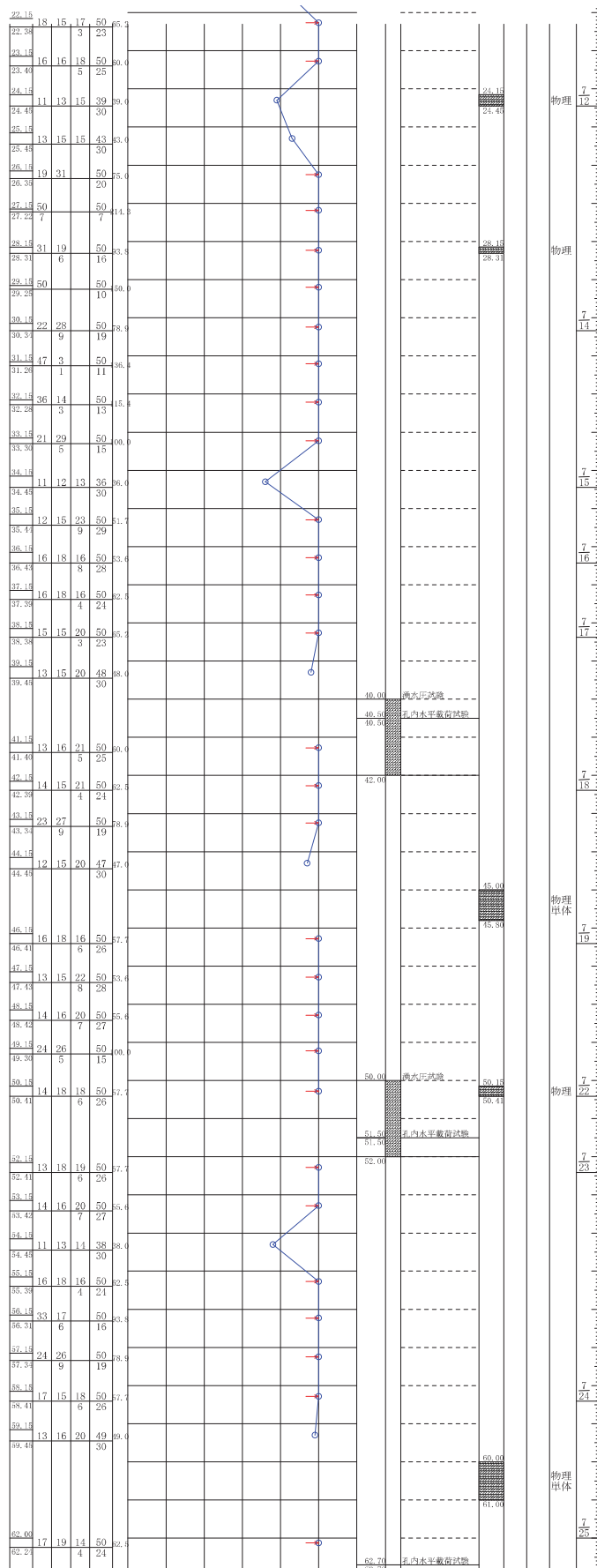
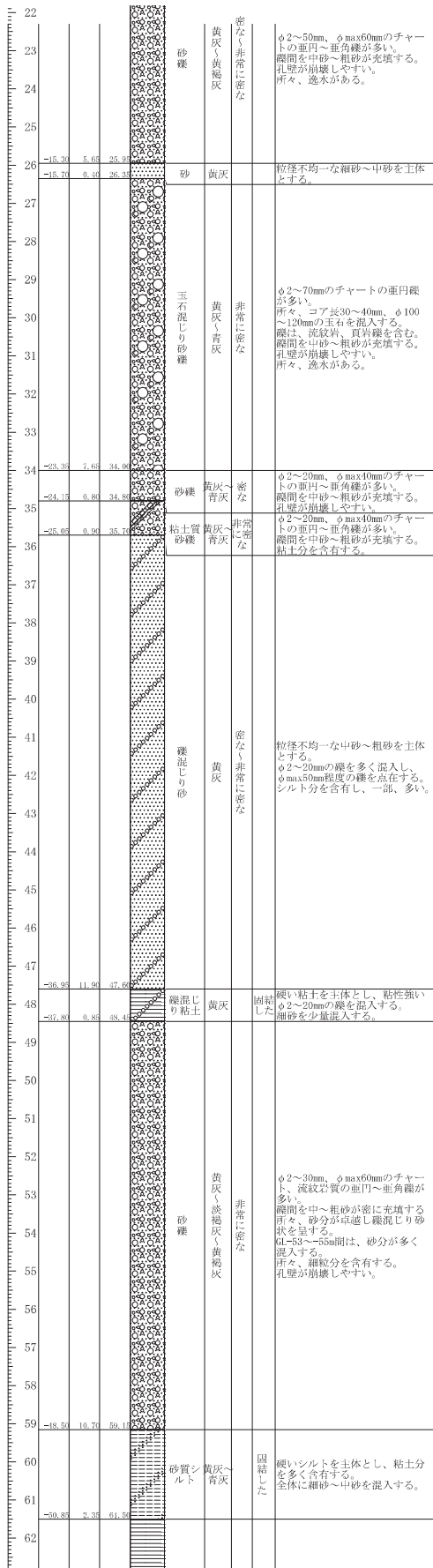
ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

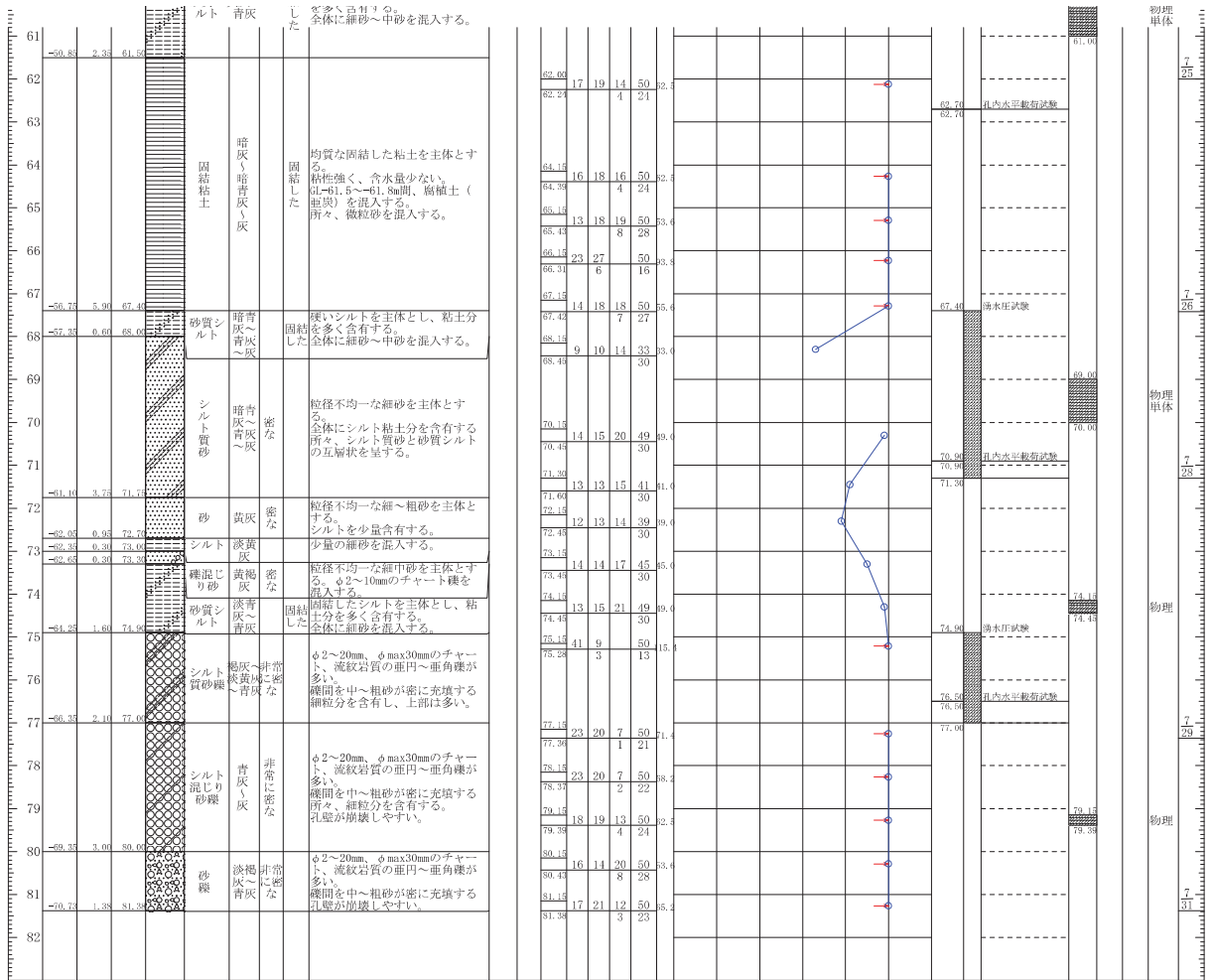
Header table for the borehole log, containing fields for borehole name, location, date, and personnel.







(JR-57)



( JR-57 )

## (参考57-1)

## 参考57-1

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名			1/5万地図図幅名	メッシュコード番号	緯度 - 経度		
施工業者の氏名			さく井開始				
機械の種類			さく井完了				
地形			自然水位			GL-m	
地盤高	10.1 * m		揚水水位			GL-m	
使用目的							
深 度	65.00 m		揚水量			m3/d	
スクリーン 層	m						
口 径	mm		自噴量				
深 度 m	化石	地 質 名 称	深 度 m	化石	地 質 名 称		
	動 植			動 植			
0.00～ 1.00		表土	～				
1.00～ 6.00		粘土	～				
6.00～ 16.00		玉石交り砂利	～				
16.00～ 21.00		粘土	～				
21.00～ 39.00		粘土交り砂利	～				
39.00～ 43.00		粘土	～				
43.00～ 48.00		粘土交り荒砂	～				
48.00～ 60.00		荒砂	～				
60.00～ 65.00		粘土	～				
～			～				
～			～				
～			～				
スクリーンの位置 GL-m			～ =			～ =	
			～ =			～ =	
	～ =		～ =			～ =	
水 質	水 温		塩 素		カルシウム		
	P H		蒸発残留物		マグネシウム		
	硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸		
	亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度		
	アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム		

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-1)

さく井地層柱状図及び検層図					
工事件名				北緯	
工事地点				東経	
口径	深度	GL-	65.00 m	標高	m
主任技術者	自然水位			揚水水位	揚水量
水温	水質判定			施工開始	施工終了
検層	測定方法			ケーシング	ポンプ形式
モータ形式	スクリュー種類			揚水管	接続方式
納入年月日					

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C				
									50	100	150	200	20	40	60	80	
	-1.00	1.00	1.00		表土												
	-6.00	6.00	5.00		粘土												
10					玉石交り砂利			▽									
	-16.00	16.00	10.00		粘土												
20					粘土			▽									
					粘土交り砂利												
	-39.00	39.00	18.00		粘土												
	-43.00	43.00	4.00		粘土												
	-48.00	48.00	5.00		粘土交り荒砂												
					荒砂												
	-60.00	60.00	12.00		粘土												
60					粘土												
	-65.00	65.00	5.00		粘土												

## (参考57-2)

## 参考57-2

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		10.0 * m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		95.00 m		揚水量		m <sup>3</sup> /d	
スクリーン		層		自噴量			
口 径		m					
口 径		mm					
深 度 m		化石		地 質 名 称		深 度 m	
		動 植				化石	
						動 植	
0.00～ 3.00				表土		～	
3.00～ 4.00				粘土		～	
4.00～ 17.00				粘土交り玉石砂利		～	
17.00～ 23.00				粘土		～	
23.00～ 47.00				砂交り砂利		～	
47.00～ 51.00				粘土		～	
51.00～ 62.00				砂交り砂利		～	
62.00～ 72.00				白粘土		～	
72.00～ 76.00				粘土		～	
76.00～ 78.00				粘土交り砂利		～	
78.00～ 95.00						～	
～						～	
スクリーンの位置				～ =		～ =	
GL-m				～ =		～ =	
				～ =		～ =	
水 質		水 温		塩 素		カルシウム	
		P H		蒸発残留物		マグネシウム	
		硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸	
		亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度	
		アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-2)

さく井地層柱状図及び検層図																
工事件名						北緯				施工						
工事地点						東経										
口径		深度		GL- 95.00 m		標高		m		掘削機械						
主任技術者		自然水位				揚水水位				揚水量						
水温		水質判定				施工開始				施工終了						
検層		測定方法				ケーシング				ポンプ形式						
モータ形式		スクリュー種類				揚水管				接続方式						
納入年月日																
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = a2 = -----				自然電位 mV-----			
									50	100	150	200	20	40	60	80
0	-3.00	3.00	3.00		黄土											
0	-4.00	4.00	1.00		粘土											
10					粘土交り玉石砂利			▽								
10	-17.00	17.00	13.00													
20	-23.00	23.00	6.00		粘土			▽								
30					砂交り砂利											
40	-17.00	17.00	24.00													
50	-51.00	51.00	4.00		粘土											
60	-62.00	62.00	11.00		砂交り砂利											
70	-72.00	72.00	10.00		白粘土											
80	-76.00	76.00	4.00		粘土											
80	-78.00	78.00	2.00		粘土交り砂利											
90	-95.00	95.00	17.00													

## (参考57-3)

## 参考57-3

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		10.2 <sup>*</sup> m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		120.00 m		揚水量		m <sup>3</sup> /d	
スクリーン		層		自噴量			
口 径		mm					
深 度 m		化石		地 質 名 称		深 度 m	
		動 植				化石	
						動 植	
0.00～ 3.00				埋立土		77.00～ 85.00	
3.00～ 6.00				黒粘土		85.00～ 97.00	
6.00～ 19.00				玉石交り砂利		97.00～ 119.00	
19.00～ 27.00				青粘土		119.00～ 120.00	
27.00～ 34.00				玉石		～	
34.00～ 36.00				砂交り粘土		～	
36.00～ 47.00				玉石交り砂利		～	
47.00～ 49.00				茶粘土		～	
49.00～ 54.00				粘土交り砂利		～	
54.00～ 58.00				青粘土		～	
58.00～ 67.00				砂利		～	
67.00～ 77.00				青粘土		～	
スクリーンの位置				～ =		～ =	
GL-m				～ =		～ =	
				～ =		～ =	
水 質		水 温		塩 素		カルシウム	
		P H		蒸発残留物		マグネシウム	
		硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸	
		亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度	
		アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-3)

さく井地層柱状図及び検層図																
工事件名						北緯				施工						
工事地点						東経										
口径		深度		GL- 120.00 m		標高		m		掘削機械						
主任技術者		自然水位				揚水水位				揚水量						
水温		水質判定				施工開始				施工終了						
検層		測定方法				ケーシング				ポンプ形式						
モータ形式		スクリュー種類				揚水管				接続方式						
納入年月日																
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = a2 = -----				自然電位 mV-----			
									50	100	150	200	-50	0	50	100
	-3.00	3.00	3.00		埋立土											
	-6.00	6.00	3.00		黒粘土											
10					玉石交り砂利			▽								
20	-19.00	19.00	13.00		青粘土											
30	-27.00	27.00	8.00		玉石											
	-34.00	34.00	7.00		砂交り粘土											
40	-36.00	36.00	2.00		玉石交り砂利			▽								
	-47.00	47.00	11.00		茶粘土											
	-49.00	49.00	2.00		粘土交り砂利											
	-54.00	54.00	5.00		青粘土											
	-58.00	58.00	4.00		砂利											
	-67.00	67.00	9.00		青粘土											
	-77.00	77.00	10.00		砂利交り砂											
	-85.00	85.00	8.00		青粘土											
	-97.00	97.00	12.00													
100					小砂利交り砂											
110																
	-119.00	119.00	22.00		粘土											
	-120.00	120.00	1.00													

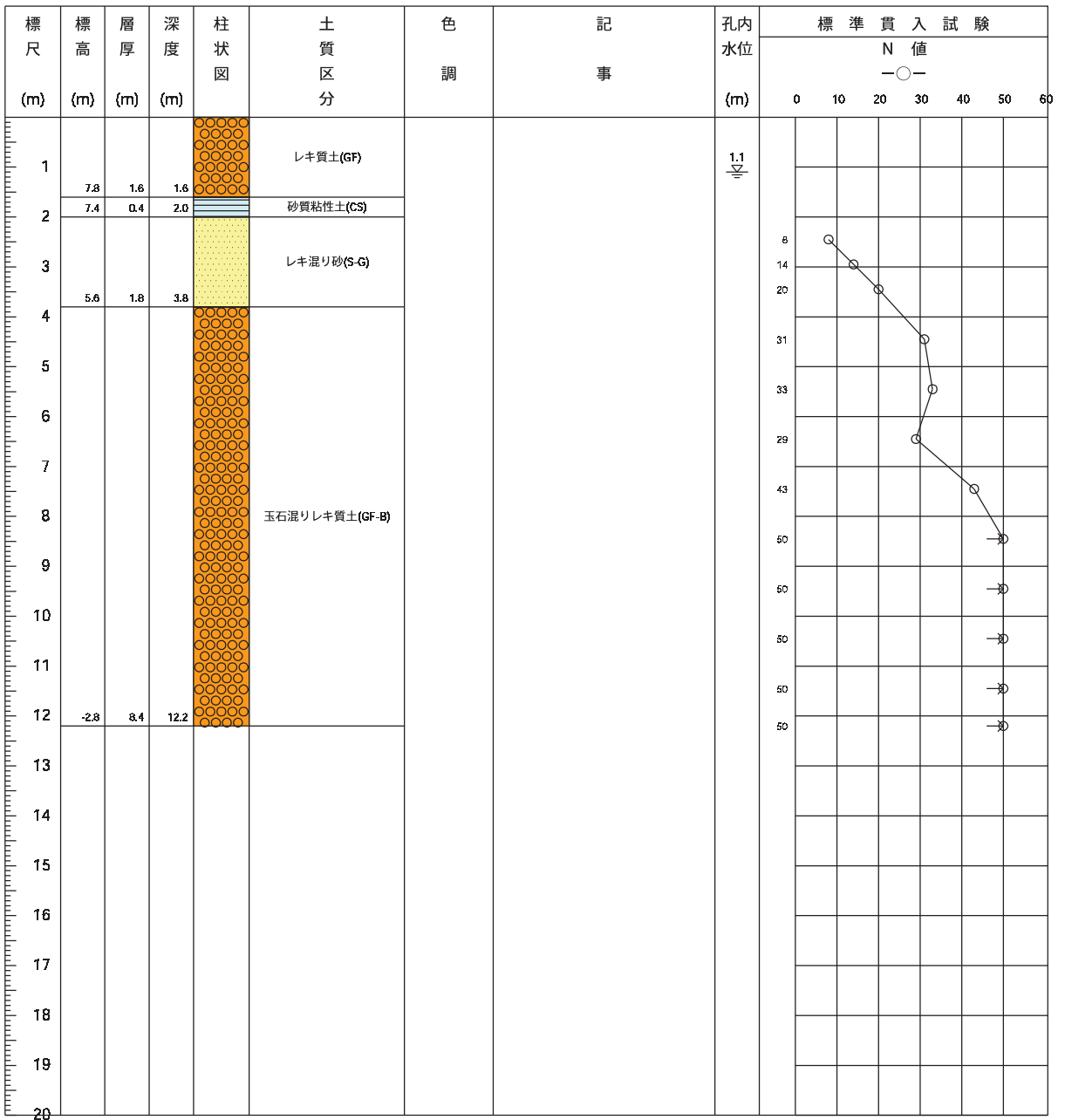


(参考57-4)

# ボーリング柱状図

参考57-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 9.4 m	総掘進長	12.2 m



(参考57-4)

## (参考57-5)

## 参考57-5

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名	1/5万地図図幅名			メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名	さく井開始						
機械の種類	さく井完了						
地形	自然水位					GL-m	
地盤高	+10.000 m			揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度	65.00 m			揚水量		m <sup>3</sup> /d	
スクリーン 層	m			自噴量			
口 径	mm						
深 度 m	化石		地 質 名 称	深 度 m	化石		地 質 名 称
	動	植			動	植	
0.00～ 3.50			粘土	～			
3.50～ 22.00			砂利	～			
22.00～ 25.00			粘土混じり砂利	～			
25.00～ 26.00			粘土	～			
26.00～ 35.00			玉石混じり砂利	～			
35.00～ 41.00			粘土混じり砂利	～			
41.00～ 43.00			粘土	～			
43.00～ 47.00			小砂利	～			
47.00～ 51.00			粘土混じり砂	～			
51.00～ 53.00			小砂利	～			
53.00～ 65.00			砂利	～			
～				～			
スクリーンの位置 GL-m				～	=	～	=
				～	=	～	=
	～ =			～	=	～	=
水 質	水 温			塩 素		カルシウム	
	P H			蒸発残留物		マグネシウム	
	硝酸性窒素			総 硬 度		硫 酸	
	亜硝酸性窒素			鉄		Mアルカリ度	
	アンモニア性窒素			飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

(参考57-5)

さく井地層柱状図及び検層図						
工事件名				北緯		施工
工事地点				東経		
口径	深度	GL- 65.00 m		標高	+10.000 m	
主任技術者	自然水位			揚水水位	揚水量	
水温	水質判定			施工開始	施工終了	
検層	測定方法			ケーシング	ポンプ形式	
モータ形式	スクリーン種類			揚水管	接続方式	
納入年月日						

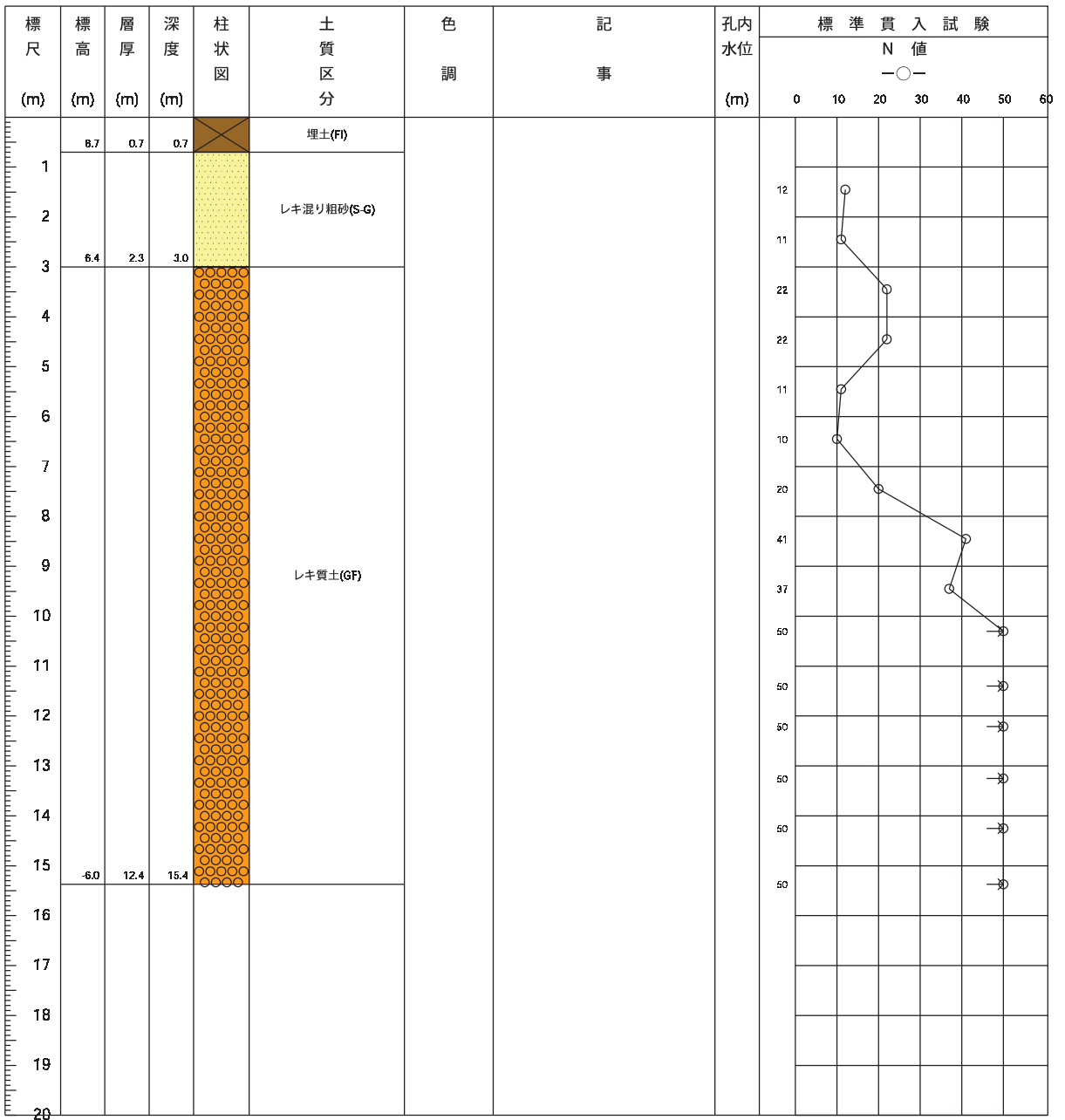
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = -----				20 40 60 80			
									----- a2 = -----				自然電位 mV-----			
50		100		150		200		-50		0		50		100		
	6.50	3.50	3.50		粘土											
10					砂利											
20	-12.00	22.00	18.50		粘土混じり砂利											
	-15.00	25.00	3.00		粘土											
	-16.00	26.00	1.00		粘土											
30					玉石混じり砂利											
	-25.00	35.00	9.00		粘土混じり砂利											
40					粘土											
	-31.00	41.00	6.00		粘土											
	-33.00	43.00	2.00		小砂利											
	-37.00	47.00	4.00		粘土											
50					粘土混じり砂											
	-41.00	51.00	4.00		粘土											
	-43.00	53.00	2.00		小砂利											
60					砂利											
	-55.00	65.00	12.00													

(参考57-6)

# ボーリング柱状図

参考57-6

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 9.4 m	総掘進長	15.37 m



(参考57-6)

ボーリング柱状図

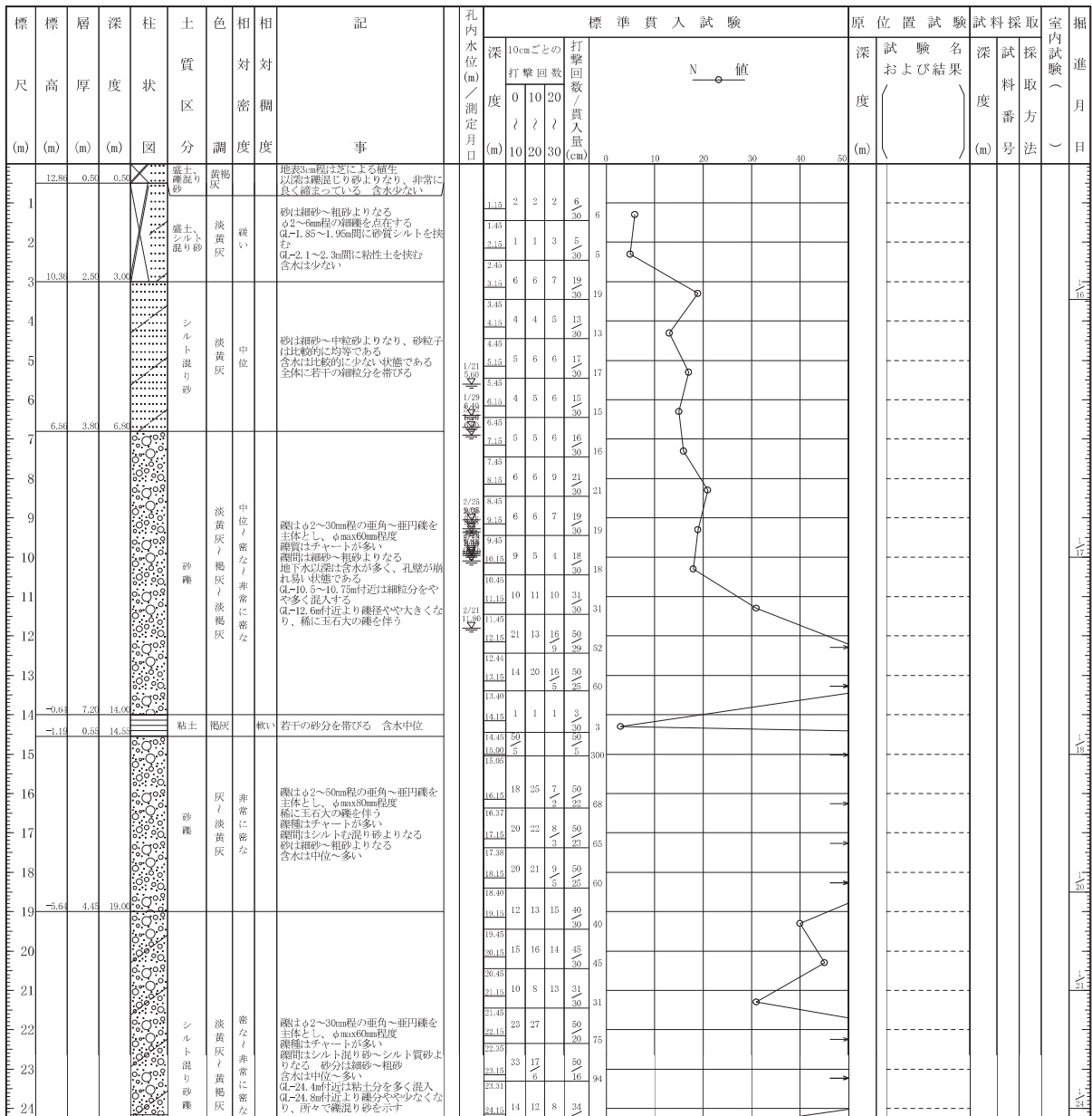
調査名

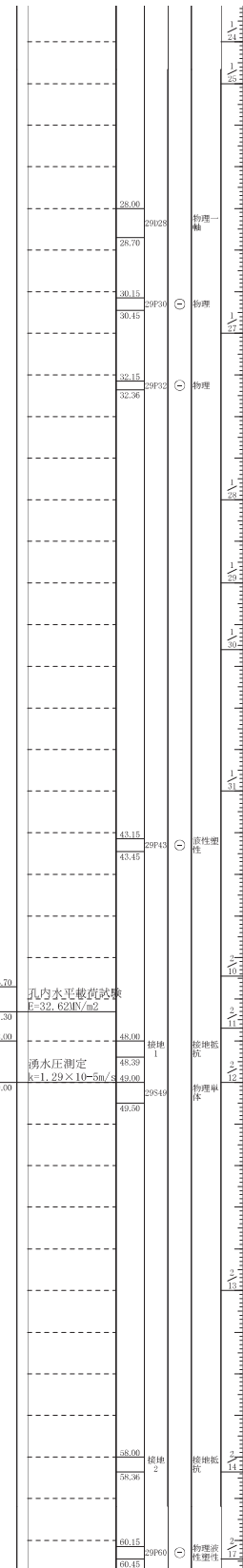
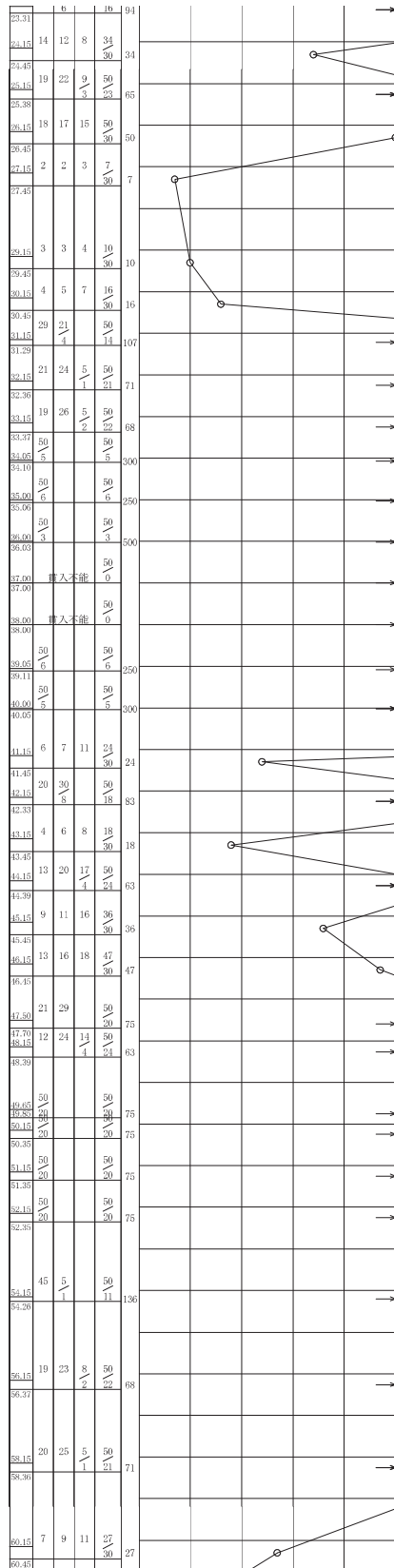
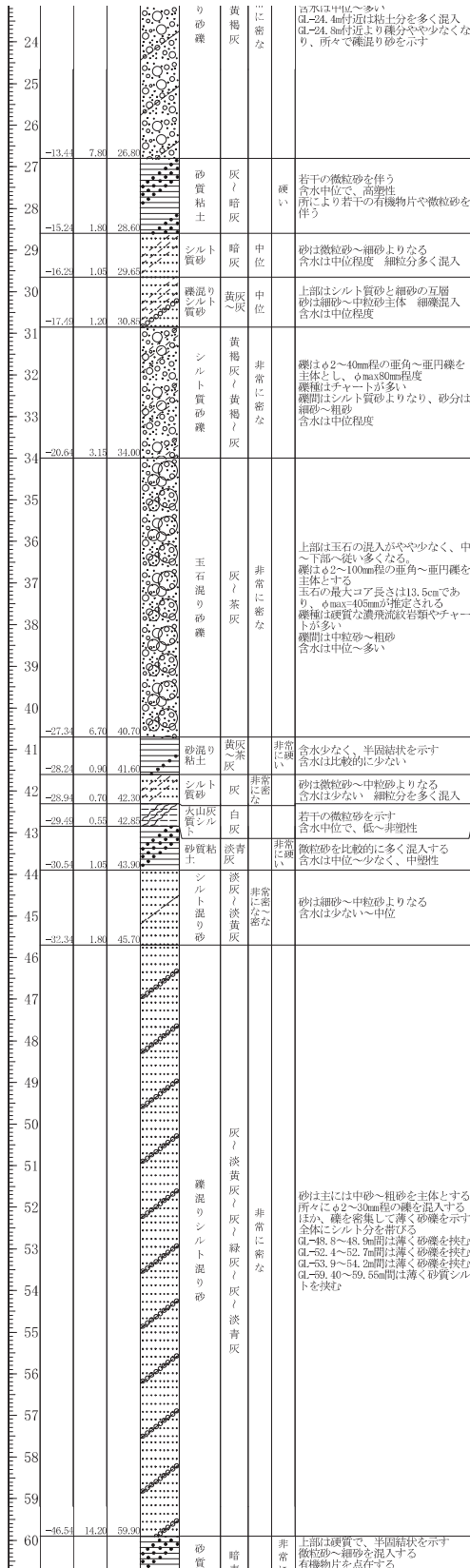
ボーリングNo														
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

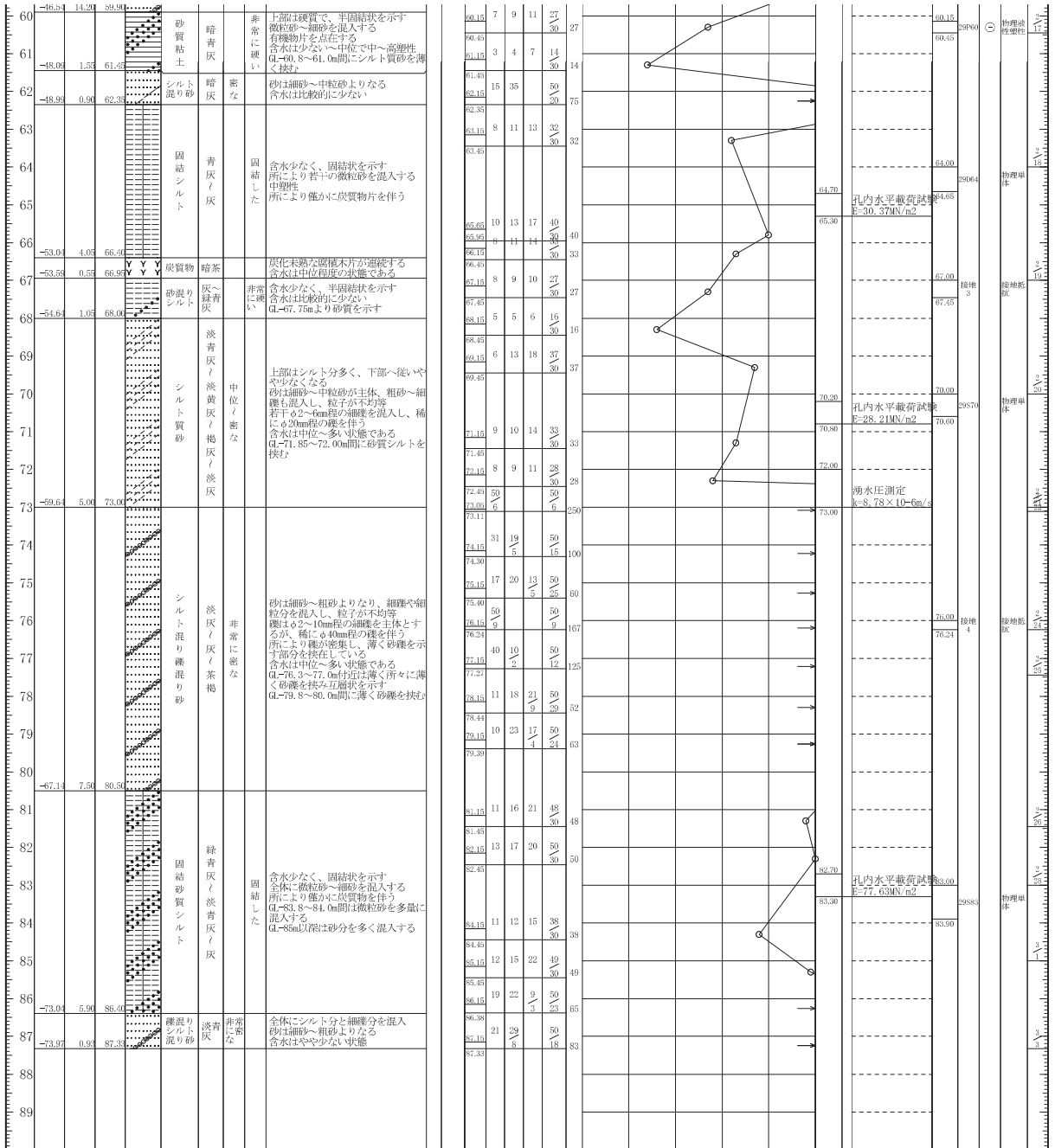
シートNo

ボーリング名	調査位置											北緯
発注機関	調査期間											東経
調査業者名	主任技師							現代場		コア		ボーリング責任者
孔口標高	H=13.36m	角	180°上	90°	方	北0°	東	地盤勾配	鉛直	0°	使用機種	ハンマー落下用具
総掘進長	87.33m	度	0°	0°	向	北0°	東				エンジン	ポンプ









( JR-58 )



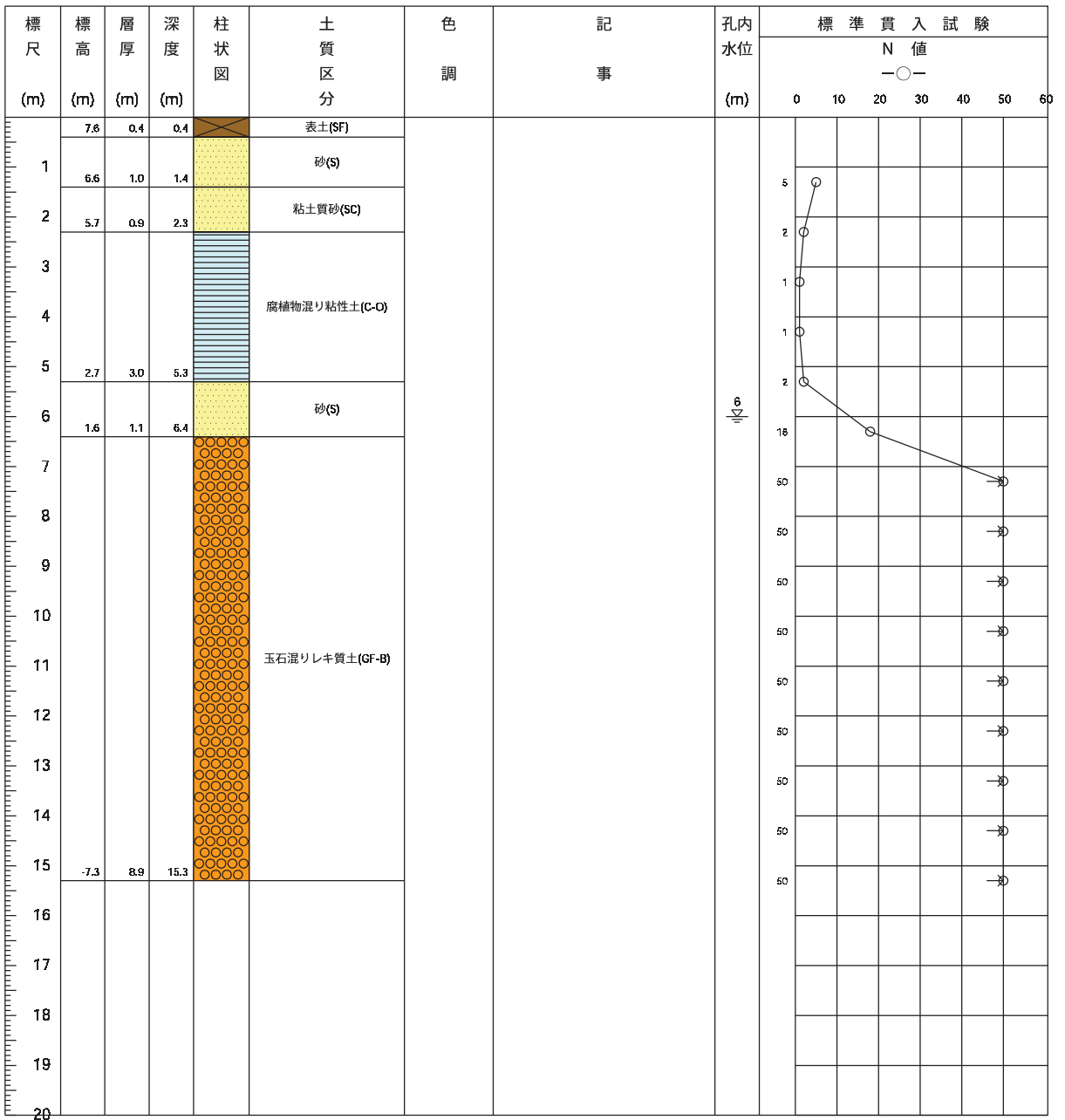


(参考58-2)

# ボーリング柱状図

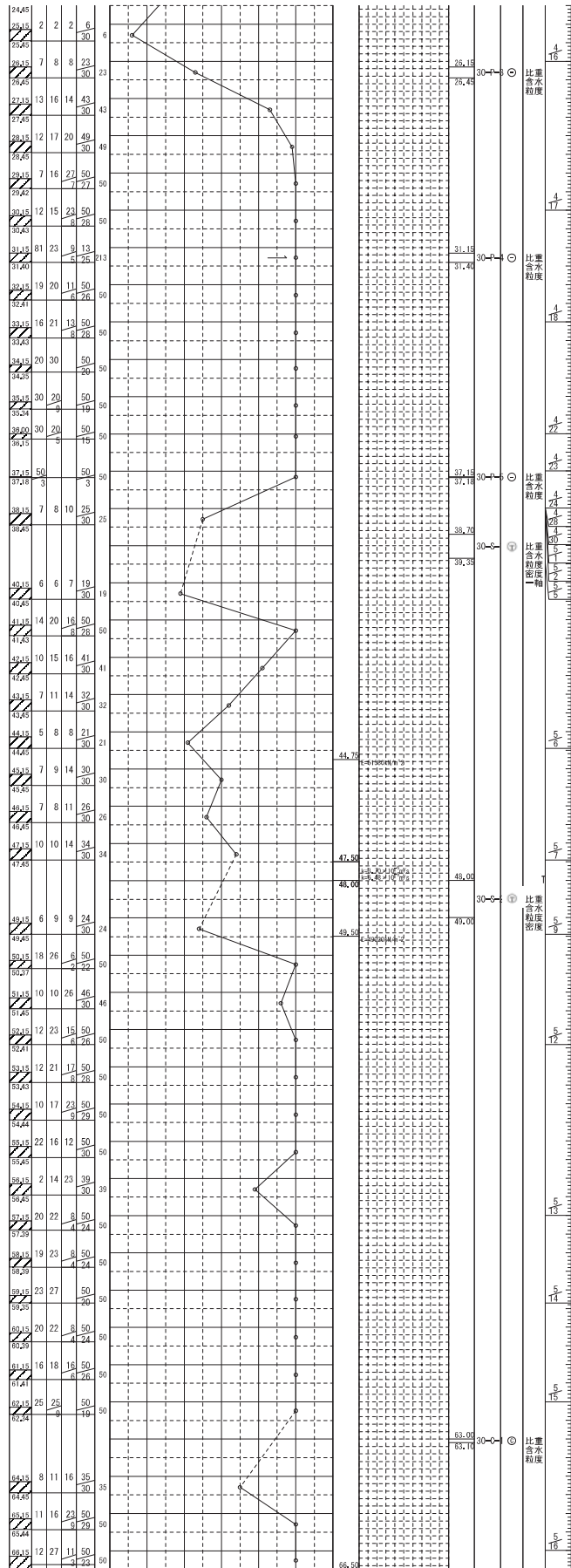
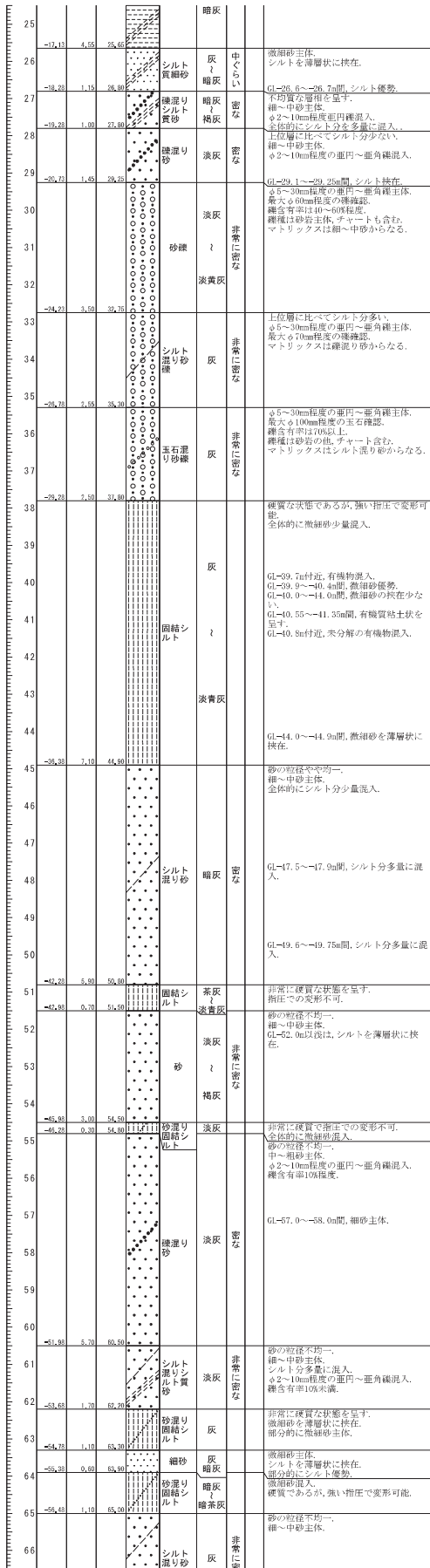
参考58-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8 m	総掘進長	15.3 m

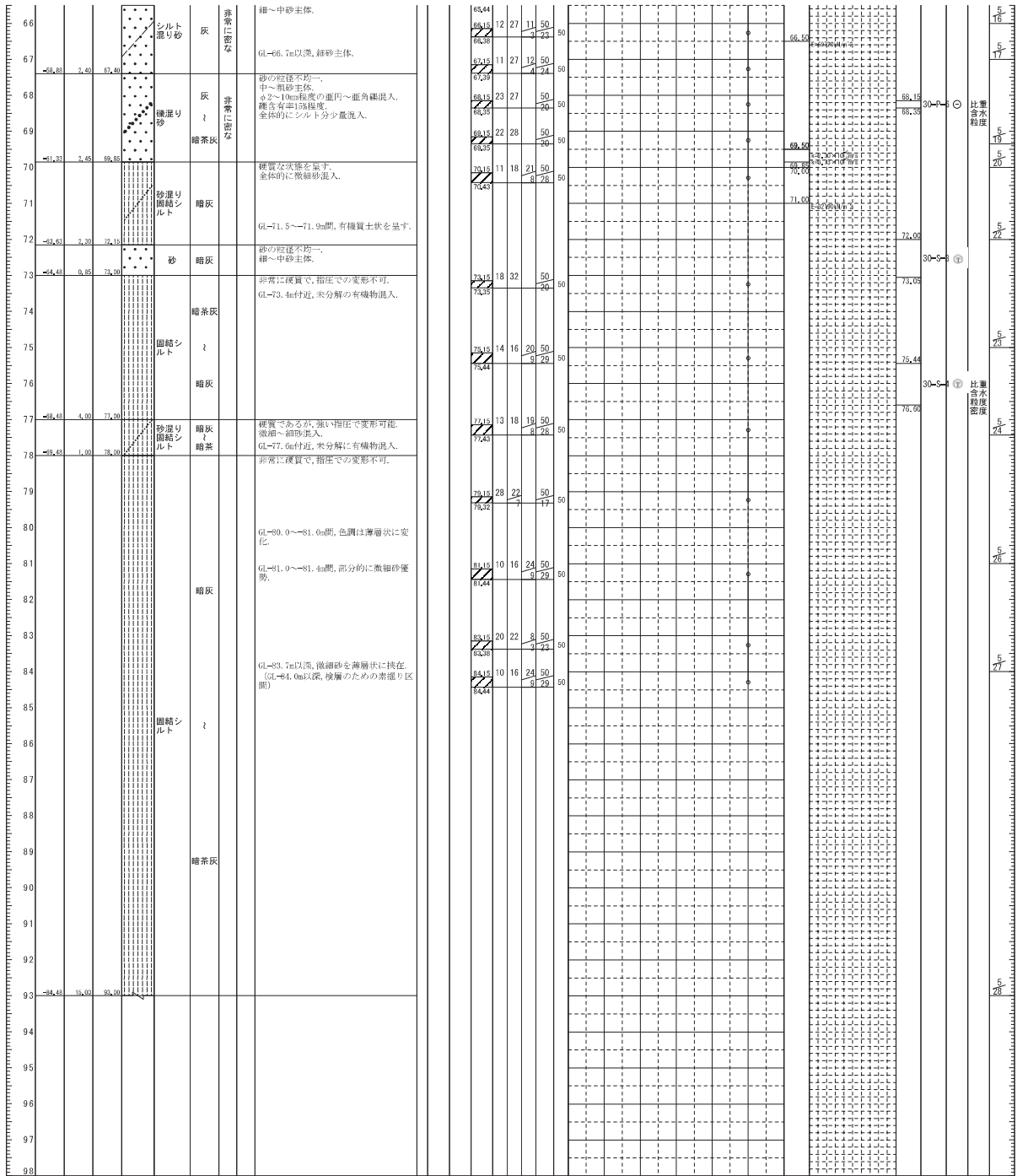


(参考58-2)









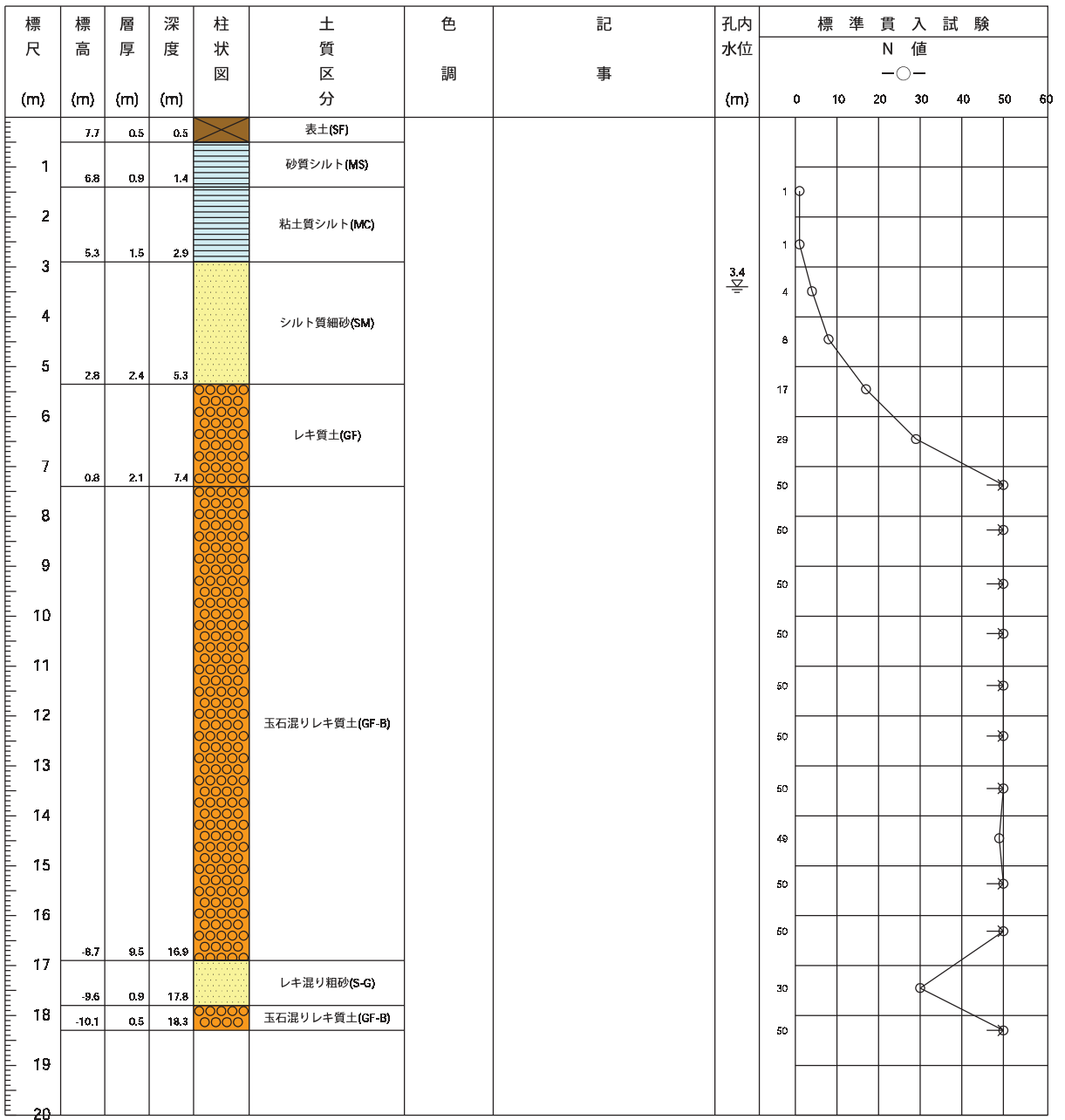
( JR-59 )

(参考59-1)

# ボーリング柱状図

参考59-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8.2 m	総掘進長	18.3 m



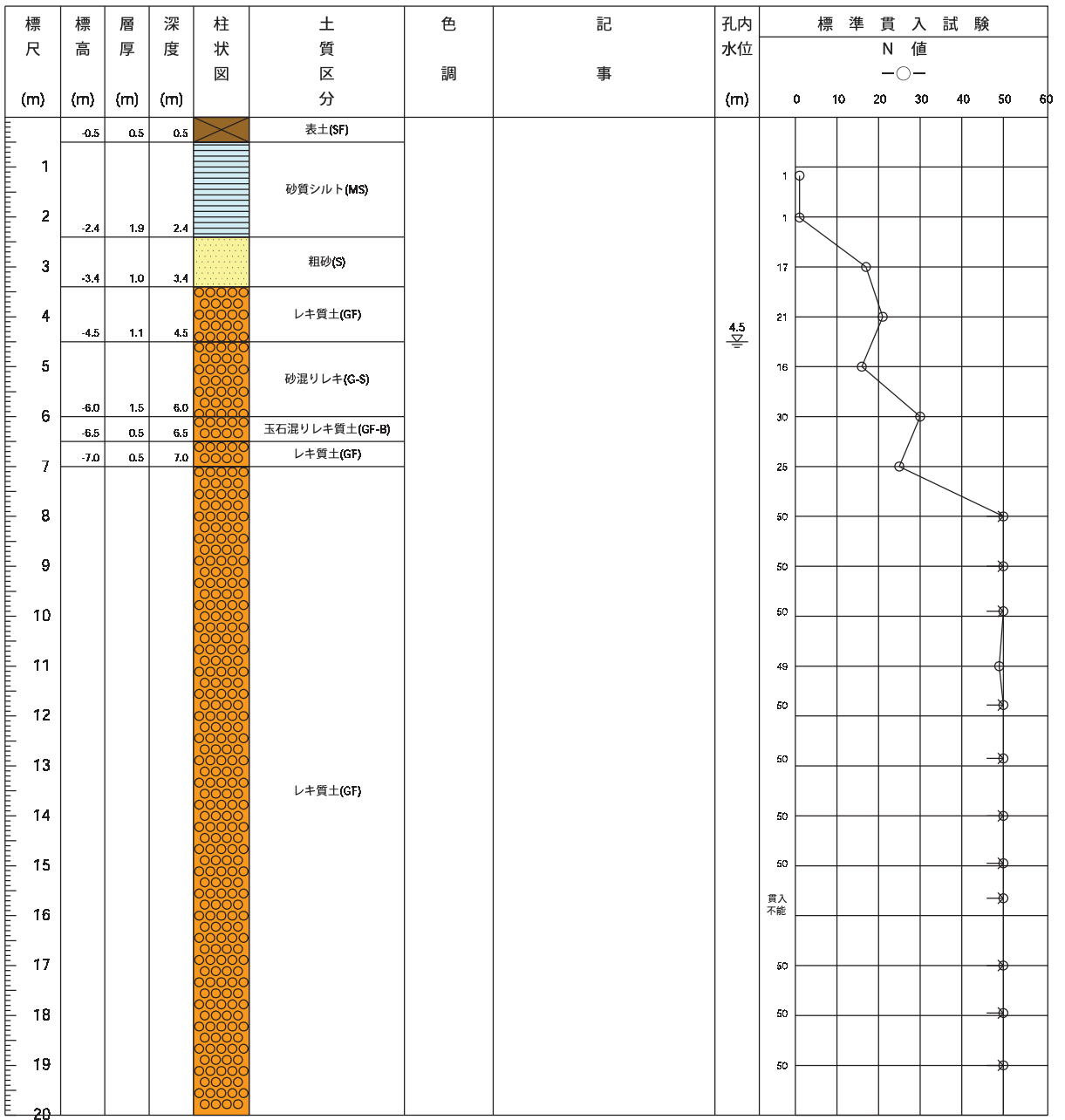
(参考59-1)

(参考59-2)

# ボーリング柱状図

参考59-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 0.03 m	総掘進長	20.05 m



(参考59-2)

20	20.0	13.1	20.1	○○○○○	レキ質主(GF)					50	—D
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											
41											
42											
43											
44											
45											
46											
47											
48											
49											
50											

ボーリング柱状図

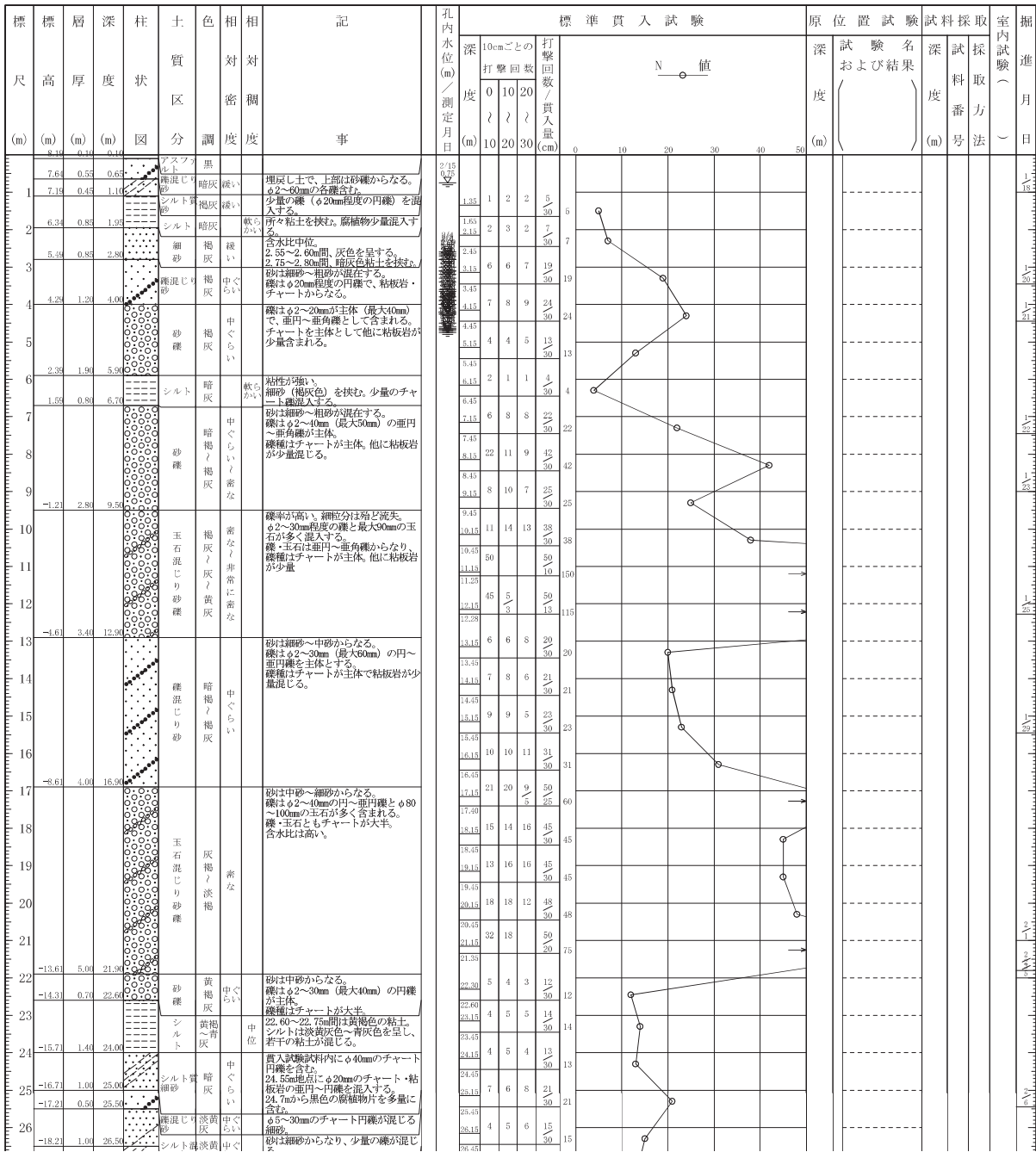
調査名

ボーリングNo

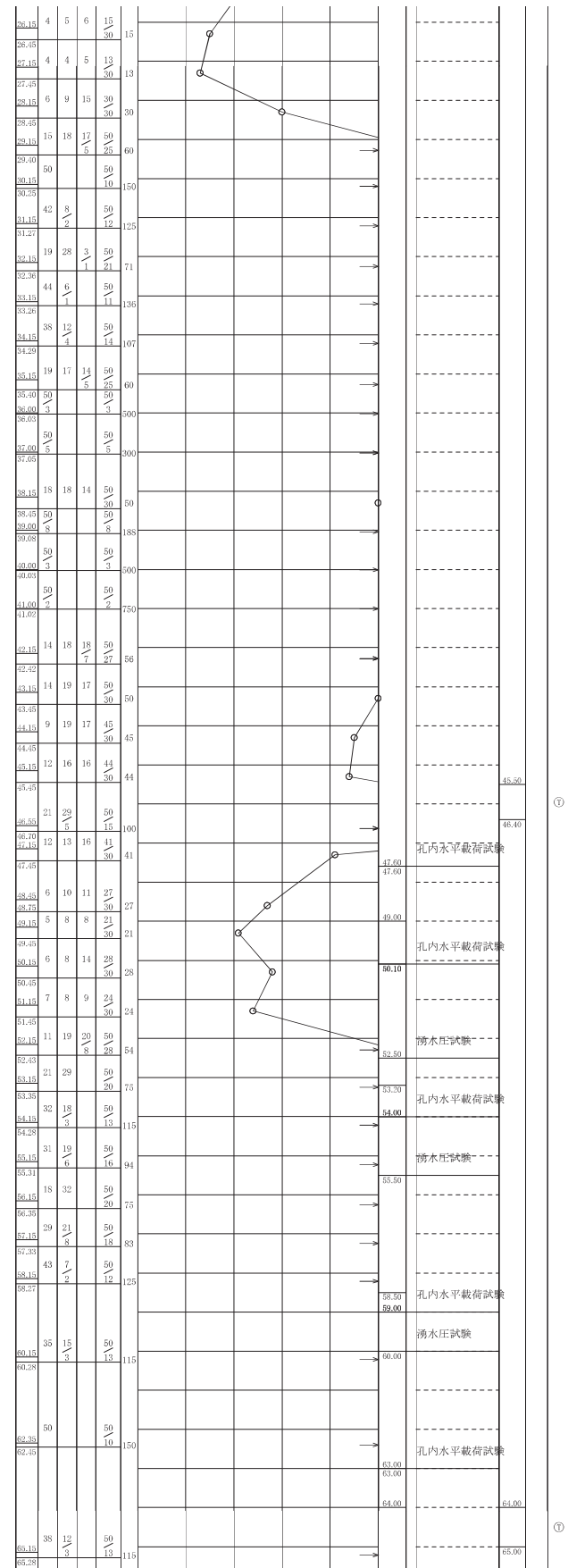
事業・工事名

シートNo

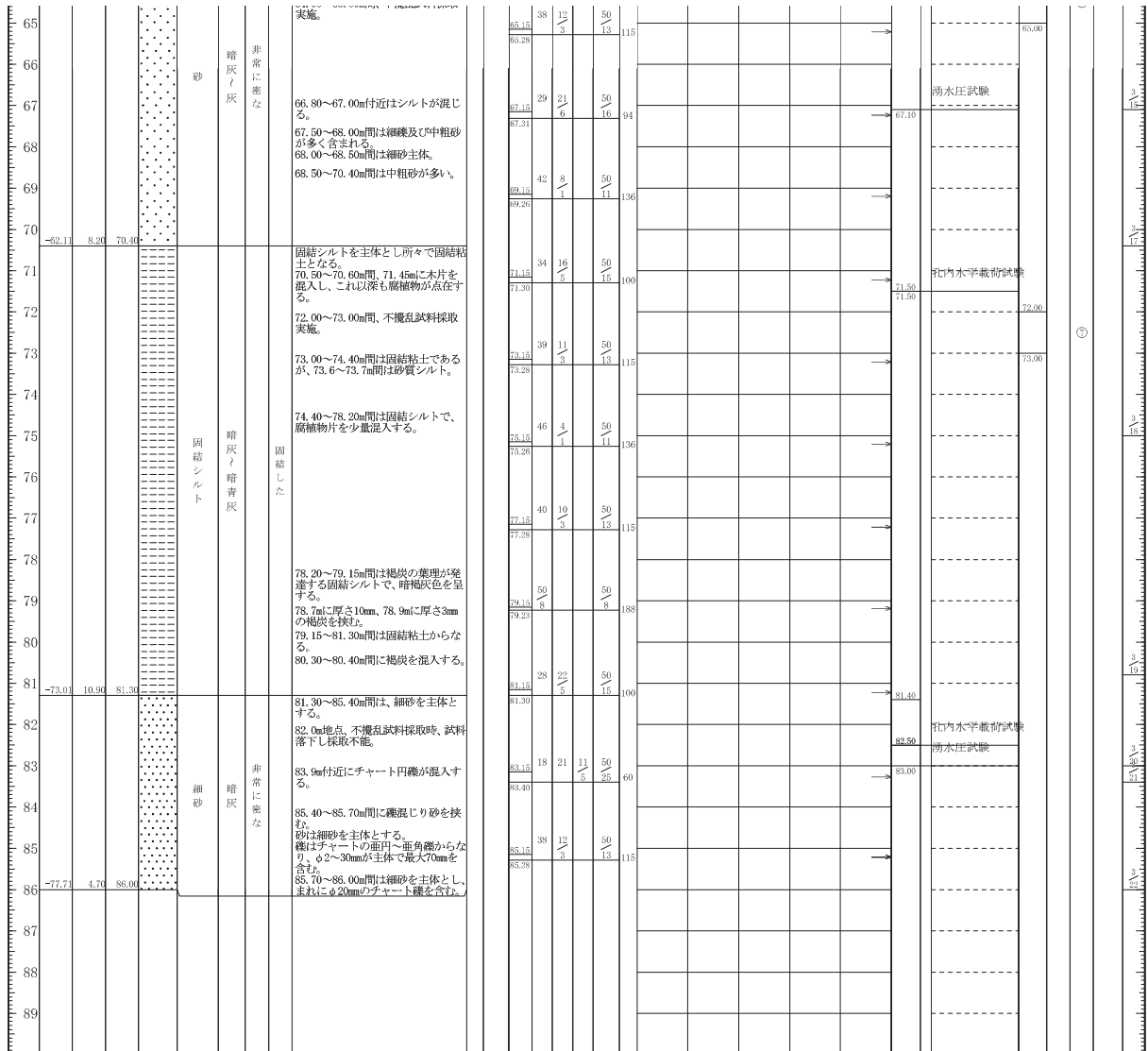
Table with fields for Borehole Name, Location, Issuing Agency, Investigation Period, Investigator, Site, Borehole Diameter, Direction, Depth, and Equipment.



26	-18.21	1.00	26.50	シルト質 中くらい	中くらい	45~90mmのチャート円礫が混じる 細砂。
27	-19.44	1.20	27.10	シルト質 中くらい	中くらい	砂は細砂からなり、少量の礫が混じ る。 26.0~26.15m間に中砂を挟む。 26.50~26.65m間に粘土状砂。 26.90mにφ30mmのチャート円礫を含む。
28	-20.21	0.80	28.50	粘土 暗灰	非常に硬い	27.70~27.95m間はシルト主体 固結している。
29	-27.46	7.23	35.70	砂礫 暗灰 / 黄褐色 / 淡褐色	非常に密な	砂は中砂を主体とする。 礫はφ2~20mm (最大15mm) の円~ 歪円礫からなる。 礫種はチャートが大半を占める。
36	-28.91	1.15	37.30	玉石混じり 砂礫	非常に密な	砂は中砂を主体とする。 礫はφ2~40mmを主体とし、最大コ ア径70mmをはじめとする玉石が混入 する。 玉石はチャートと濃飛流紋岩類で構 成される。 礫種は他に砂岩の円礫が少量含まれ る。
39	-30.73	1.80	39.00	砂礫 暗灰	非常に密な	細砂分は粘土混じり砂からなる。 礫はφ2~20mmが主体で、最大45mm が含まれる。 礫種はチャート、濃飛流紋岩類、砂 岩から構成される。
41	-33.21	2.50	41.50	玉石混じり 砂礫	非常に密な	細砂分は殆ど流失している。 礫および玉石はチャート、濃飛流紋 岩類、砂岩から構成される。 玉石は最大コア径で70mmを示す。 チャートは歪角~歪円礫が多い。
42	-33.61	0.40	41.90	固結粘土 シルト質 砂	非常に硬い	採取時、試料落下。固結した粘土。 固結している。砂は細砂からなる。
43	-34.44	0.80	42.70	細砂 暗灰 / 淡青灰	非常に密な	採取時、試料落下。 所々にシルトを挟む。含水比は中 位。
44	-35.33	1.10	43.80	固結シルト 暗灰 / 暗褐色 / 青灰	固結した / 非常に硬い	45.45~46.40m間、褐炭、腐植木片を 多数に混入する。 45.50~46.40m間、不攪乱試料採取 実施。 46.40~47.40m間は暗褐色を呈す る固結粘土。 特に46.70~47.40m間は木片が多数 に混入する。 47.40~47.80mは固結シルトで炭化 物含まない。 まれにφ20mm程度のチャート円礫を 含む。 47.80~48.90m間、で砂質シルトへ と漸移する。
49	-40.63	5.10	48.90	細砂 淡青灰 / 暗灰	中くらい / 非常に密な	全体に細砂を主体とするが、52.5~ 53.2m間に中砂が混じる。 また、φ5mm以下の細礫~小礫を下 位で少量含む。 不攪乱試料採取時、試料落下し採取 不能。
54	-47.21	2.30	53.50	砂礫 暗灰	非常に密な	砂は細砂が主体で、中砂が混じる。 礫はφ2~50mm (最大65mm) の円~ 歪円礫からなる。 礫はチャートが最も多く、砂岩、頁 岩、濃飛流紋岩類も含まれる。 55m以下は礫径φ>20mmが主体 で、全体に小礫となる。 また、歪角礫が多くなる。
57	-51.88	4.65	60.10	細砂 暗灰 / 淡灰	非常に密な	細砂が主体であるが、下位にしたが って粗粒となる。 まれにφ20mm程度の礫を含む。 57.5m付近から中砂が、58m付近から は粗砂が多く含まれる。 不攪乱試料採取時、試料落下し採取 不能。 59.30~60.15m間に砂質シルトへシ ルトを挟む。
61	-53.91	2.05	62.20	砂礫 暗灰	非常に密な	砂は中粗砂が主体をなす。 礫はφ2~30mmが主体で最大60mmを 含む。 礫種はチャートが多く、頁岩、砂岩 も含まれる。 円~歪円礫が主体であるが、少量の 歪角礫も含まれる。
62	-57.70	2.05	62.20			62.20~62.70m間は細砂が主体をな す。 62.70~63.00m間では中粗砂が多く 混じる。 また、細礫及びφ10mm以下の礫も混 じる。 63.30~66.80m間は細砂が主体で少 量の細礫と中粗砂が混じる。 64.00~65.00m間、不攪乱試料採取 実施。







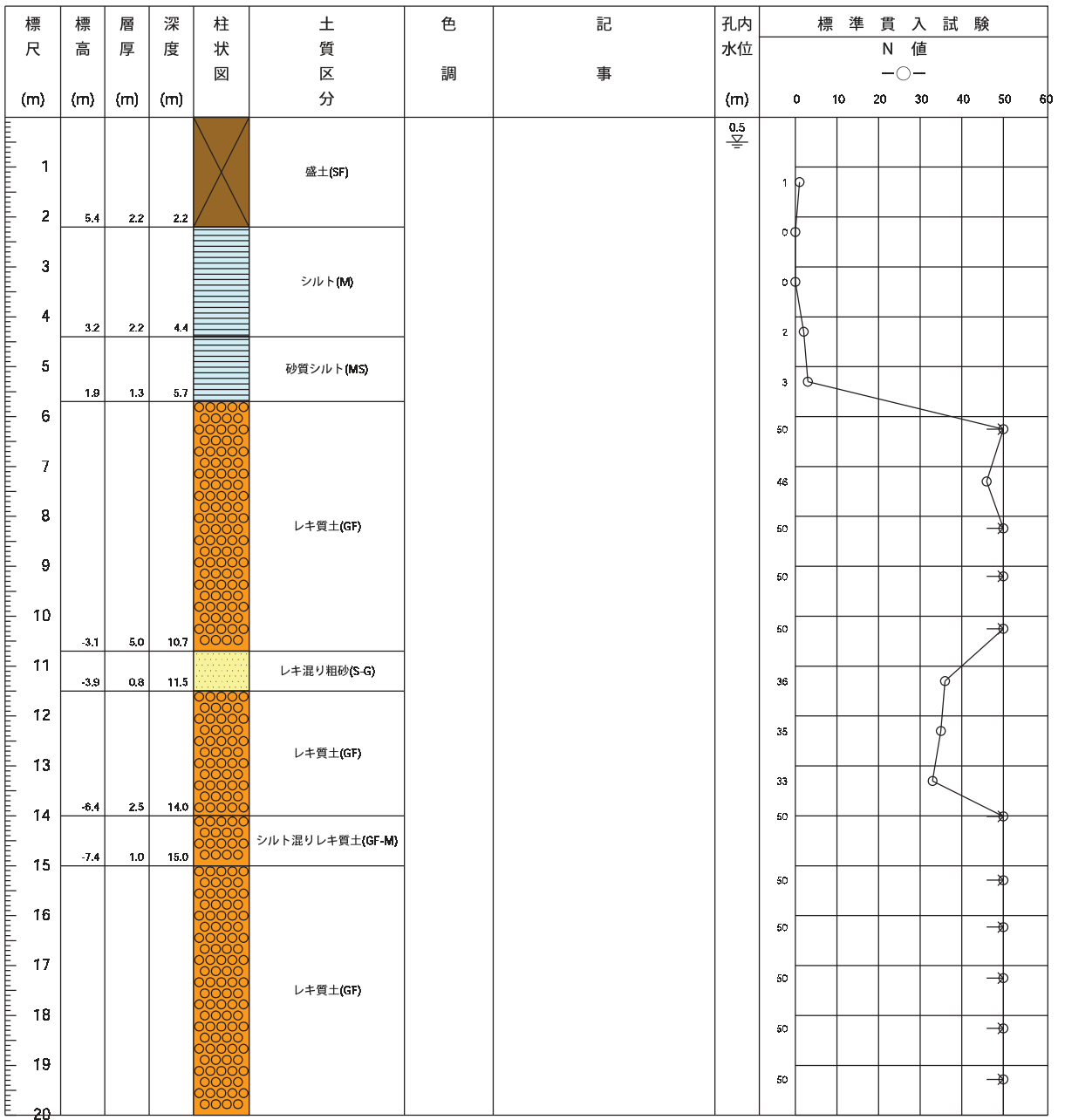
( JR-60 )

(参考60-1)

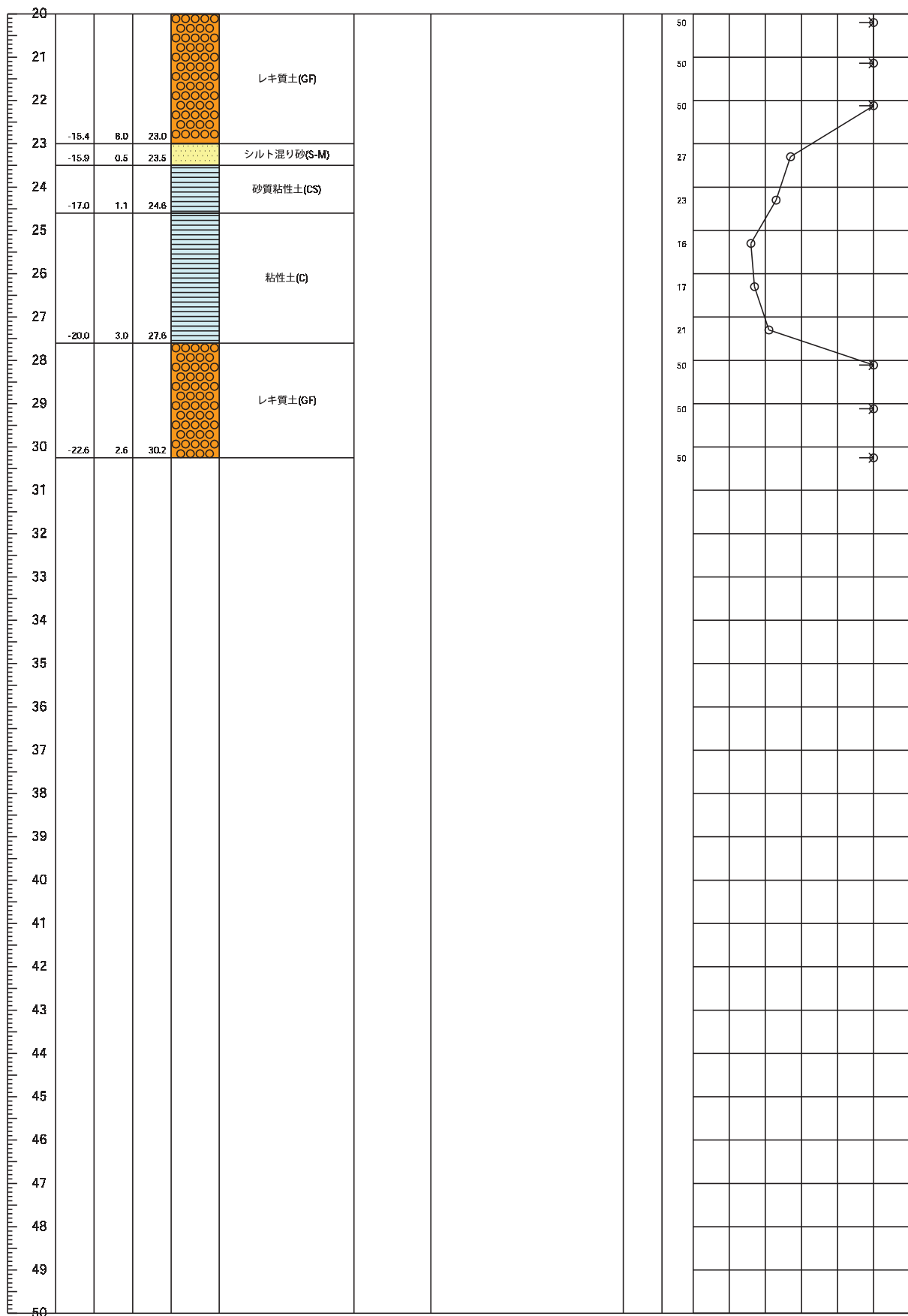
# ボーリング柱状図

参考60-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.6 m	総掘進長	30.25 m



(参考60-1)

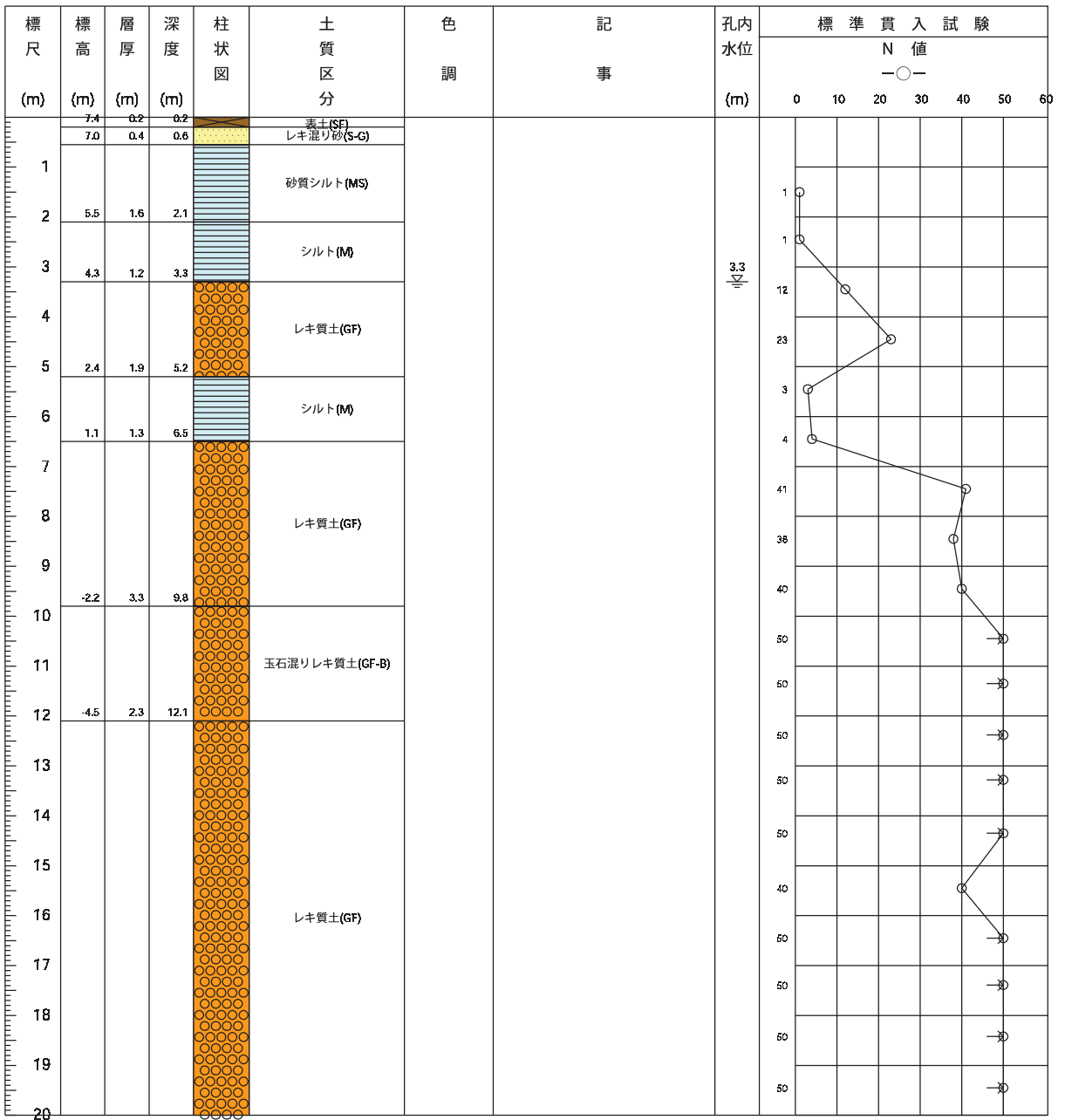


(参考60-2)

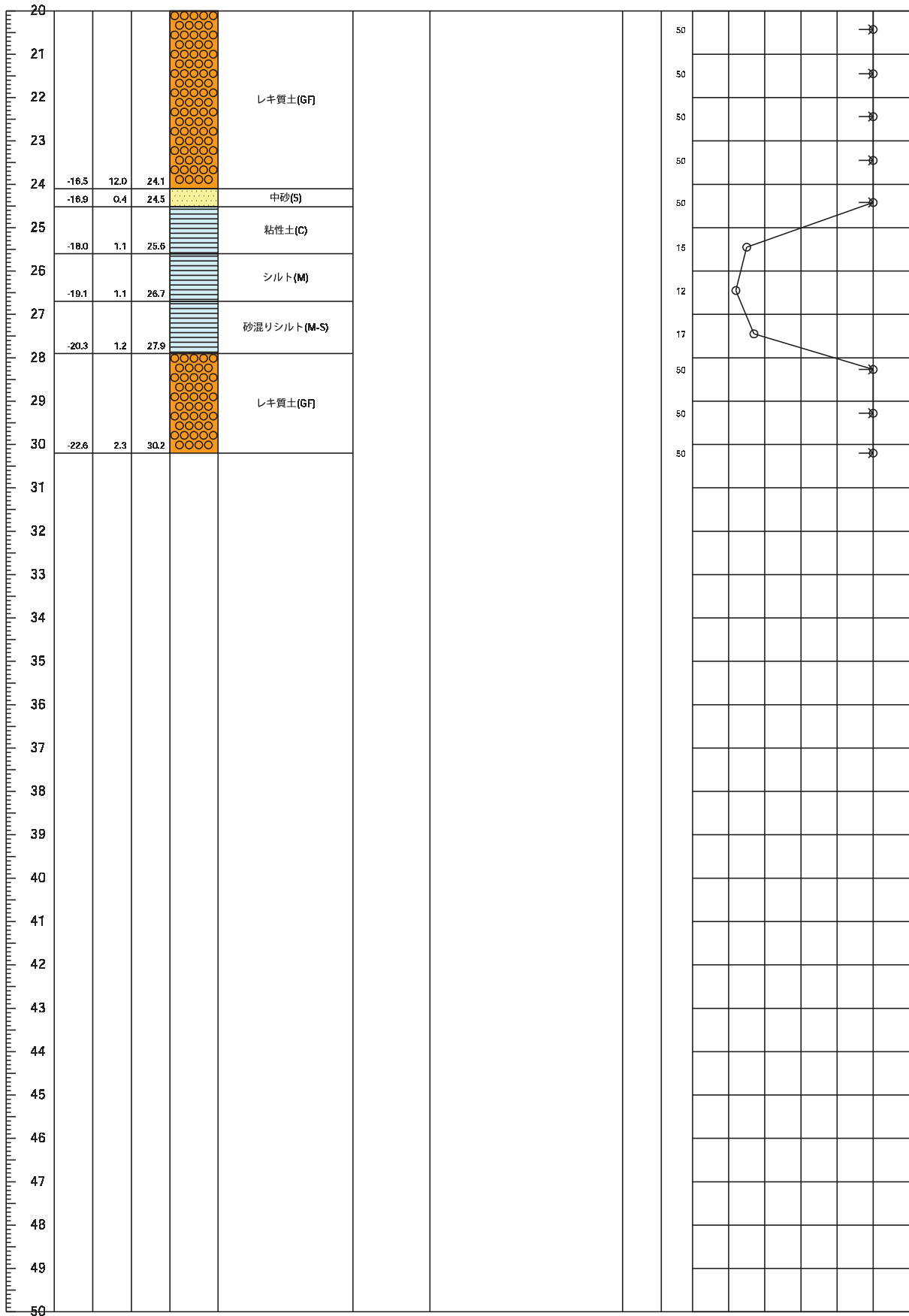
# ボーリング柱状図

参考60-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.6 m	総掘進長	30.2 m



(参考60-2)

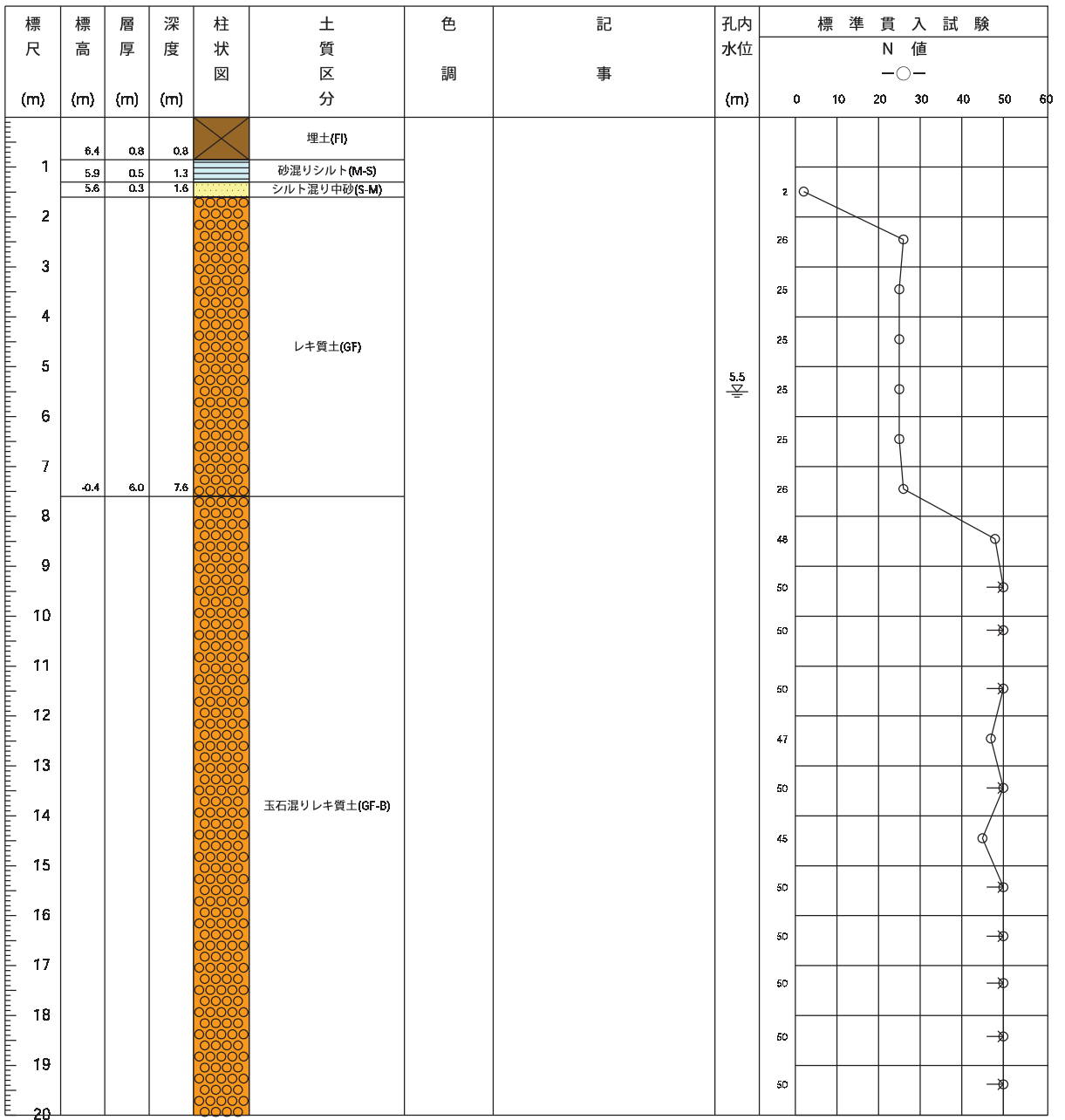


(参考60-3)

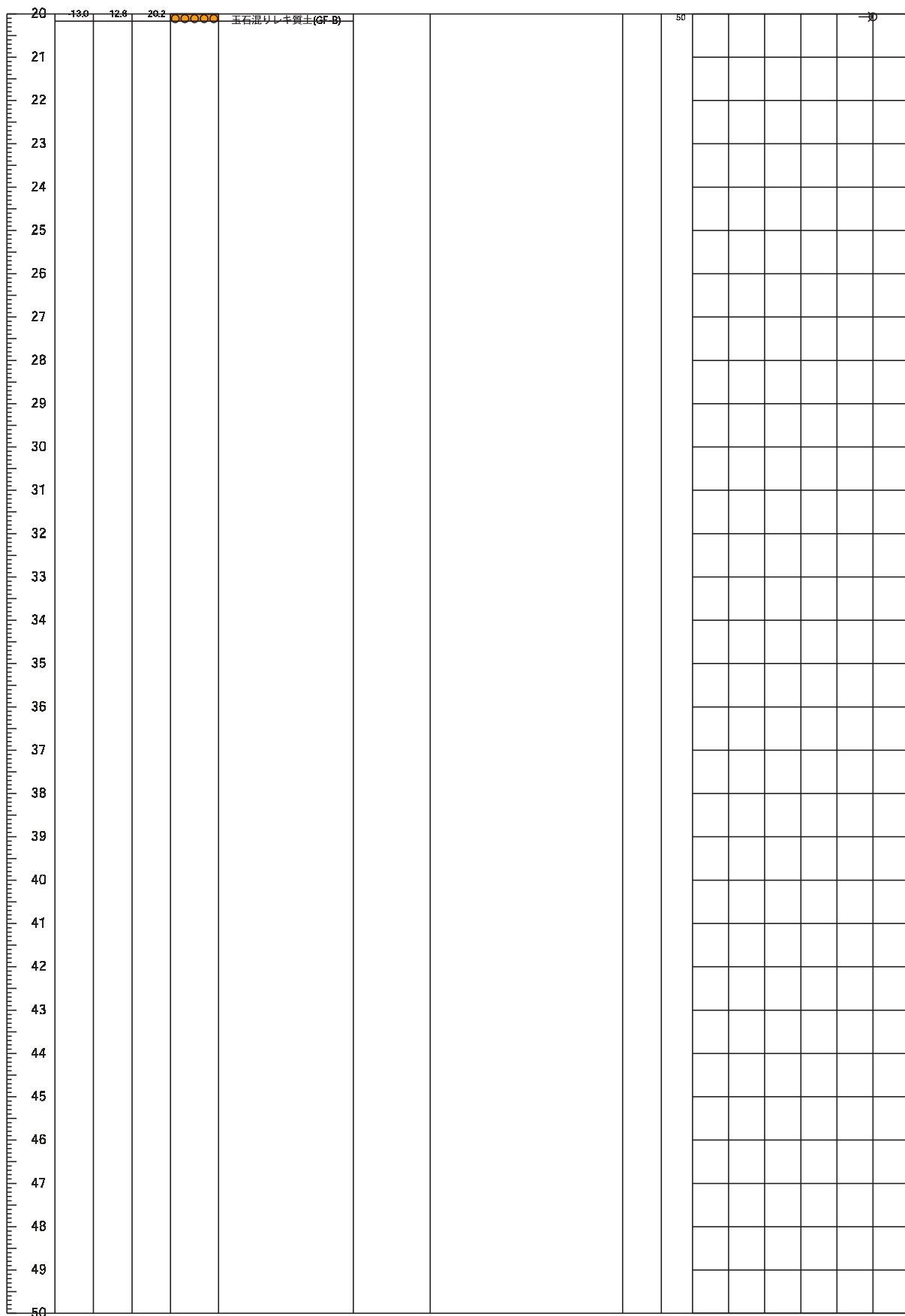
# ボーリング柱状図

参考60-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.2 m	総掘進長	20.17 m



(参考60-3)



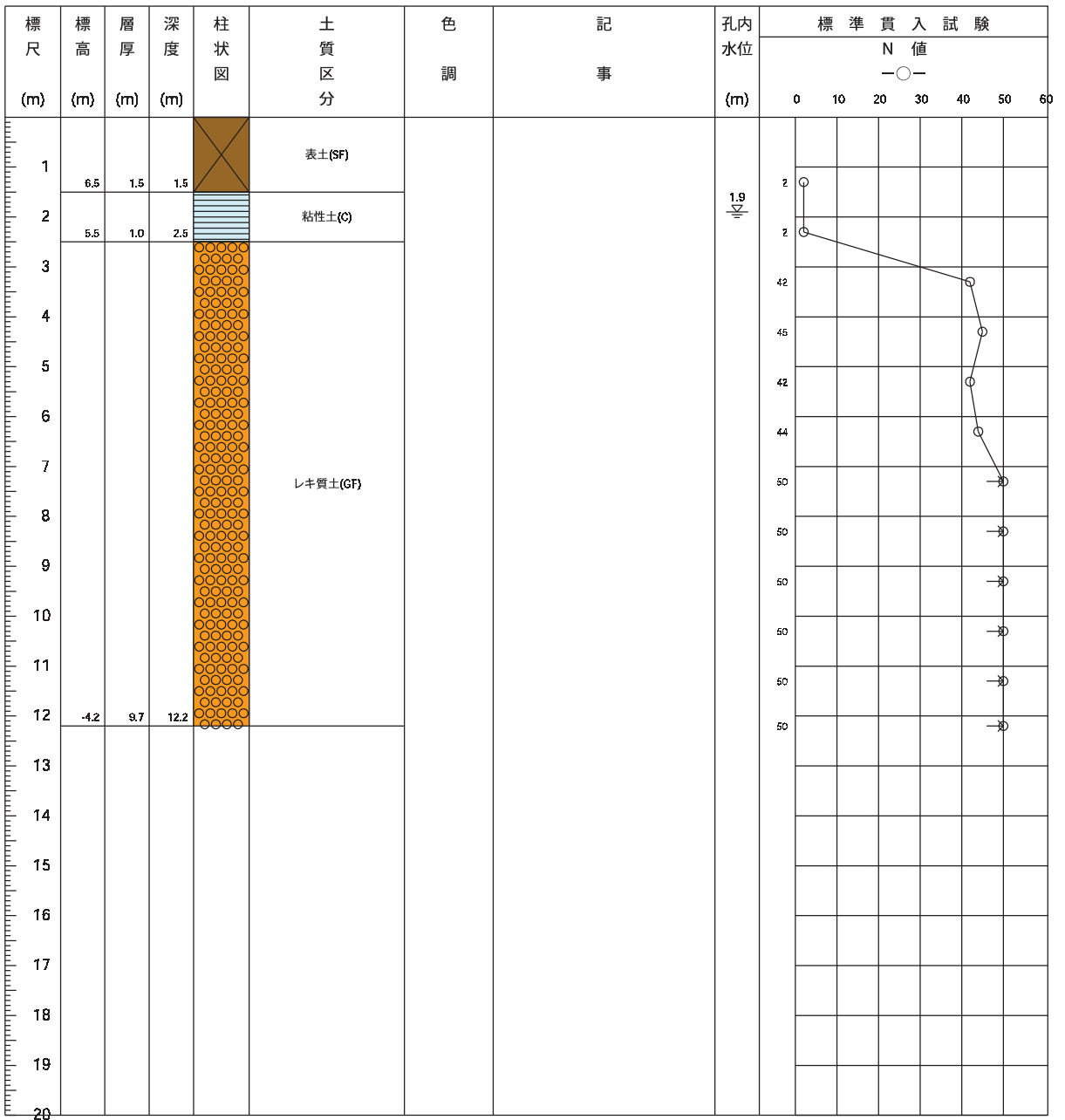


(参考60-4)

# ボーリング柱状図

参考60-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8 m	総掘進長	12.2 m



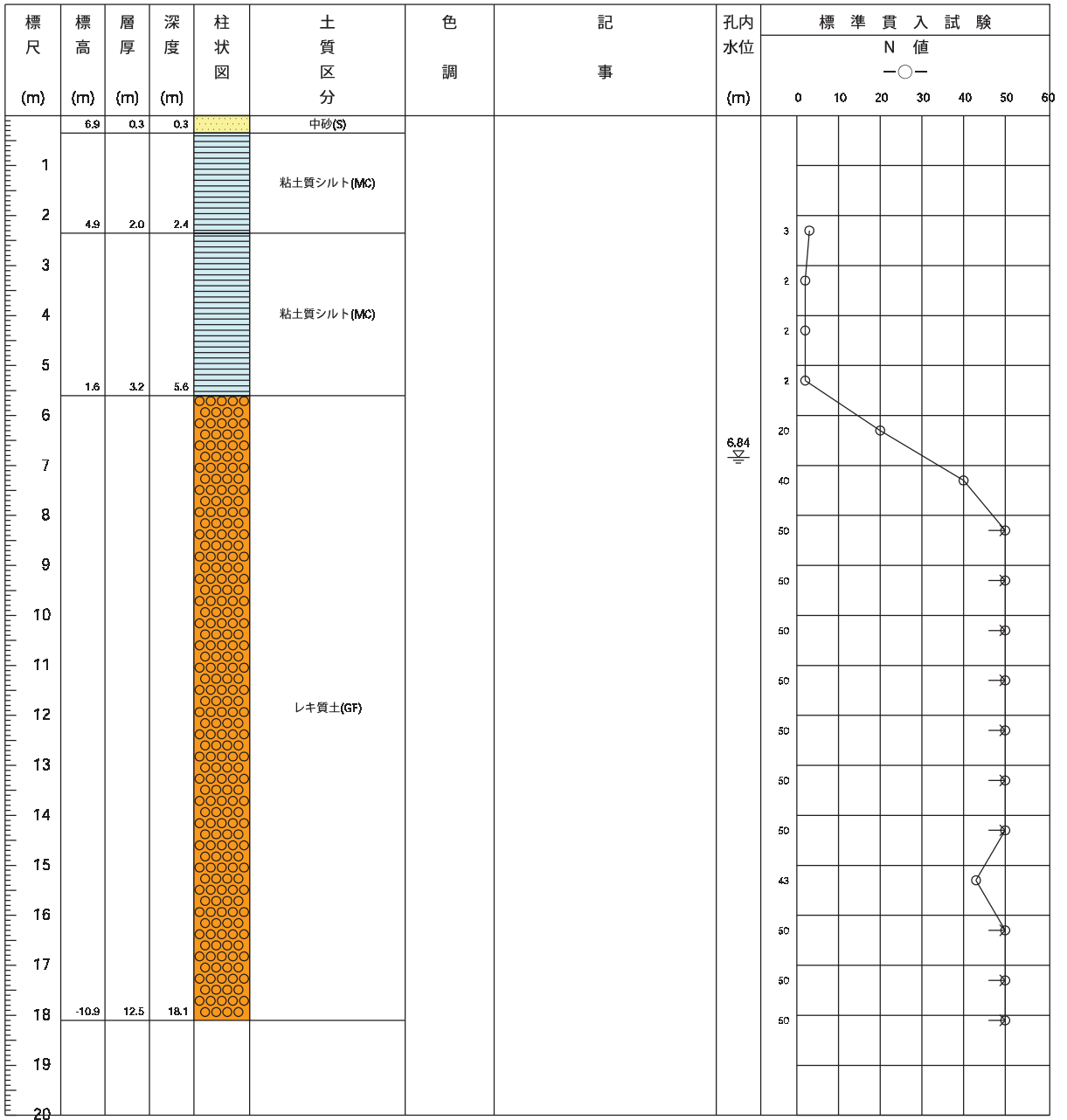
(参考60-4)

(参考60-5)

# ボーリング柱状図

参考60-5

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.24 m	総掘進長	18.1 m



(参考60-5)

ボーリング柱状図

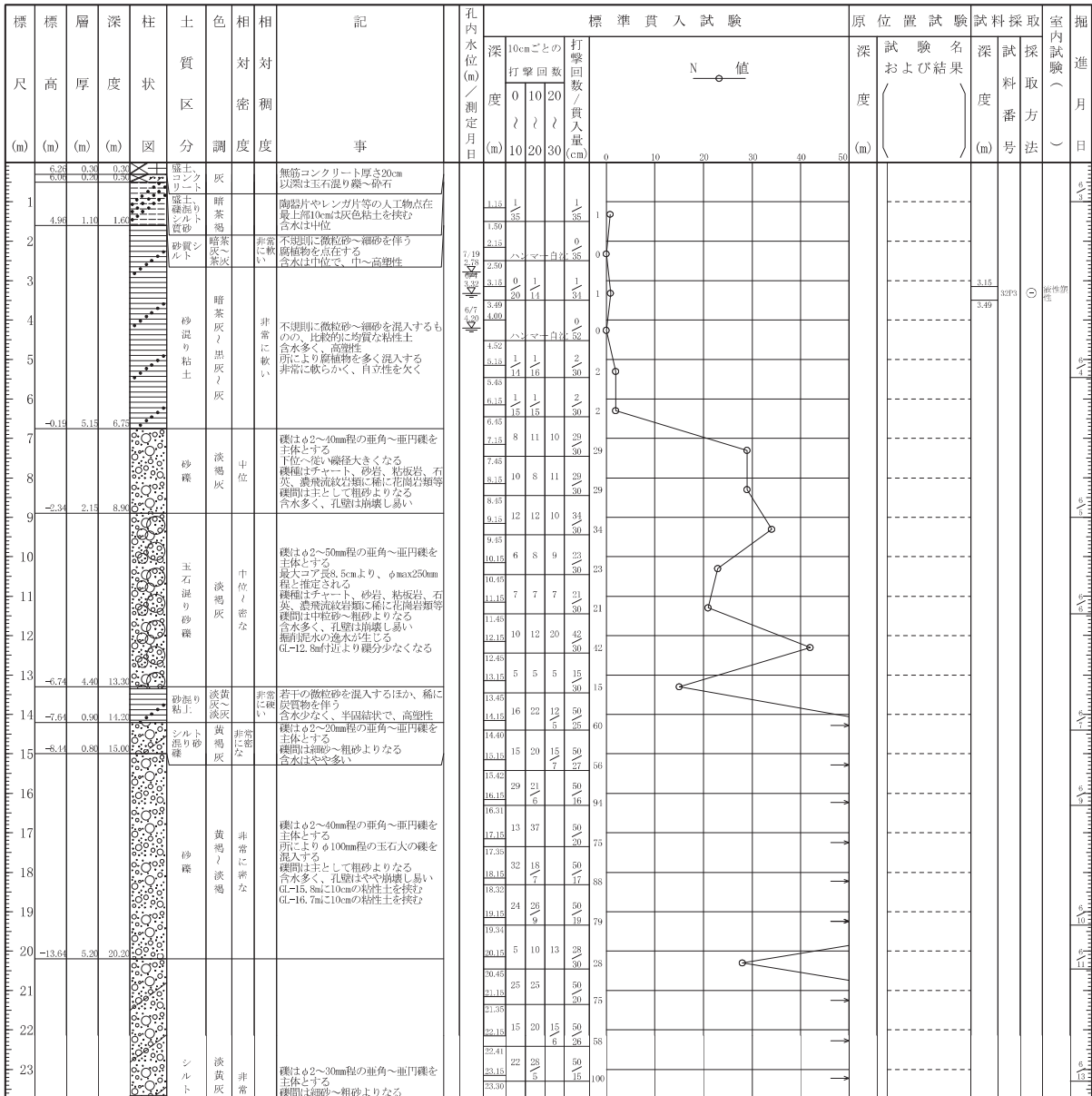
調査名

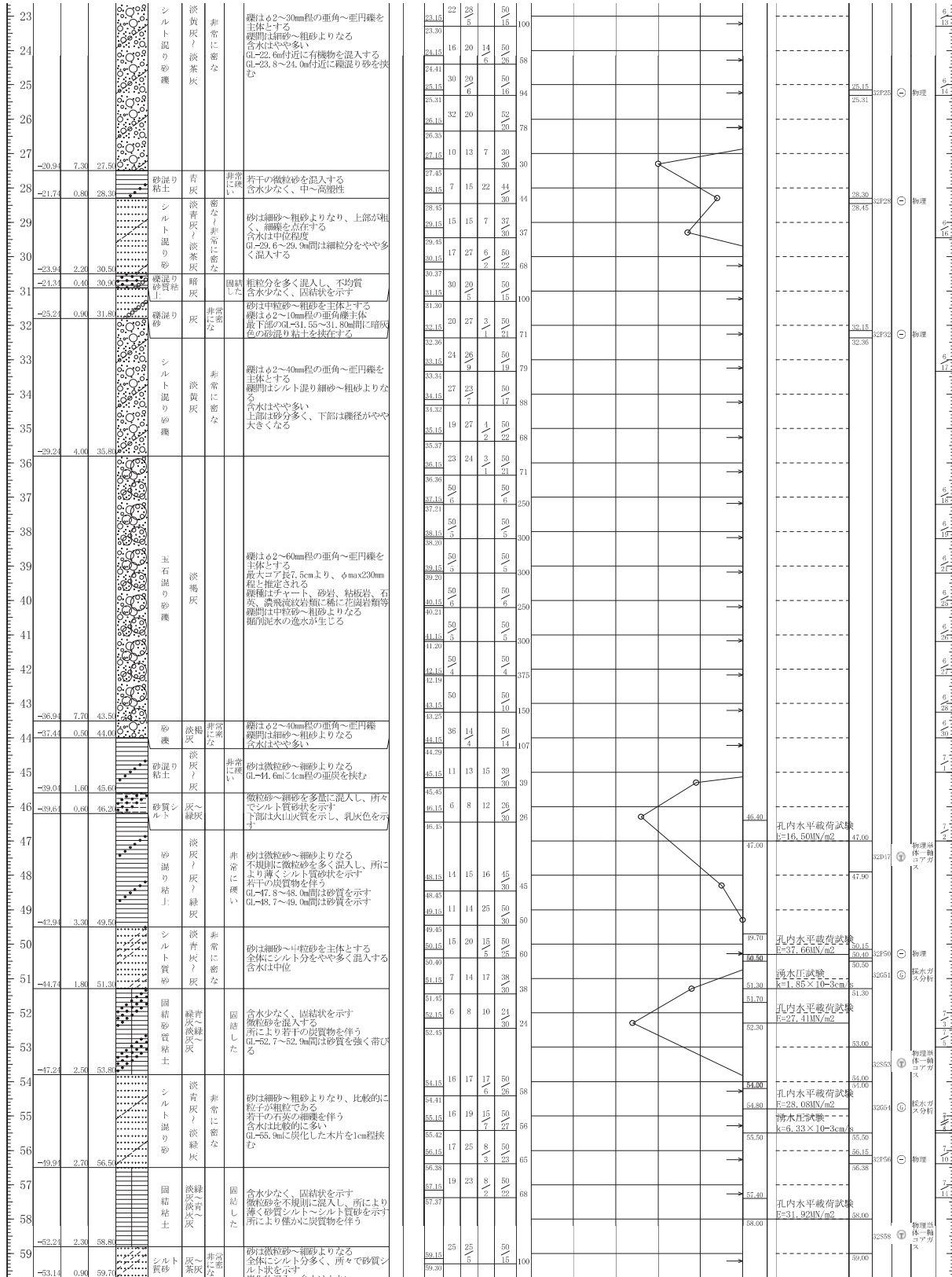
ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

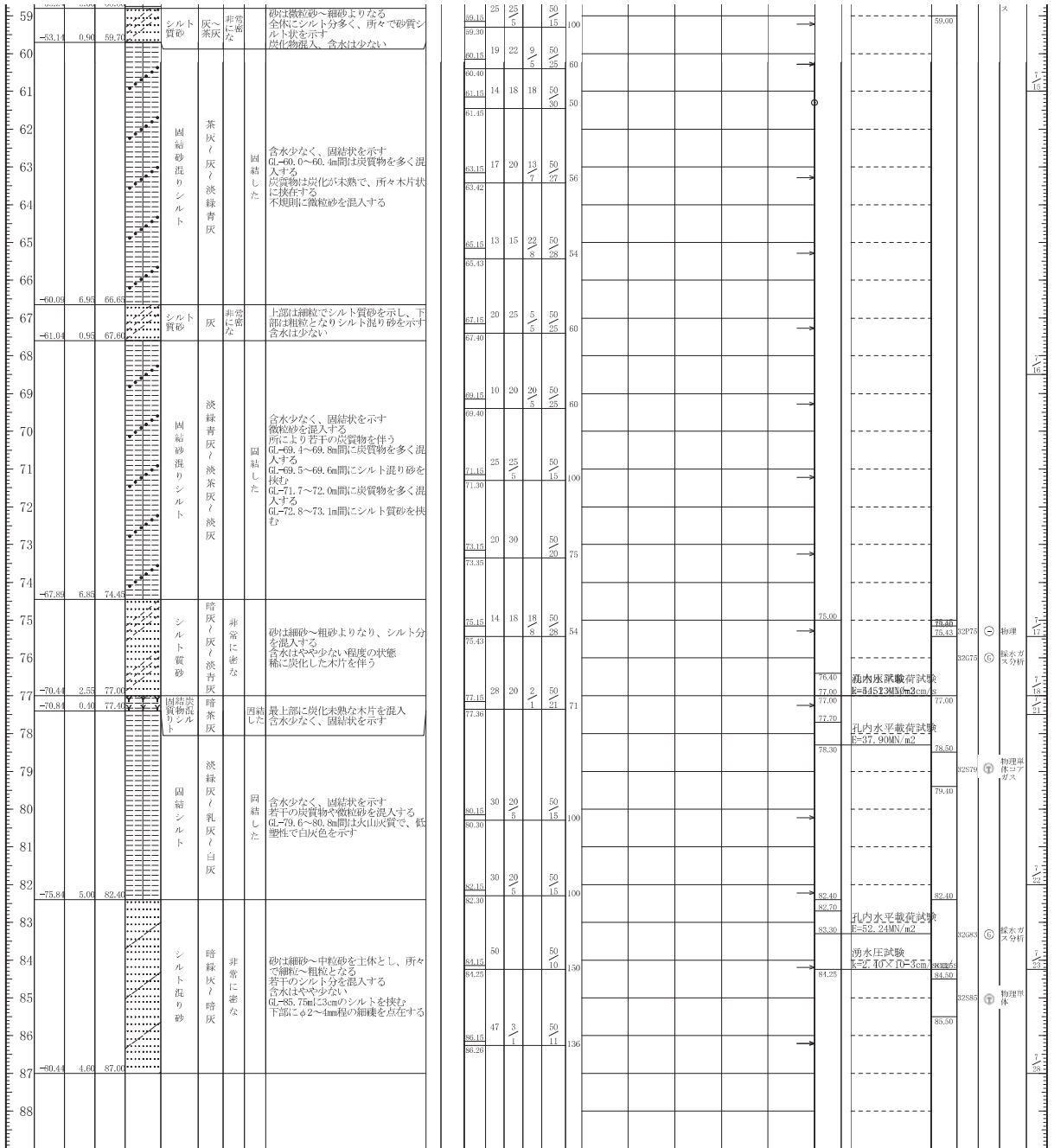
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置											北緯
発注機関	調査期間							東経				
調査業者名	主任技師			現場代理人			コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	H=6.56m	角	180°上 90°下	方	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	鉛直	水平	使用機種	ハンマー落下用具		
総掘進長	87.00m	度	0°	向		配	90°	0°	エンジン	ポンプ		







( JR-61 )

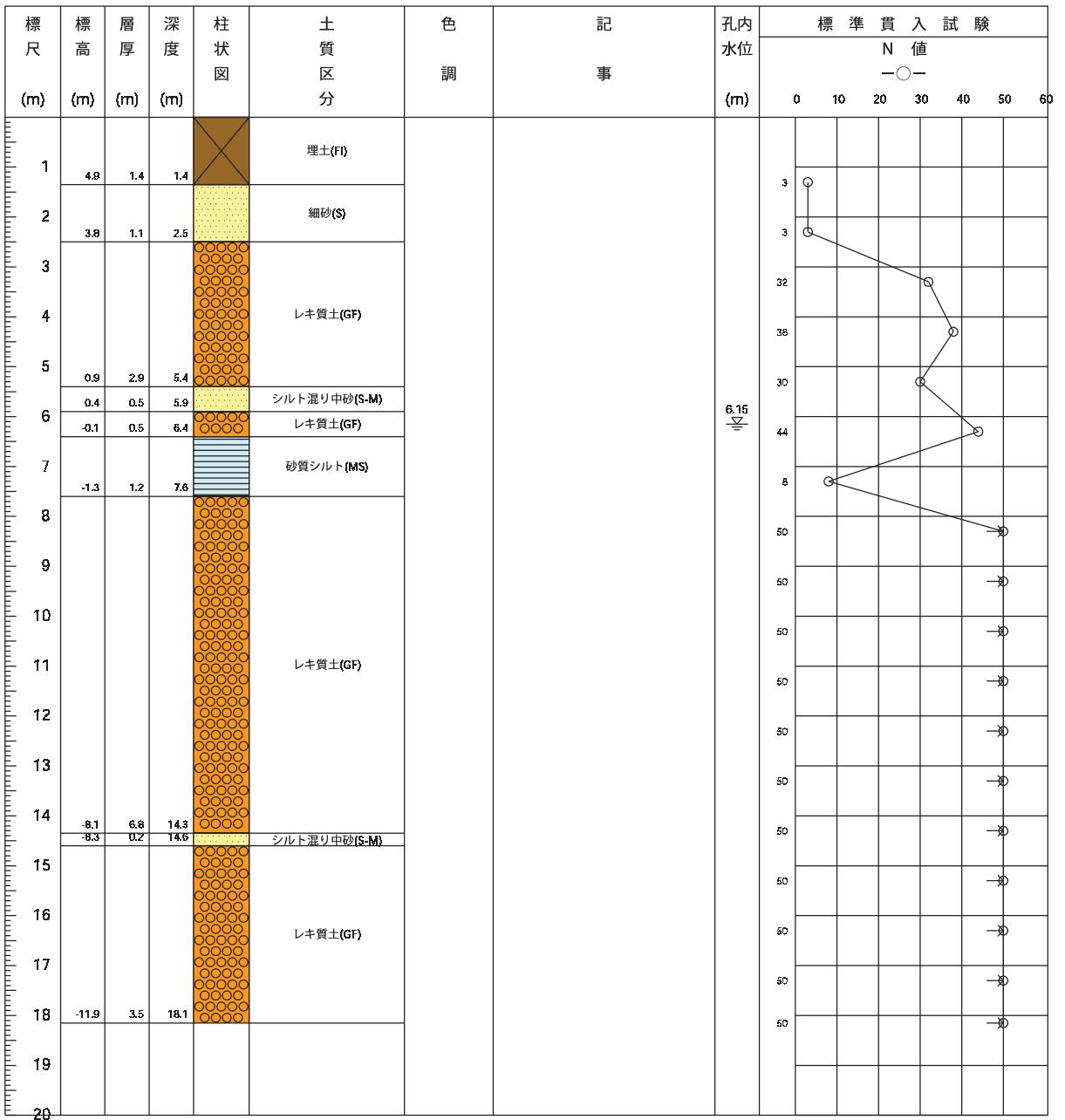


(参考61-1)

# ボーリング柱状図

参考61-1

ボーリングID	出典		
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯	東経		
調査期間			
孔口標高	T.P. 6.29 m	総掘進長	18.15 m



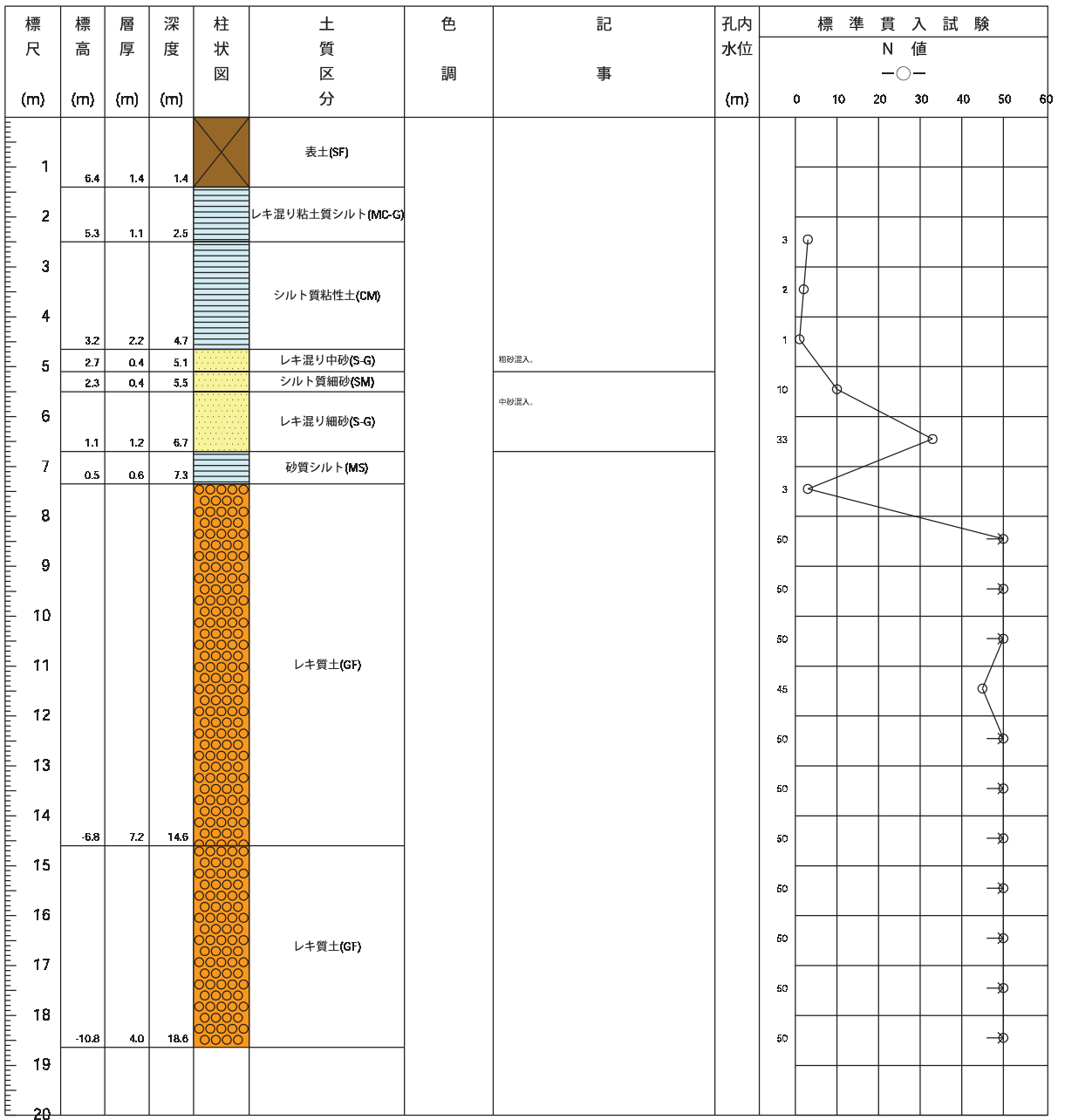
(参考61-1)

(参考61-2)

# ボーリング柱状図

参考61-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.84 m	総掘進長	18.64 m



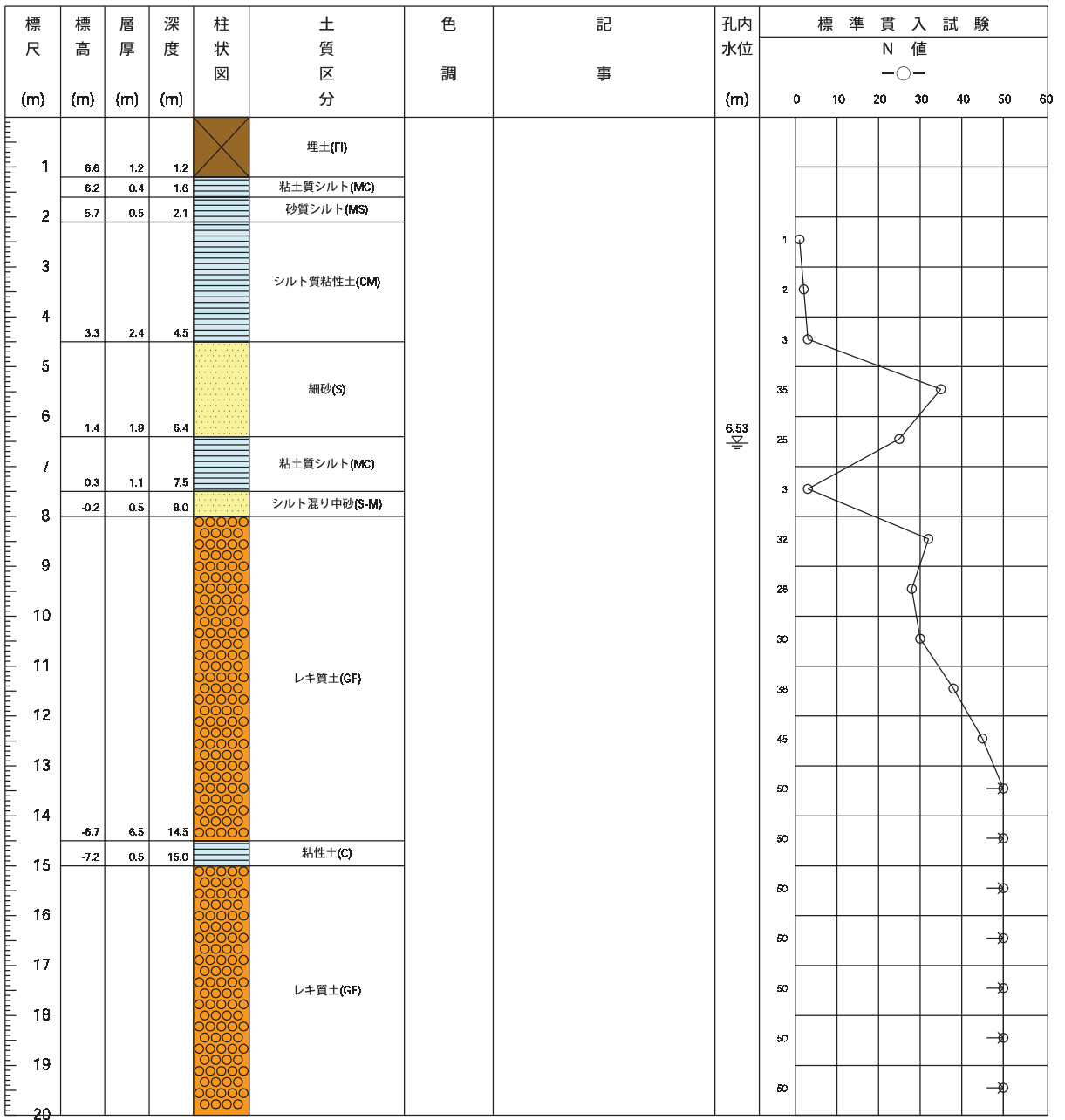
(参考61-2)

(参考61-3)

# ボーリング柱状図

参考61-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.84 m	総掘進長	21.15 m





ボーリング柱状図

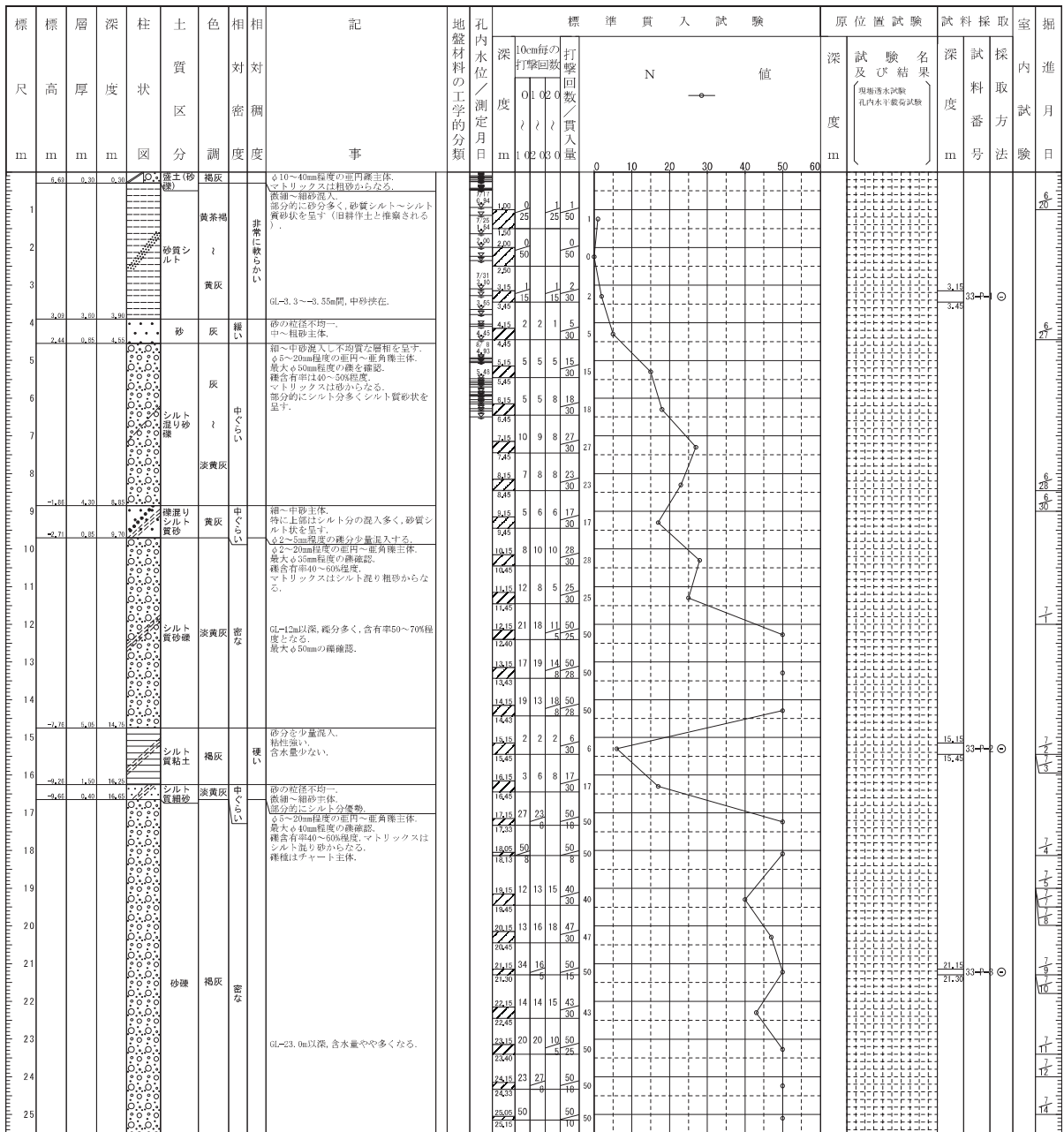
調査名

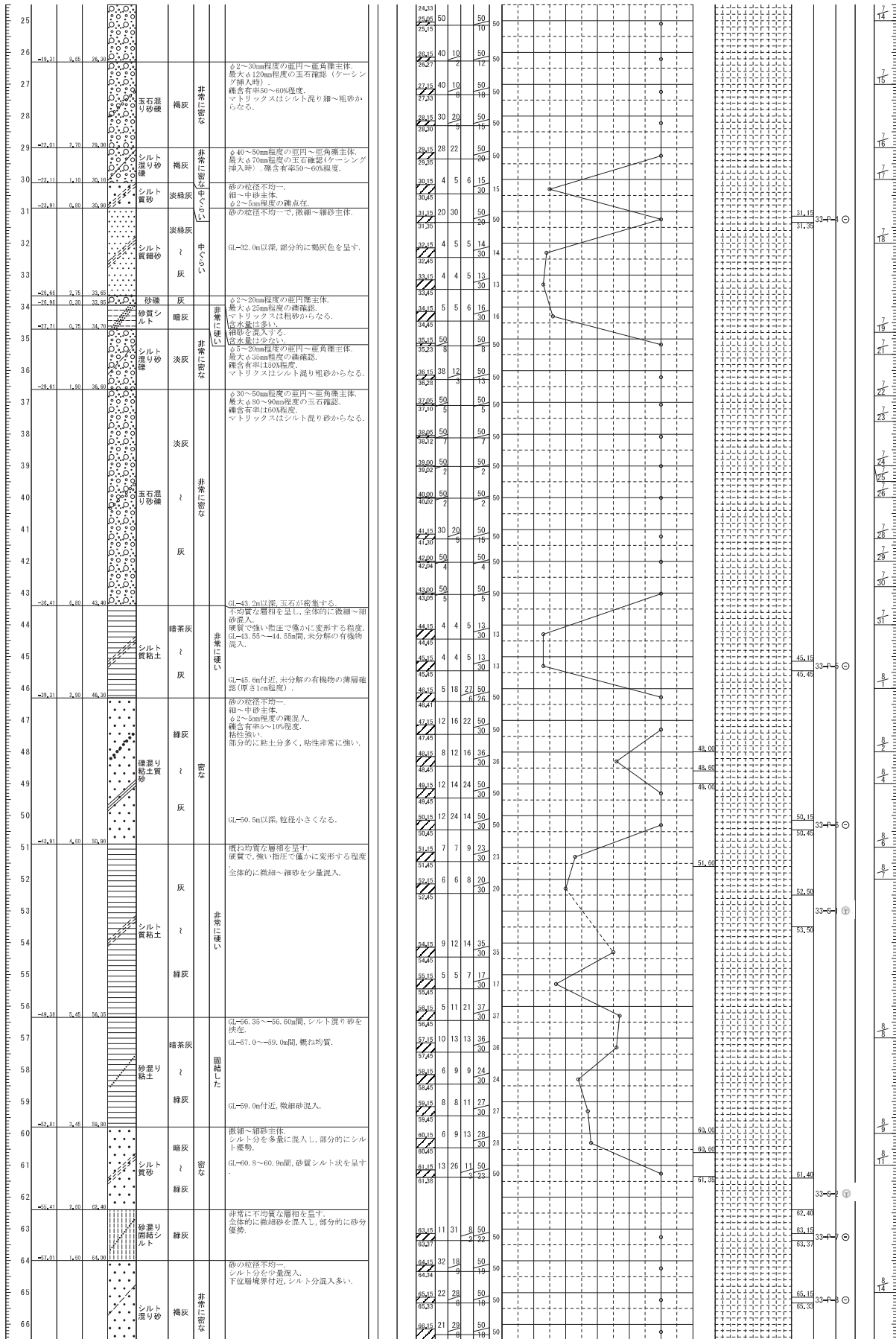
事業・工事名

ボーリングNo.											
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

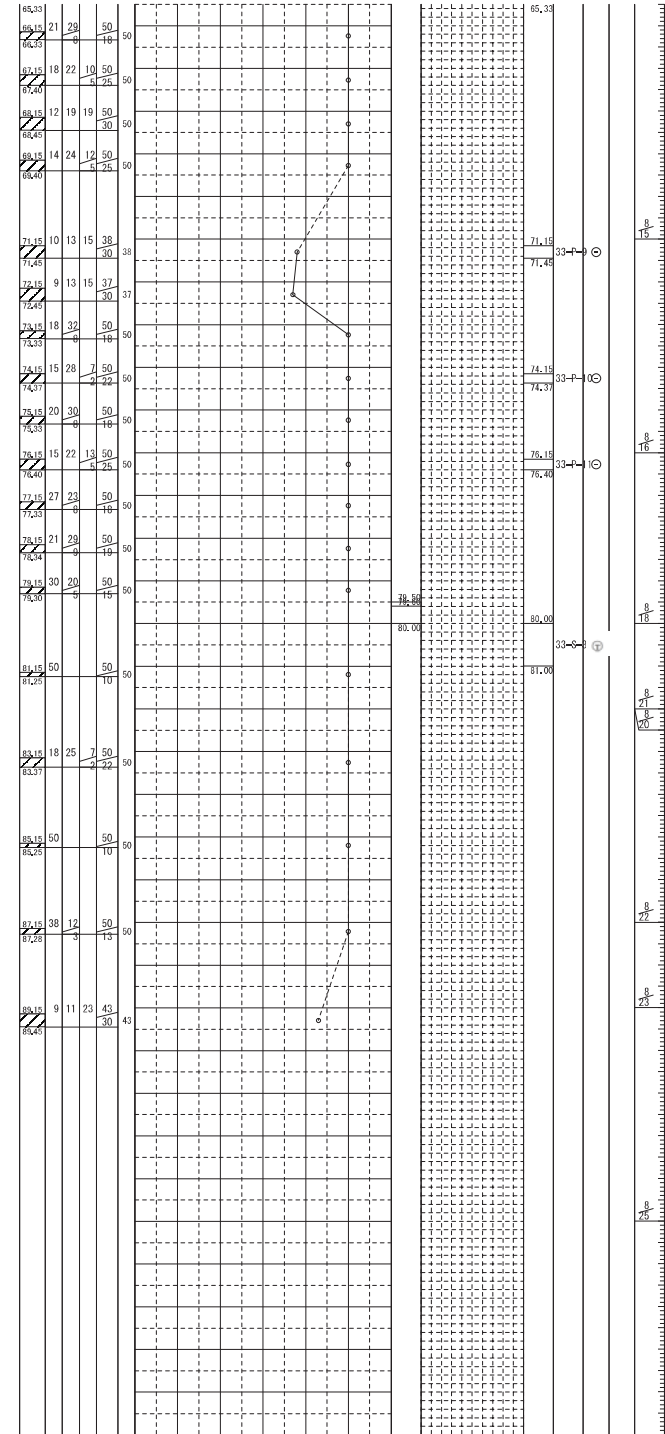
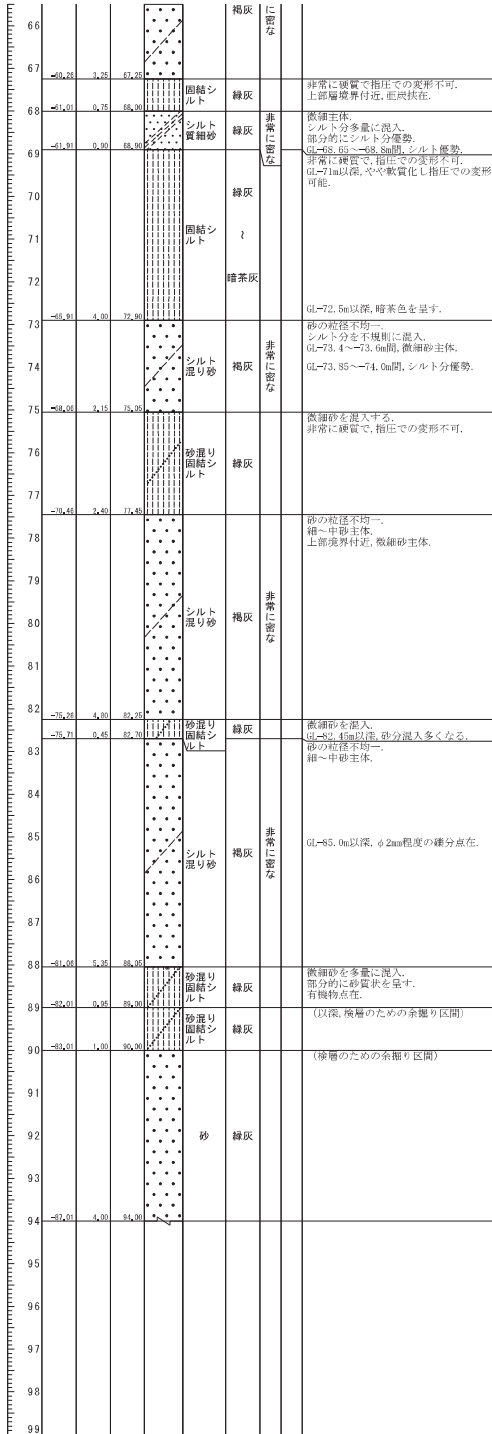
シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コ定者	ボーリング責任者
孔口標高	T P 6.99m	角	180° 上 F 度	方	北 0° 東 90° 西 180° 南
総掘進長	94.00m	度	0°	向	北 0° 東 90° 西 180° 南
使用機種	試錐機		ハンマー		ポンプ
機種	エンジン				









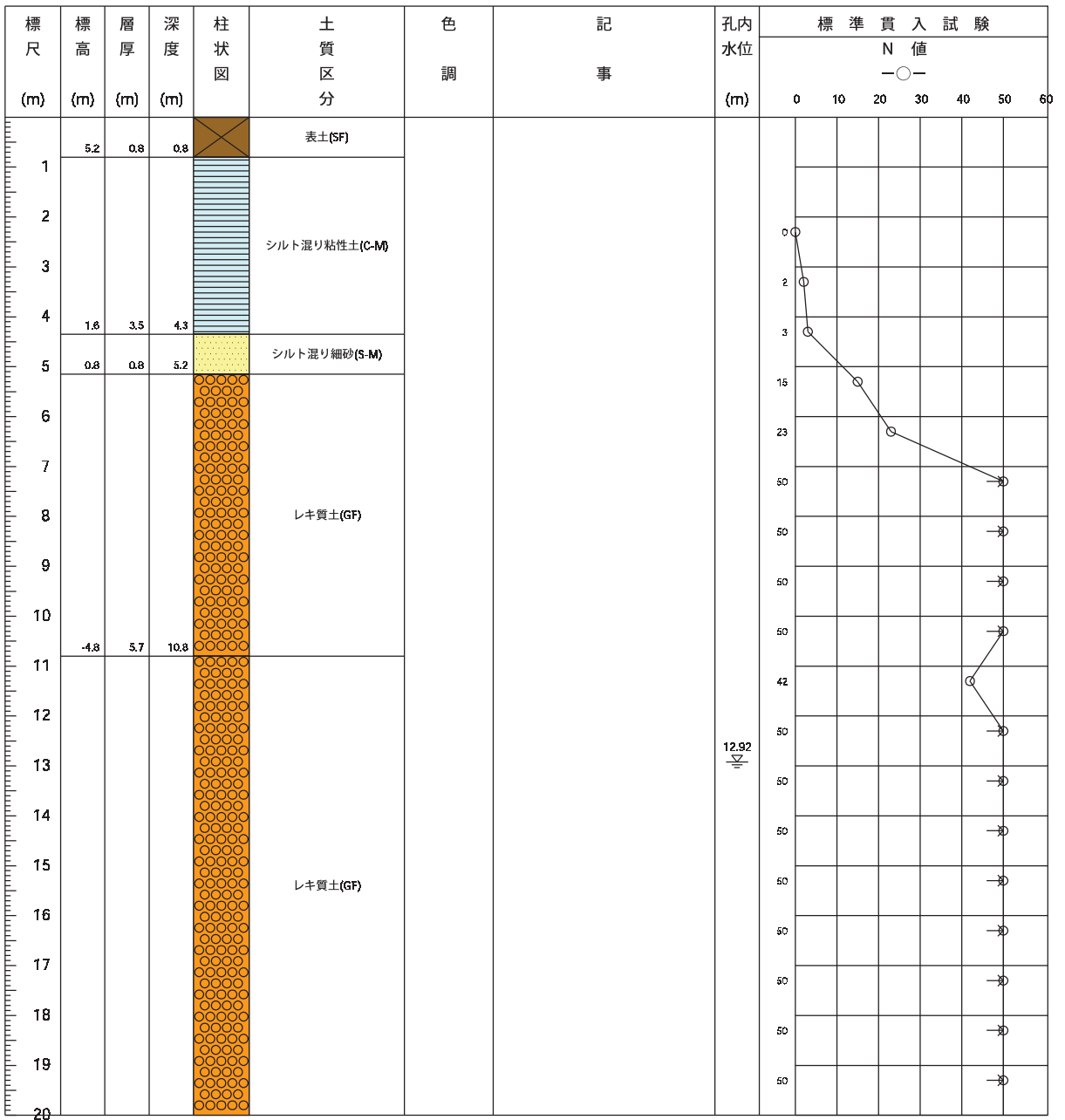
( JR-62 )

(参考62-1)

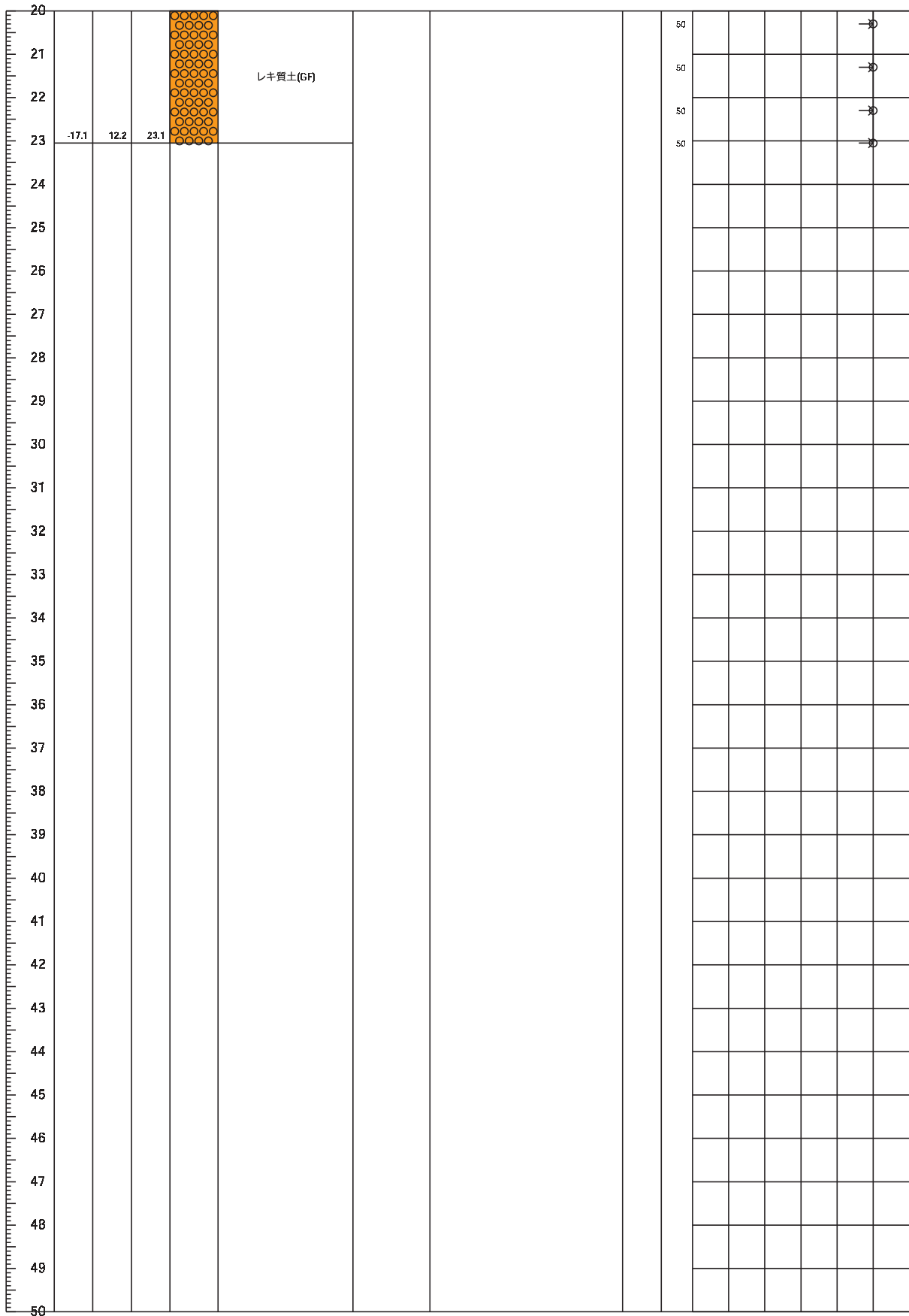
# ボーリング柱状図

参考62-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 5.97 m	総掘進長	23.05 m



(参考62-1)

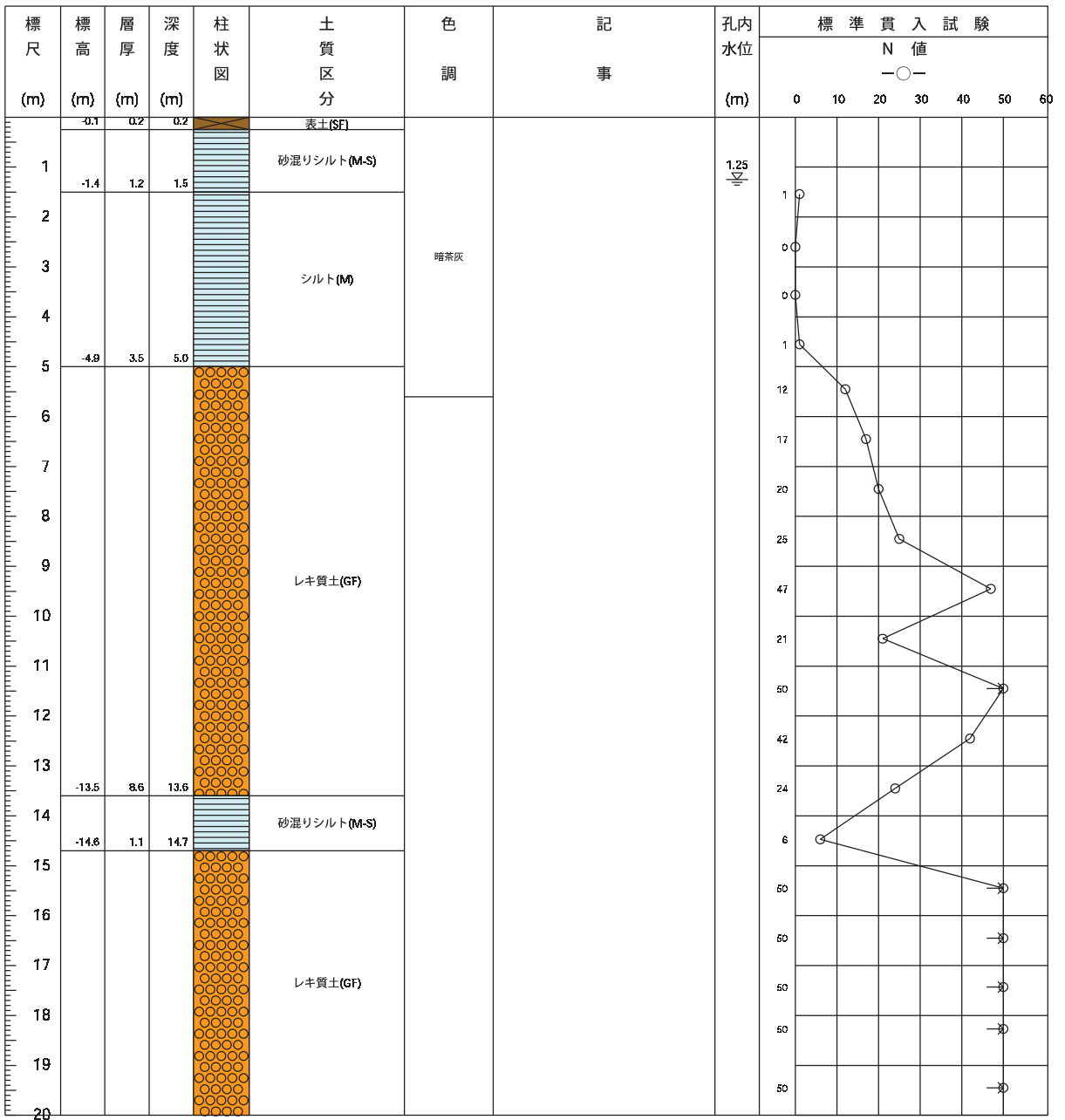


(参考62-2)

# ボーリング柱状図

参考62-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	5.80m*	総掘進長	20.45 m



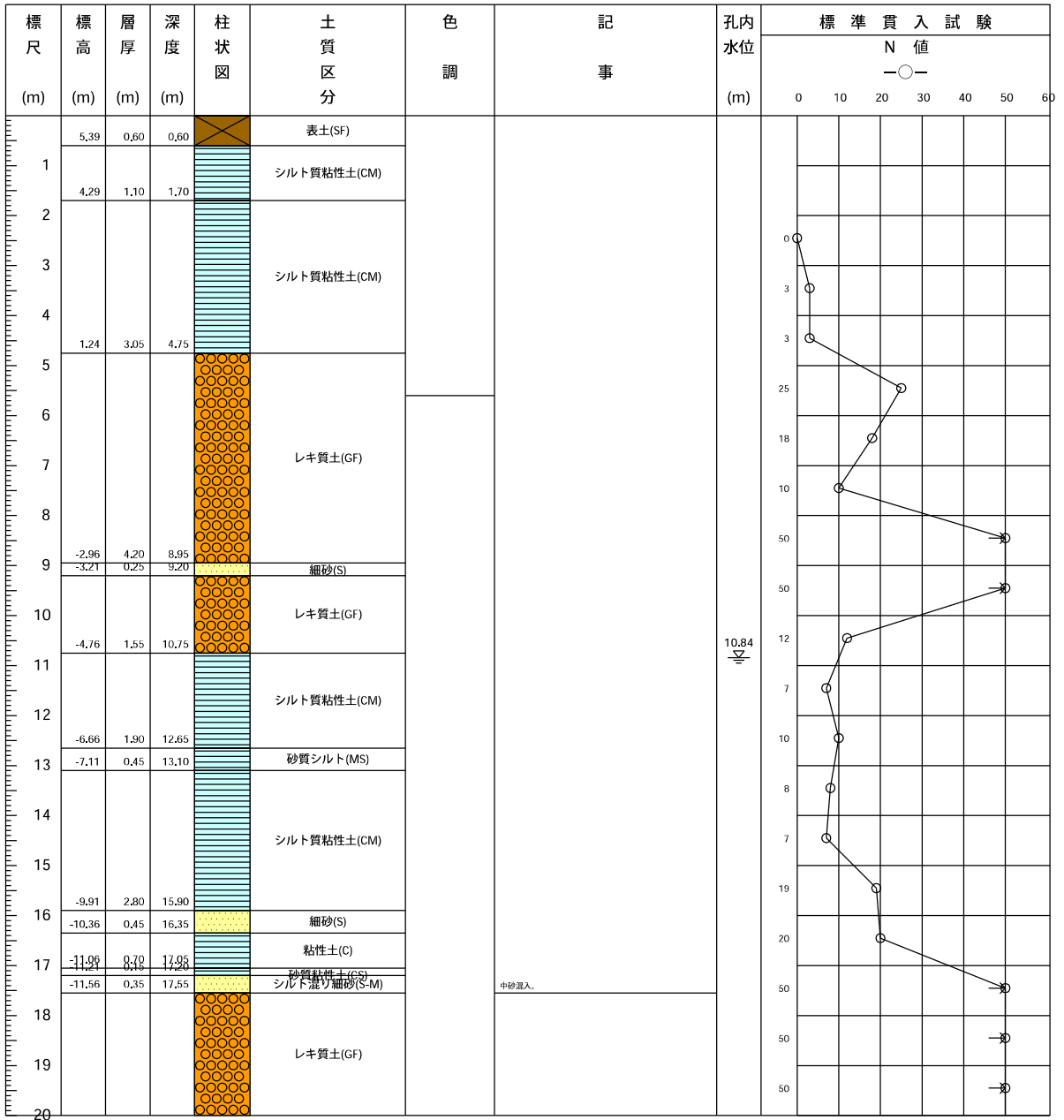


(参考62-3)

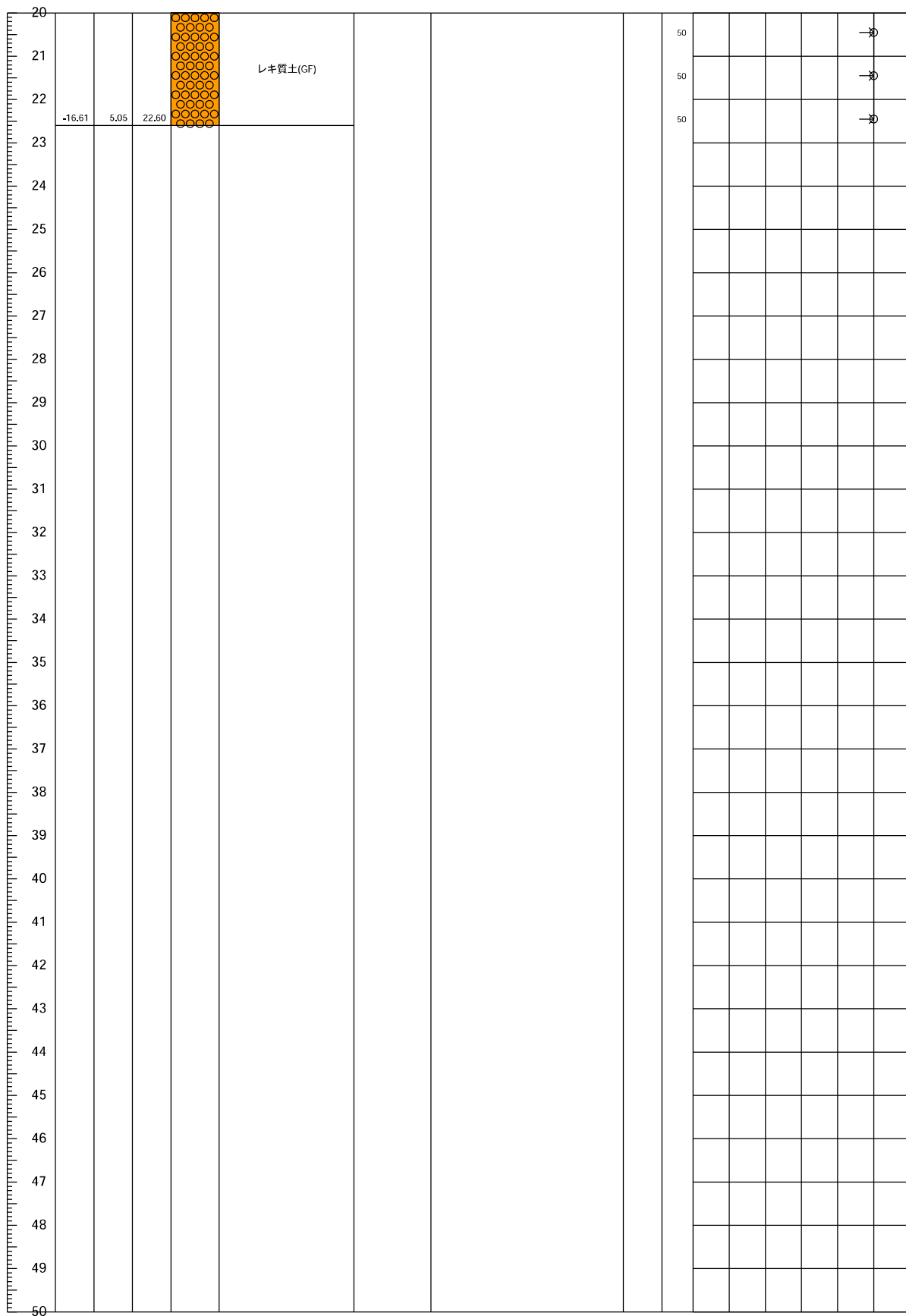
# ボーリング柱状図

参考62-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 5.99 m	総掘進長	22.6 m



(参考62-3)



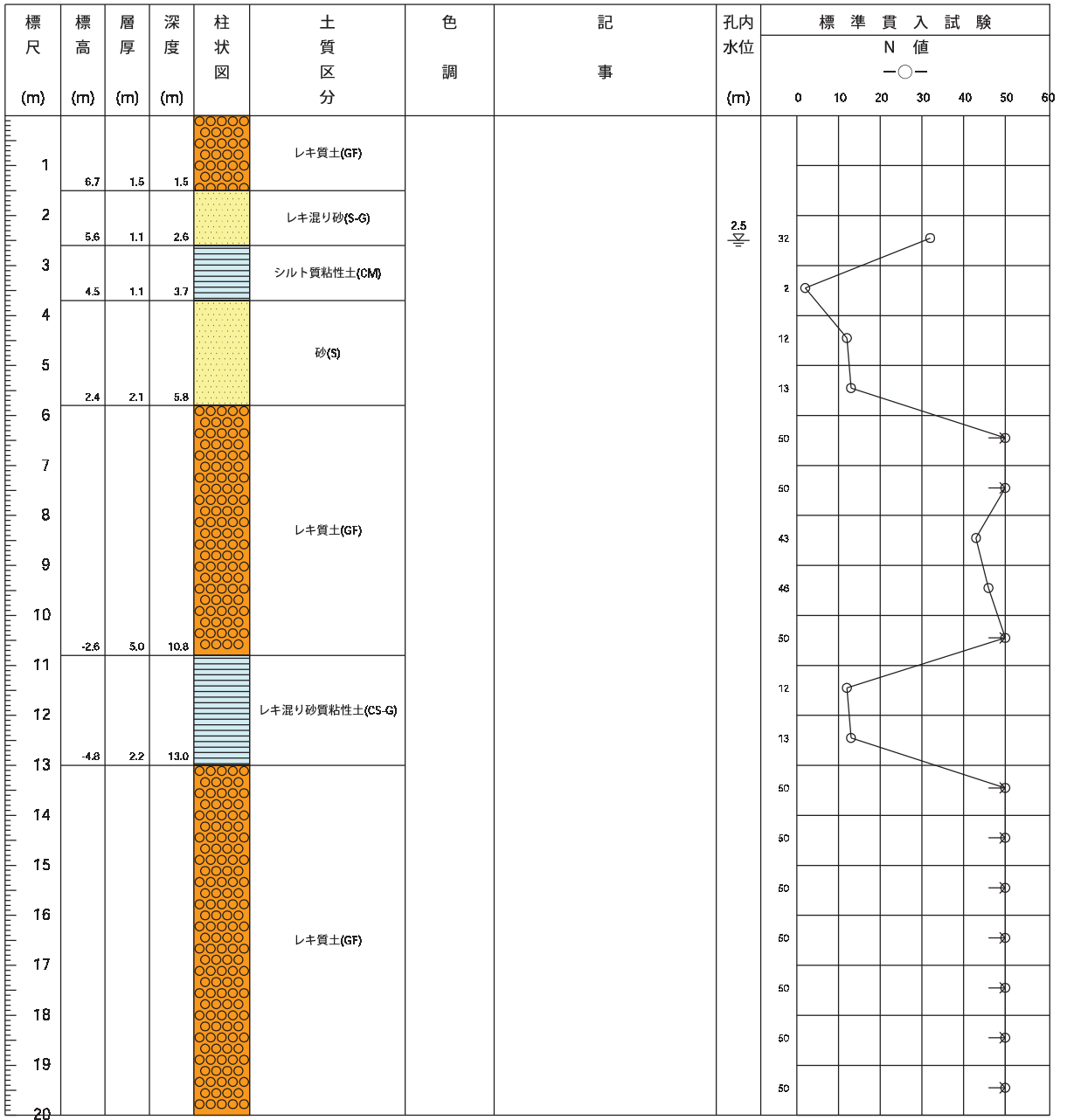


(参考62-4)

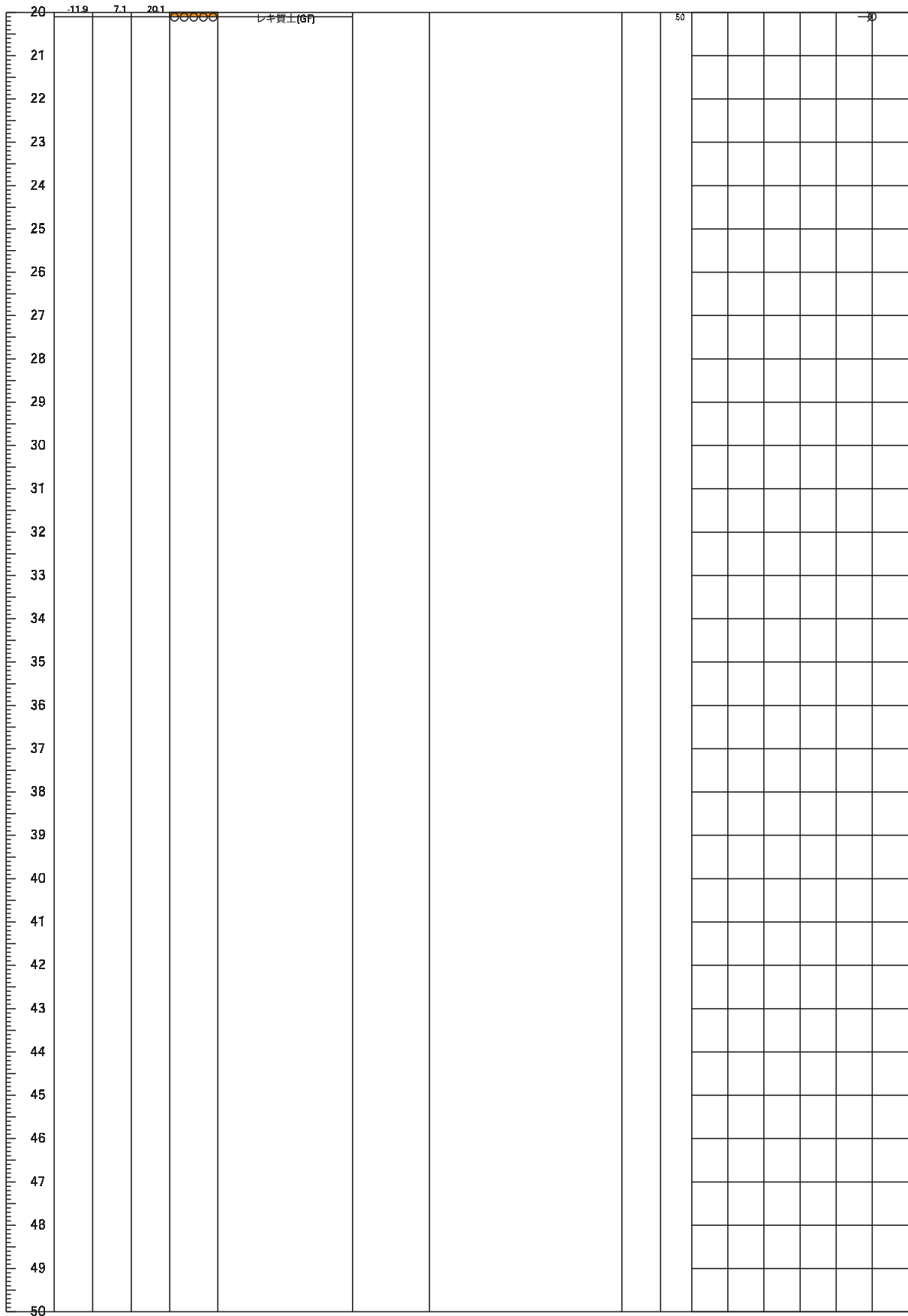
# ボーリング柱状図

参考62-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8.2 m	総掘進長	20.1 m



(参考62-4)

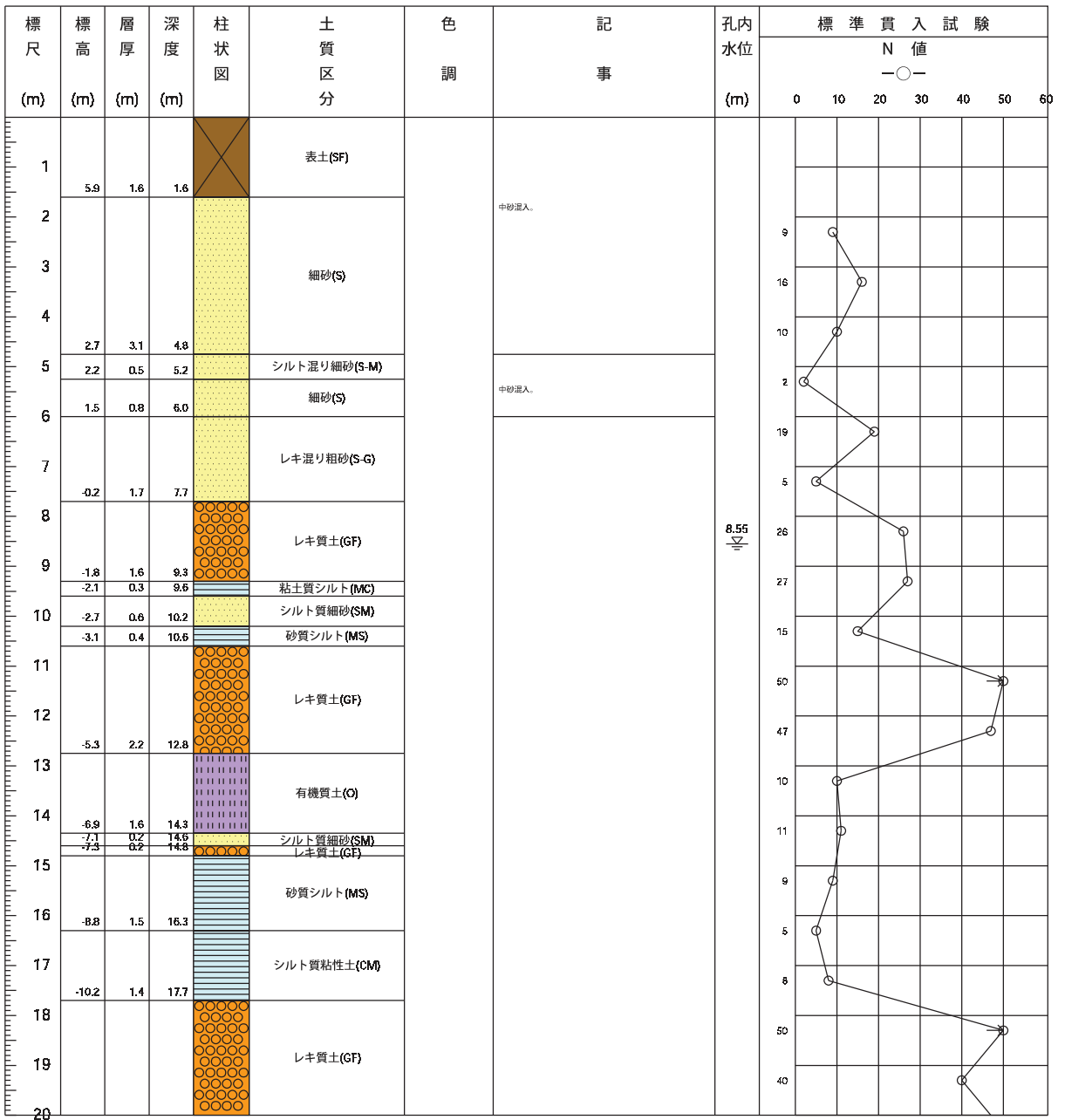


(参考62-5)

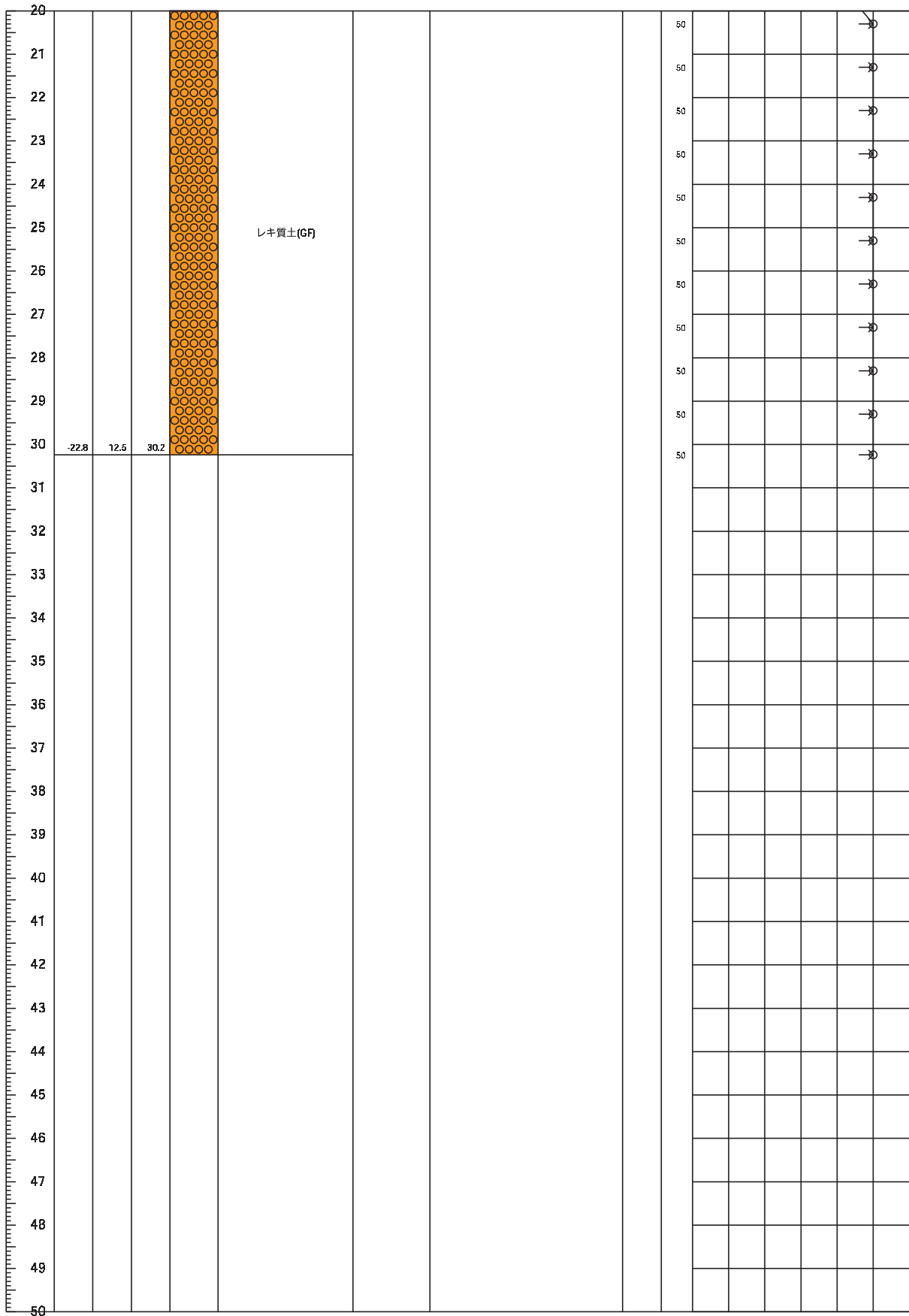
# ボーリング柱状図

参考62-5

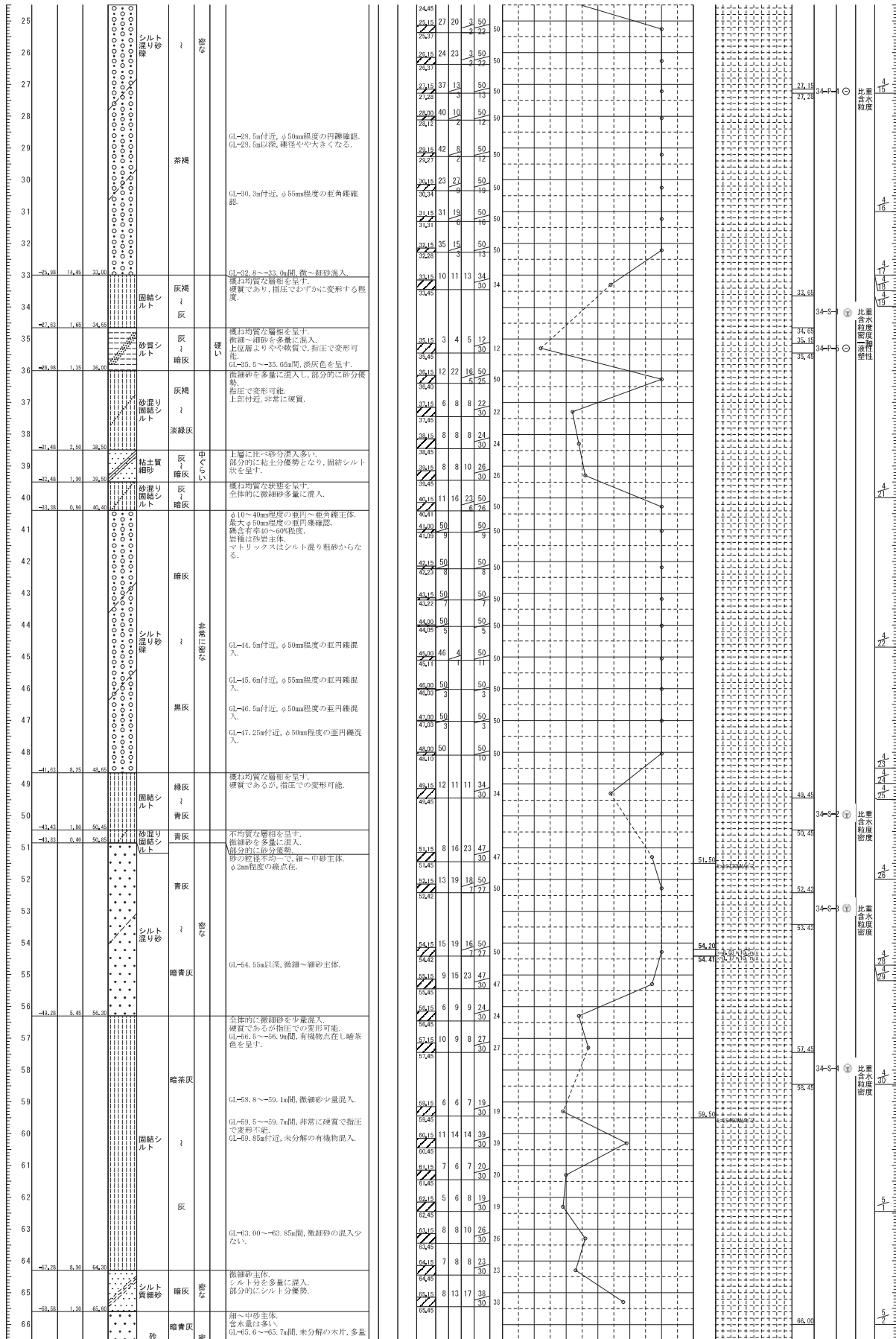
ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.48 m	総掘進長	30.24 m

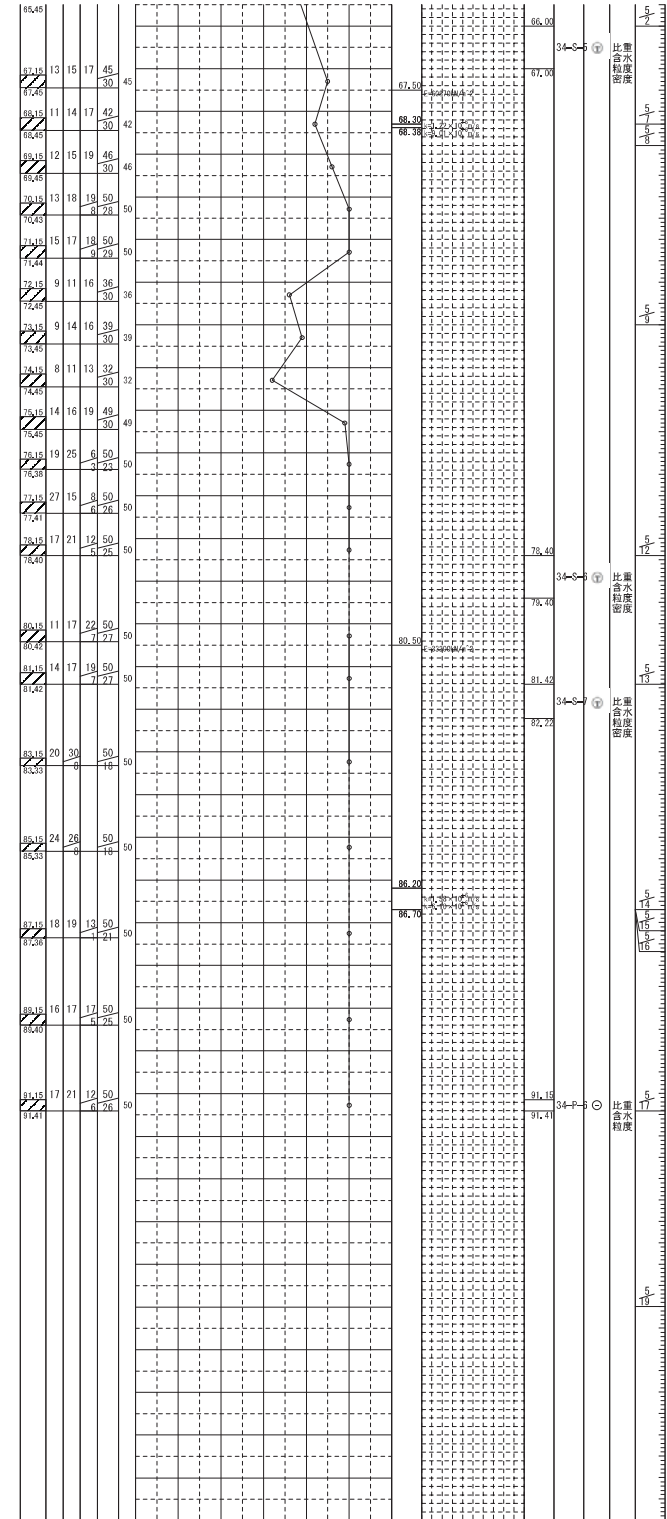
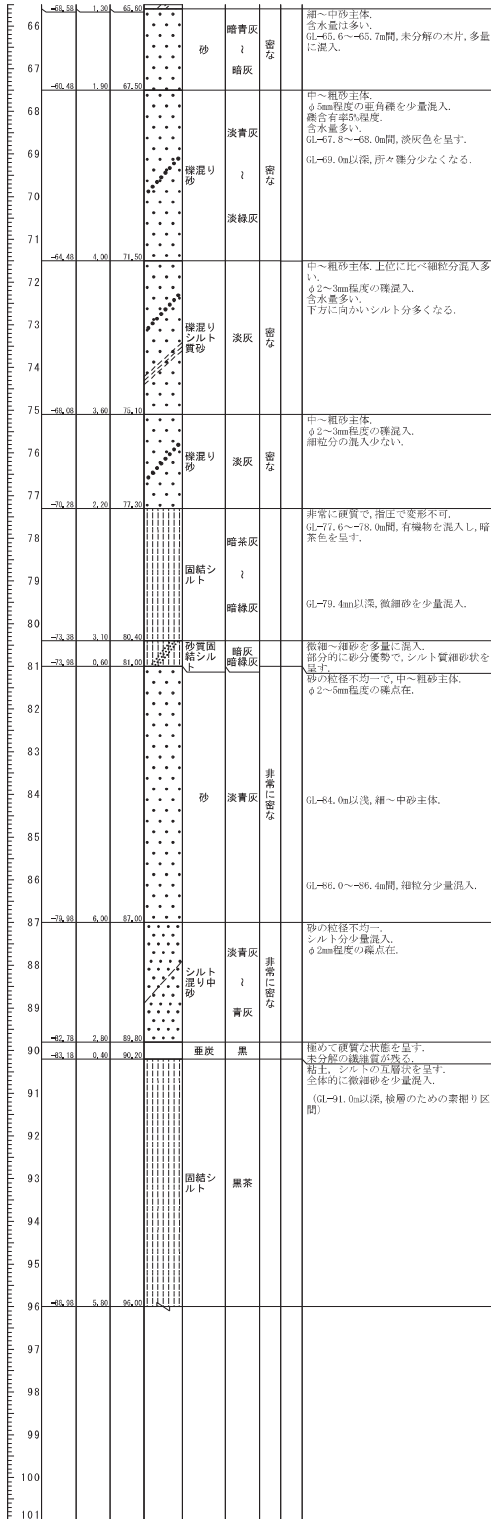


(参考62-5)









( JR-63 )





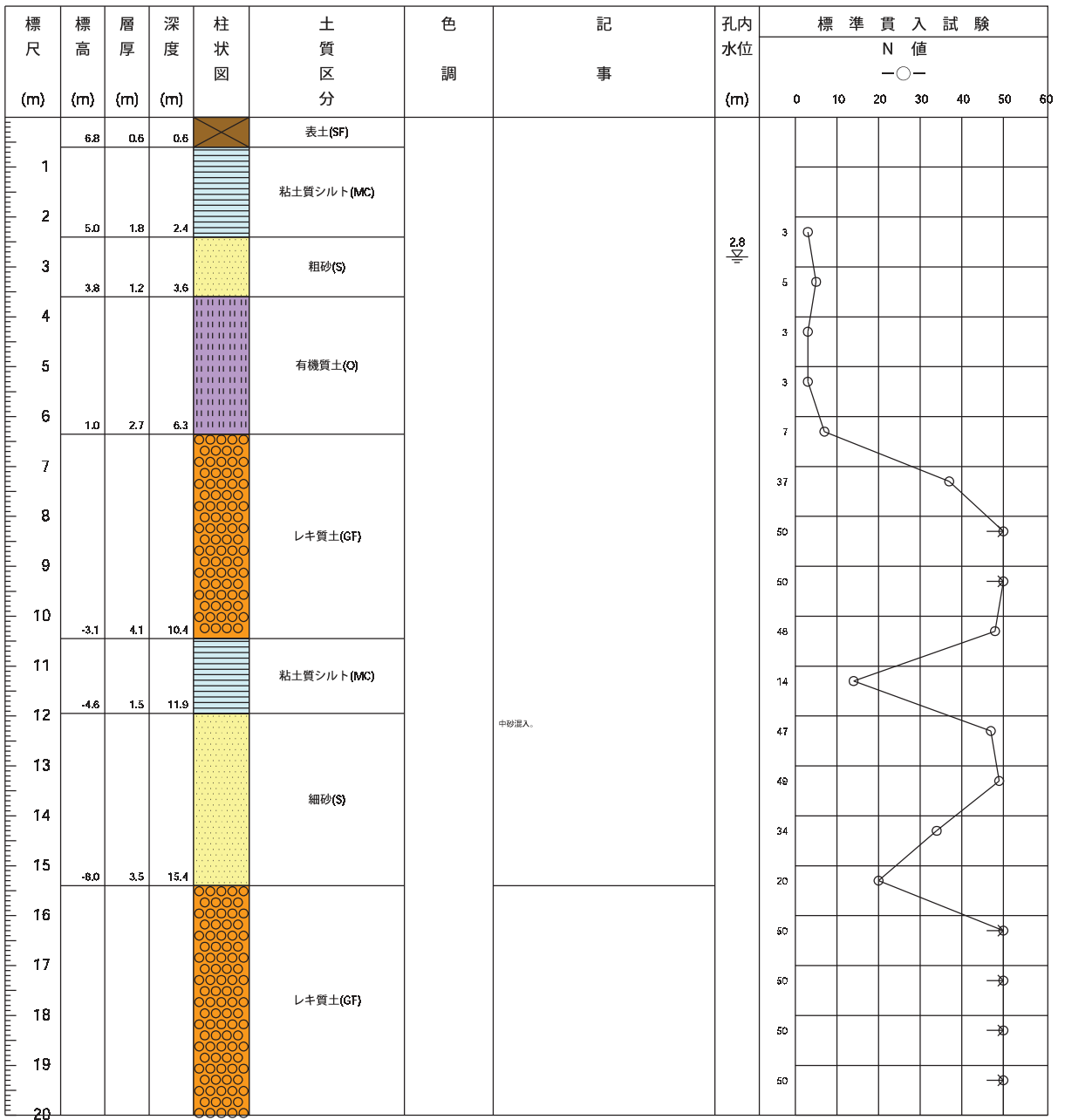
(参考63-1)

(参考63-2)

# ボーリング柱状図

参考63-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.36 m	総掘進長	20.23 m





ボーリング柱状図

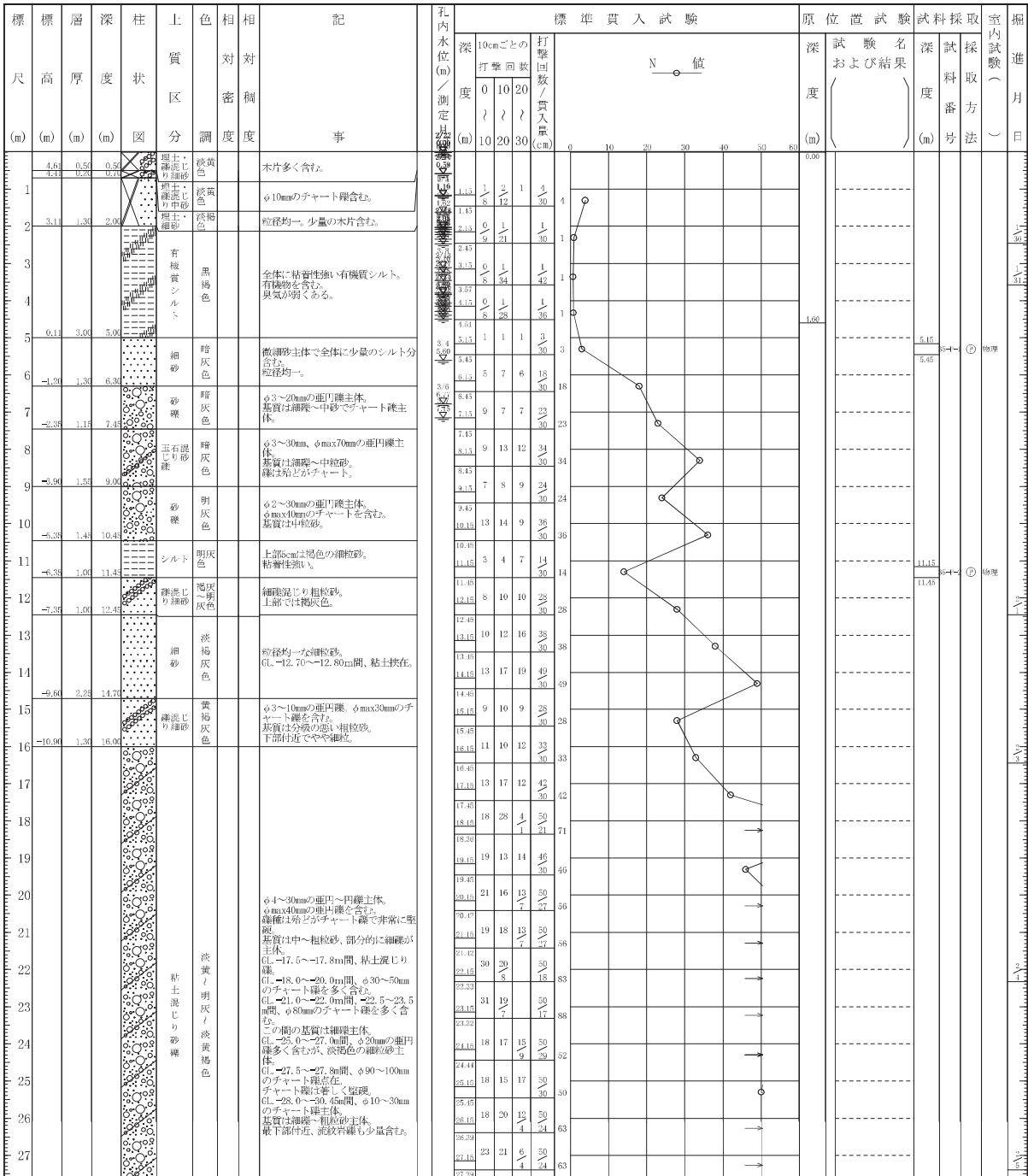
調査名

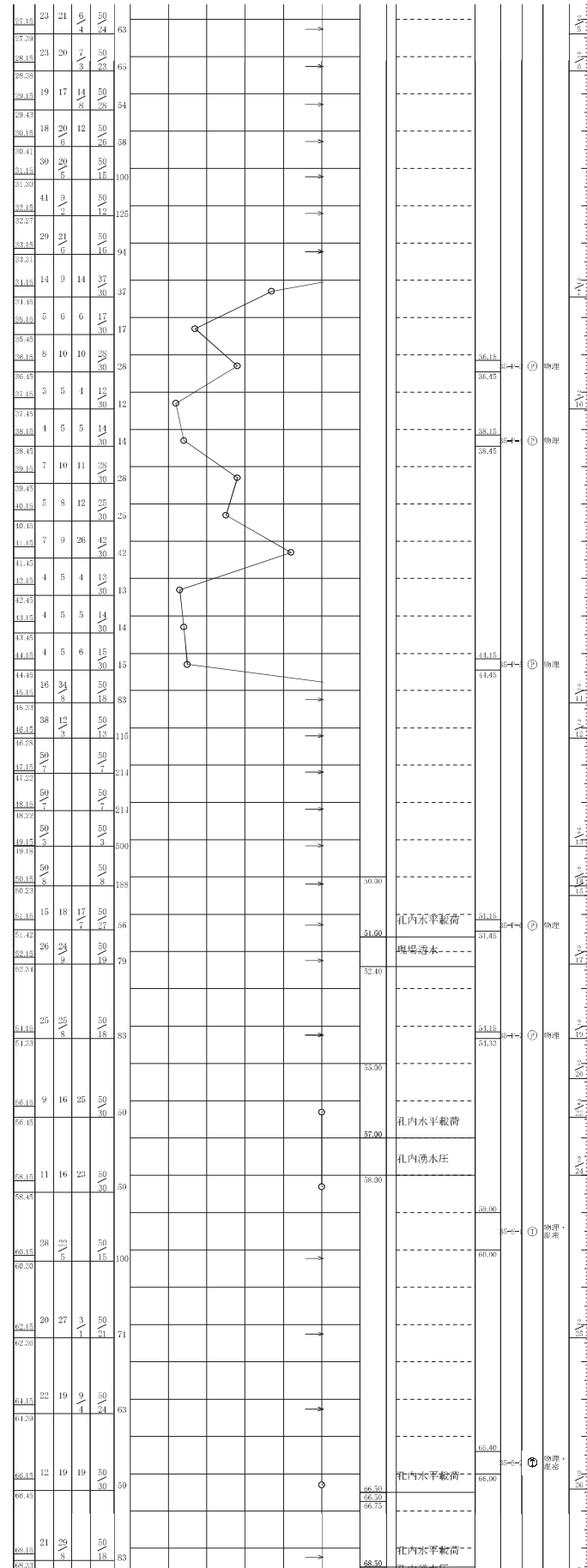
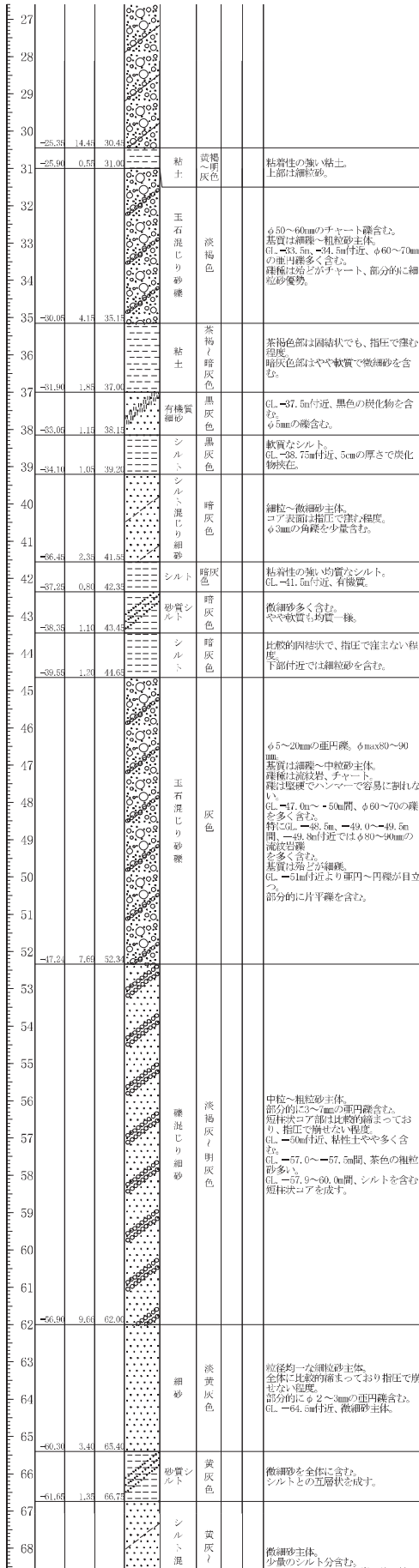
ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

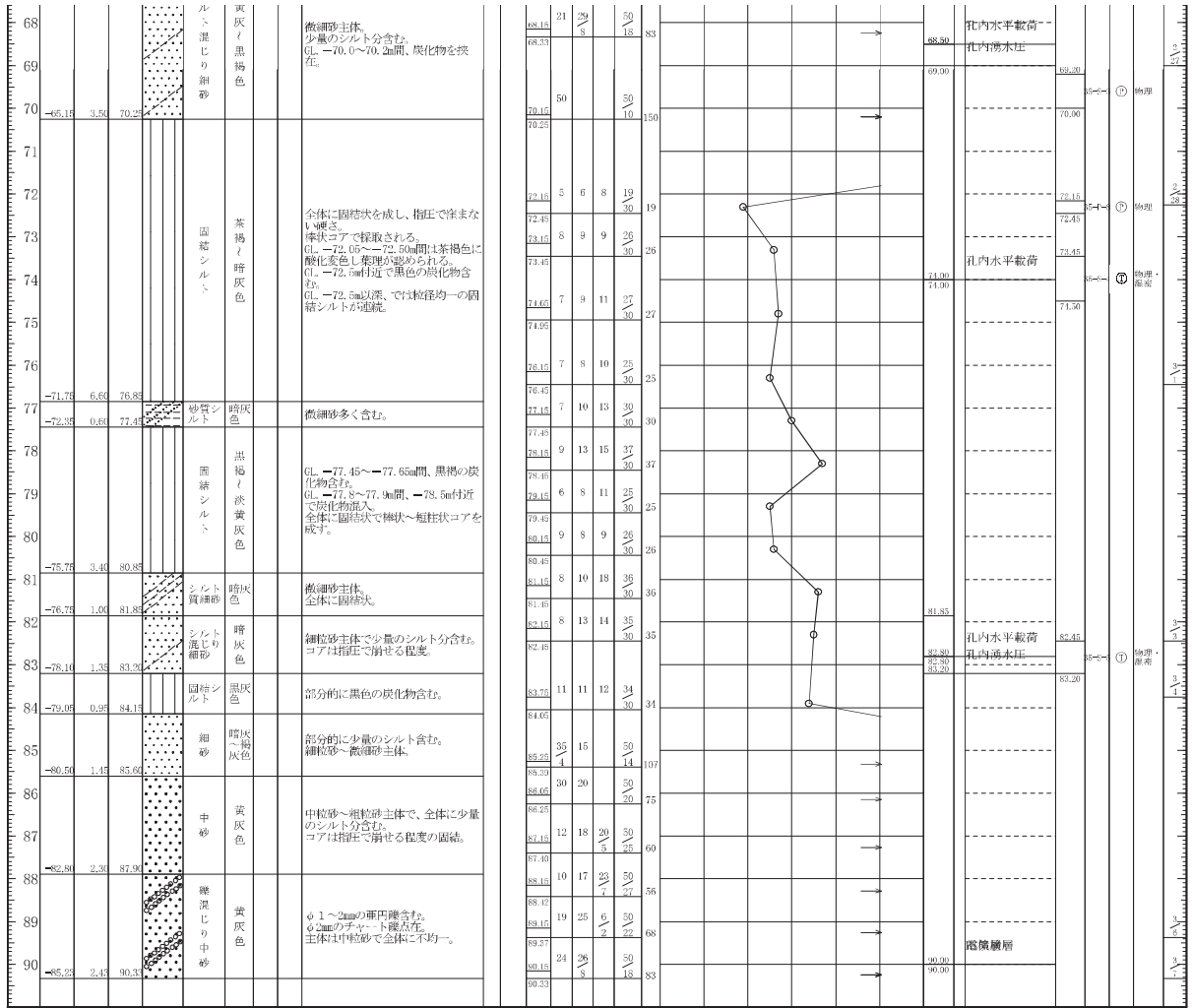
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師										現代場
孔口標高	T.P +5.105m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	ハンマー 落下用具	ポンプ	ボーリング責任者
総掘進長	90.33m	度	0°	向	0°			エンジン			







( JR-64 )

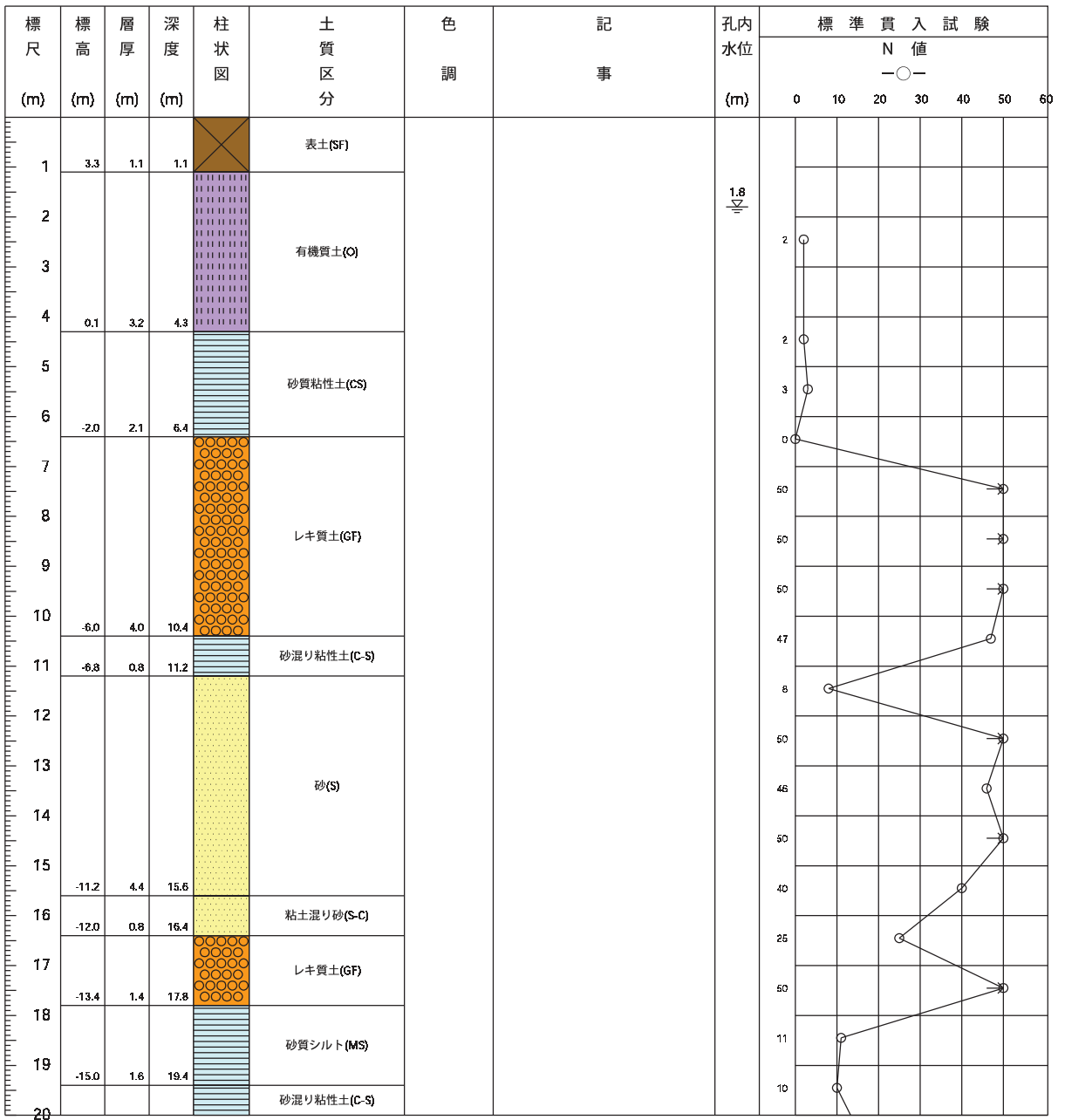


(参考64-1)

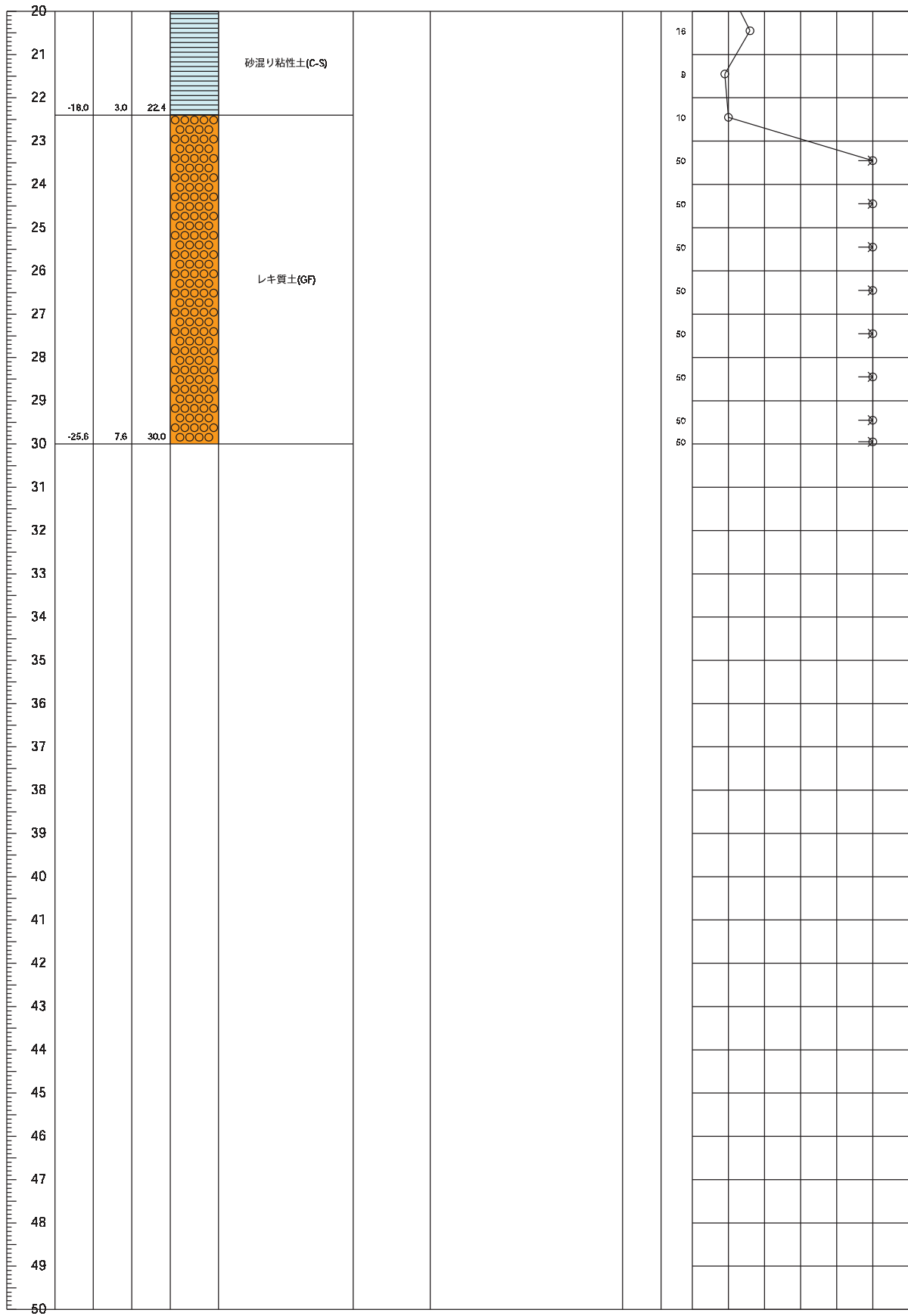
# ボーリング柱状図

参考64-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 4.39 m	総掘進長	30 m



(参考64-1)

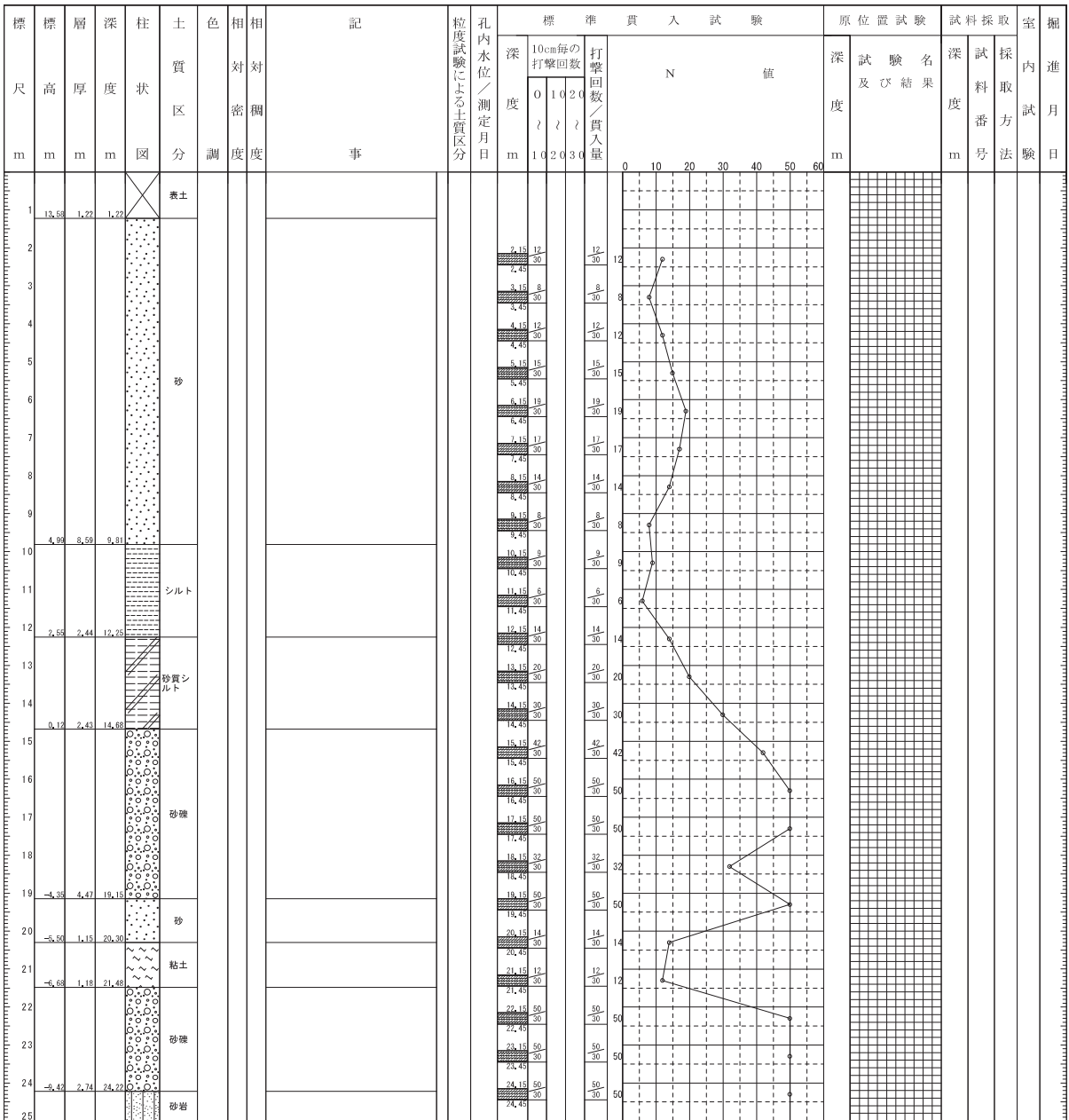


ボーリング柱状図

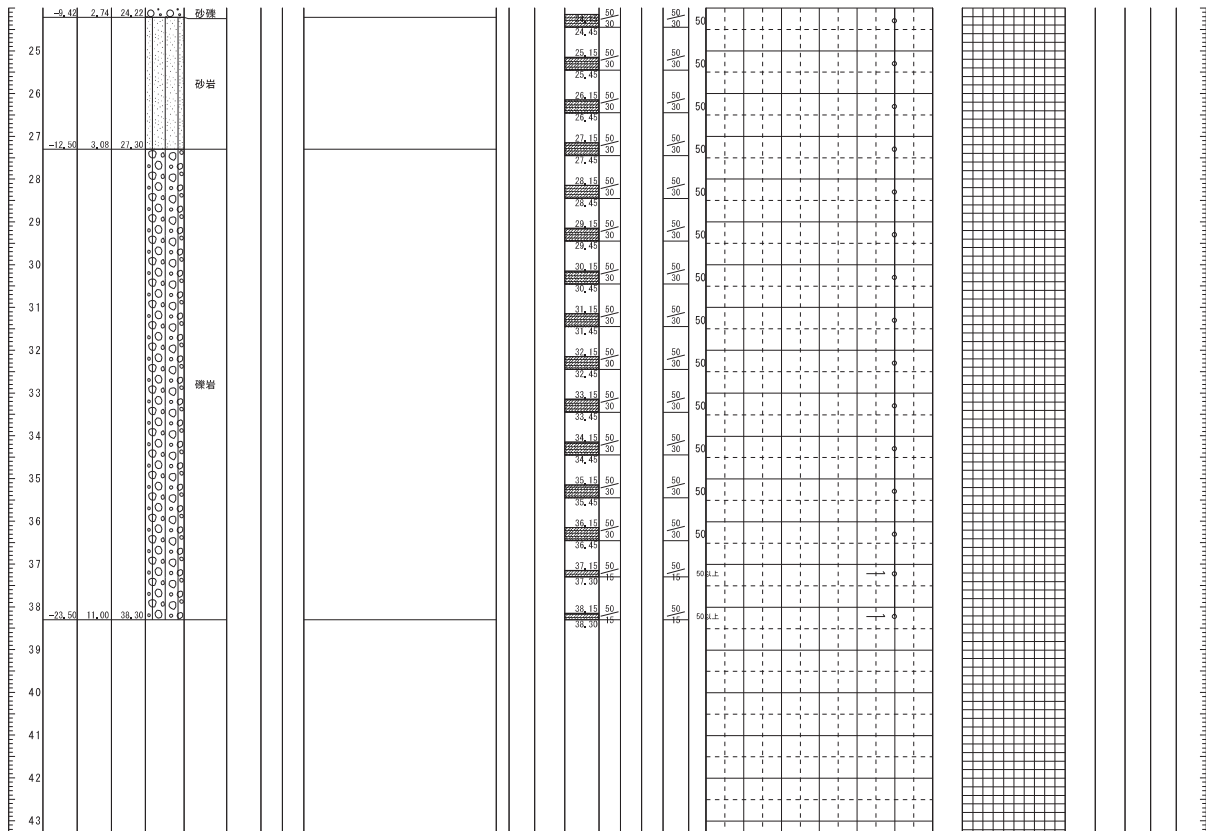
調査名 \_\_\_\_\_  
 事業・工事名 \_\_\_\_\_

ボーリングNo. \_\_\_\_\_  
 シートNo. \_\_\_\_\_

ボーリング名	調査位置		北緯	
発注機関	調査期間		東経	
調査業者名	主任技師	現代場 代理人	コ ア ア 定 者	ボーリン グ 責 任 者
孔口標高 TP 14.80m	角 180° 上下 90° 0°	方 北 0° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用 機 種 試錐機 エンジン
総掘進長 38.30m			ハンマ 落下用具	ポン プ



(参考64-2)



ボーリング柱状図

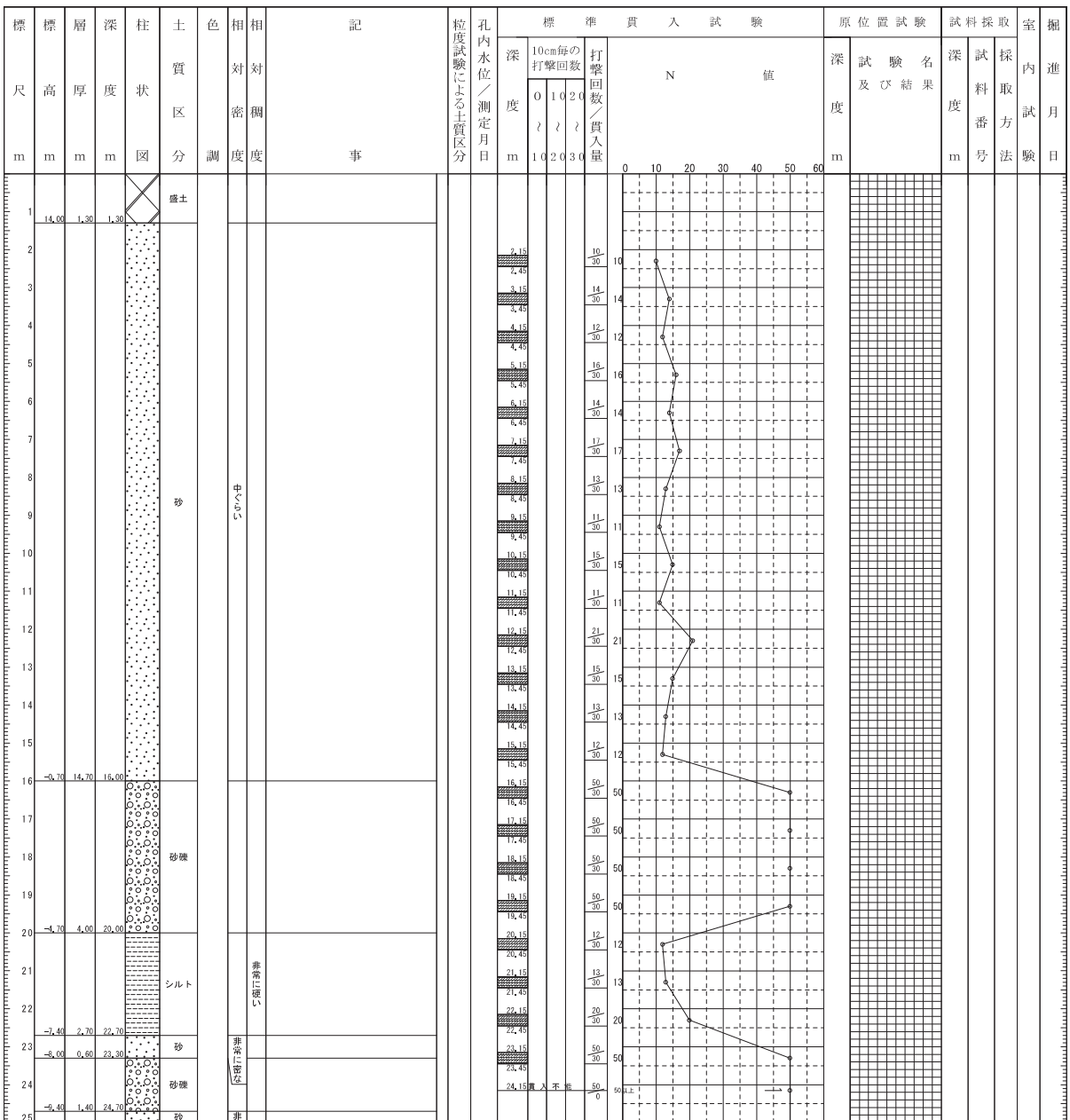
調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

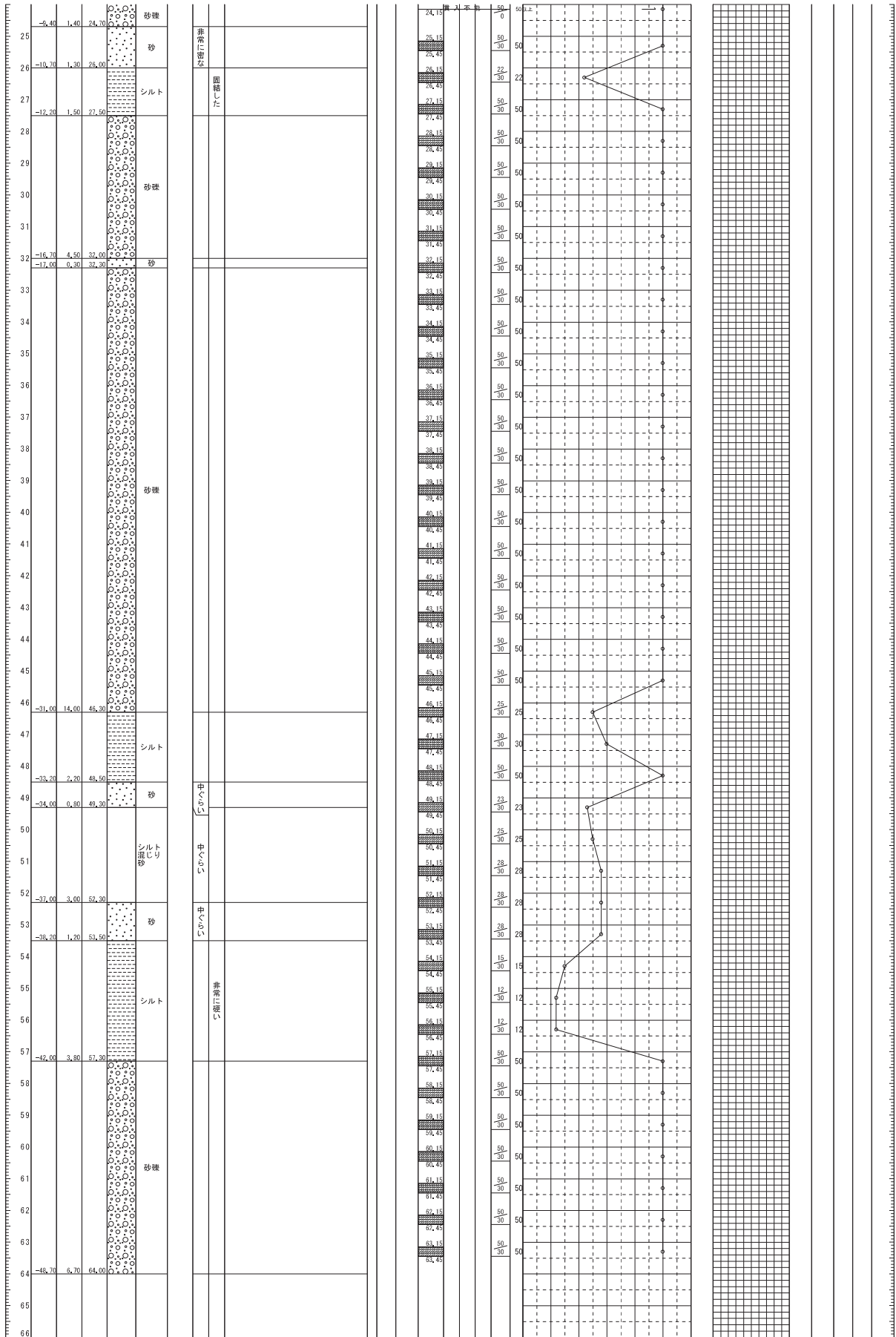
事業・工事名

シートNo.

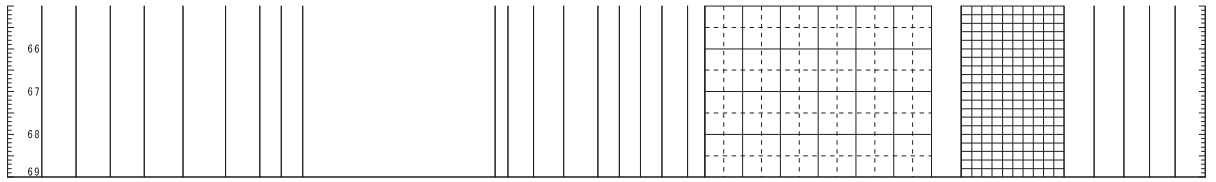
ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			年月日～年月日	
調査業者名	主任技師		現代場	コ	ア
孔口標高	15.30m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 西 90° 東 90° 南 180°
総掘進長	64.00m	度	鉛直 90°	地盤勾配	水平 0°
使用機種			試錐機		ハンマ
エンジン					ポンプ



(参考64-3)



(参考64-3)



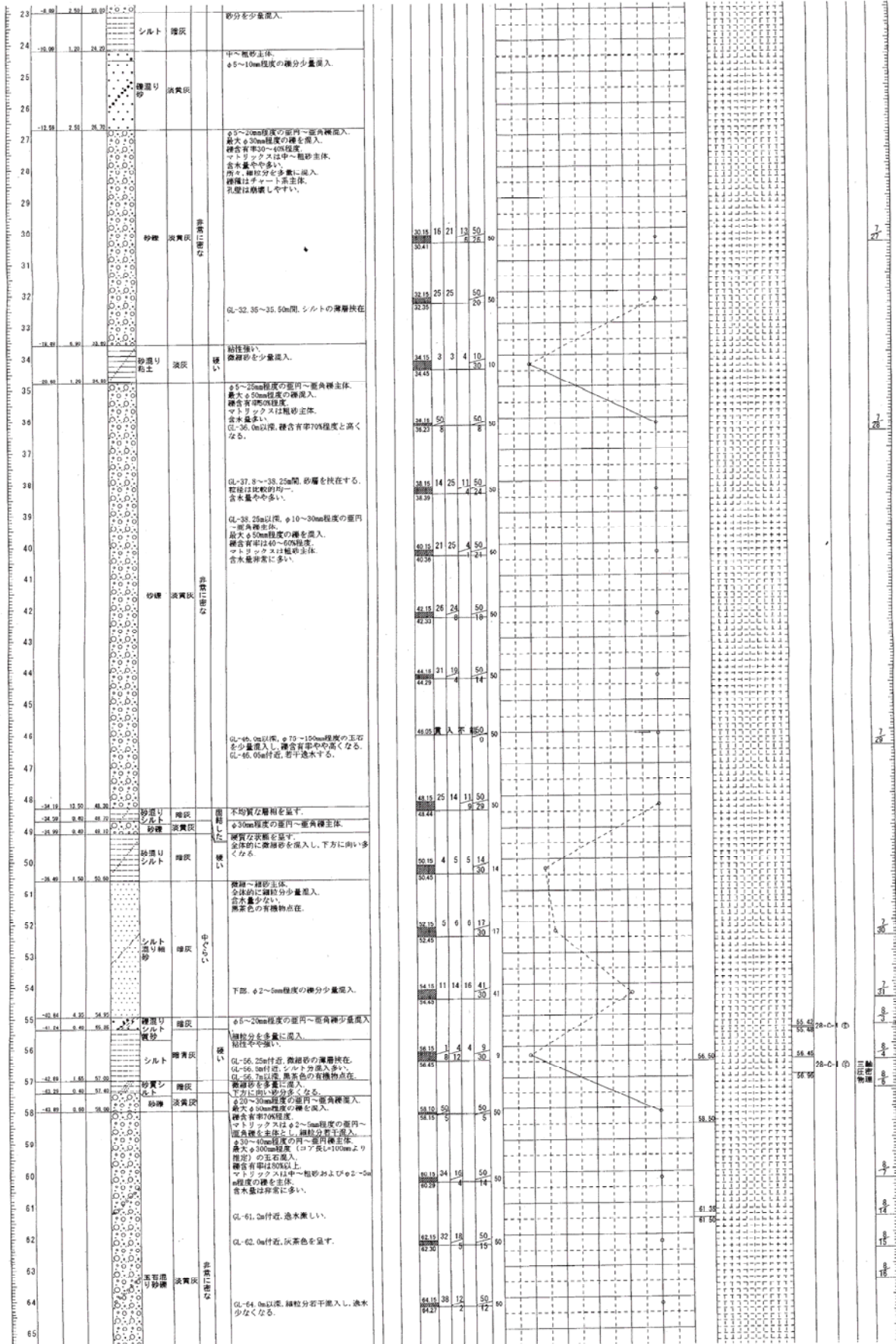
(参考64-3)

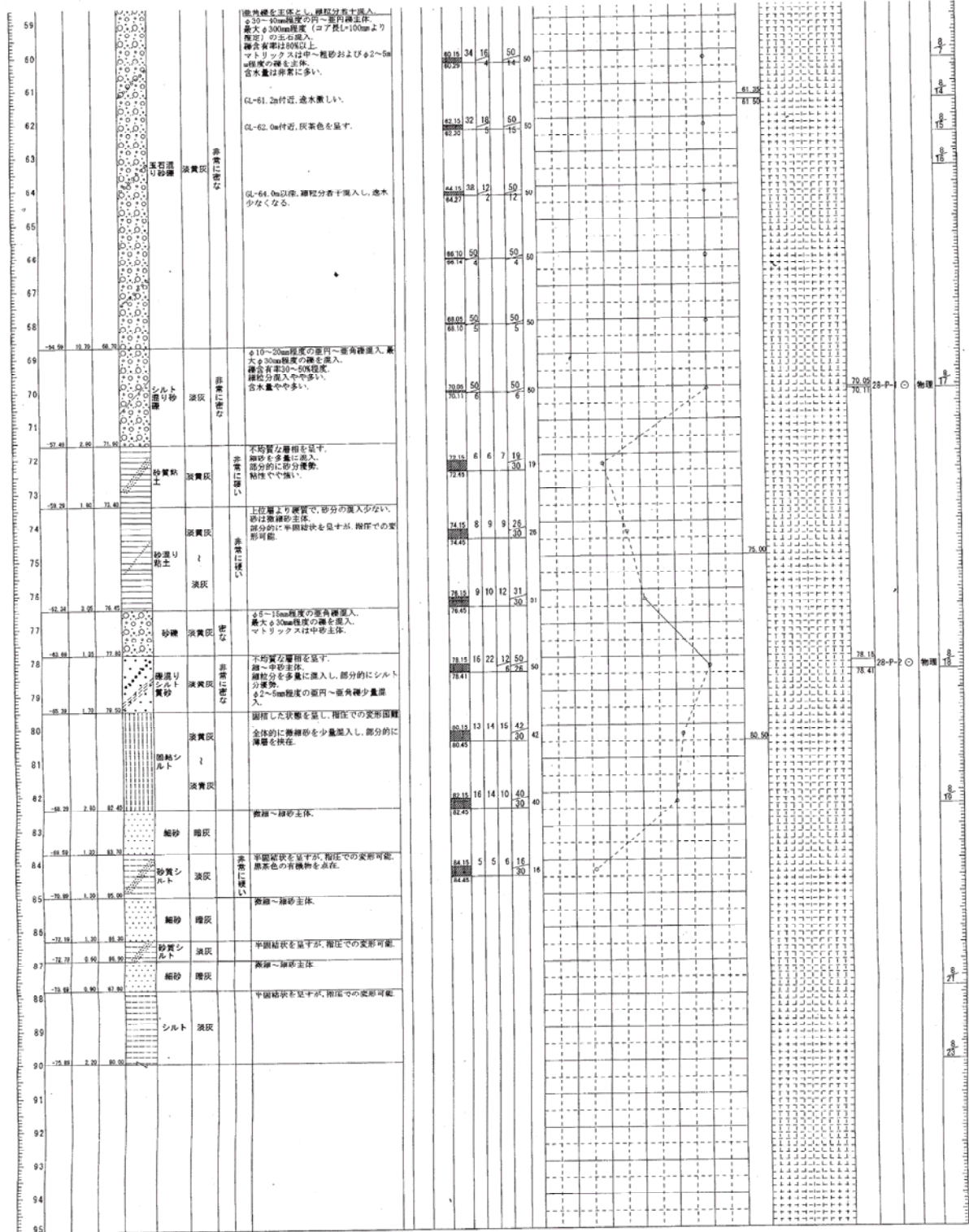


ボーリング柱状図

調査名		ボーリングNo.	
事業・工事名		シートNo.	
ボーリング名	調査位置	北緯	東経
発注機関	調査期間	東経	
調査業者名	主任技術者	専門技術者	コ定ア者
ボーリング責任者	試験機	ハンマ	ポンプ
孔口標高 TP 14.11m	角 180° 上下 90° 度	方 北 0° 西 225° 東 90° 南 180°	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長 90.00m	使用機種 エンジン	ハンマ ポンプ	

標尺	層厚	柱状図	土質	相対密度	相対稠度	記号	地盤材料の工学的分類	標準貫入試験		原位置試験	試験採取	室内試験
								深	打撃回数/貫入量			
1	1.50	1.50	粘土(硬)	1.00	0.80	硬粘土	上部、リング内寄りを多量に混入。 φ50mm程度の面角稜混入。	01	02			
2	1.50	3.00	砂	0.80	0.60	黄灰色	(G)2~30mm用、ノンコア掘削区間のため、掘削記事は掘削状況等により推察される内容を記載。 細~中砂主体。 細砂少量混入。					
3	1.50	4.50	シルト	0.60	0.40	黄灰色	細砂を少量混入。					
4	1.50	6.00	シルト	0.40	0.20	黄灰色	細~中砂主体。 細砂分を不規則に混入。 緩い状態を呈す。 所々、細砂混入。					
5	1.50	7.50	シルト	0.20	0.10	黄灰色	細砂を少量混入。					
6	1.50	9.00	砂	0.10	0.05	黄灰色	細~中砂主体。 細砂分を不規則に混入。 緩い状態を呈す。 所々、細砂混入。					
7	1.50	10.50	シルト	0.05	0.02	黄灰色	細砂を少量混入。					
8	1.50	12.00	砂	0.02	0.01	黄灰色	細~中砂主体。 細砂分を不規則に混入。 緩い状態を呈す。 所々、細砂混入。					
9	1.50	13.50	シルト	0.01	0.00	黄灰色	細砂を少量混入。					
10	1.50	15.00	砂	0.00	0.00	黄灰色	細~中砂主体。 φ20~40mm程度の細砂主体。 マトリックスは中~粗砂主体。					
11	1.50	16.50	砂	0.00	0.00	黄灰色	細砂の混入が少ない。					
12	1.50	18.00	砂	0.00	0.00	黄灰色	φ20~40mm程度の細砂主体。 マトリックスは中~粗砂主体。					
13	1.50	19.50	砂	0.00	0.00	黄灰色	細砂の混入が少ない。					
14	1.50	21.00	砂	0.00	0.00	黄灰色	細~中砂主体。 細砂を少量混入。					
15	1.50	22.50	砂	0.00	0.00	黄灰色	φ20~60mm程度の細砂混入。 マトリックスは中~粗砂主体。					
16	1.50	24.00	シルト	0.00	0.00	黄灰色	中~粗砂主体。 φ5~10mm程度の細砂少量混入。					
17	1.50	25.50	砂	0.00	0.00	黄灰色						

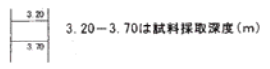




(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアパックによる試料

2. 試料採取深度と採取比



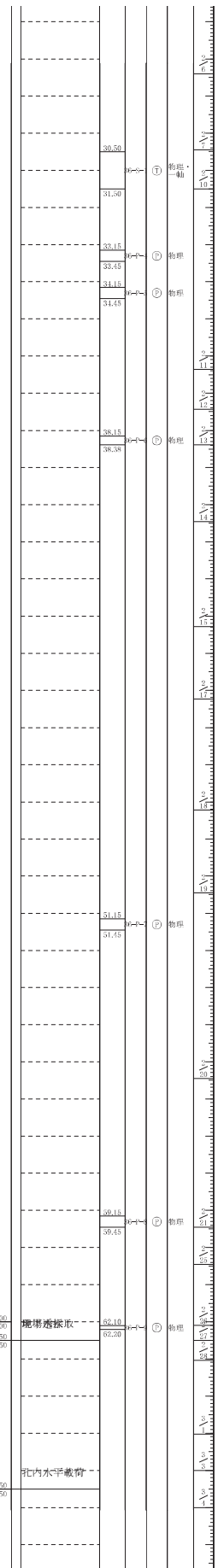
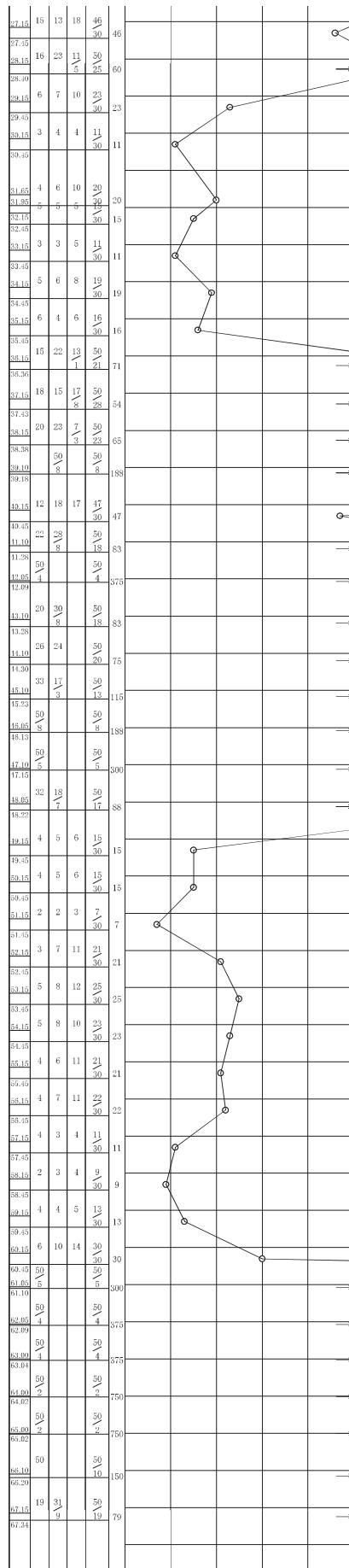
3. 原位置試験名の記号

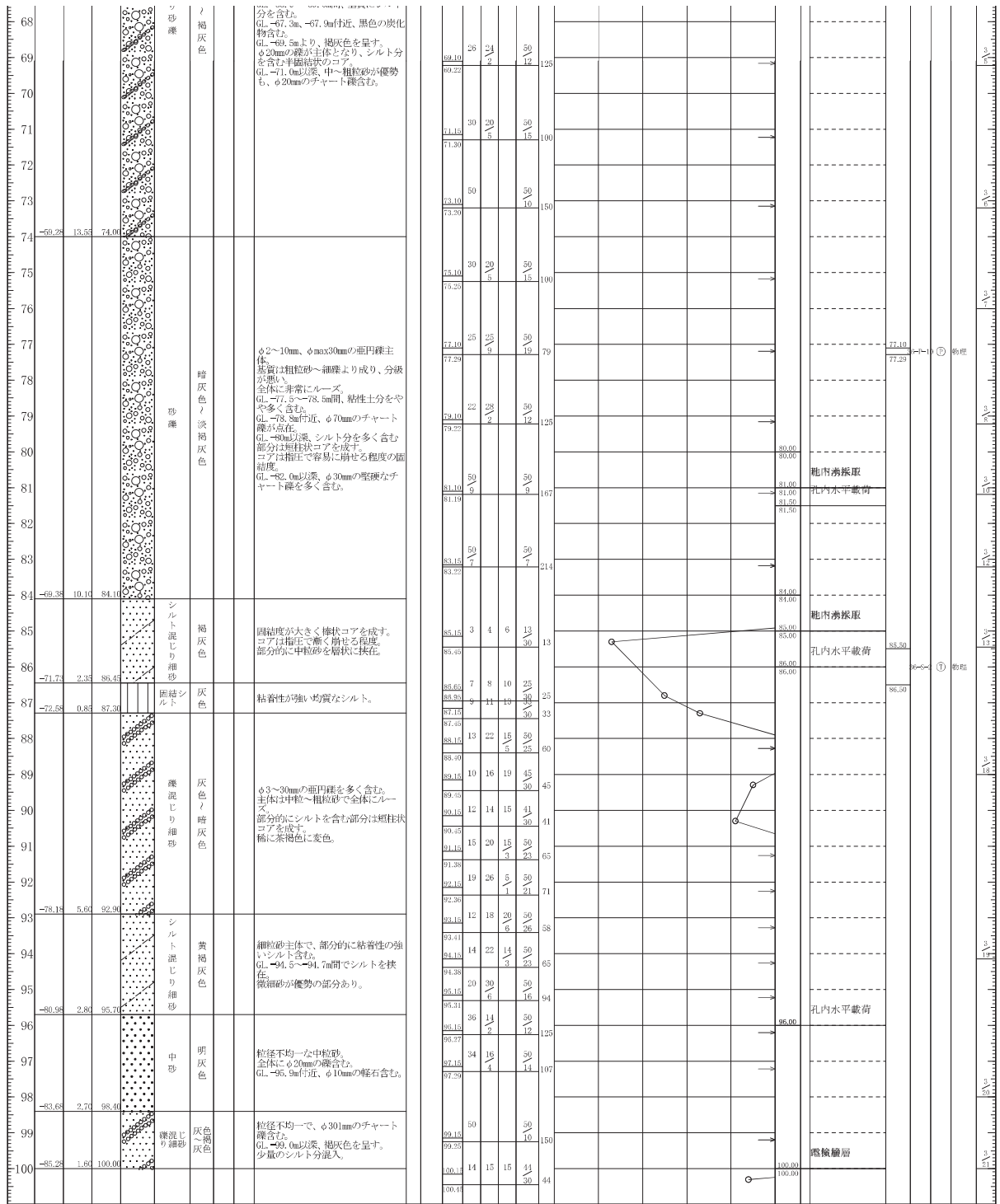
- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ 質量弾性係数検層
- Ⓖ キヤリハ-検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

( JR-65 )



27						Gl. -26.5~26.7m間、砂分優勢。 Gl. -27.7~28.0m間、砂分優勢。
28						
29	-14.15	5.67	28.9	細砂	茶灰色	上部60cmは茶色に酸化変色。 下部シルトを含む。
30	-14.98	0.80	29.7			
31				シルト	暗灰色	粘着性強く、やや固結状。 指圧では容易に歪まない程度。 均質一様。
32	-16.93	1.95	31.6	中砂	灰色	部分的に酸化変色。
33	-17.88	0.43	32.61	シルト	灰色	粘着性強い。
34	-18.73	0.83	33.4	砂混じりシルト	淡褐色	シルト分多く含む。 部分的に集理が見られる。
35	-20.58	1.83	35.3	中砂	淡褐色	粒径均一な細粒砂。 部分的に細粒を含む。 全体にルーズで指圧で崩せる。
36	-21.48	0.95	36.2	シルト	暗灰色	粘着性強く、固結状。 上部付近、炭化物を含む。
37	-22.28	0.80	37.0	シルト混じり砂	灰色	φ3~30mmの垂円礫主体。 粘着性の強いシルトを挟む。
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49	-24.23	11.93	48.9			
50				シルト	茶褐色 / 明灰色	粘着性強く、やや固結状。 コアは指圧で強く押しつぶれる。 Gl. -49.2m付近、茶褐色。 Gl. -51.8m付近、少量の炭化物混じる。
51	-27.18	2.93	51.9			
52						
53				シルト	暗灰色	全体に細粒砂~微細砂主体。 層状~ブロック状にシルトを含む。 コアは固結状を成す部分が多いが、 何れも指圧で崩れる程度。 Gl. -57.0m以下でやや細粒砂が優勢。
54						
55						
56						
57	-42.53	5.33	57.2			
58				シルト	暗灰色 / 明灰色	固結度が強く、コアは指圧で強く歪む程度。 粘着性中程度で部分的に細粒砂~微細砂をブロック状に含む。
59	-45.08	2.53	59.8			
60	-45.73	0.63	60.4	細砂	暗灰色	粒径均一な細粒砂。 固結状を成す。
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						





( JR-66 )

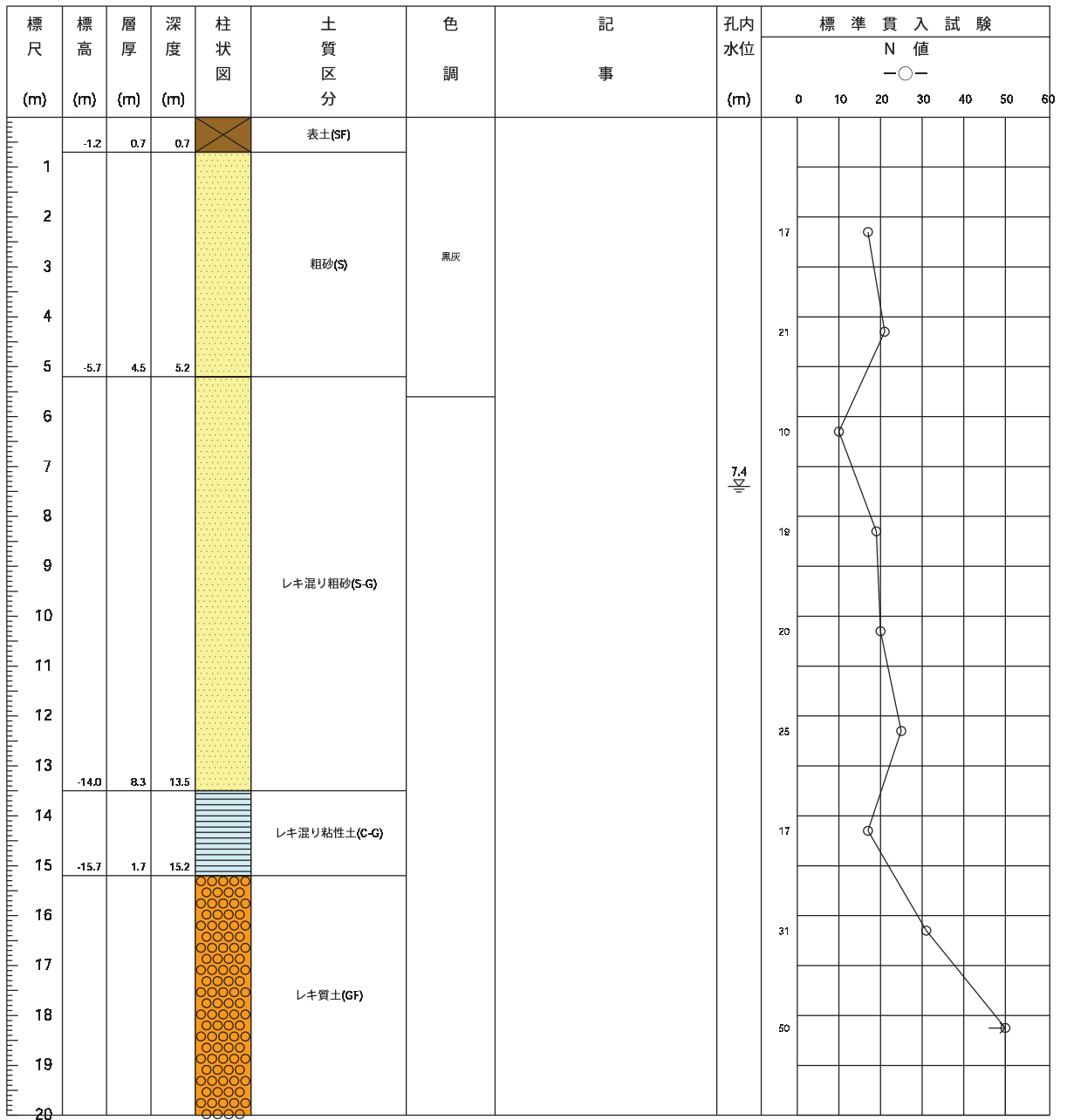


(参考66-1)

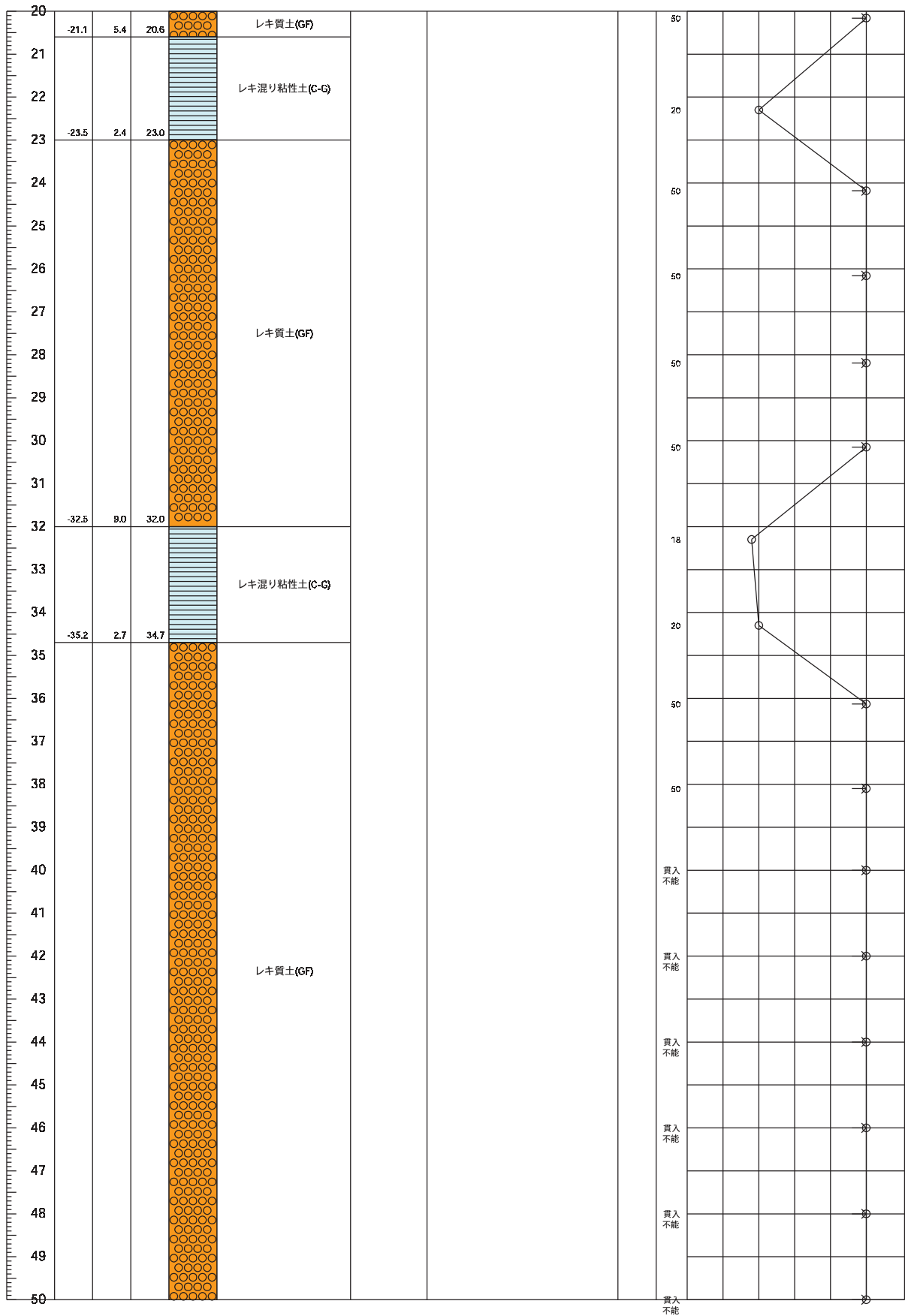
# ボーリング柱状図

参考66-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	14.70m*	総掘進長	50.4 m



(参考66-1)



( 参考66-1 )

50	-50.9	15.7	50.4	レキ質土(GF)															
51																			
52																			
53																			
54																			
55																			
56																			
57																			
58																			
59																			
60																			
61																			
62																			
63																			
64																			
65																			
66																			
67																			
68																			
69																			
70																			
71																			
72																			
73																			
74																			
75																			
76																			
77																			
78																			
79																			
80																			

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考66-1)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

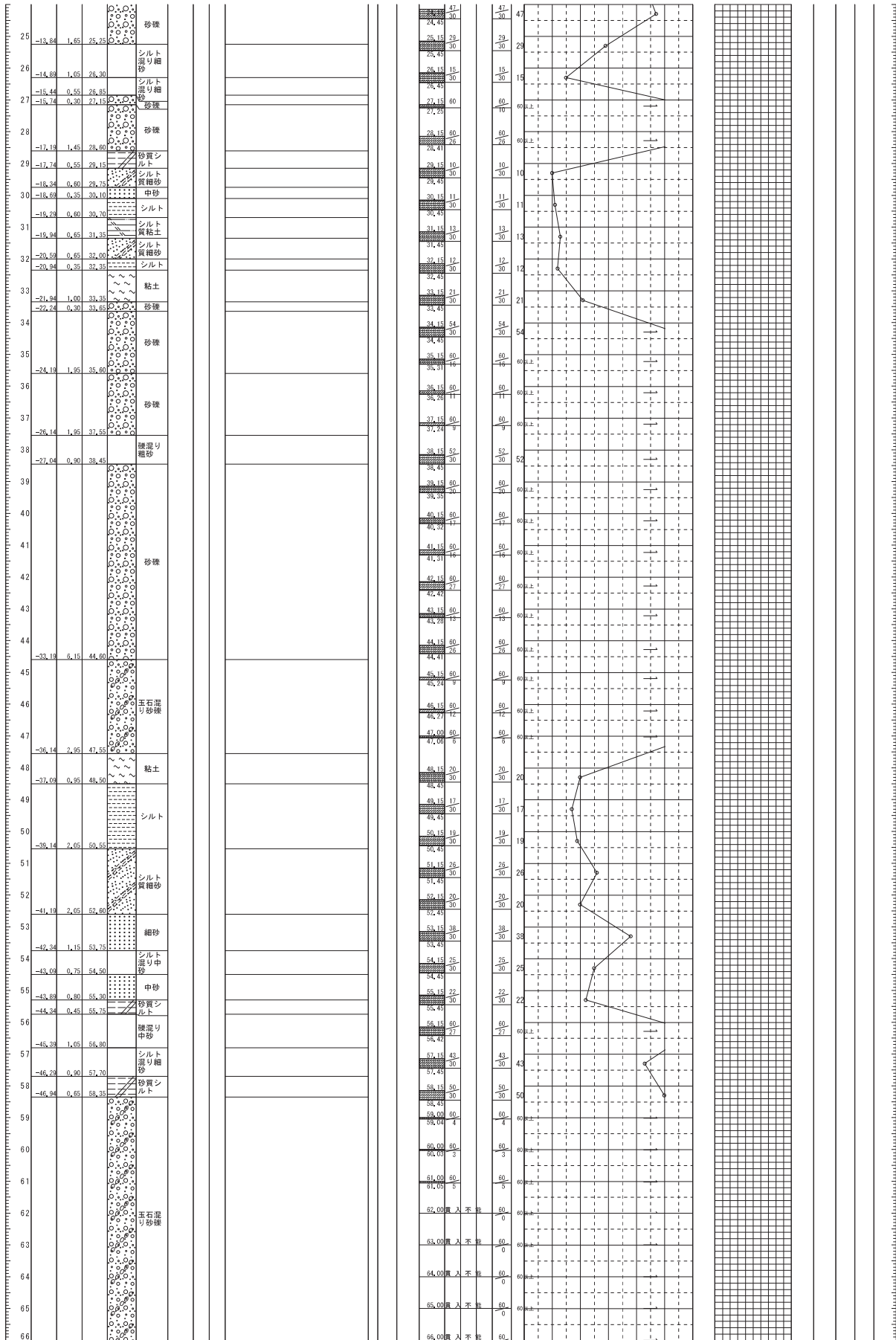
事業・工事名

シートNo.

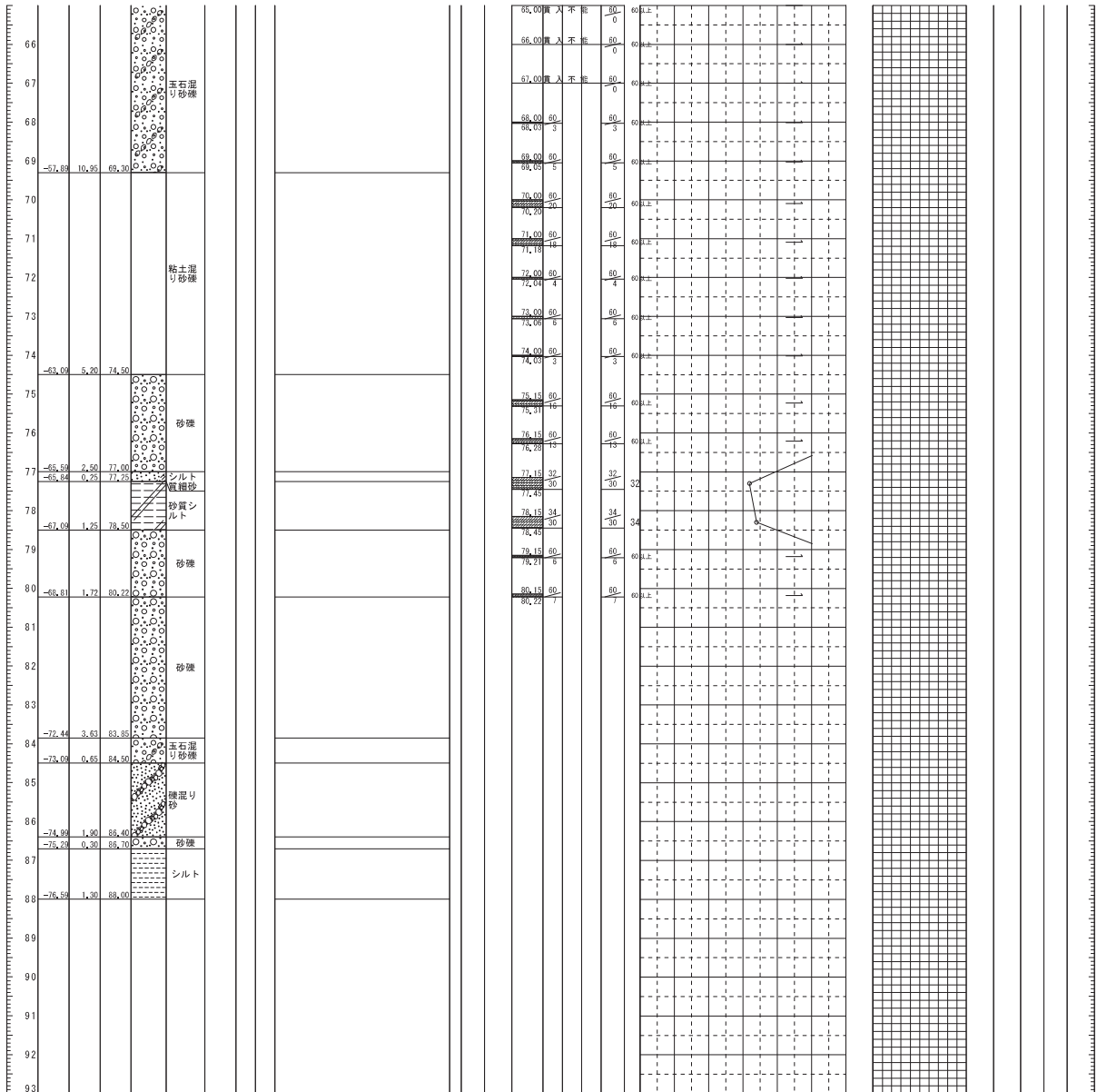
ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ 定 ア 者	ボーリ ン グ 責 任 者
孔口標高 TP 11.41m	角 180° 上下 0°	方 向 北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	地盤 勾配 鉛直 90°	使用 機 種 試錐機 エンジン	ハンマ 落下 用具 ポンプ
総掘進長 88.00m					

標尺	標高	層厚	深	柱状	土質	色	相對	相對	記	記	標準貫入試験			N	原位置試験	試験名 及び結果	深 度	試料採取 番号	採取 方法	掘進 月日
											孔内水位 測定月日	10cm 毎の 打撃回数	貫入 量							
1	10.28	1.15	1.15		埋土(砂礫)						1.15	2	2							
2					埋土(砂質シルト)						1.49	3	3							
3	8.41	1.85	3.00		埋土(凝灰質シルト)						2.15	3	3							
4	7.51	0.90	3.90		中砂						2.51	2	2							
5	6.61	0.70	4.60		中砂						3.15	2	2							
6					中砂						3.51	2	2							
7					中砂						4.15	2	2							
8					中砂						4.51	2	2							
9					中砂						5.15	7	7							
10	1.61	5.20	9.80		中砂						5.49	8	8							
11	0.81	0.80	10.60		礫						6.15	8	8							
12	0.31	0.50	11.10		砂質シルト						6.49	8	8							
13	-0.24	0.55	11.60		砂礫						7.15	14	14							
14	-0.39	2.15	13.81		礫混り粗砂						7.49	30	30							
15	-0.69	0.70	14.50		砂礫						8.15	11	11							
16					砂礫						8.49	30	30							
17					砂礫						9.15	7	7							
18	-5.59	3.50	18.00		粘土質細砂						9.49	30	30							
19	-6.94	0.35	18.35		粘土						10.15	19	19							
20	-7.89	0.95	19.30		礫混り中砂						10.49	30	30							
21	-8.44	0.55	19.85		粘土						10.85	7	7							
22	-9.94	1.50	21.35		粘土						11.49	7	7							
23	-10.19	0.25	21.60		粘土質細砂						12.15	28	28							
24	-10.79	0.60	22.20		シルト						12.49	30	30							
25	-11.34	0.55	22.75		砂						13.15	50	50							
26	-11.84	0.50	23.25		砂礫						13.49	30	30							
27	-12.19	0.35	23.60		中砂						14.15	30	30							
28					砂礫						14.49	30	30							
29					砂礫						15.15	46	46							
30					砂礫						15.49	30	30							
31					砂礫						16.15	37	37							
32					砂礫						16.49	30	30							
33					砂礫						17.15	42	42							
34					砂礫						17.49	30	30							
35					砂礫						18.15	9	9							
36					砂礫						18.49	30	30							
37					砂礫						19.15	24	24							
38					砂礫						19.49	30	30							
39					砂礫						20.15	7	7							
40					砂礫						20.49	30	30							
41					砂礫						21.15	7	7							
42					砂礫						21.49	30	30							
43					砂礫						22.15	28	28							
44					砂礫						22.49	30	30							
45					砂礫						23.15	43	43							
46					砂礫						23.49	30	30							
47					砂礫						24.15	47	47							
48					砂礫						24.49	30	30							

(参考66-2)



(参考66-2)



(参考66-2)

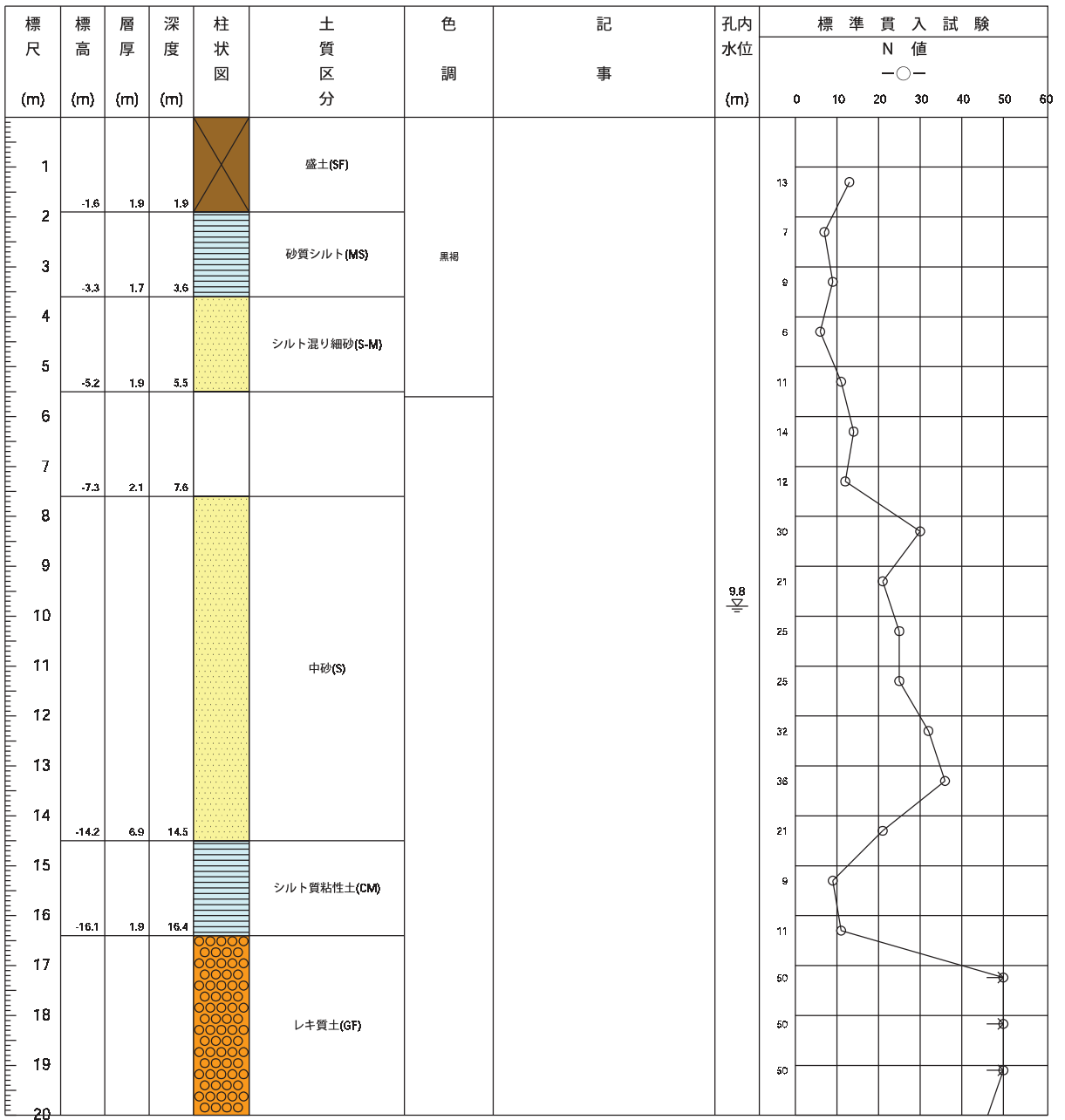


(参考66-3)

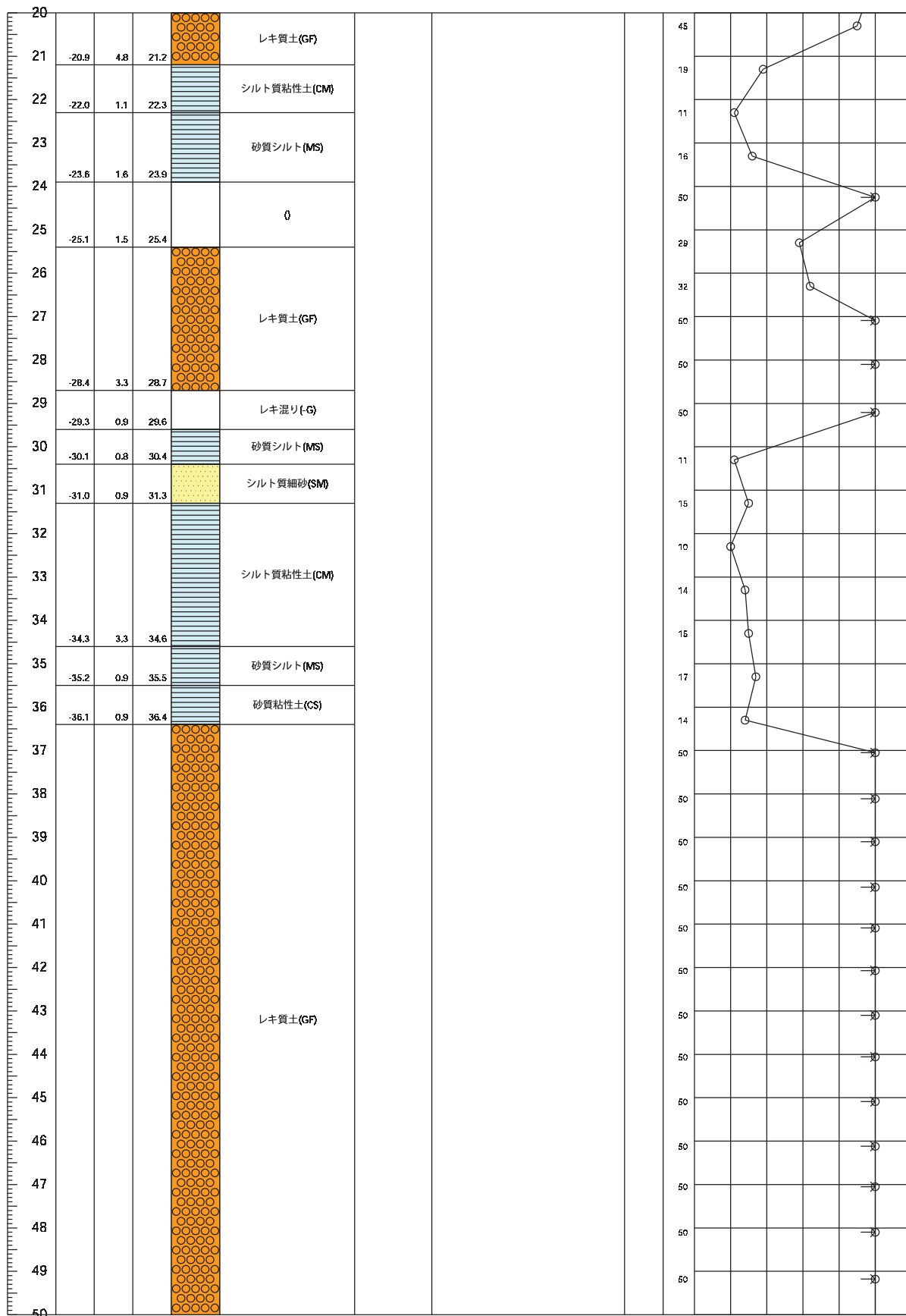
# ボーリング柱状図

参考66-3

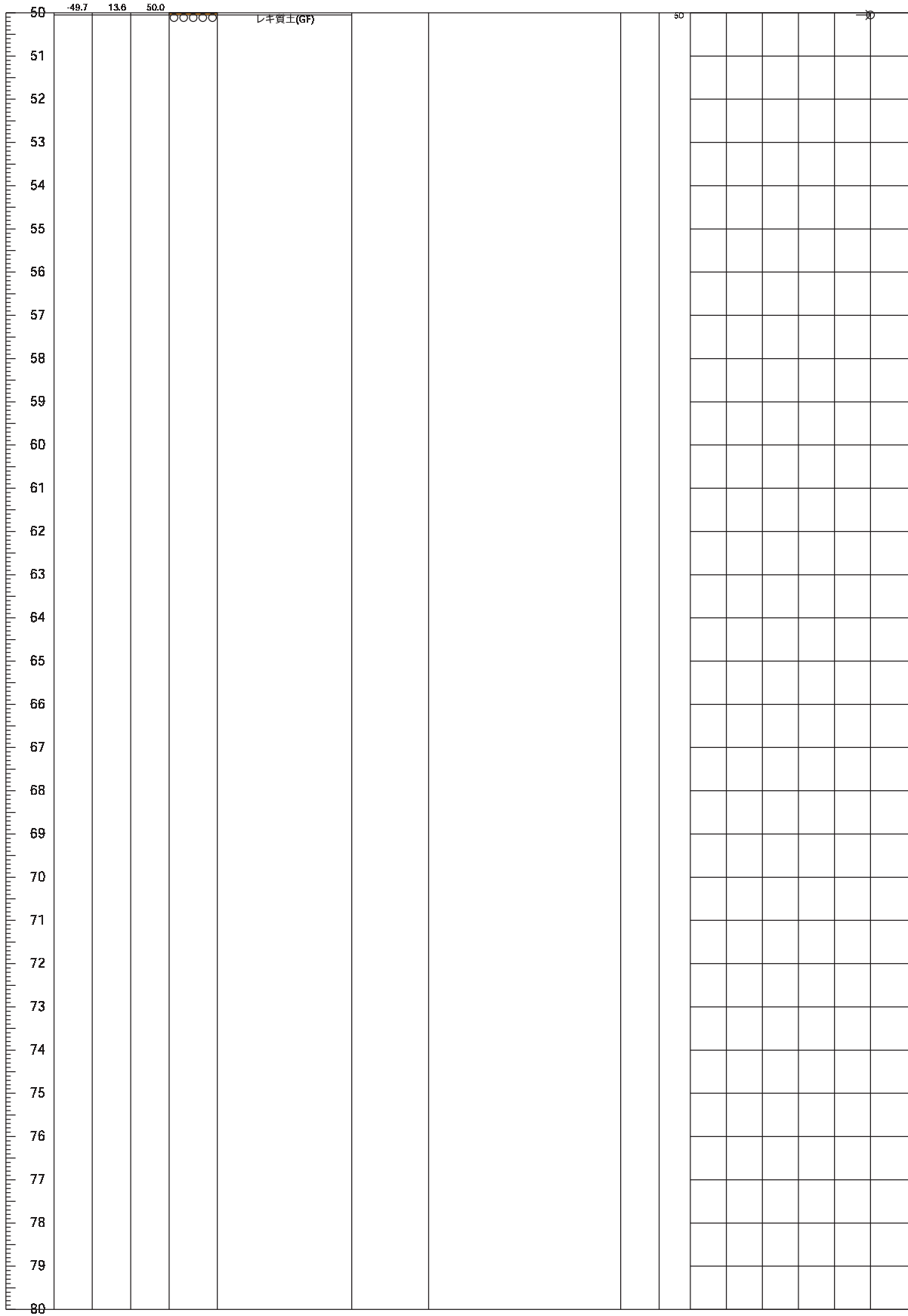
ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	12.80m*	総掘進長	50.05 m



(参考66-3)



(参考66-3)



※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考66-3)

ボーリング柱状図

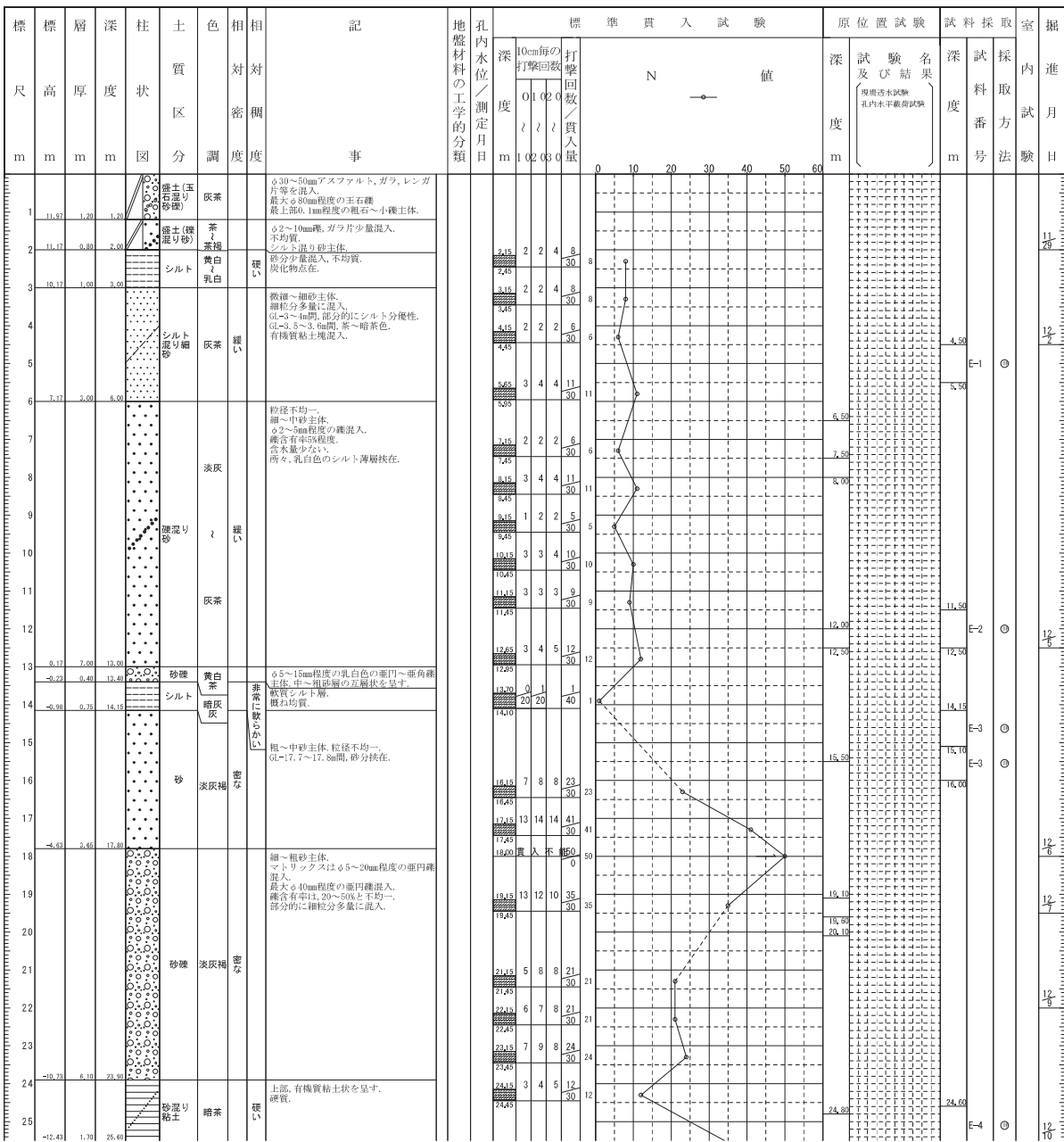
調査名

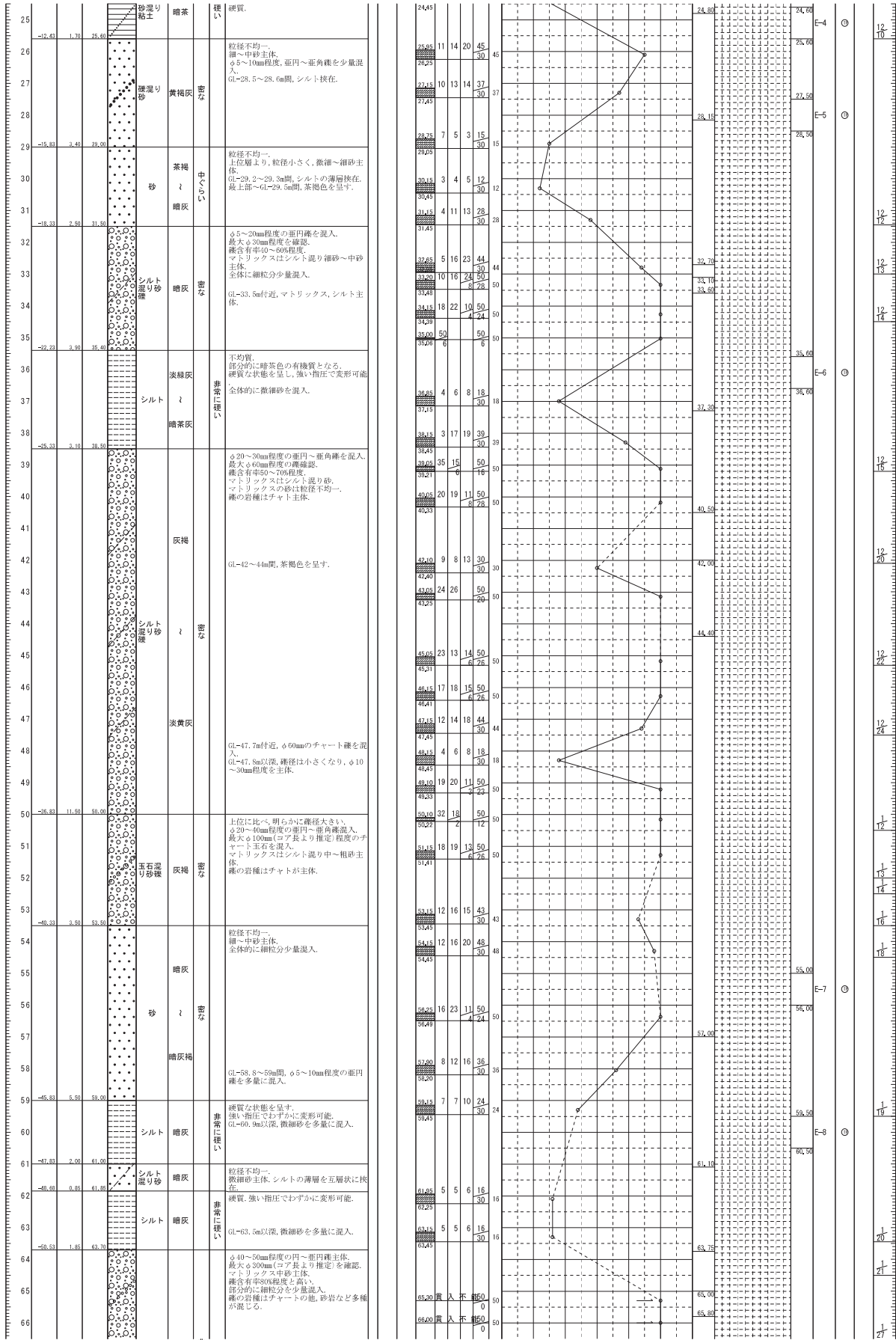
ボーリングNo. [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

事業・工事名

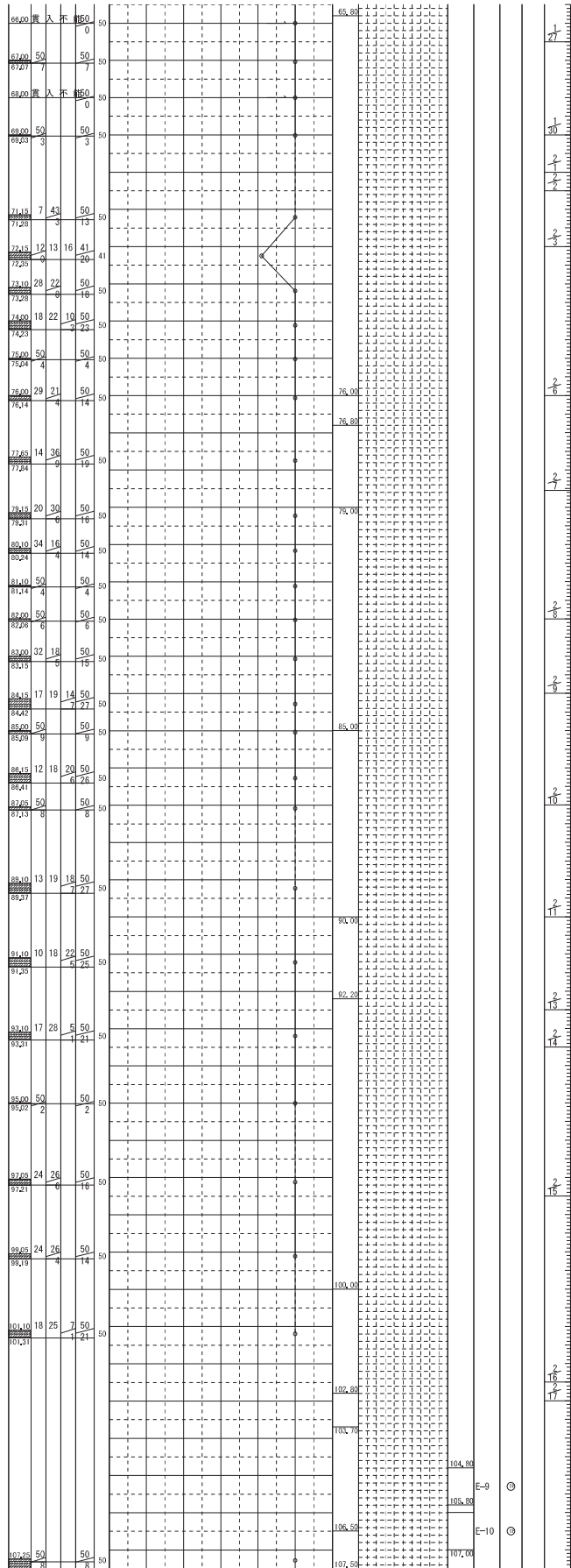
シートNo.

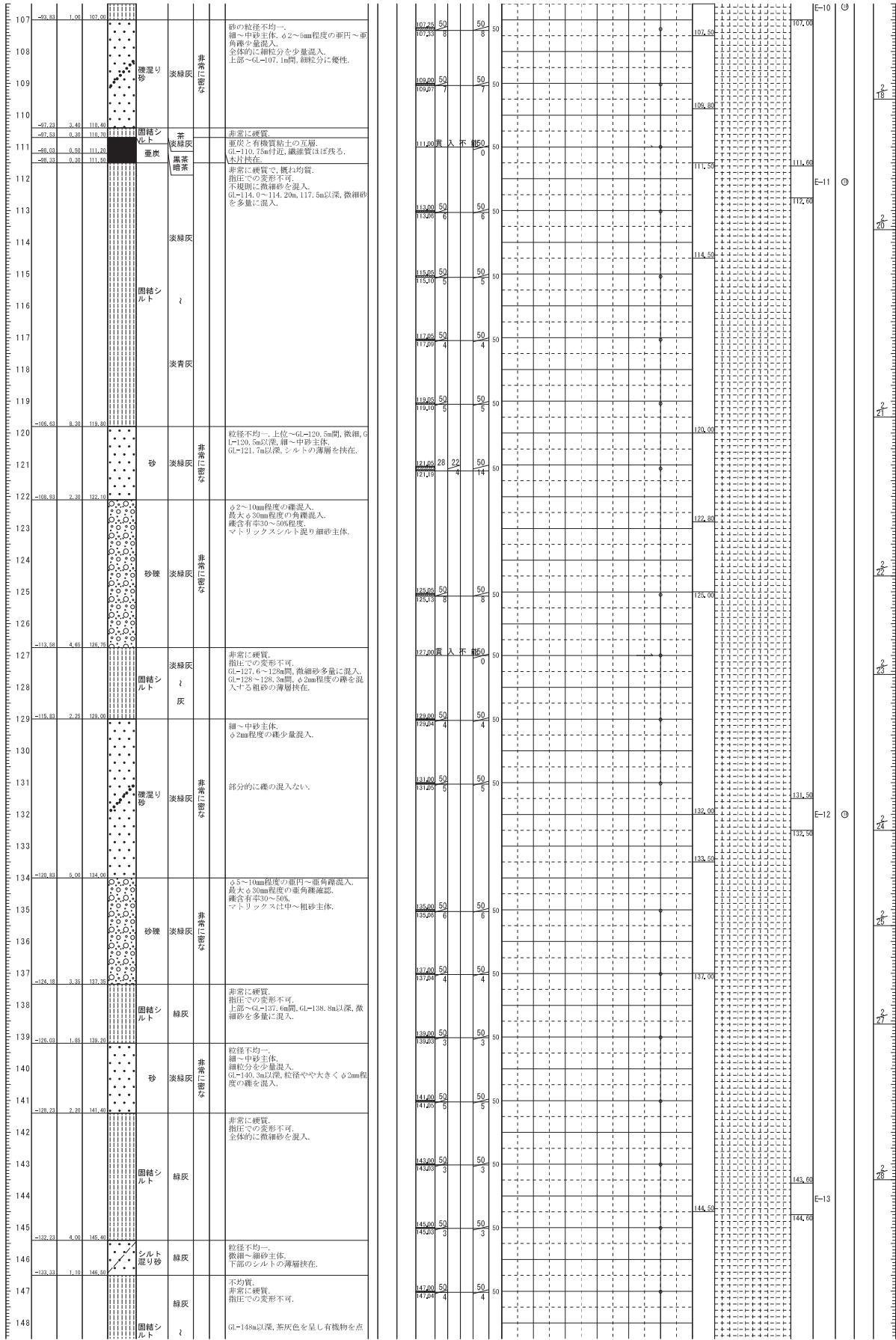
ボーリング名 調査位置 北緯 発注機関 調査期間 東経 調査業者名 主任技師 現場 管理者 コ隆定者 ボーリング 責任者 孔口標高 TP 13.17m 角 180° 上 0° 方 北 0° 90° 東 西 270° 180° 南 地盤 勾配 水平 0° 鉛直 90° 使用 機種 エンジン 試錐機 漢マ ー 落 下 用 具 ポンプ



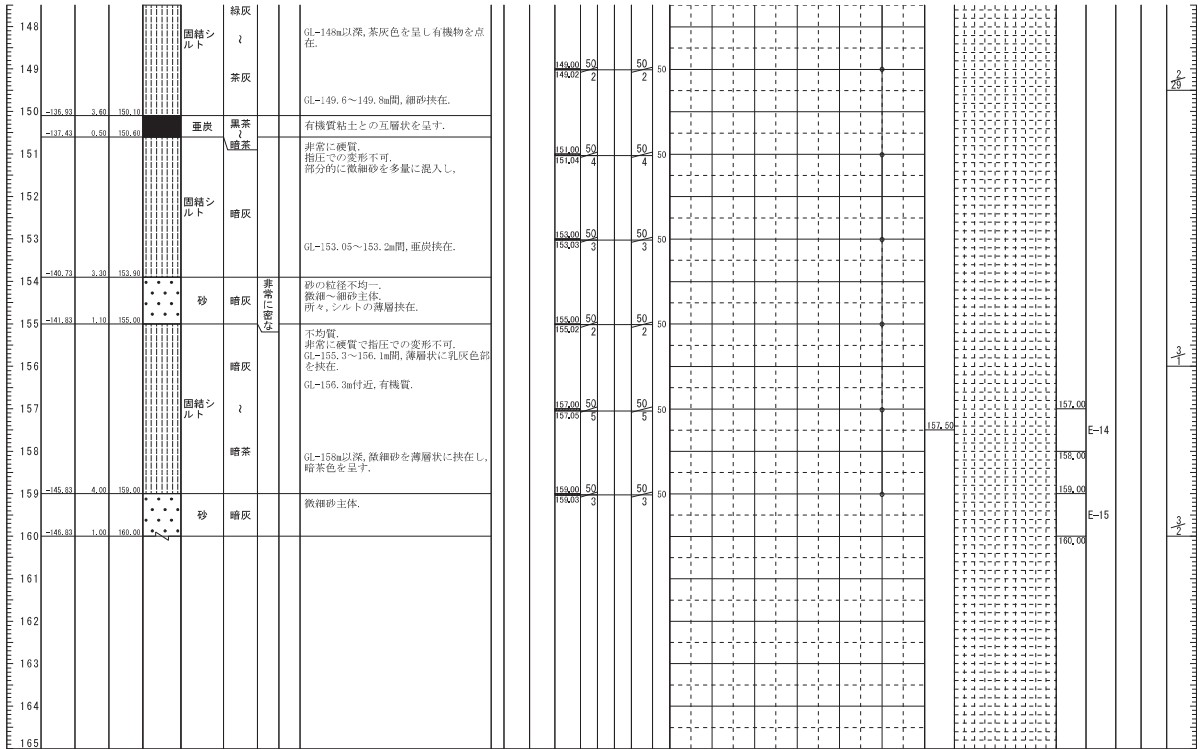


66			玉石混り砂礫	暗青灰	非常に密な	が混じる。
67						
68						
69						
70						
71	-67.33	6.88	20.50			65-70.0~70.50の間、透水激しくセメントテングを行う。
72				灰褐		上位層に比べて、粒径明らか小さい。層相が異なる。 φ10~20mm部間~垂角礫混入。 最大φ70mm程度の礫確認。 マトリックスはシルト混り砂。 砂の粒径は不均一。 全体的に細粒分多量に混入。 部分的にφ5mm程度の風化岩を混入。 ハンマーで容易に破壊可能。
73						
74						
75						
76				シルト混り砂礫	非常に密な	
77						
78						
79				淡緑灰		
80						
81	-68.33	11.00	81.50			
82				砂礫	非常に密な	上位層に比べて、細粒分の混入少ない。 φ20~30mm程度の部間~垂角礫混入。 最大φ40mm程度の礫確認。 礫含有率40~50%程度。マトリックスは粗砂主体。
83	-70.26	1.93	83.40			
84	-71.33	1.05	84.50	固結シルト	淡灰	強い指圧で変形可能。 概ね均質。
85	-72.33	1.00	85.50	シルト混り砂	灰褐	非常に密な 粒径不均一。 細~中砂主体。 65~85.0~85.40の間、細粒分優性。
86				砂礫	灰褐	非常に密な φ5~20mm部間~垂角礫混入。 最大φ50mm程度の礫確認。 礫含有率40~50%程度。 マトリックス粗砂主体。最下部、細粒分を混入。
87						
88						
89						
90	-75.83	6.50	90.00	固結シルト	灰	不均質、砂分少量混入。
91	-77.23	0.40	90.40	砂礫	灰褐	φ5~20mm程度、垂角礫混入。 最大φ40mm程度の礫確認。部分的に細粒分を混入。 非常に不均質な状態を呈す。 礫層砂層との互層状を呈す。
92	-78.53	0.80	91.30	固結シルト		
93	-80.43	1.80	92.60	シルト混り砂礫	灰	非常に密な φ2~10mm程度の部間~垂角礫混入。 最大φ20mm程度の礫確認。 マトリックスはシルト混り中砂主体。
94	-81.28	0.85	94.40	固結シルト	淡灰	不均質。 部分的に微細砂の薄層挟在。
95				シルト混り砂礫	灰褐	非常に密な φ5~30mm程度の礫混入。 最大φ50mm程度の垂角礫確認。 礫含有率40~70%と不均一。 マトリックスはシルト混り砂。
96						
97						
98						
99	-85.23	4.90	99.40			
100						
101				灰褐		
102						
103						
104	-90.53	4.40	103.80	固結シルト	灰	硬質。 指圧で変形可能。 下部、微細砂優性。
105	-92.83	1.20	105.00	シルト混り砂	緑灰	砂の粒径不均一。 微細~細砂主体。
106	-93.83	1.00	107.00	固結シルト		
107						砂の粒径不均一。









(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- ⓔ 電気検層
- Ⓟ P波速度検層
- Ⓠ S波速度検層
- Ⓡ サス・ソリッドPS検層
- Ⓢ キャリパー検層
- Ⓣ 密度検層
- Ⓤ 温度検層
- Ⓥ ルジオン試験
- Ⓦ 現場透水試験
- Ⓧ 孔内水平載荷試験

( JR-67 )

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

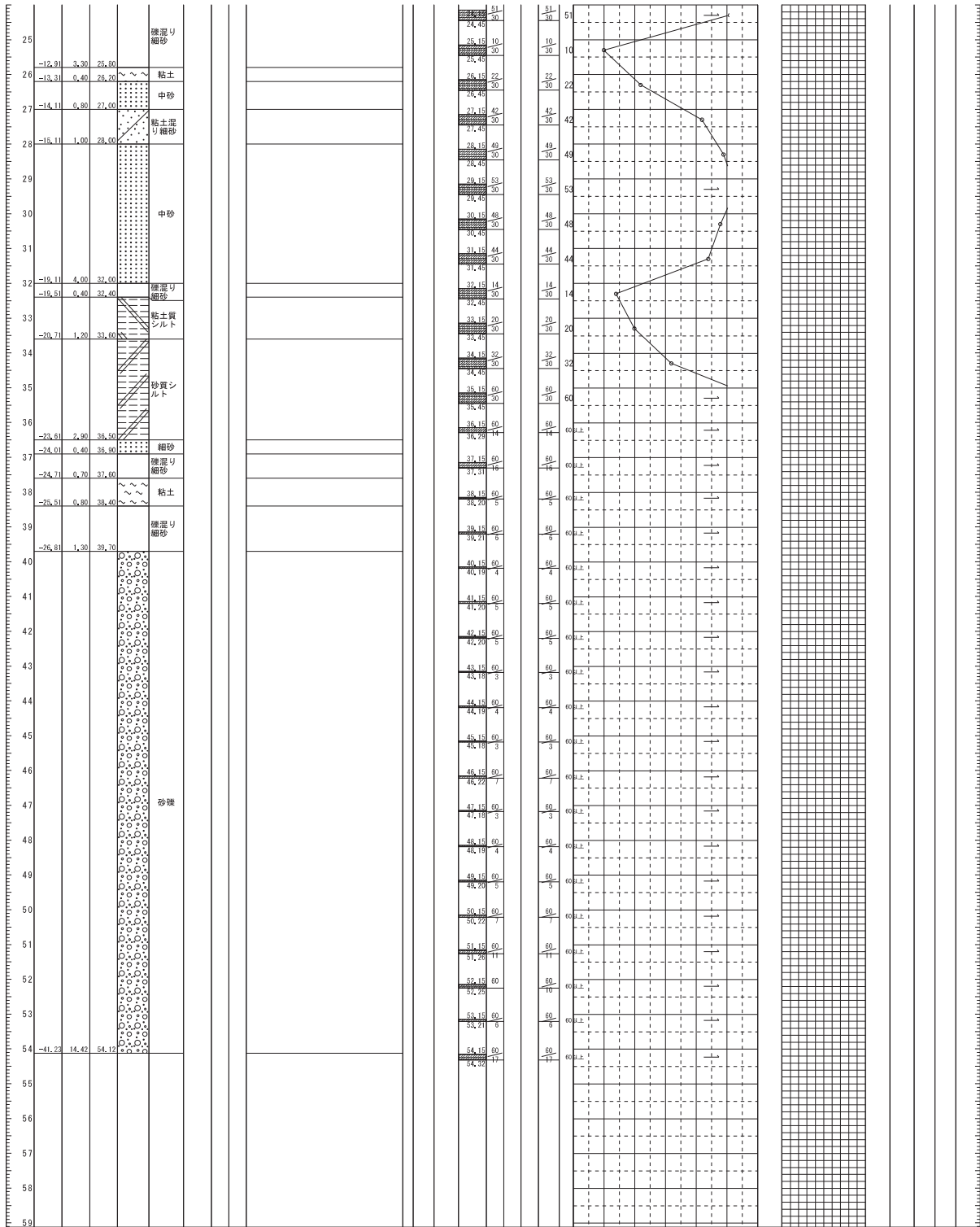
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現代場代理人	コ掘定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 12.89m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 西 90° 東 90° 南 180°
総掘進長	54.12m	度	90°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°
				使用機種	ハンマ ポンプ
				試験機	
				エンジン	

標尺	標高	層厚	深	柱状	土質	色	相對	相對	記	孔内水位	標準貫入試験			N 値	原位置試験	試料採取	室内	掘進
											深	10cm毎の	打撃回数					
m	m	m	m	図	区分	調	密	度	事	m	度	0	10	20	30	40	50	60
1					盛土(シルト混り細砂)						2.15	4	4					
2	10.28	2.60	2.60		盛土(シルト混り細砂)						2.45	4	4					
3	5.28	1.00	3.60		盛土(シルト混り細砂)						3.15	26	26					
4	3.02	1.20	4.80		細砂						4.15	10	10					
5	7.38	0.70	5.50		盛土(粘土)						4.45	30	30					
6					盛土(粘土)						6.15	11	11					
7					中砂						7.15	15	15					
8	4.18	3.20	8.70		中砂						8.15	13	13					
9					盛土(中砂)						9.15	22	22					
10					盛土(中砂)						10.15	32	32					
11					盛土(中砂)						11.15	28	28					
12	9.28	3.90	12.60		盛土(中砂)						12.15	35	35					
13					砂礫						13.15	19	19					
14	-1.21	1.50	14.10		砂礫						14.15	15	15					
15	-2.51	1.30	15.40		中砂						15.15	60	60					
16					中砂						15.35	16	16					
17					中砂						16.15	60	60					
18					盛土(細砂)						17.15	60	60					
19					盛土(細砂)						18.15	60	60					
20					盛土(細砂)						18.26	14	14					
21					盛土(細砂)						19.15	60	60					
22	-4.31	6.80	22.20		粘土質細砂						20.15	60	60					
23	-4.61	6.30	23.30		粘土質細砂						21.15	60	60					
24					盛土(細砂)						22.15	60	60					
25					盛土(細砂)						23.15	60	60					

(参考67-1)

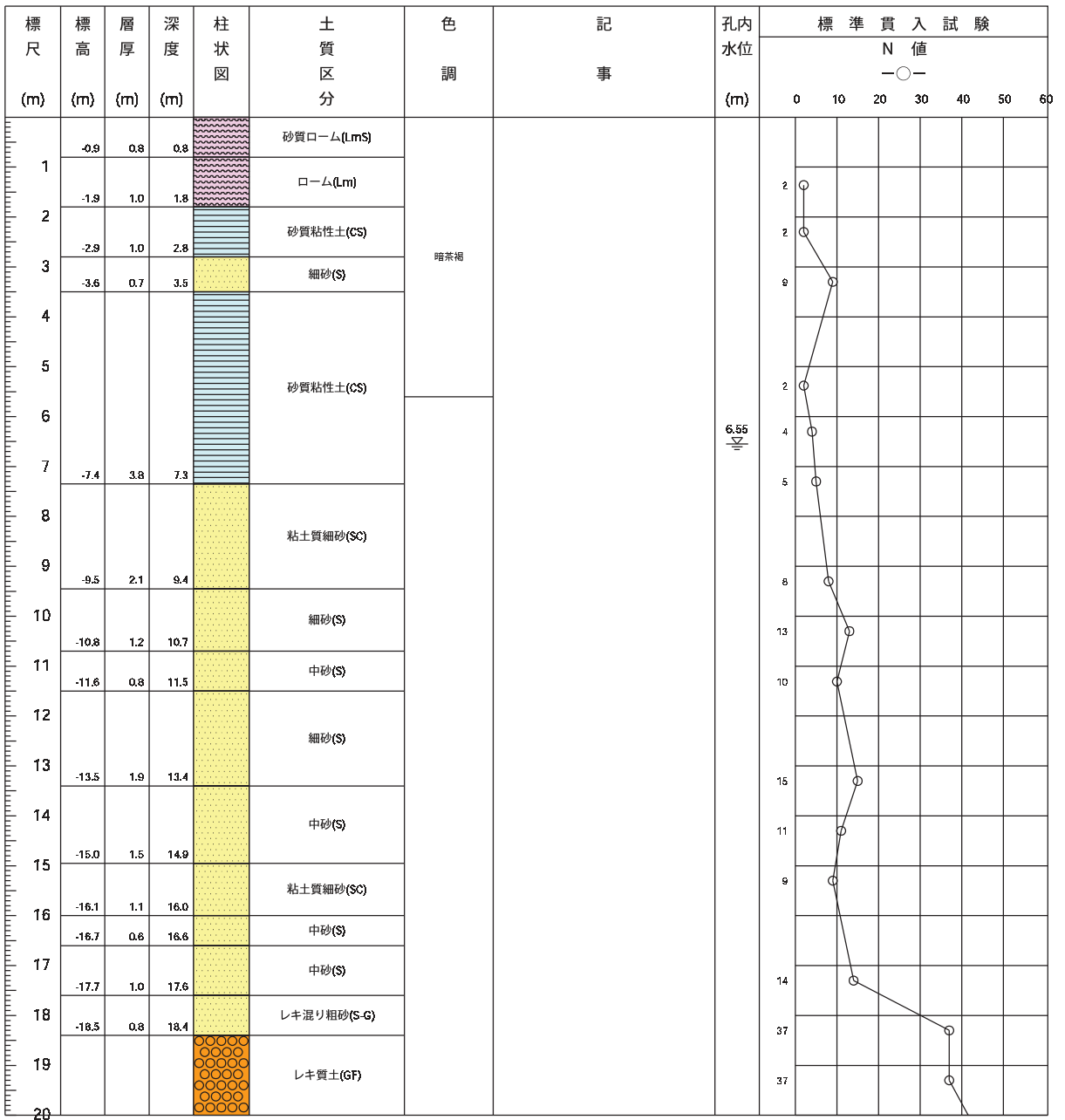


(参考67-2)

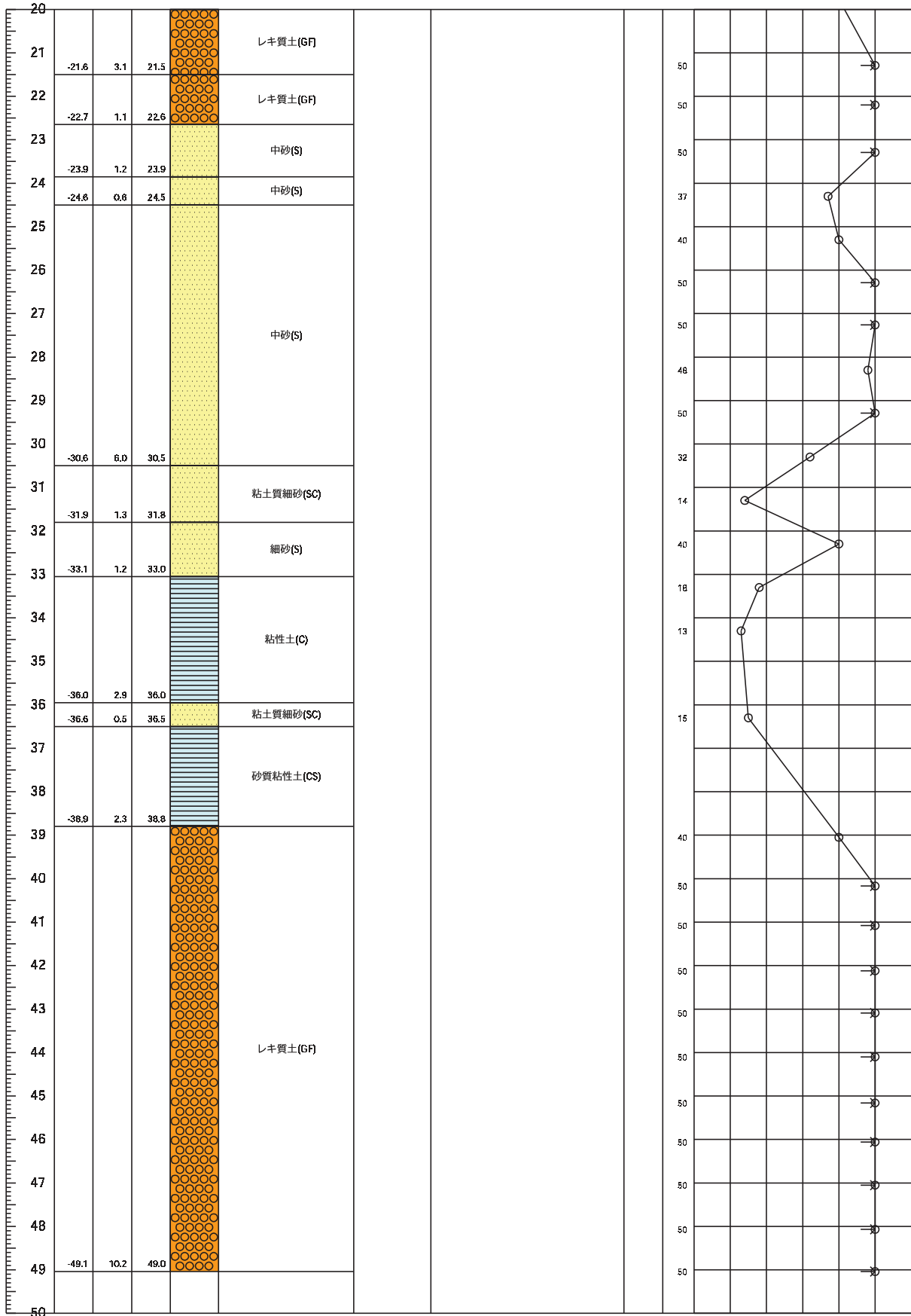
# ボーリング柱状図

参考67-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	12.90m <sup>※</sup>	総掘進長	49.04 m



(参考67-2)



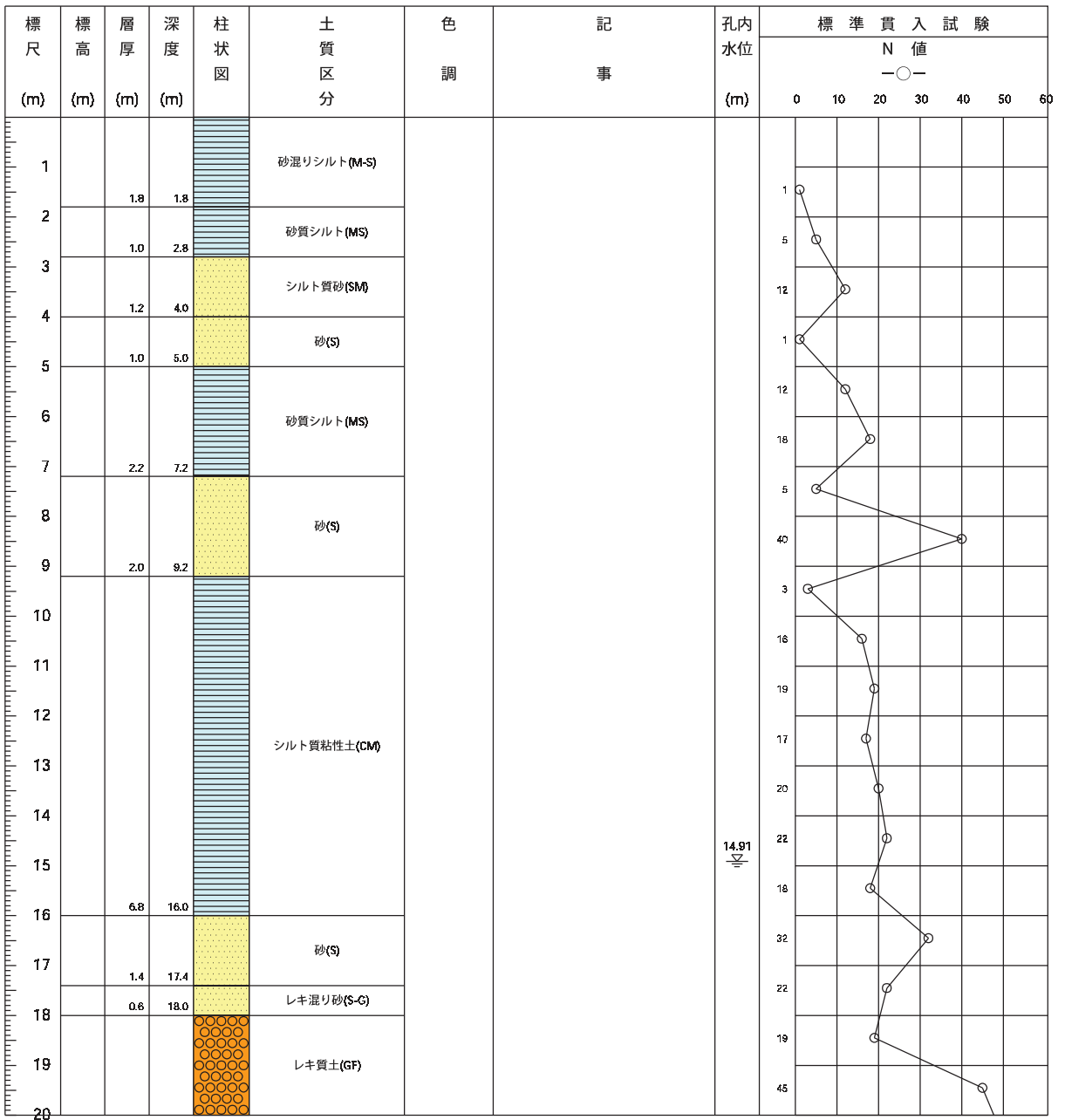
※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考67-3)

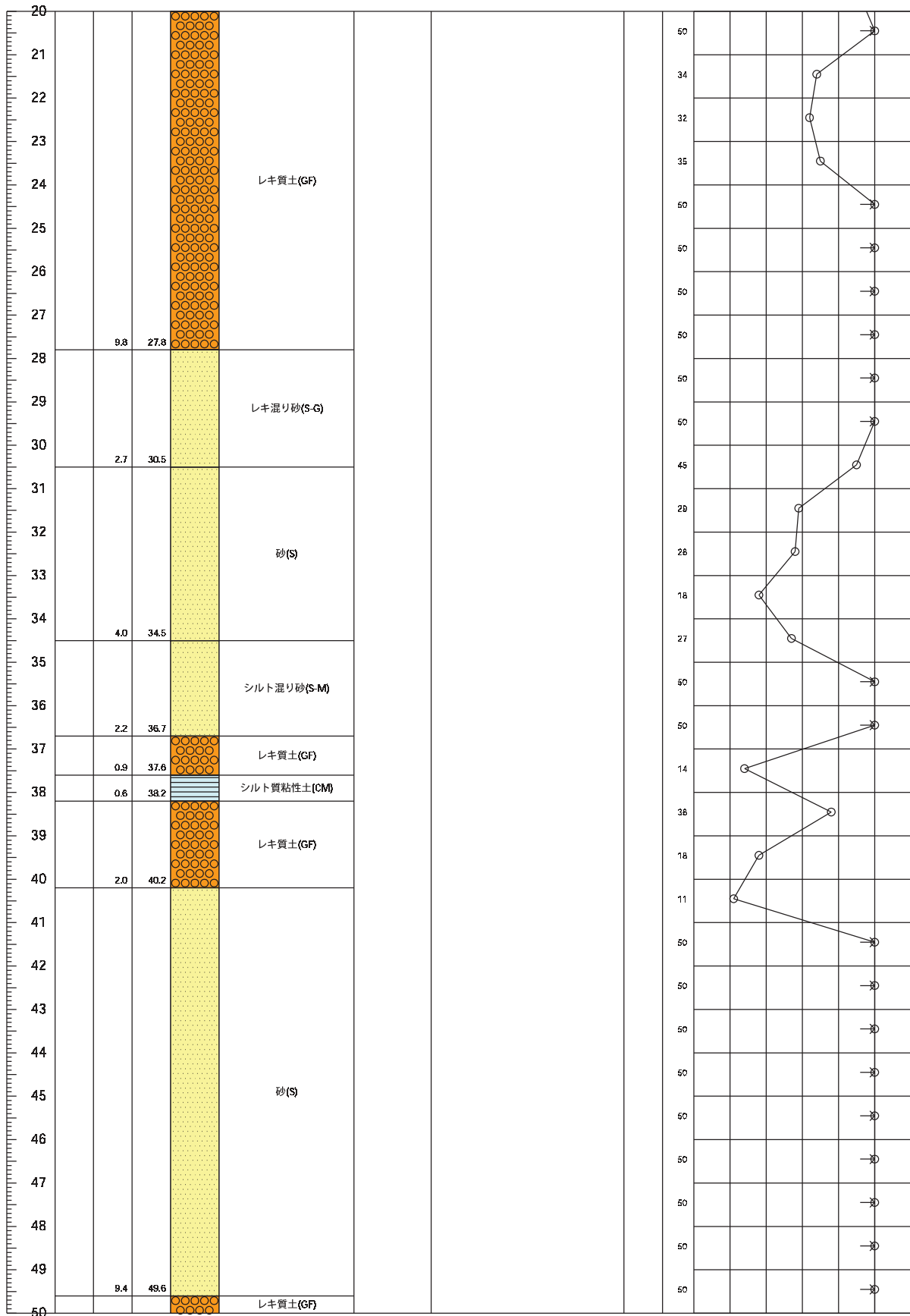
# ボーリング柱状図

参考67-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	13.50m*	総掘進長	50.5 m



(参考67-3)





(参考67-3)

50		0.9	50.5	レキ質土(GF)			50						→
51													
52													
53													
54													
55													
56													
57													
58													
59													
60													
61													
62													
63													
64													
65													
66													
67													
68													
69													
70													
71													
72													
73													
74													
75													
76													
77													
78													
79													
80													

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

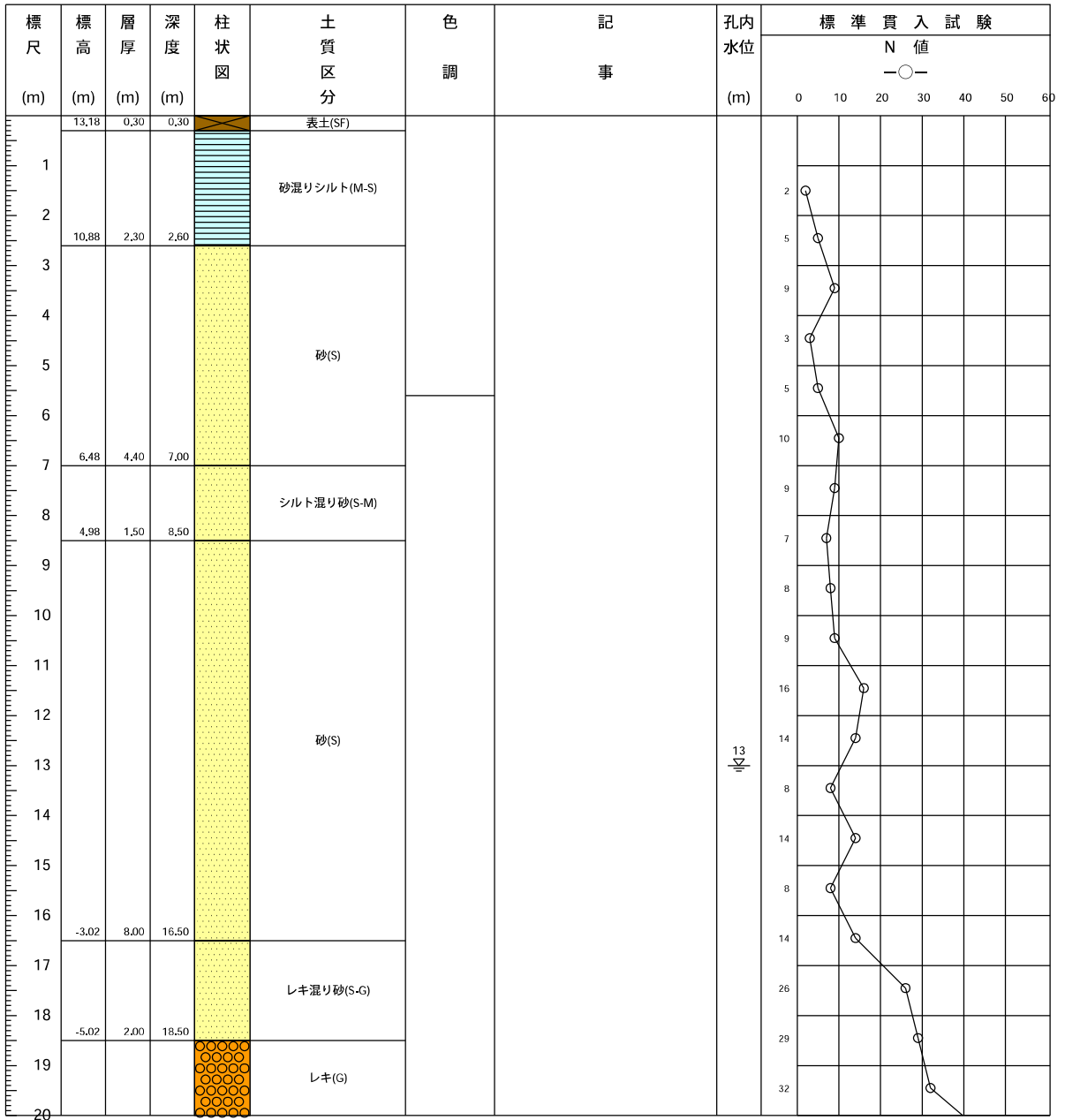
(参考67-3)

(参考67-4)

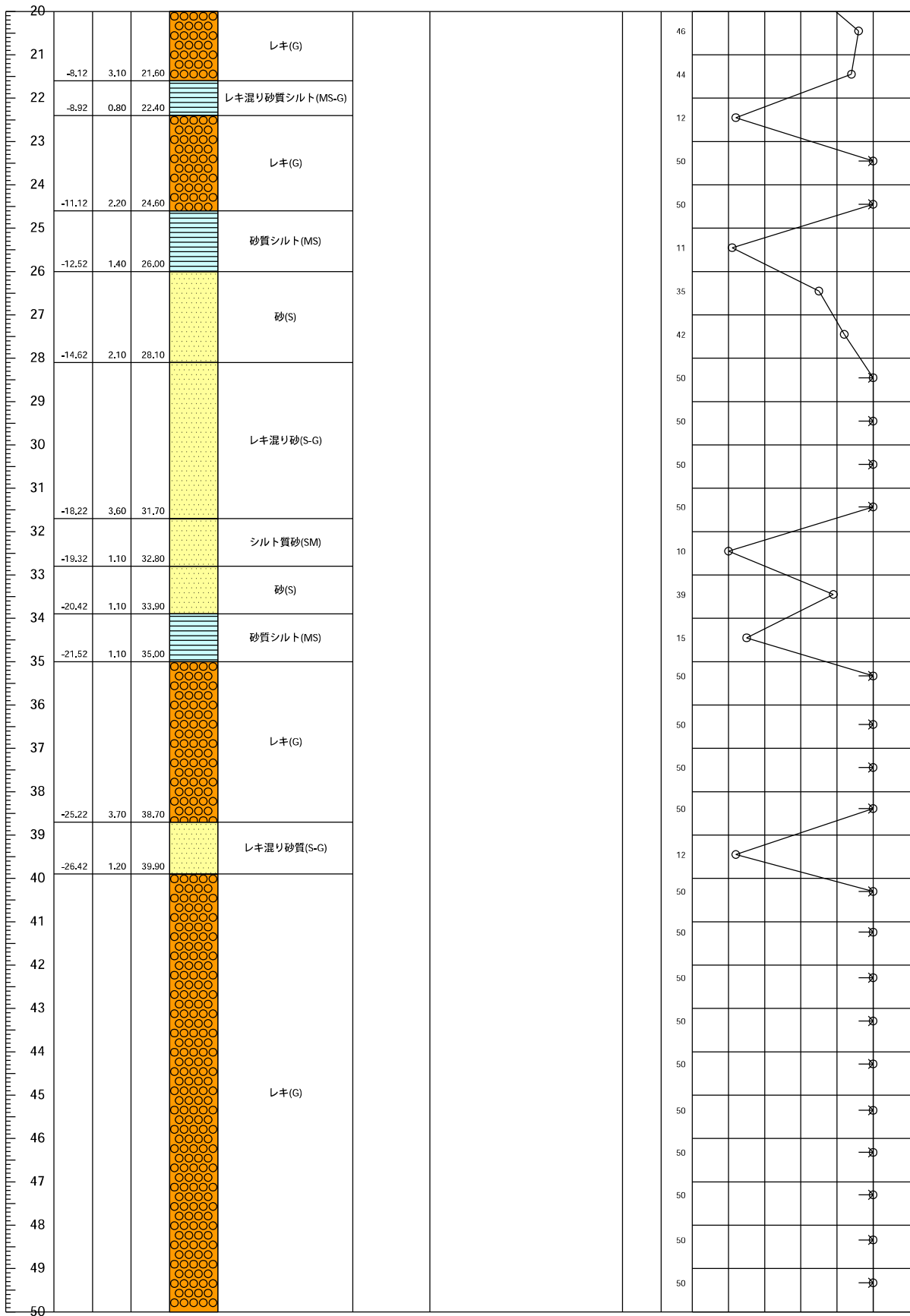
# ボーリング柱状図

参考67-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 13.48 m	総掘進長	50.3 m



(参考67-4)



( 参考67-4 )

50	-36.82	10.40	50.30	○○○○	レキ(G)					50									→	
51																				
52																				
53																				
54																				
55																				
56																				
57																				
58																				
59																				
60																				
61																				
62																				
63																				
64																				
65																				
66																				
67																				
68																				
69																				
70																				
71																				
72																				
73																				
74																				
75																				
76																				
77																				
78																				
79																				
80																				

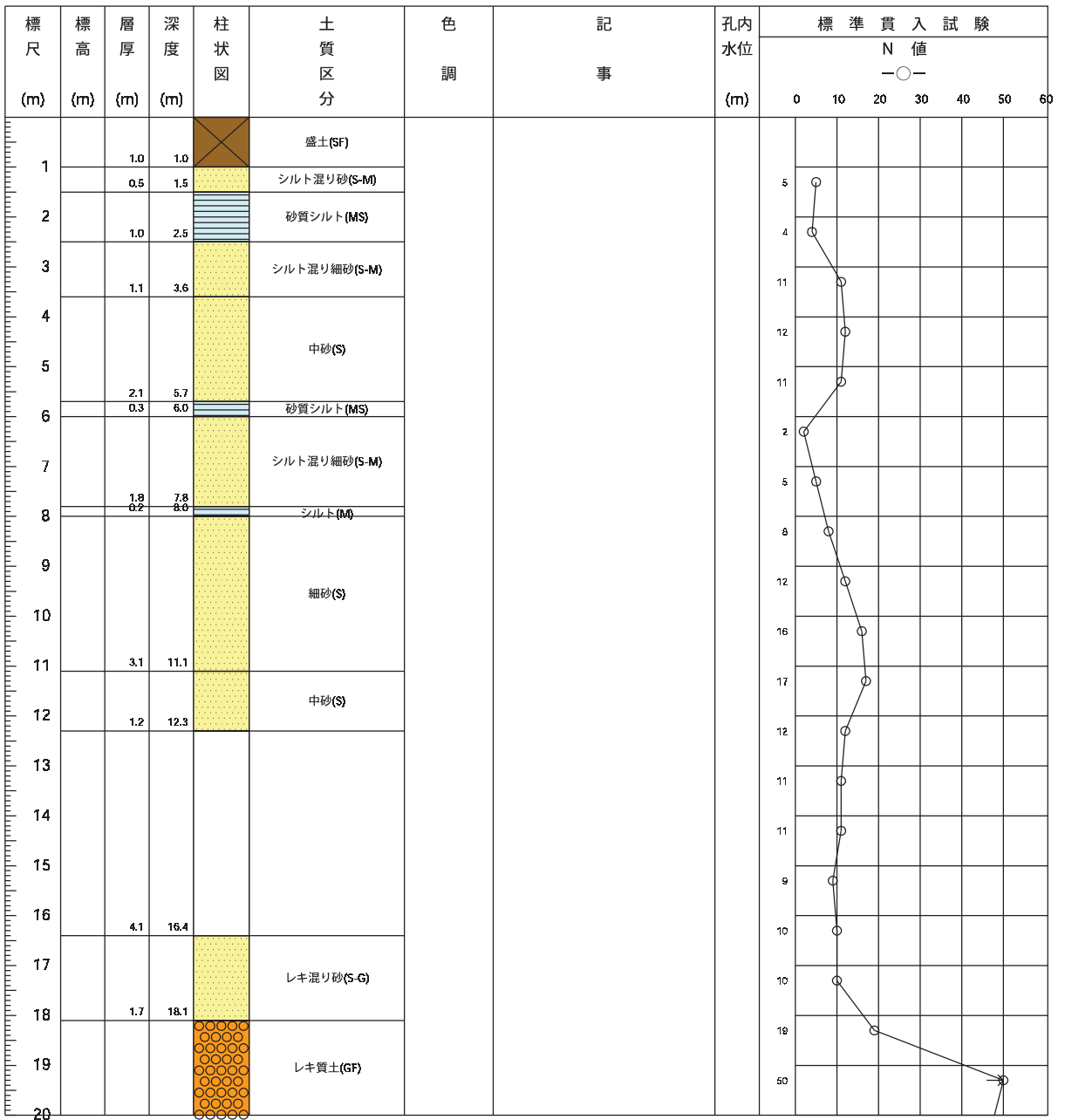
(参考67-4)

(参考67-5)

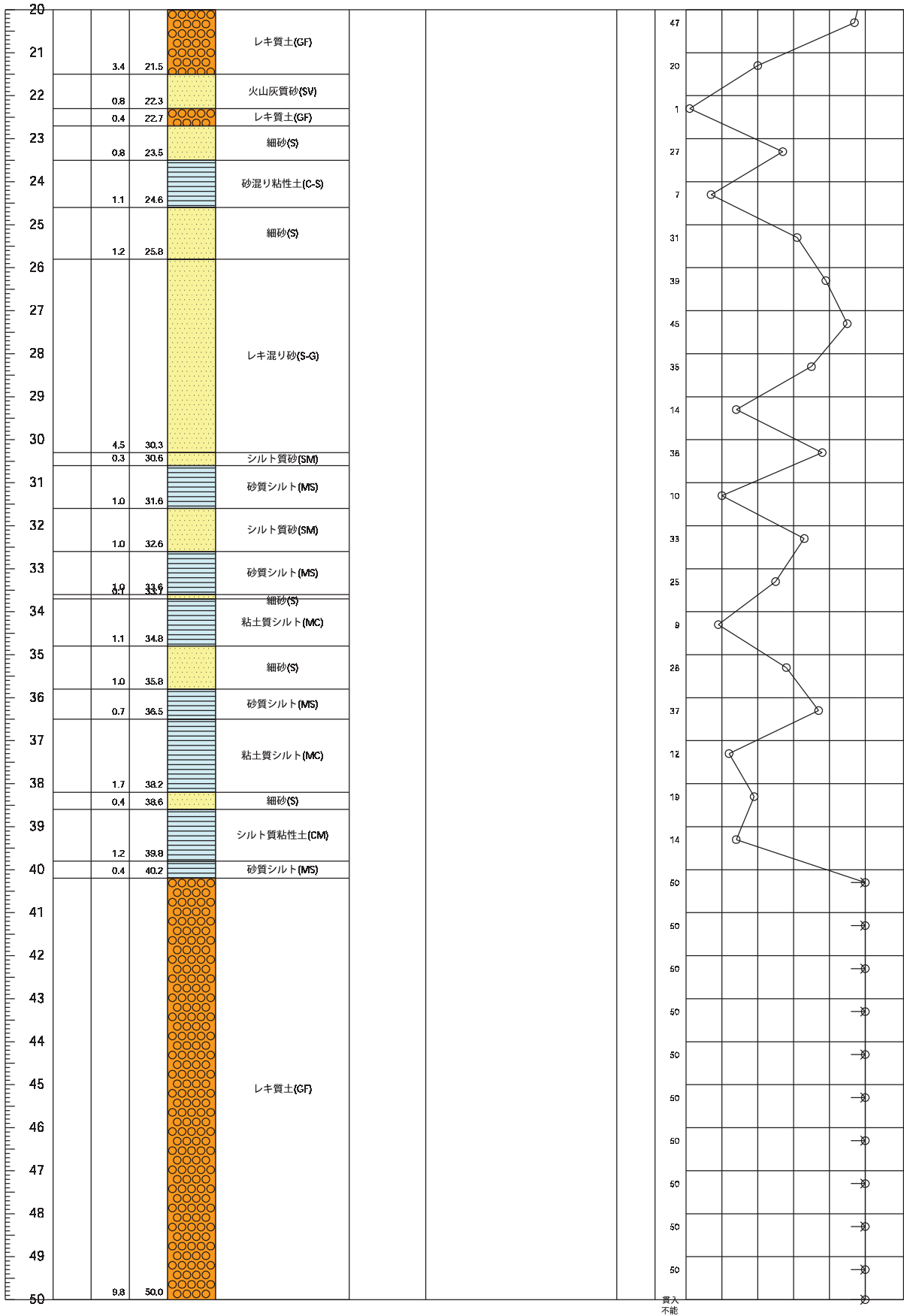
# ボーリング柱状図

参考67-5

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	12.90m <sup>※</sup>	総掘進長	50m



(参考67-5)

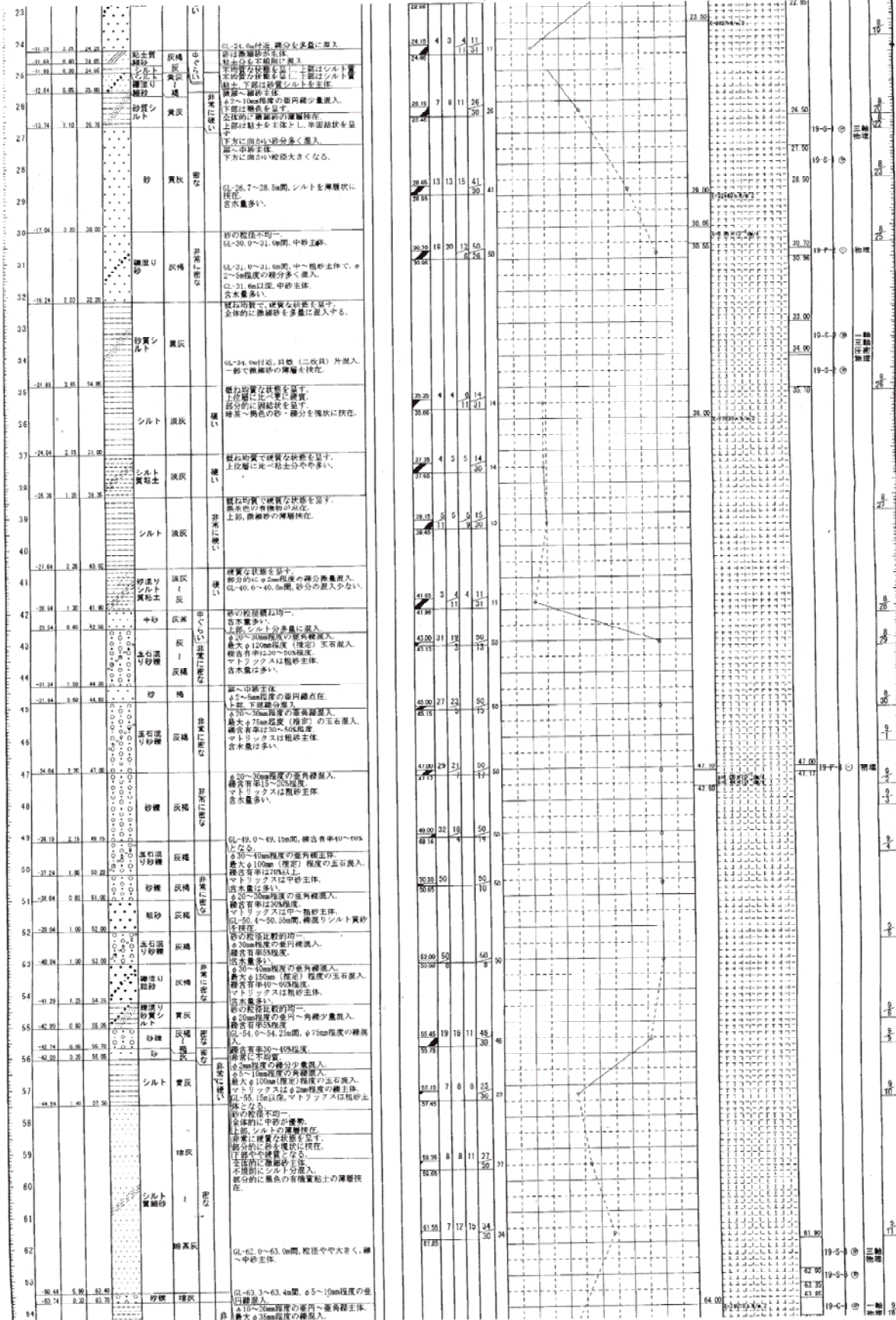


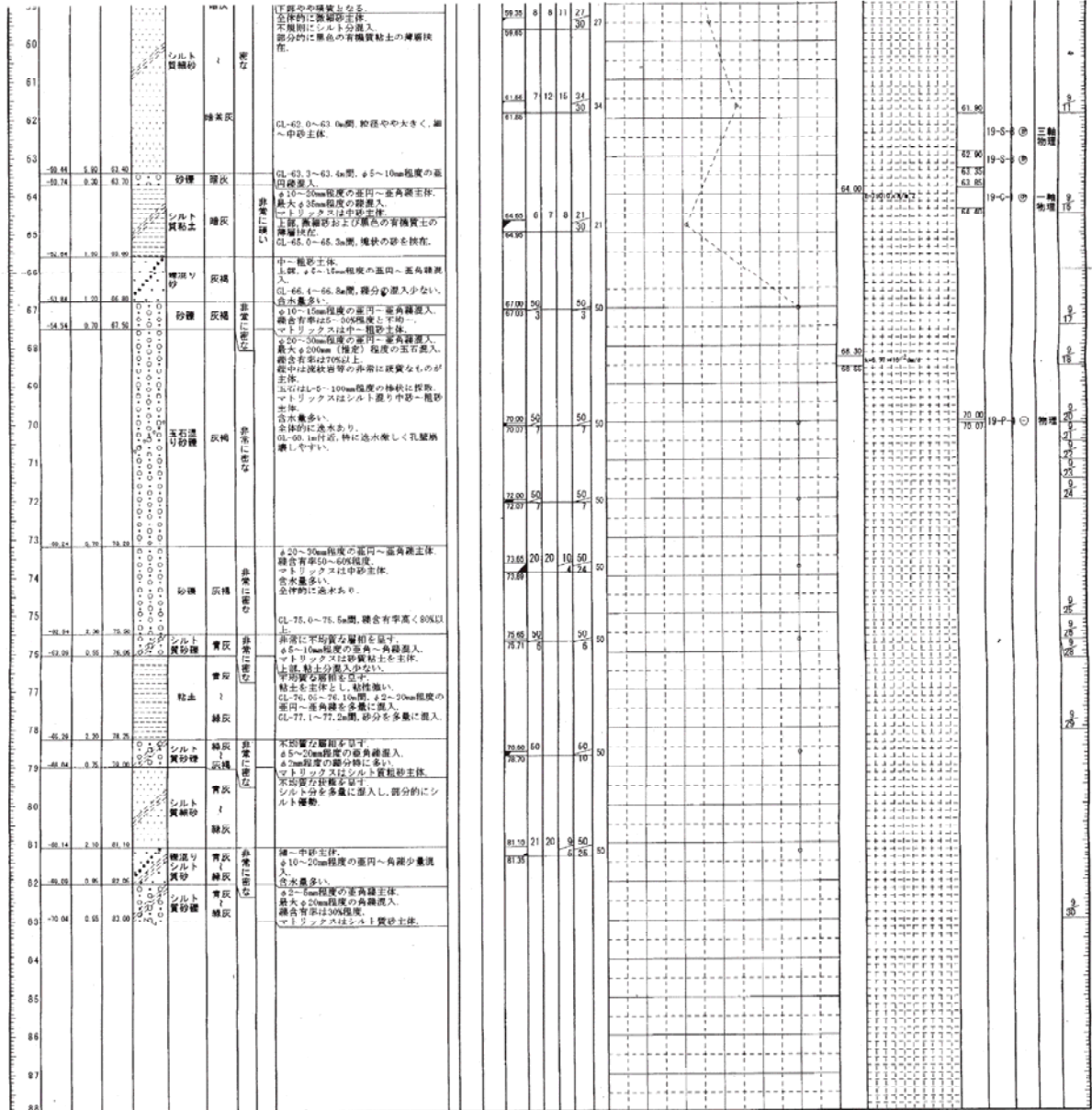
※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

貫入不能





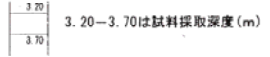




(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプリャーによる試料
- ② デニソンサンプリャーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプリャーによる試料
- ⑤ コア試料

2. 試料採取深度と採取比



3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓢ サスペンションPS検層
- Ⓒ キャリブレーション検層
- Ⓓ 密度検層
- Ⓗ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓚ 現場透水試験
- Ⓛ 孔内水平載荷試験

( JR-68 )

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

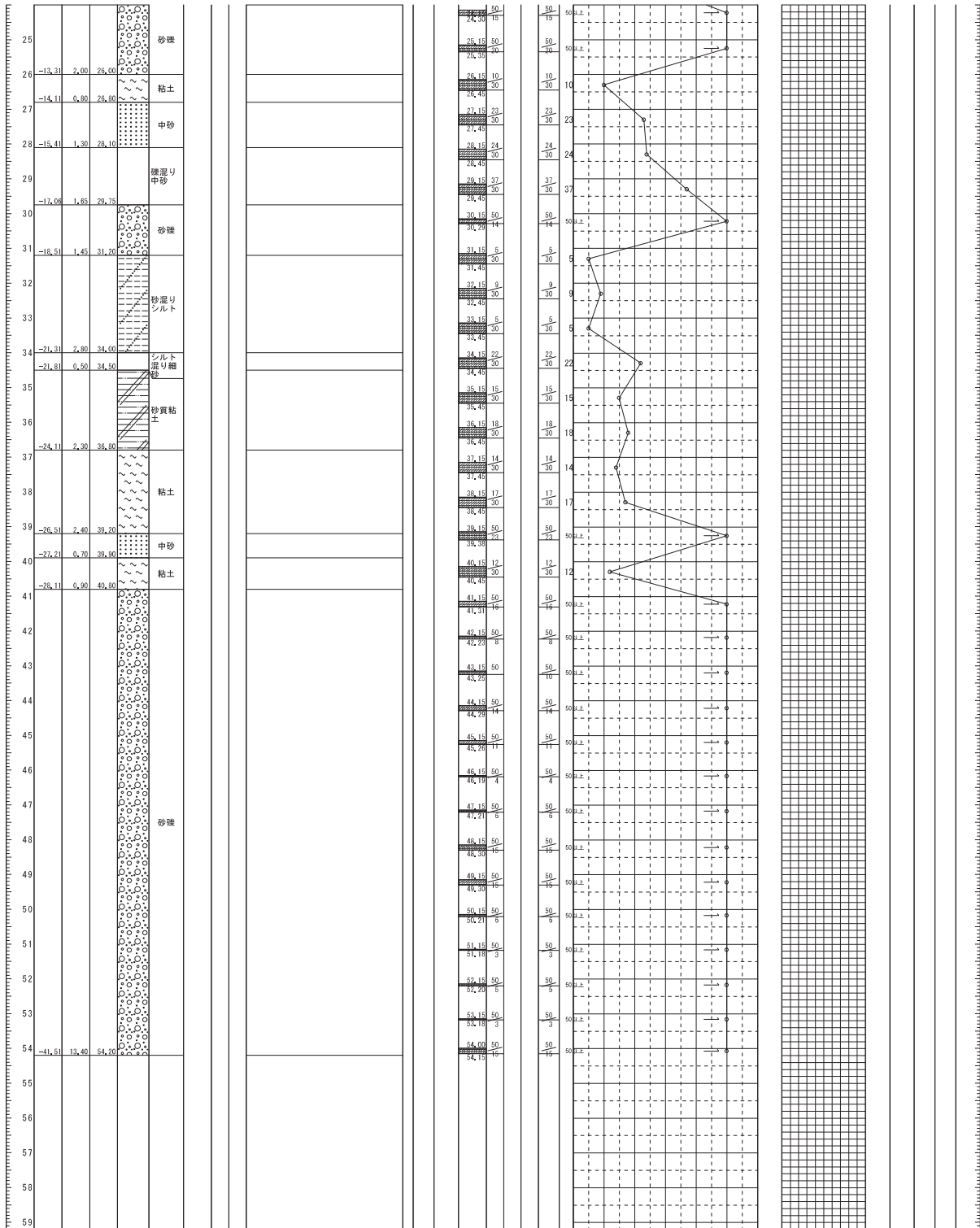
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置										北緯	
発注機関	調査期間										東経	
調査業者名	主任技師					現代理人			コ定ア		ボーリング責任者	
孔口標高	TP	12.69m	角	180°	方	北0°	地盤勾配	鉛直	使用機種	ハンマ	ポンプ	
総掘進長	54.20m	度	上下	90°	西	東	90°	エンジン				

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相對密度	相對稠度	記	事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			N値	原位置試験		深	試験名及び結果	深	試料採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日
												深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量		深	度							
1					中砂							2.15	11	17										
2	10.48	2.20	2.20		砂質シルト							4.15	19	30	19									
3	5.48	1.00	3.20		中砂							4.15	10	30	10									
4	5.68	0.80	4.00		粗砂							5.15	10	30	10									
5												6.15	11	30	11									
6	6.38	2.30	6.30		粘土							7.15	5	30	5									
7	5.18	1.20	7.50									8.15	23	30	23									
8					中砂							9.15	21	30	21									
9	3.18	2.00	9.50									10.15	27	30	27									
10												11.15	13	30	13									
11					硬湿り中砂							12.15	18	30	18									
12												13.15	18	30	18									
13												14.15	20	30	20									
14	-1.71	4.90	14.40		中砂							15.15	27	30	27									
15												16.15	5	30	5									
16	-3.11	1.40	15.80		砂礫							17.15	43	30	43									
17	-4.41	0.60	17.10		中砂							18.15	50	30	50									
18					砂礫							19.15	50	30	50									
19	-6.01	1.60	18.70									20.15	27	30	27									
20					硬湿り細砂							21.15	36	30	36									
21												22.15	38	30	38									
22												23.15	23	30	23									
23	-10.51	0.60	23.20		粘土質細砂							24.15	50	30	50									
24	-10.81	0.10	23.30		硬湿り粘土							24.30	16	30	16									
25	-11.31	0.70	24.00		砂礫																			

(参考68-1)



ボーリング柱状図

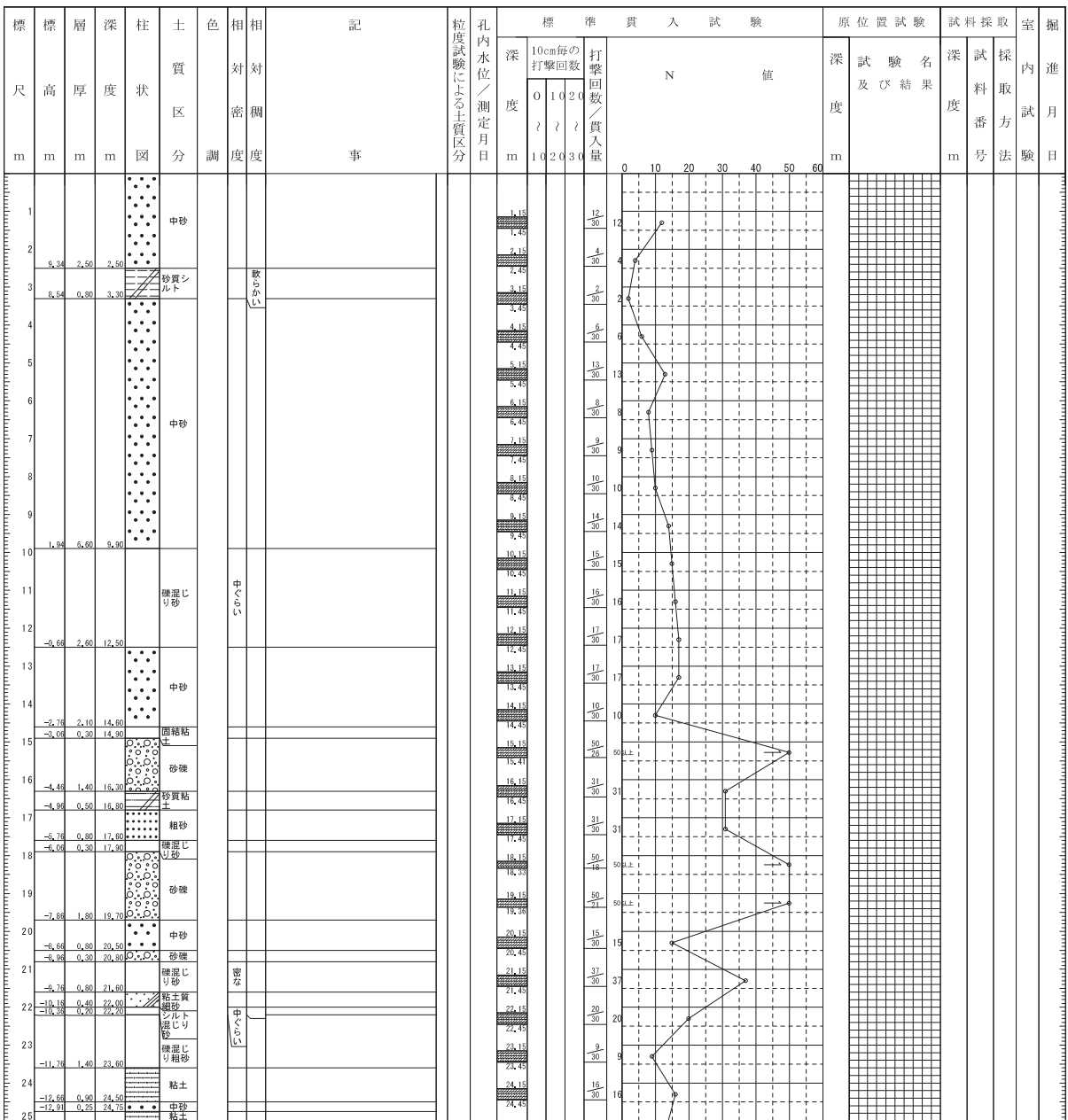
調査名

事業・工事名

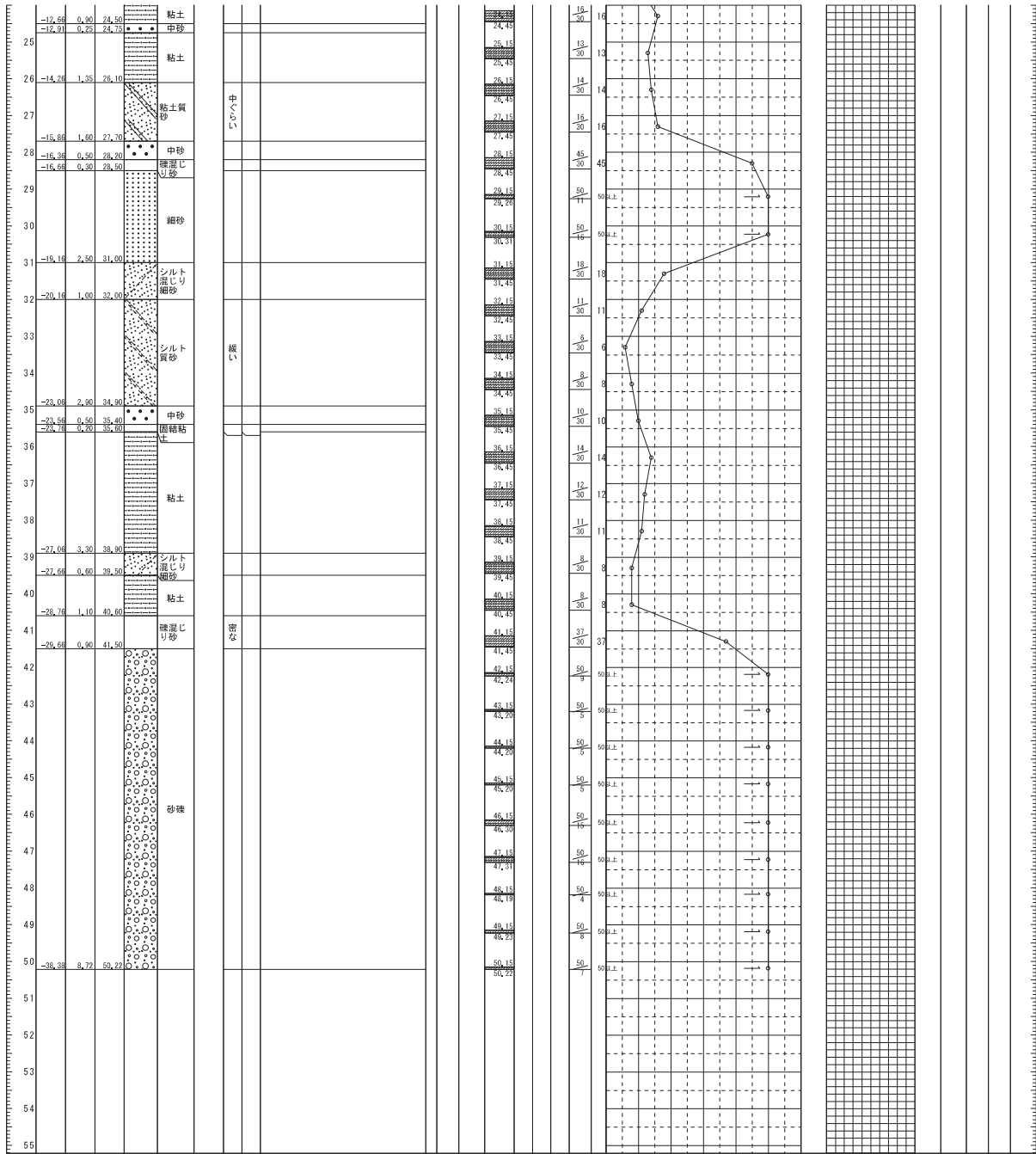
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯				
発注機関	調査期間				東経				
調査業者名	主任技師			現代場人		コ定ア		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 11.84m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	ハンマ落 下用具 ポンプ
総掘進長	50.22m	度		向				エンジン	



(参考68-2)





ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

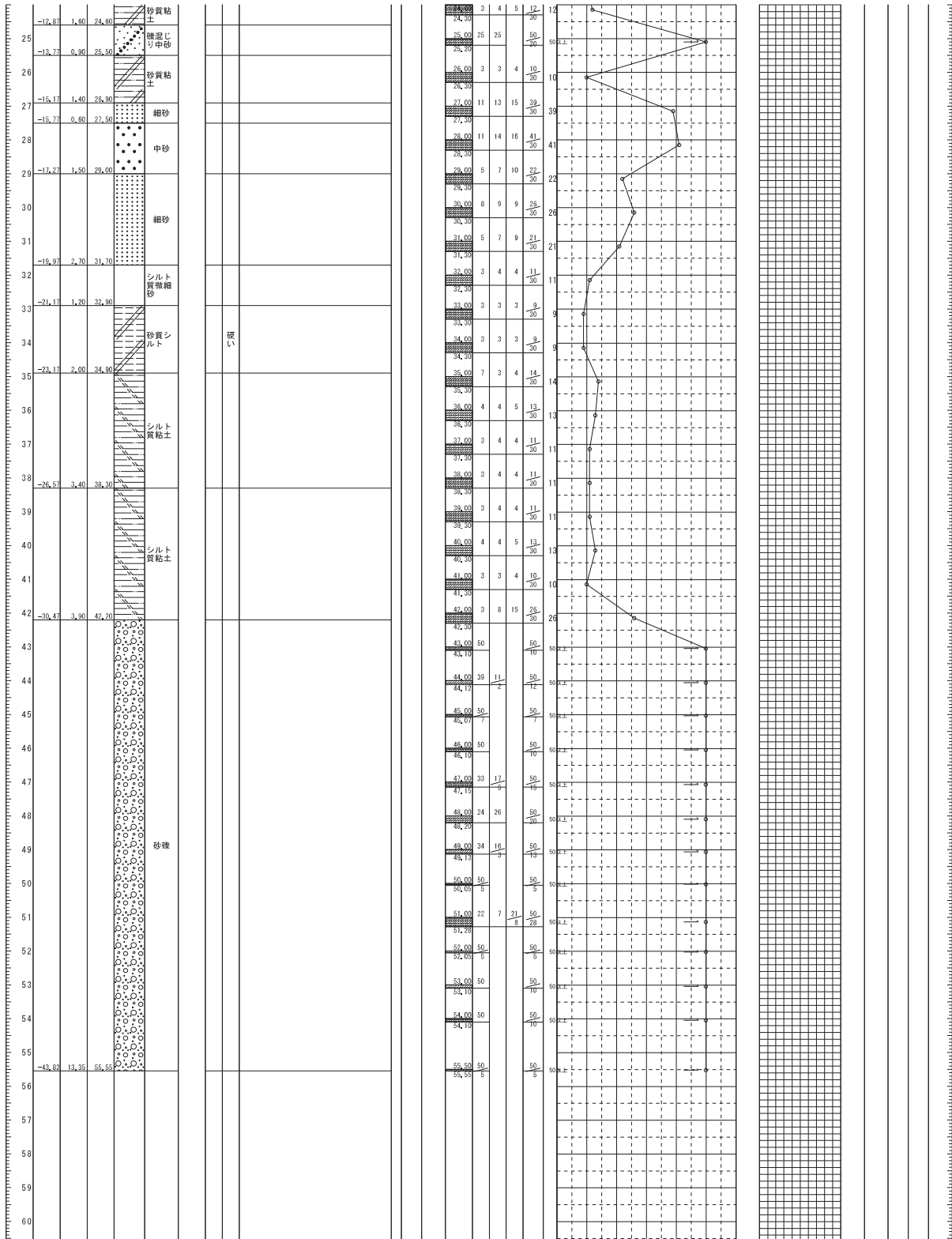
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯				
発注機関	調査期間				東経				
調査業者名	主任技師			現代場 代理人		コ 勘 定 者		ボ ー リ ン グ 責 任 者	
孔口標高	TP 11.73m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	ハンマ ポンプ
総掘進長	55.55m	度		向				エンジン	

標尺	層高	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内水位 測定月日	標準貫入試験			N 値	原位置試験 深	試験名 及び結果	深	試料採取 番号	採取 方法	掘進 月日
											度	10cm 毎の 打撃回数	打撃回数 / 貫入量							
1	10.23	1.50	1.50		盛土						3	3	2	8						
2	9.43	0.80	2.30		細砂・中						3	3	2	8						
3	7.73	1.70	4.00		砂質シルト						1	1	2	4						
4	6.93	0.80	4.80		細砂						3	2	2	7						
5					細砂						1	2	1	4						
6					細砂						1	2	1	4						
7					細砂						2	3	3	8						
8					細砂						2	2	3	7						
9	2.23	4.70	9.50		細砂						1	3	5	9						
10					細砂						4	4	5	13						
11					細砂						3	4	4	11						
12					細砂						3	4	4	11						
13					細砂						5	5	5	15						
14	-2.17	4.40	13.90		浮石混り細砂						2	1	5	8						
15	-3.27	1.10	15.00		粘土混り細砂						4	5	5	14						
16	-4.27	1.60	16.60		中砂						7	8	8	23						
17	-5.07	0.80	16.80		砂礫						22	28		50						
18	-6.17	1.10	17.90		砂礫						10	11	11	32						
19					砂礫						11	12	14	37						
20					砂礫						13	14	15	42						
21	-6.87	3.70	21.60		砂礫						8	8	9	25						
22					細砂						7	7	7	21						
23	-11.27	1.40	23.00		砂質粘土						3	3	4	10						
24	-12.87	1.60	24.60		砂質粘土						3	4	5	12						
25					砂質粘土						25	25	25	50						

(参考68-3)



ボーリング柱状図

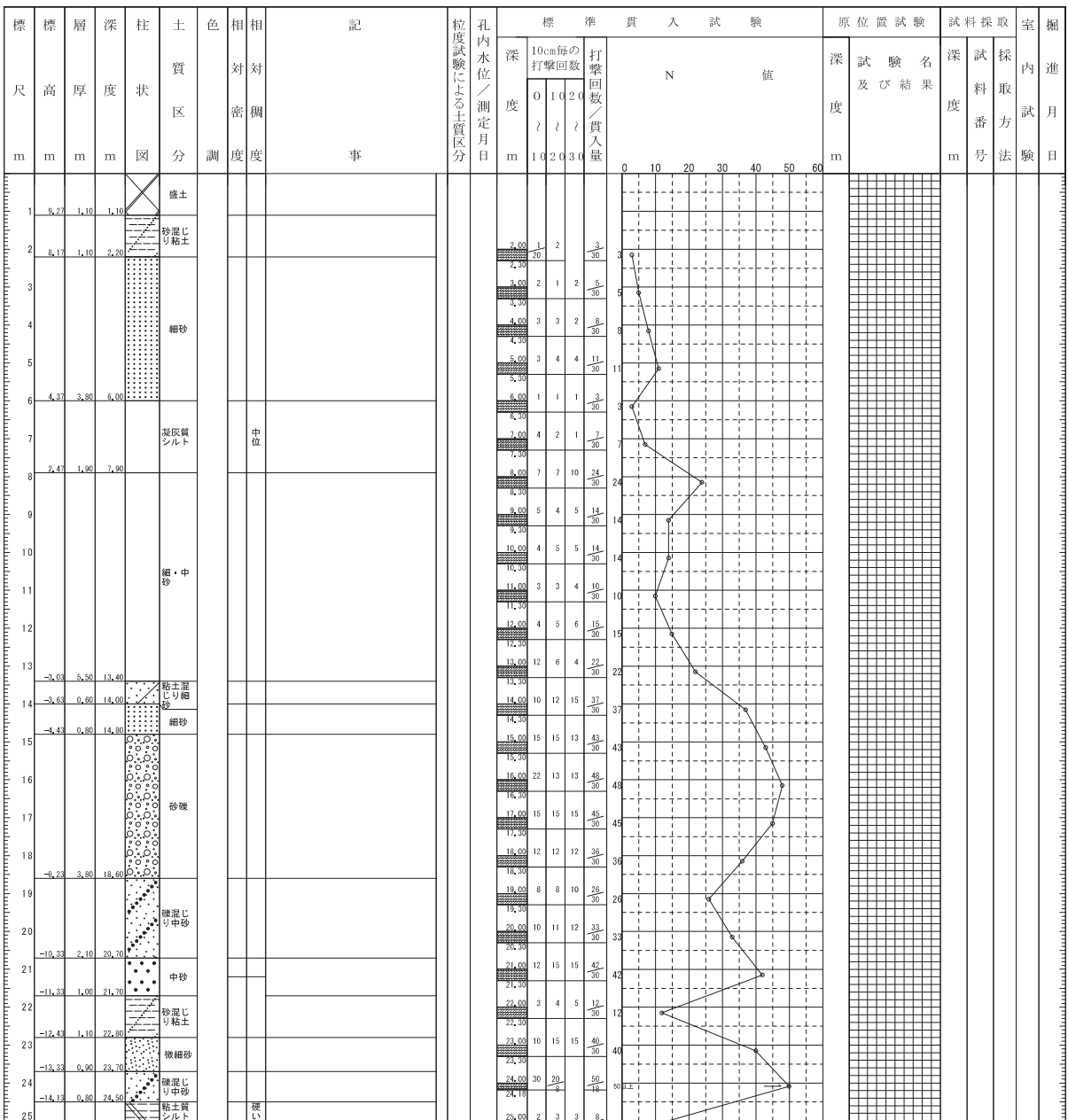
調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

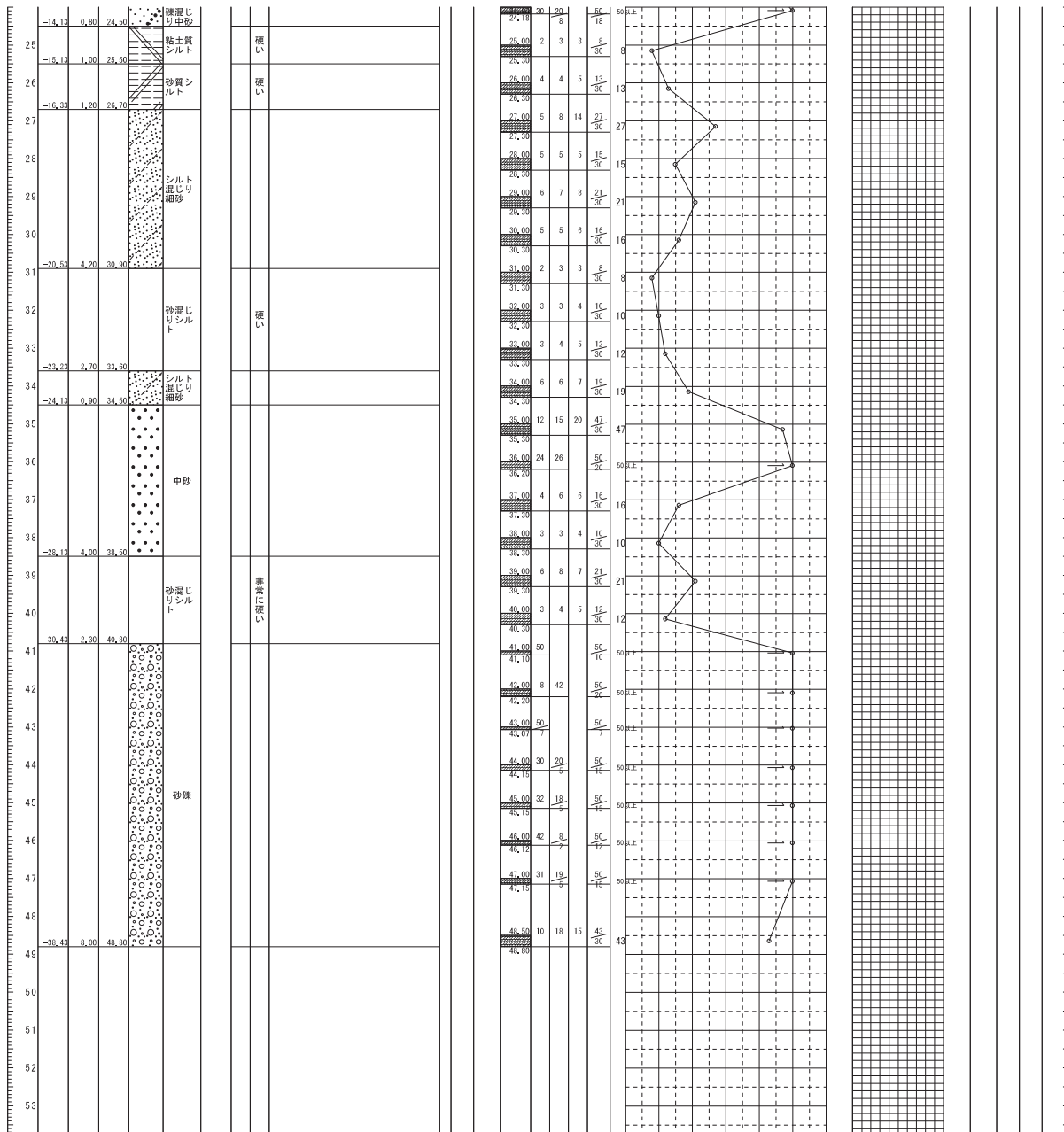
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯					
発注機関	調査期間			東経					
調査業者名	主任技師			現代場代理人		コ掘定者	ボーリング責任者		
孔口標高	10.37m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	ハンマ 落下用具
総掘進長	48.80m	度		向				エンジン	ポンプ



(参考68-4)



ボーリング柱状図

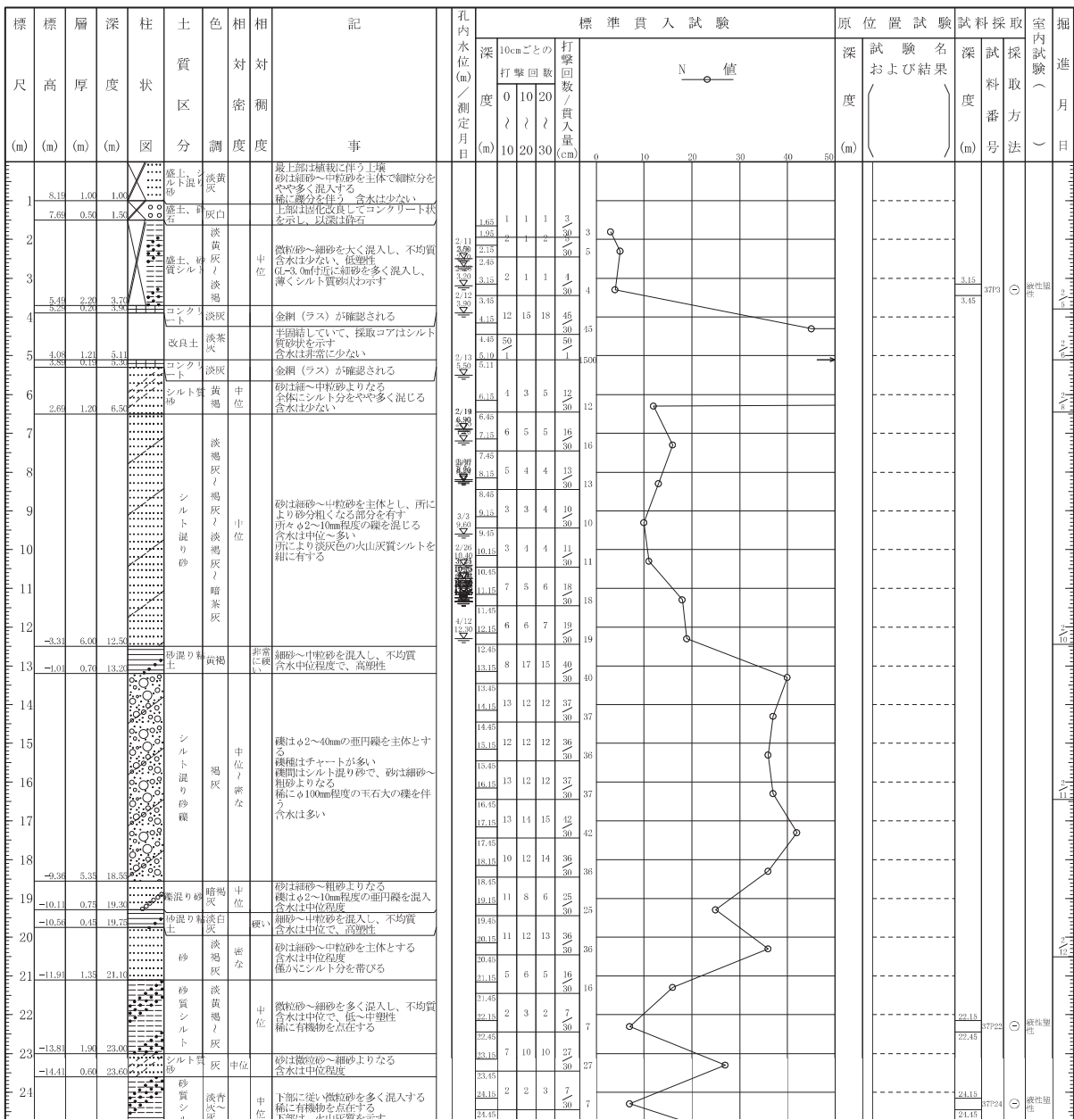
調査名

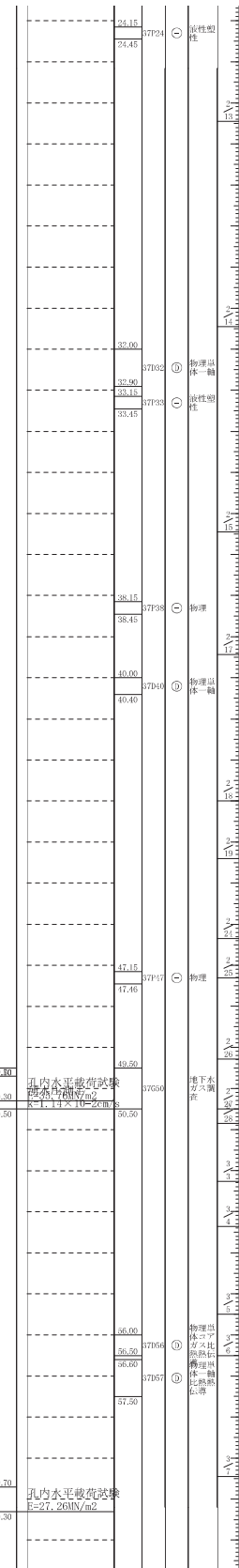
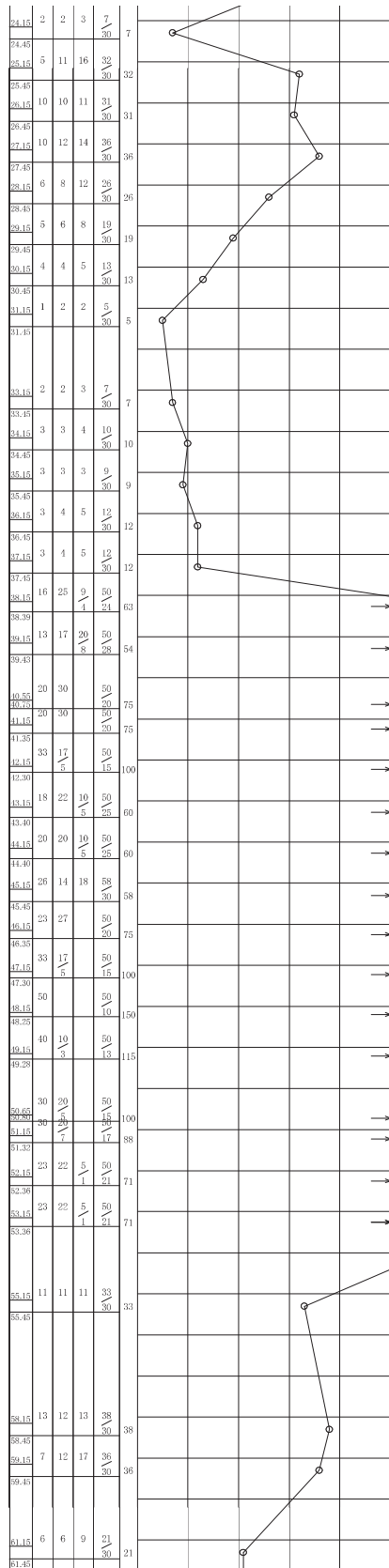
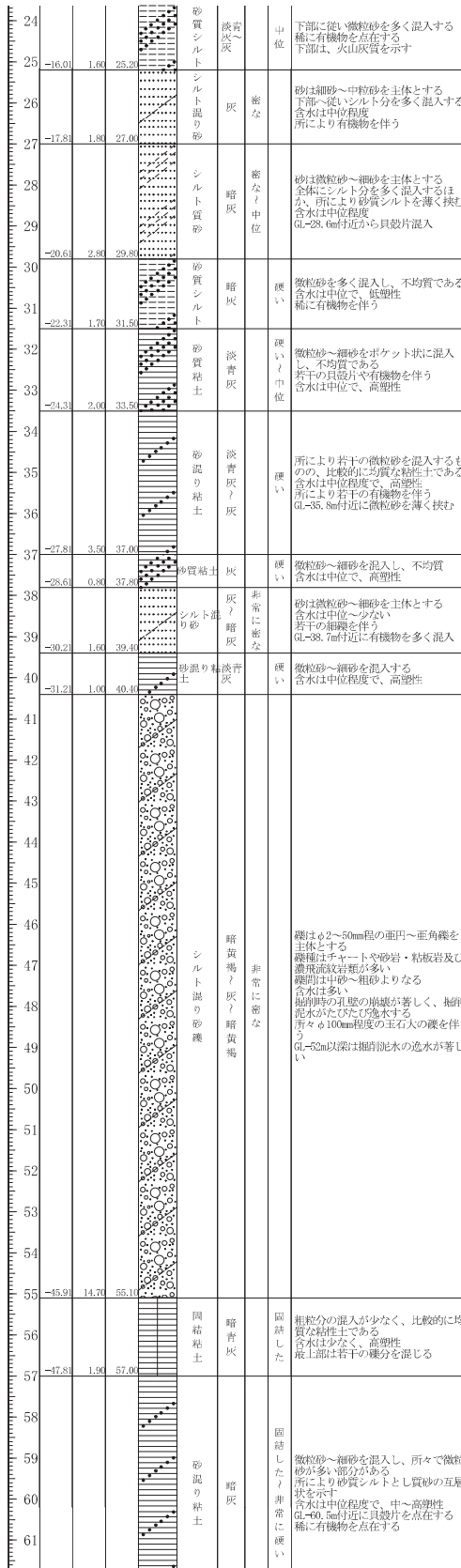
ボーリングNo

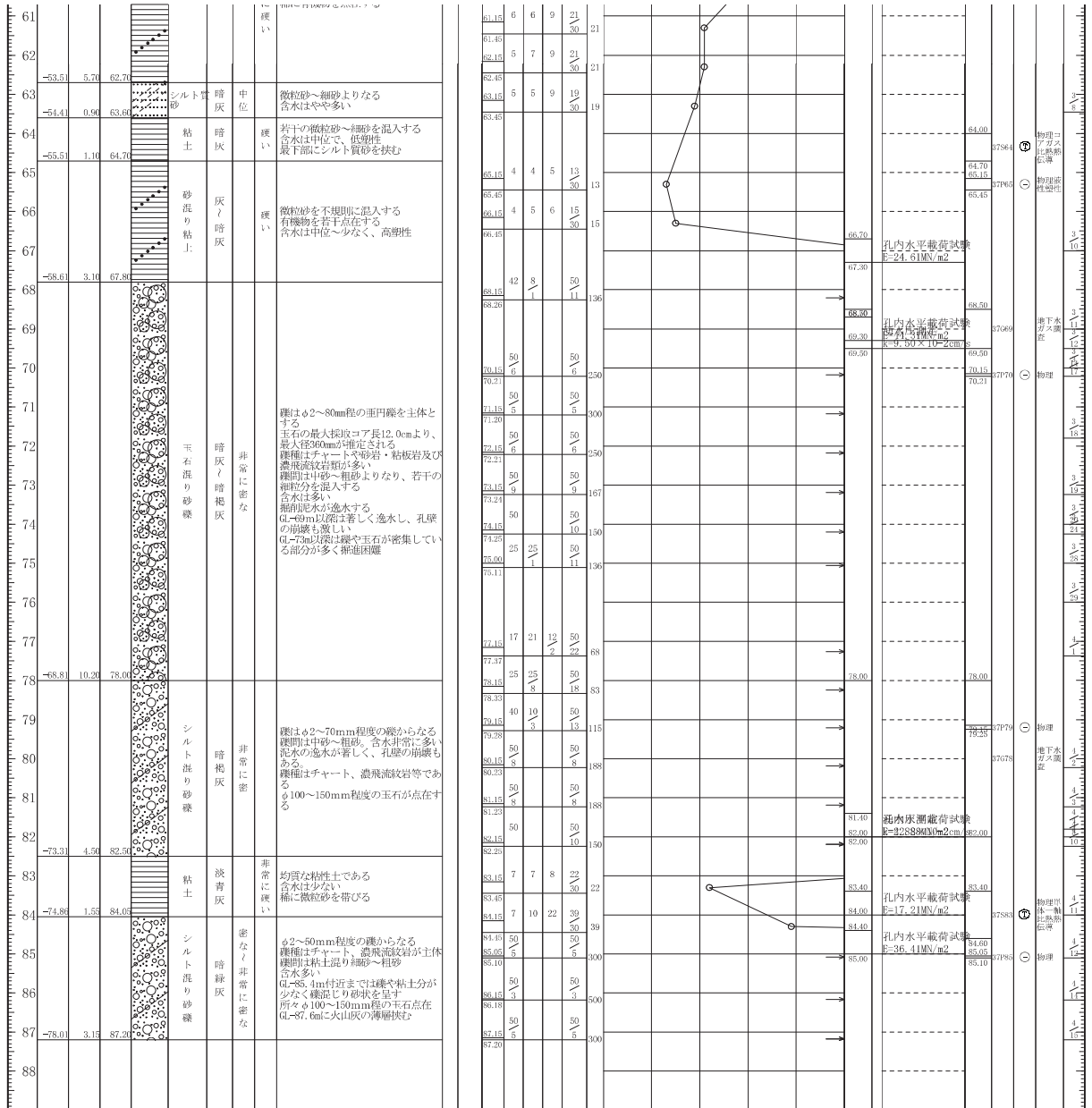
事業・工事名

シートNo

Table with fields for Boring Name, Location, Issuing Agency, Investigation Period, Investigator, Site, Principal Engineer, Modern Field, Location, Boring Responsibility, Hole Diameter, Angle, Direction, Orientation, Depth, Equipment, and Hammer.







( JR-69 )



ボーリング柱状図

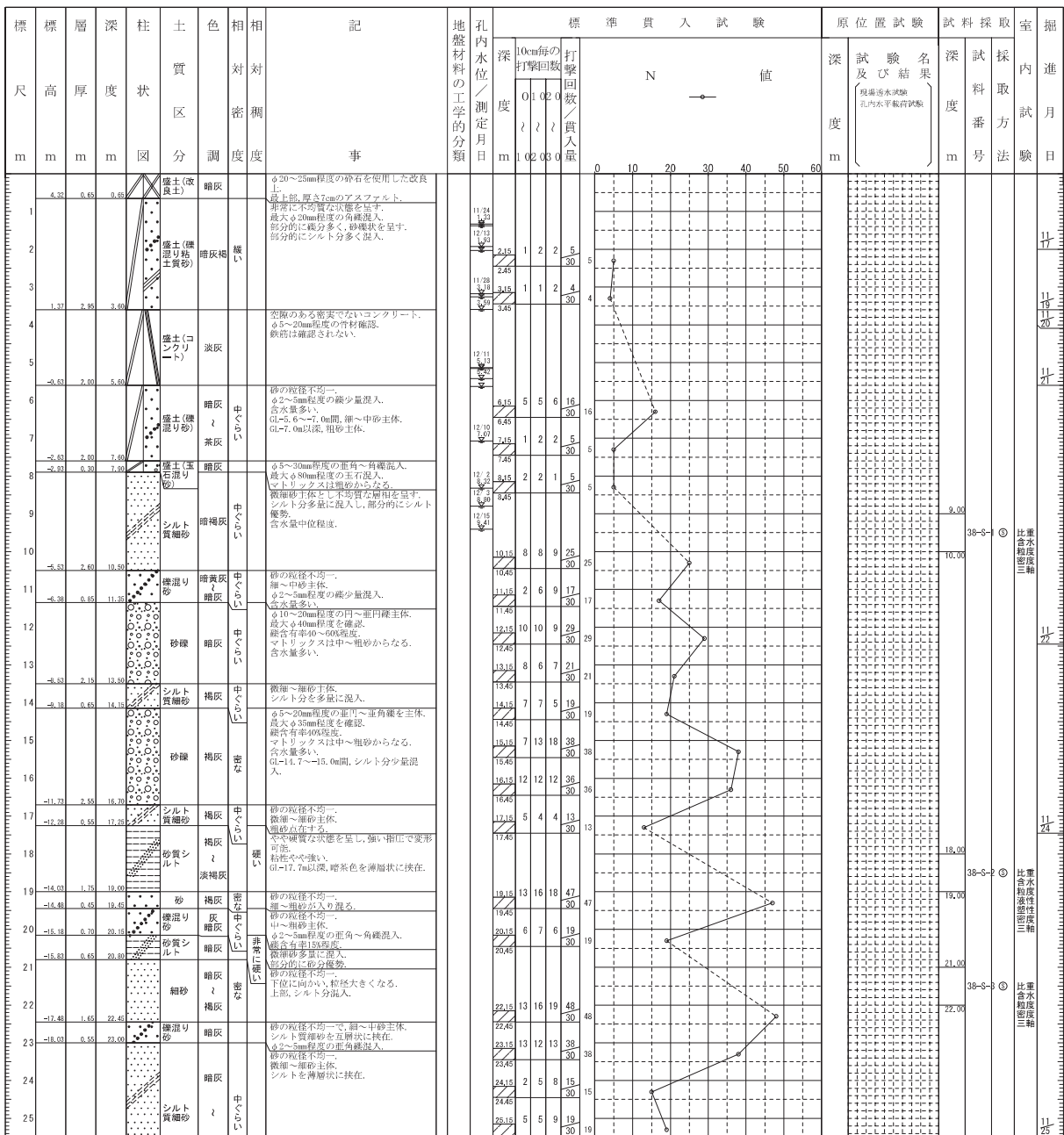
調査名

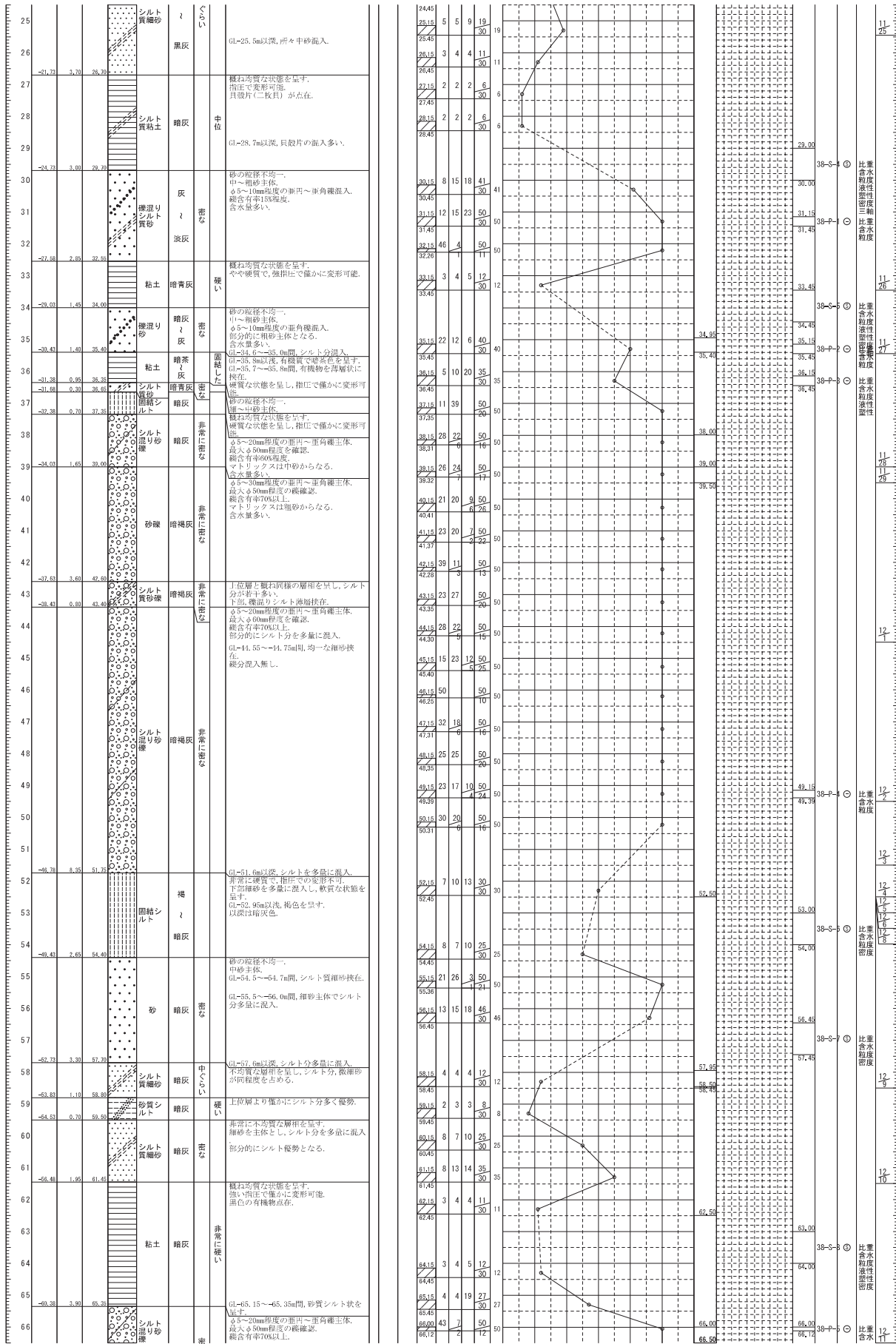
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

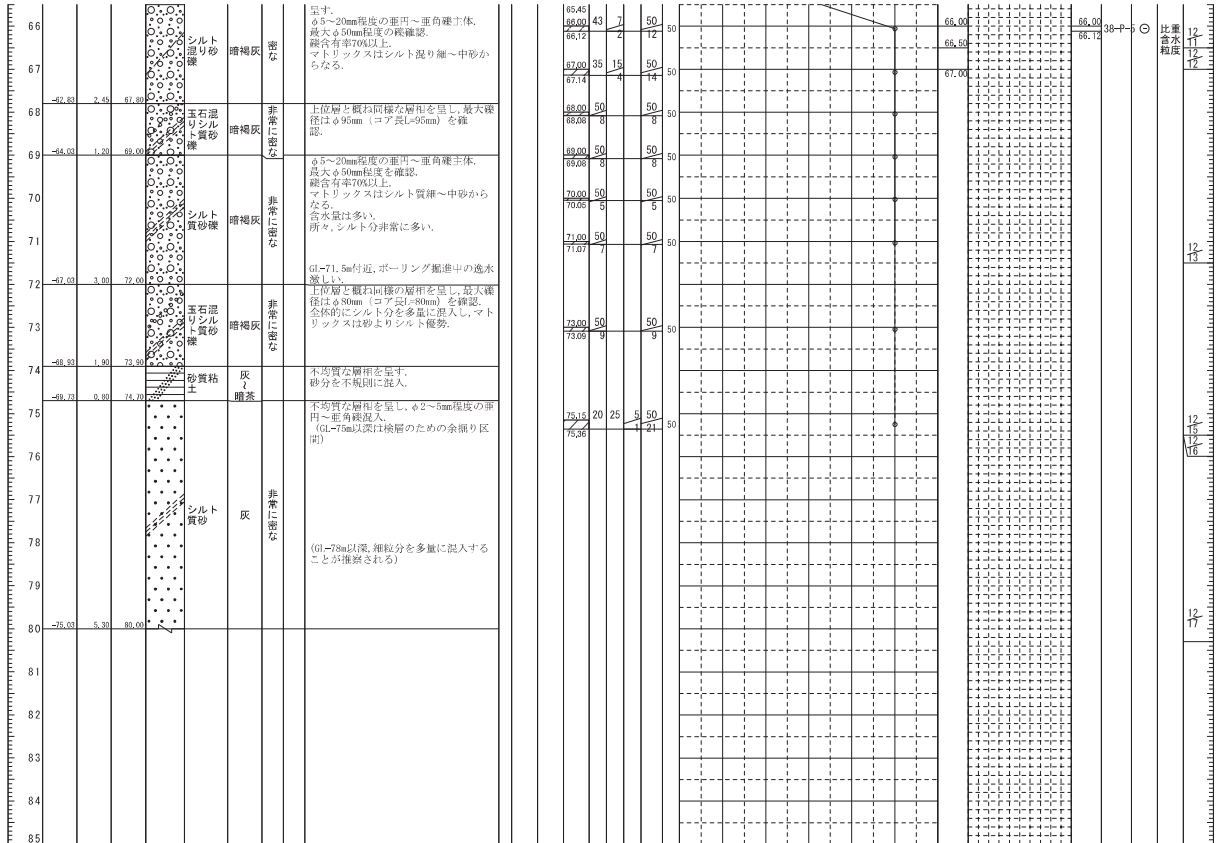
シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯	
発注機関	調査期間				東経	
調査業者名	主任技師		現代	場人	コ	ア
孔口標高	T P 4.97m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配
総掘進長	80.00m	度	0°	向	0°	使用機種
						試錐機
						エンジン
						ハンマー 落下用具
						ポンプ
						ボーリング責任者





(JR-70)



(注) 1. 試料採取方法の記号

- Ⓓ シンワールサンプラーによる試料
- Ⓔ デニソンサンプラーによる試料
- Ⓕ 貫入試験器による試料
- Ⓖ サンドサンプラーによる試料
- Ⓒ コア試料
- Ⓖ コアパックによる試料
- Ⓓ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓖ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓖ サスペンション検層
- Ⓒ キャリバー検層
- Ⓔ 密度検層
- Ⓔ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

(JR-70)

ボーリング柱状図

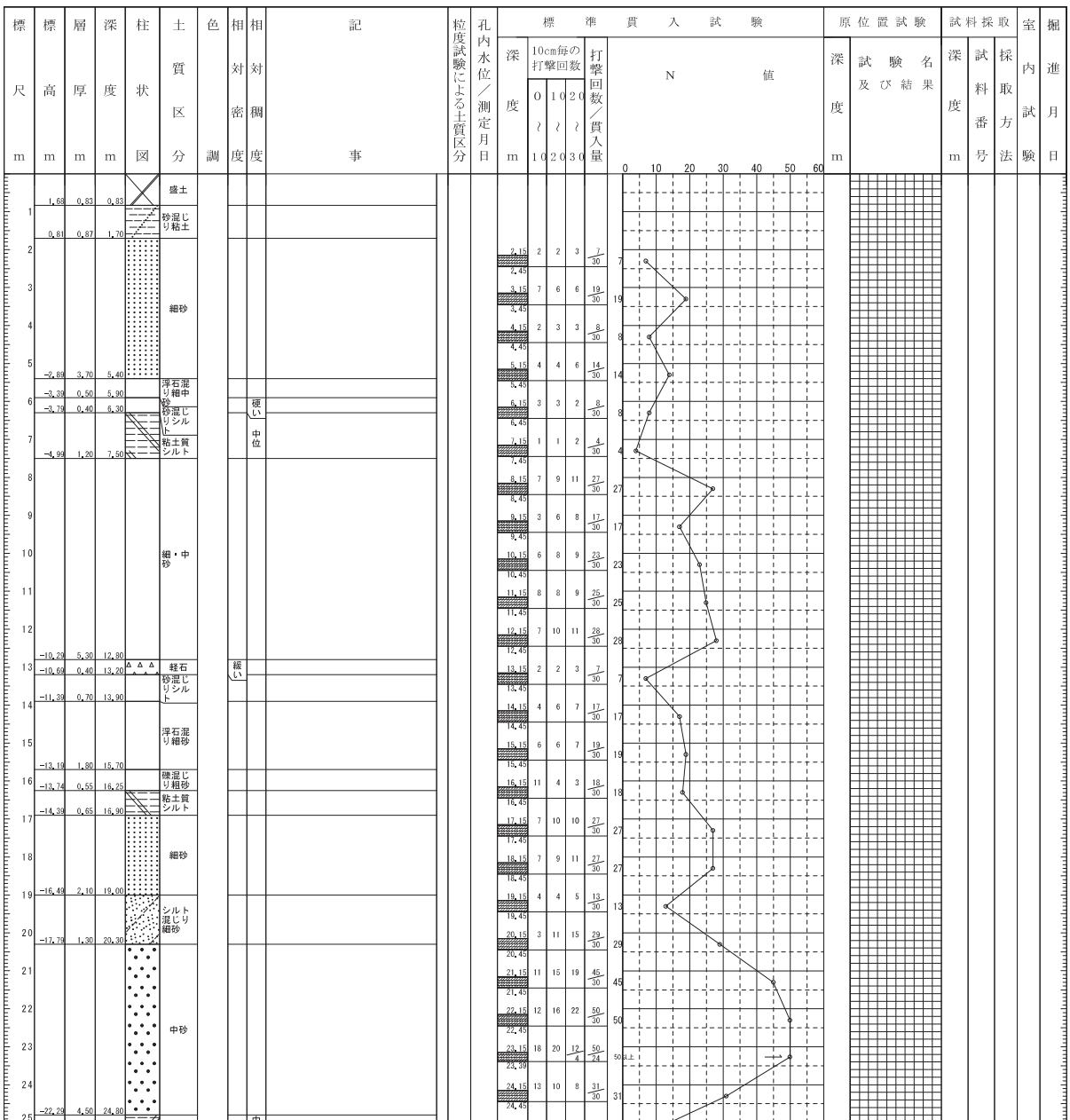
調査名

事業・工事名

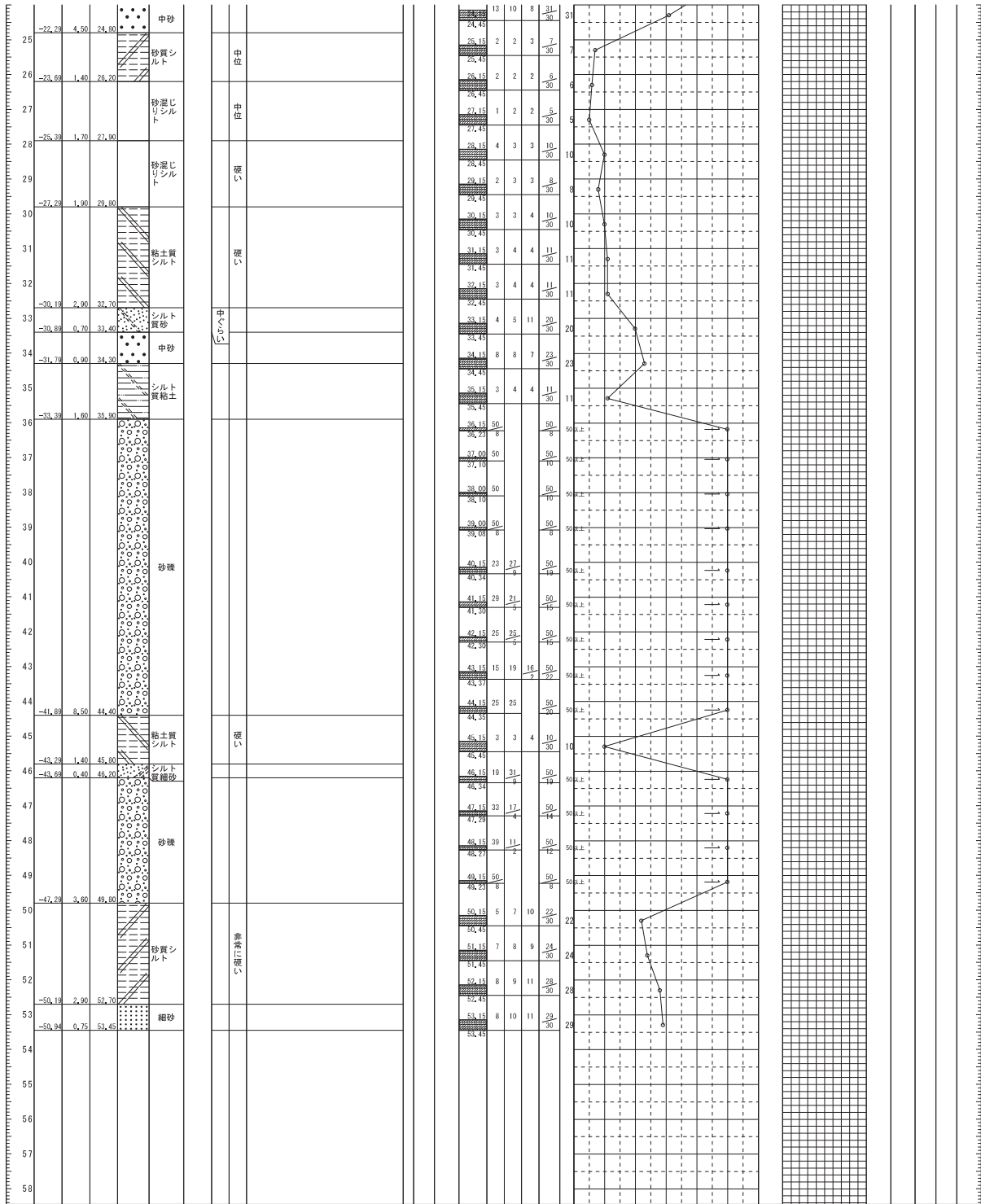
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯				
発注機関	調査期間				東経				
調査業者名	主任技師			現代場人		コ掘定者		ボーリング責任者	
孔口標高	2.51m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 西 90° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	ハンマ落 下用具 ポンプ
総掘進長	53.45m	度		向				エンジン	



(参考70-1)



ボーリング柱状図

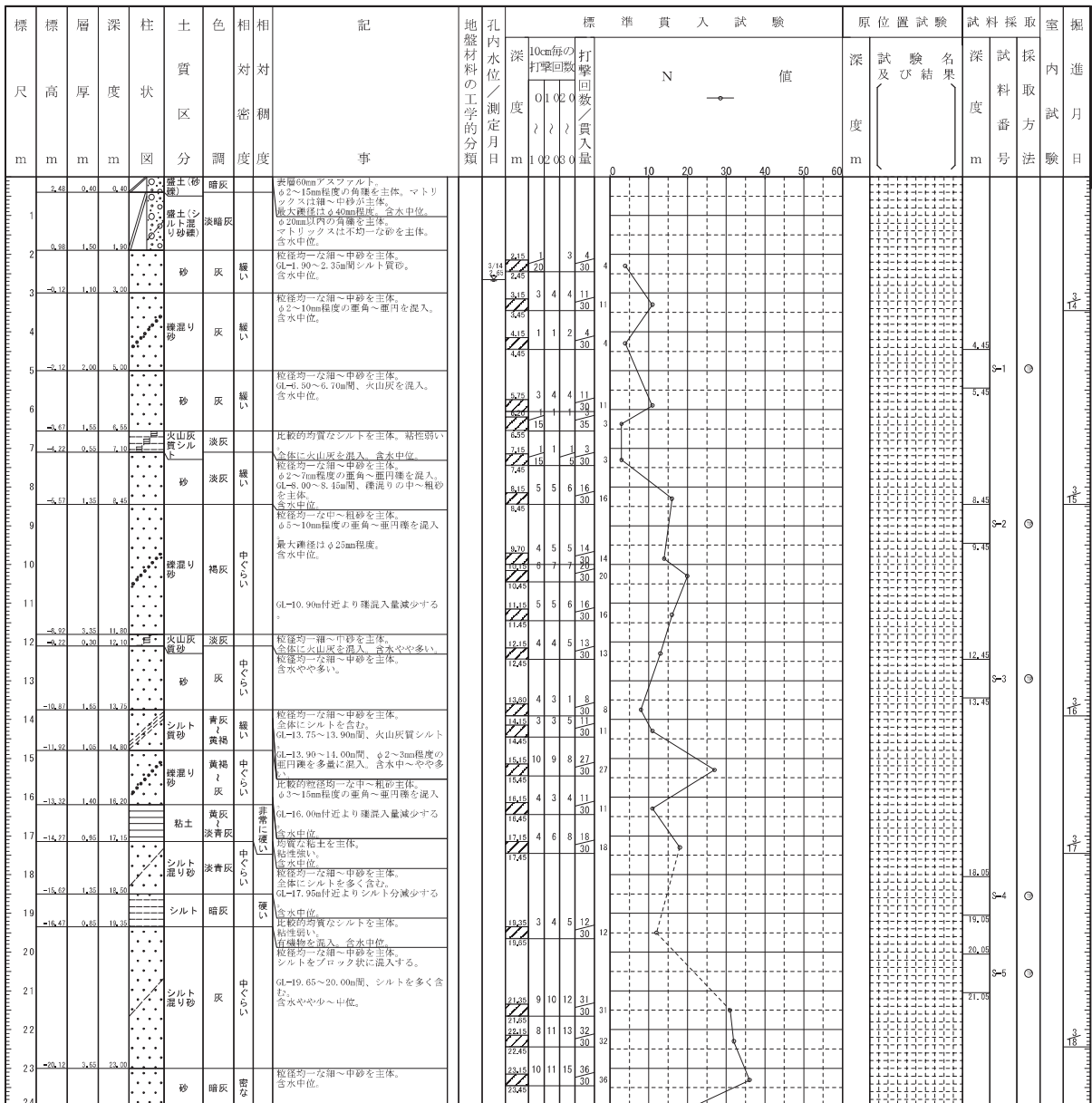
調査名

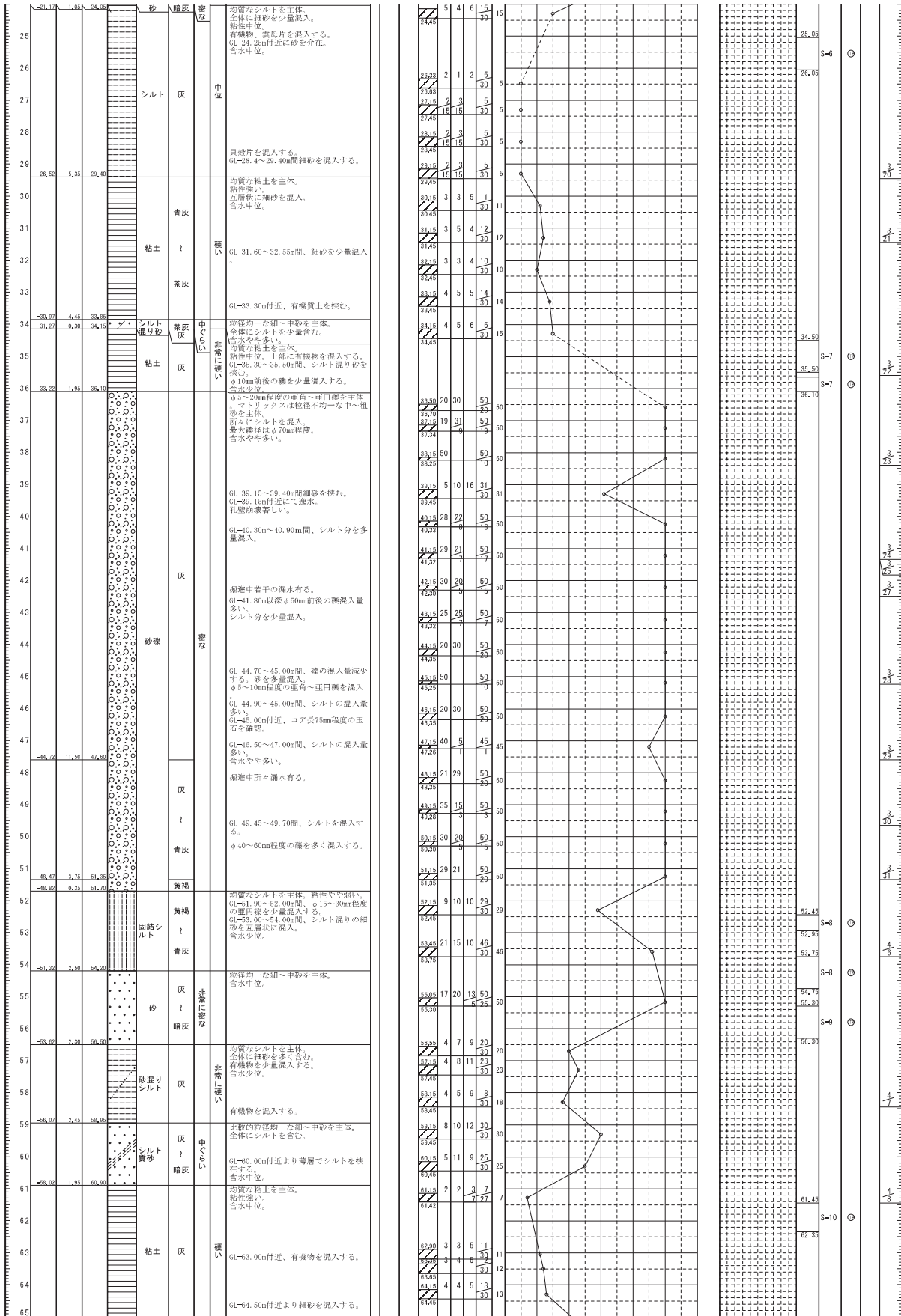
事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

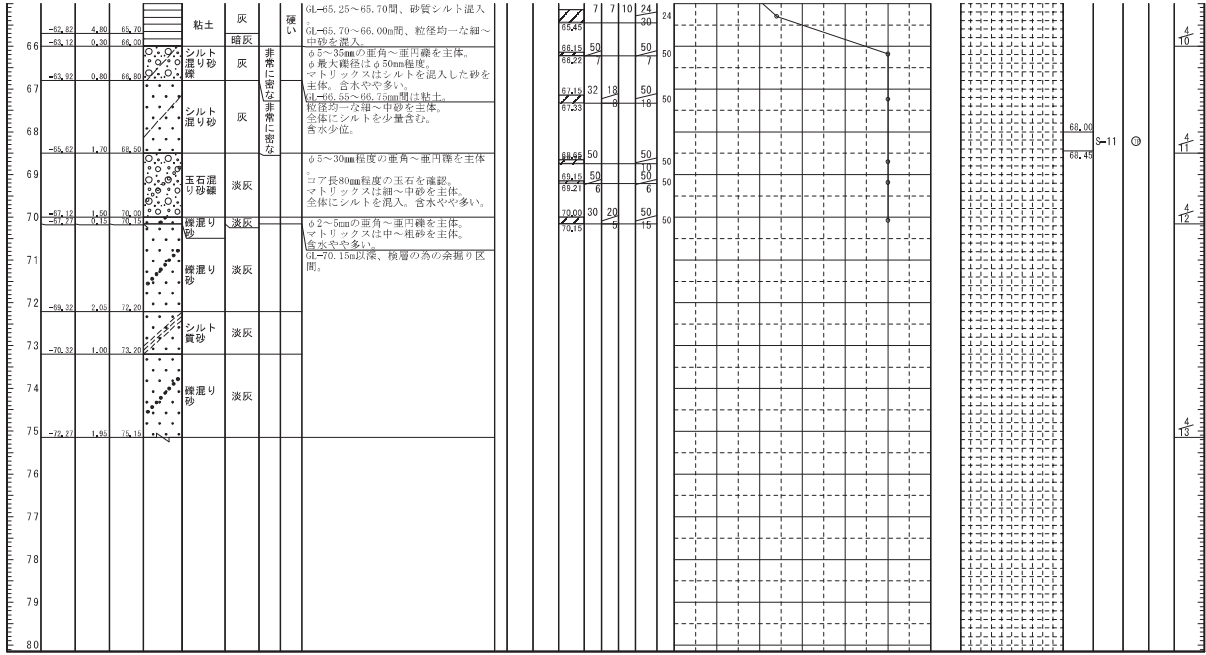
ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師	現代理人	場	コ	ア
孔口標高	角	方	地盤勾配	使用機種	ボーリング責任者
総掘進長	度	向	配	種	
TP 2.88m	180° 上 90° 下 0°	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	約 水平 0° 鉛 直 90°	試錐機 エンジン	ハンマー 落下用具 ポンプ







(JR-71)

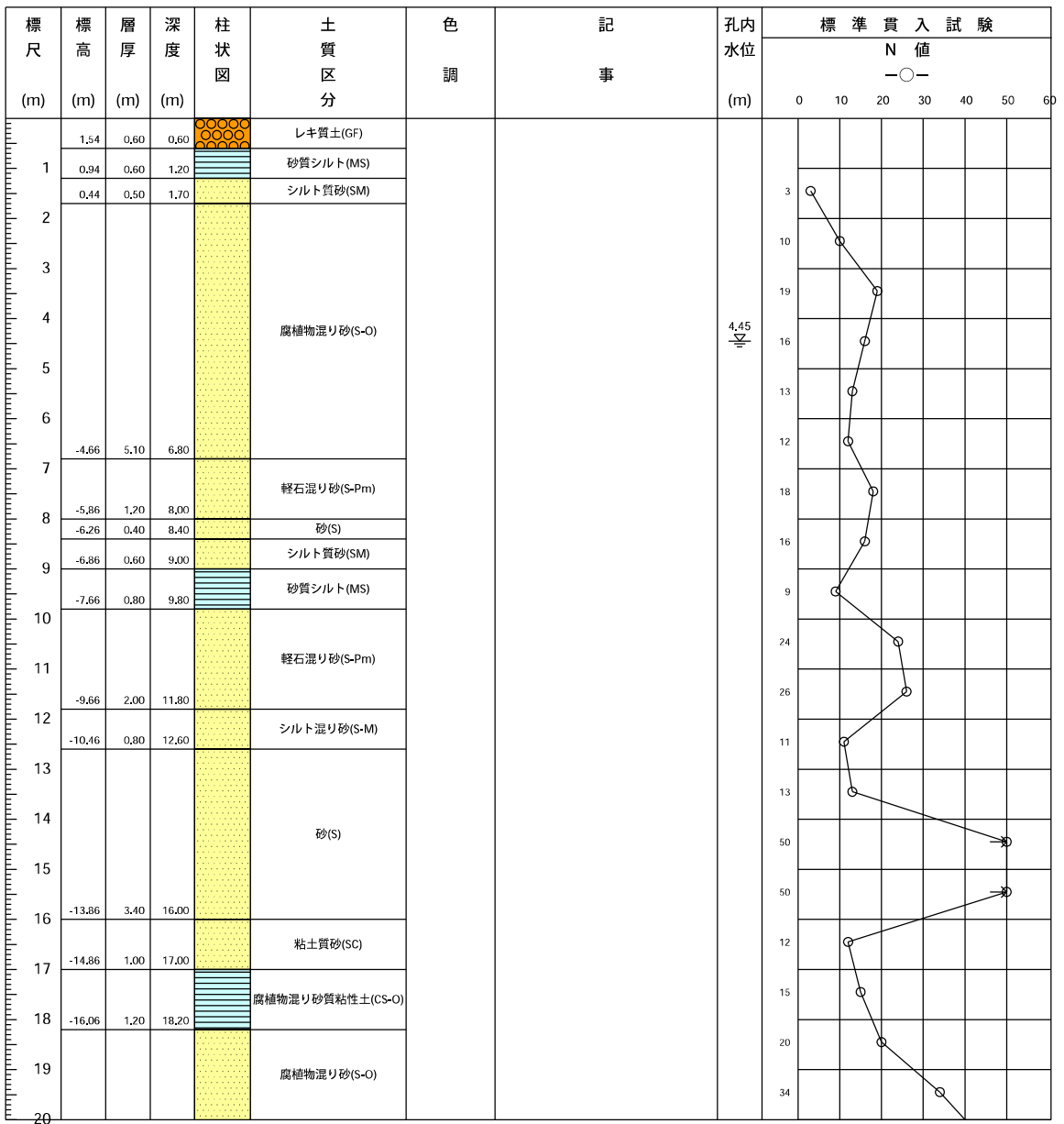


( JR-71 )

(参考71-1)

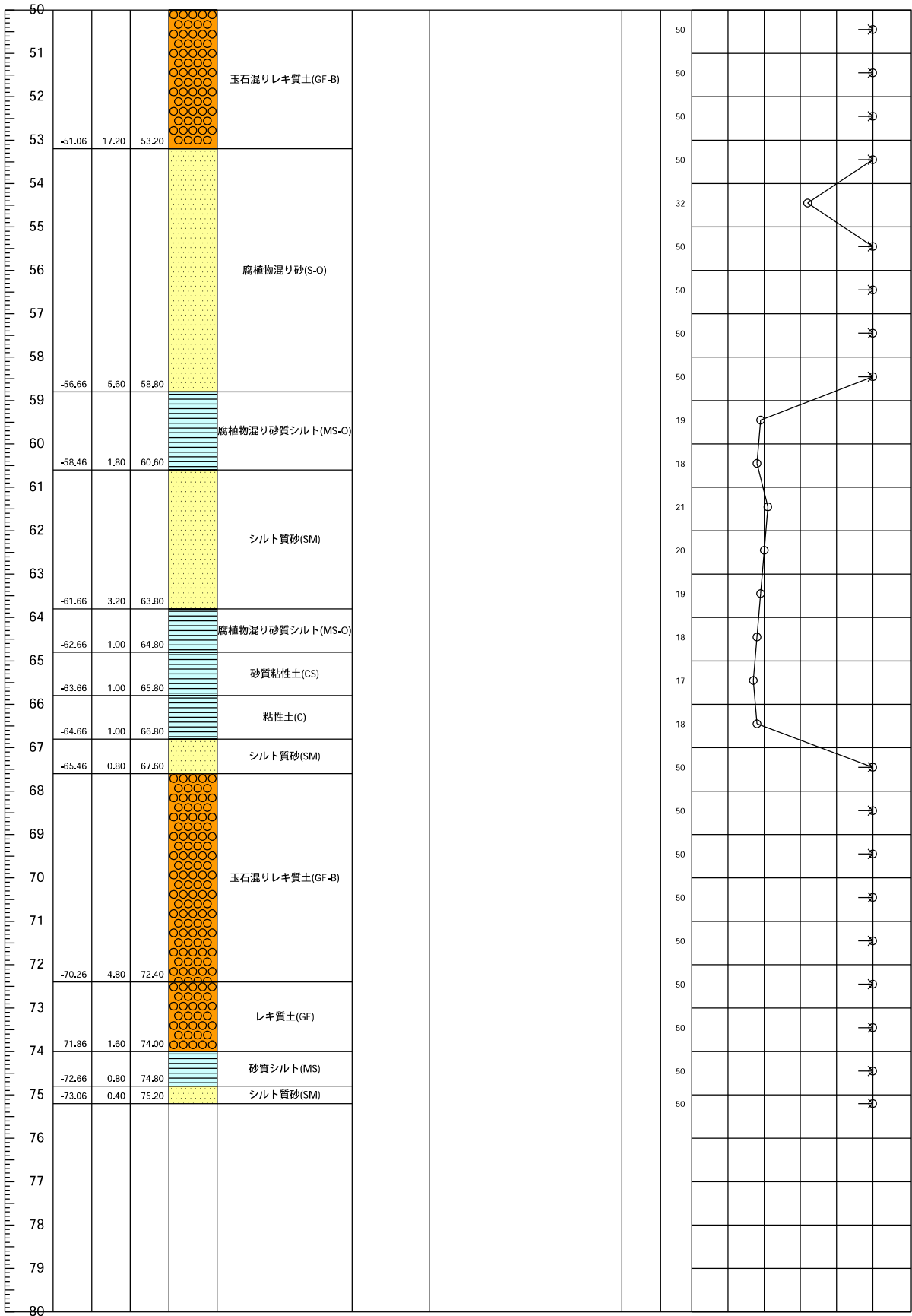
# ボーリング柱状図 参考71-1

ボーリングID	出典
調査名	
事業・工事名	
調査位置	
北緯	東経
調査期間	
孔口標高	T.P. 2.14 m
総掘進長	75.2 m





(参考71-1)



(参考71-1)

ボーリング柱状図

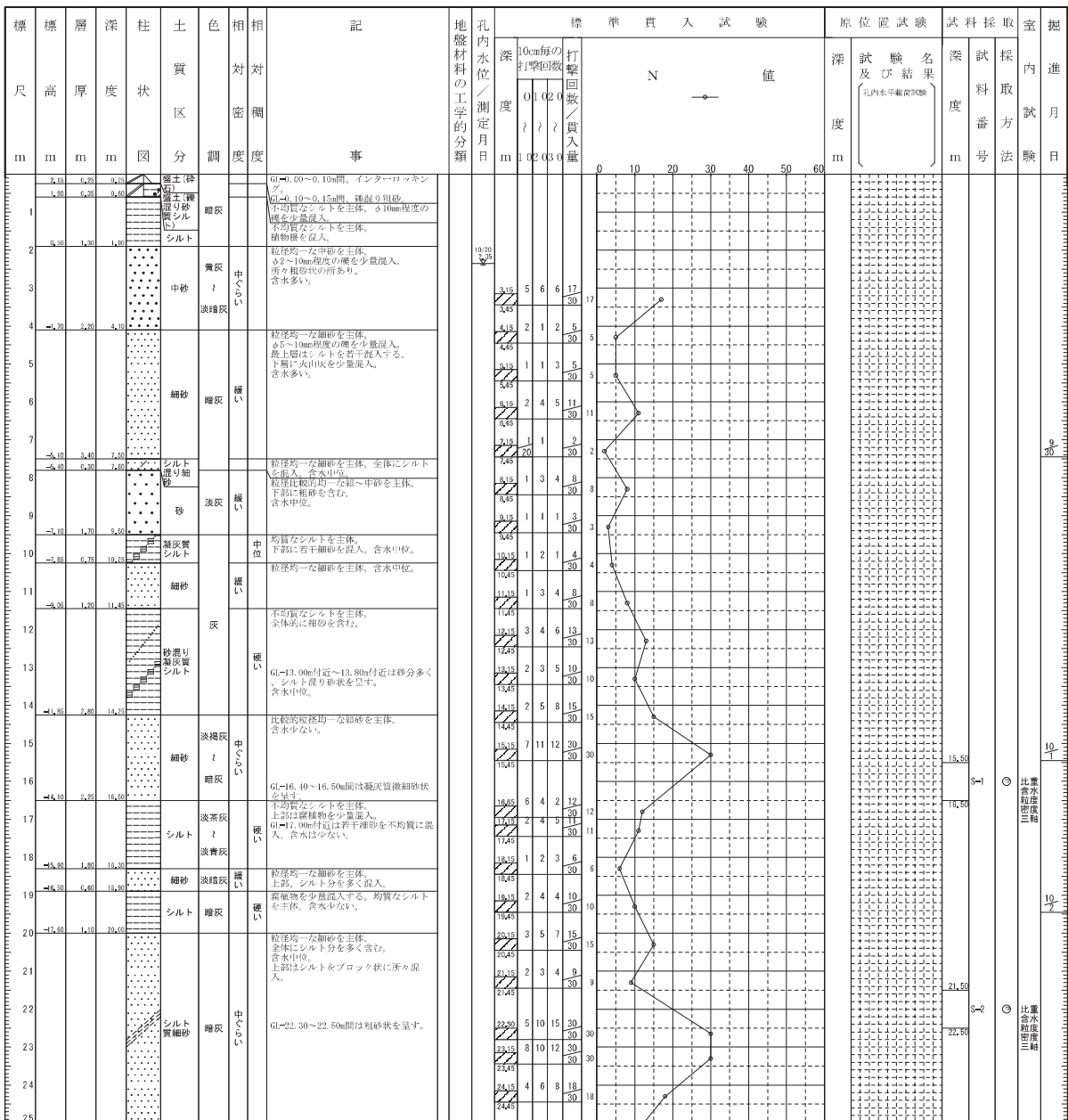
調査名

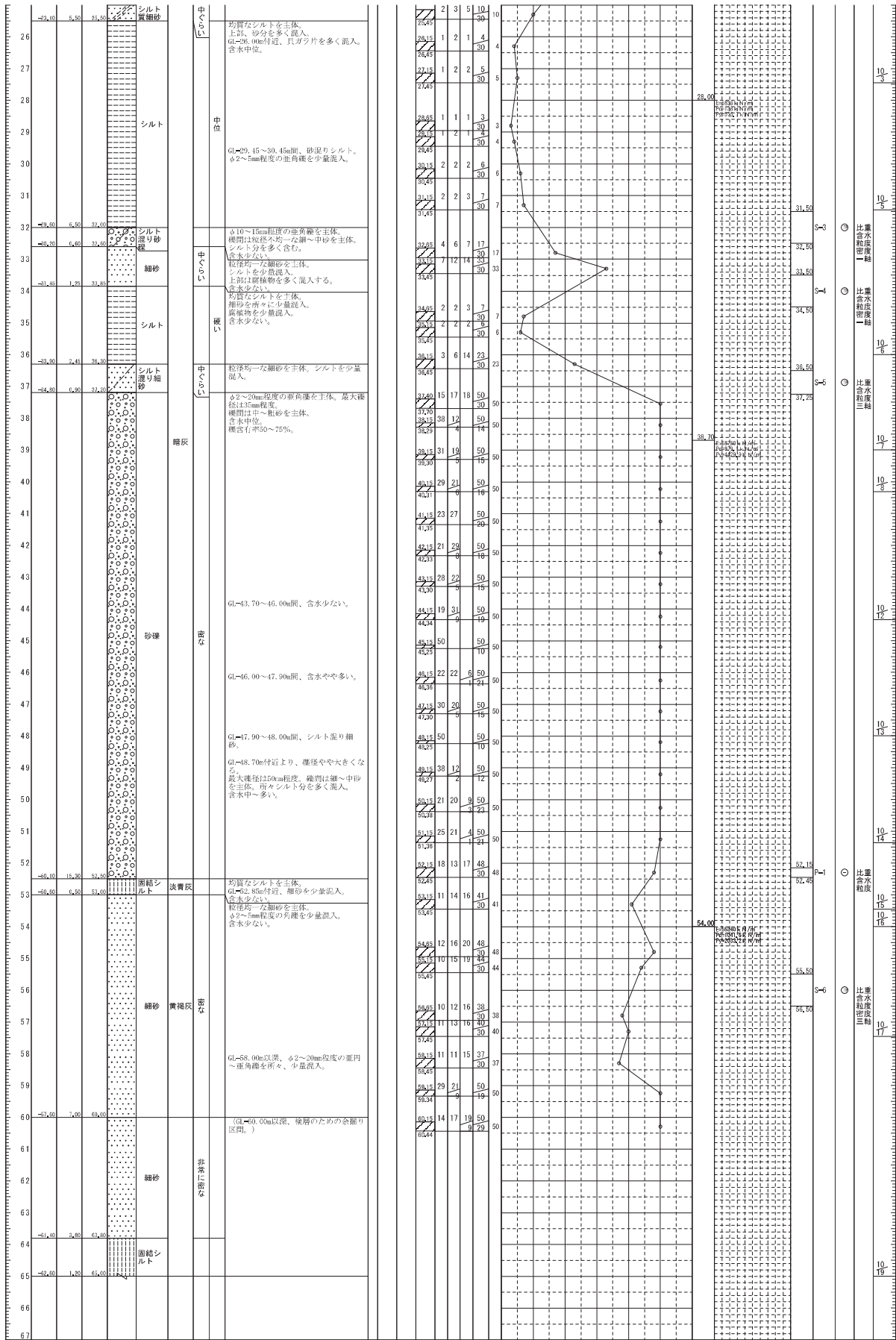
事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

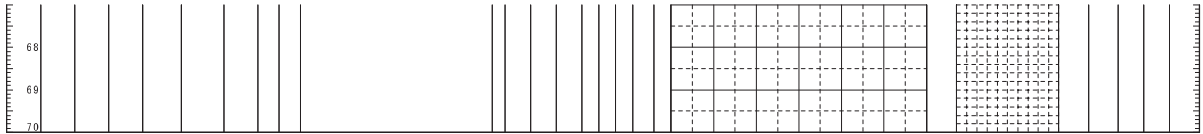
ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現代理人	コ定者	ボーリング責任者
孔口標高 TP 2.40m 総掘進長 65.00m	角 180° 0' 0" 上 90° 0' 0" 下 0° 0' 0"	方 北 0° 0' 0" 90° 東 180° 南 西	地盤勾配 水平 0° 0' 0" 垂直 90°	使用機種 エンジン ハンマー ポンプ







( JR-72 )



(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20
3.70

3.20—3.70は試料採取深度(m)

3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ ガスベリシオンPS検層
- ⑫ キャリハート検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

( JR-72 )

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師	現代場	コア	ア	ボーリング責任者
孔口標高	H=2.198m	角	180° 上 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90°
総掘進長	75.15m	度	90°	地盤勾配	鉛直 90°
使用機種	試錐機	ハンマー	落下用具		
エンジン		ポンプ			

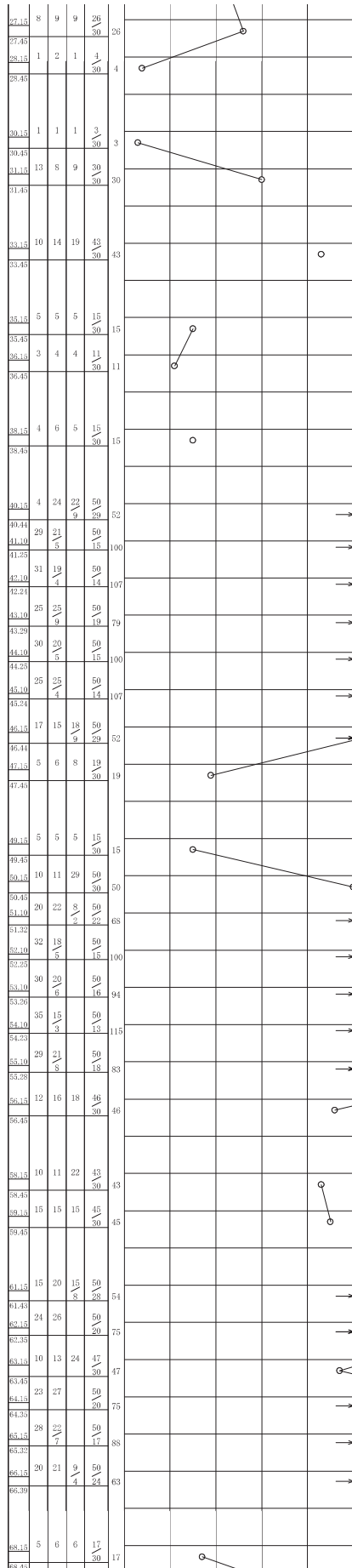
標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対含水量	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深さ (m)	試験名 および結果	試料採取 深さ (m)	採取方法	室内試験 採取方法	掘進 月日			
									深さ (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20	30	
1			盛土 (流石)	暗黄緑			上部3mアスファルト、以下GL-0.3m砂、不均一な砂主体。φ150~200mm程度の貫入、鉄筋・コンクリートガラを混入。マトリックスは粘土混ざり細砂主体。	人工地盤	2.15	1/15	1/15	3/30										
2	0.05	2.15							2.45													
3			シルト混じり砂	暗灰			全体にシルト分混入し、砂は中~粗砂。上部2~5mm程の礫を少量混入する。φ4~5mm程度の礫をブロック状に混入する。全体に不均一。		3.15	2	3	2	7/30									
4	-1.40	1.45					砂は中砂。局部的にシルトをブロック状に少量混入する。全体に不均一な砂主体。ハイブリット中に中砂を混入。シルト部は粗砂混じり状。局部的に中~粗砂を混入する。φ4~5mm程度の礫を混入する。	南陽層	4.15	1	1	3/14	4/34									
5	-2.80	0.95					砂は中砂。局部的にシルトをブロック状に少量混入する。全体に不均一な砂主体。ハイブリット中に中砂を混入。シルト部は粗砂混じり状。局部的に中~粗砂を混入する。φ4~5mm程度の礫を混入する。		4.90						5.00							
6	-4.50	1.70					砂は中砂主体。下部φ10mm程の浮石点存在。所々で浮石を混入する。		5.65						5.65							
7	-5.00	0.40					φ5mm~15mm程の浮石、多量混入。砂は中砂主体。		6.15	5	5	6	18/30									
8	-5.00	0.70					中砂主体、浮石を混入する。		7.45						7.45							
9	-6.20	0.60					不均一なシルト主体。細砂分を少量混入。粘性中位。		8.65	13	15	18	45/30									
10			中砂	黄灰緑~黄灰			砂は中砂主体で上部黄灰色を呈す。φ2mm程の礫を少量混入。全体に密実。		9.50						9.50							
11	-8.00	2.40					GL-9.20mで5cm程シルト分を挟む。所々でφ2~3mm程の礫点存在。やや粗粒の物を混入する。含水量多。		11.15	8	8	8	24/30									
12			礫混じり砂	黄灰			砂は中~粗砂。φ5~15mm(max. 30mm)程度の礫を混入。含水量多い。掘進中、局部的に礫音多。		11.45													
13							GL-12.70m付近、ブロック状にシルト混入。ややルーズな所あり。		12.15	7	9	10	25/30									
14	-12.10	3.50							12.45													
15			浮石混じり砂	暗灰			砂は中砂主体。φ2mm~5mm程の礫を少量混入。浮石φ5~20mm、局部的に密集する。		13.15	9	9	12	30/30									
16	-13.60	1.55							13.45													
17	-14.45	0.85					砂は中~粗砂。φ5~20mm程の礫混入。部分的に礫密集。下部、浮石混入。		14.15	8	8	6	22/30									
18	-15.40	0.95					砂は中~粗砂。粒子やや不均一。φ5~20mm程度の浮石混入。局部的に浮石密集。やや礫音がな。		16.75													
19	-16.40	1.00					比較的均一な粘土主体。火山灰質。粘性やや強く砂り。		17.50													
20	-16.70	0.30					砂は中細砂。全体にシルト混入。		18.05													
21	-17.70	1.00					砂は中細砂。色調はやや不均一。		18.25													
22	-18.85	1.15					比較的均一なシルト。若干の細砂分混入。粘滞中。比較的均一である。		20.20	2	2	2	5/30									
23			細砂	暗灰			上部若干シルト分混入。砂の粒子は均一な細砂。所々で少量の礫混入。雲母片、少量混入。下部シルト分局部的に混入。		20.50													
24									21.65	11	14	15	40/30									
25									21.95													
26	-23.80	4.95							23.15	10	15	19	44/30									
27			シルト混じり砂	暗灰			全体的にシルト分を混入する。礫物、所々で少量混入。砂は比較的均一な細砂主体。		23.45													
									24.15	8	9	9	25/30									
									27.45													

27	-25.60	1.80	27.80	シルト混じり細砂	暗灰	ぐらいい	上部にシルト分を混入する。腐植物、所々に少量混入。砂は比較的一様な細砂主体。
28				シルト	暗灰	硬いかい	上部若干の細砂分混入。全体に比較的一様な粘性中、つぶ状の貝殻片混入。GI=30mでは貝殻片、多量混入。下部砂分混じる。
29							
30							
31	-28.70	3.10	30.50	雑混じり砂	暗灰	密な	貝殻片混入し砂は中砂。含水やや多くφ2~5mm(max. 10mm)程度の礫混入。
32	-30.00	1.30	32.20	雑混じり砂質シルト	暗灰	密な	シルト主体、不均一な礫混り細中砂をブロック状に混入。φ5~10mm(max. 30mm)程度の歪角礫混入。貝ガラ片を混入。
33	-31.30	1.30	33.50	砂質シルト	暗灰		全体に細砂を混入する。粘付は中位。含水少なめ。全体に比較的一様な。
34	-32.80	1.50	35.00	シルト	淡青灰	硬いかい	若干の細砂を混入する。含水少なめ。やや固結状である。所々にレイプ状に細砂を挟む。
35							
36	-34.70	1.90	36.90	シルト	淡青灰	中ぐらいい	腐植物混入し砂は中~細砂。上部やや粒子不均一でシルト分不均一に混入する。下部シルト分やや多い。
37	-36.15	1.45	38.35	シルト質砂	暗灰	中ぐらいい	
38	-37.10	0.95	39.30	シルト	暗黄灰	固結した	全体に不均一、中砂を混入し礫部分的に多く混入する。
39	-38.15	1.05	40.30	雑混じり砂質シルト	暗黄灰	固結した	
40							
41	-41.40	3.25	43.65	砂	灰	非常に密な	砂は中~粗砂主体。φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。全体に密である。含水やや多い。GI=42~43m、若干泥透水みられた。GI=43m、300L~400L泥透水する。砂は粗砂主体。含水やや多い。
42	-41.70	0.30	43.95	粘土質砂	青灰	非常に密な	粘土主体でφ5mm~3mm程度の礫を混入する。
43							
44	-44.90	3.20	47.10	砂	淡灰	非常に密な	砂は粗砂主体。φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。GI=45.00~46m間で粘土分混入する。GI=46mより泥透水著しい。500L程度。礫はφ10~MAX60mm。
45							
46							
47	-47.80	2.90	50.00	シルト	黄褐色	非常に硬い	上部色調不均一。若干の細砂分混入し、やや固結状。中層は青灰色で比較的一様な粘性中位。下部やや砂分混入。やや黄褐色混じる。
48	-48.30	0.50	50.50	砂質シルト	緑灰	固結した	固結状。下部に向かって砂草越す。
49							
50	-53.85	5.53	56.00	砂	黄褐色	密な	上部φ2mm程度の細礫混在。砂は中砂主体。含水中位。GI=57mよりサンプリング中、所々に雑音を確認する。
51	-56.30	2.45	58.50	雑混じり砂	暗灰	密な / 非常に密な	不均一な中~粗砂主体。φ2~5mm(max. 15mm)程度の礫を混入する。含水やや多め。礫の混入は不均一である。
52							
53							
54	-59.30	3.00	61.50	中砂	暗灰	非常に密な	少量の礫φ2mm~3mm程度の物を点在。砂は中砂。含水中位。細粒中、雑音まばらに確認する。下部では礫の混入なくなり砂は比較的一様な中砂となる。比較的一様な中砂である。含水中位。
55							
56	-64.20	4.90	66.40	シルト	緑灰	硬いかい	上部、緑灰色。細砂少量混入する。15cm程度、以深比較的一様な。少量ブロック状に砂混入。腐植物少量混入。含水少ない。
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							

熱田層下部

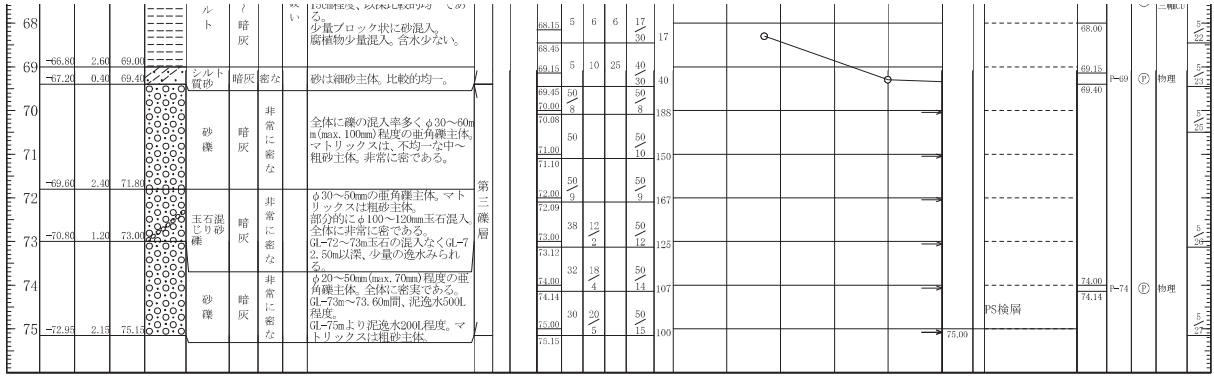
第二礫層

海部層



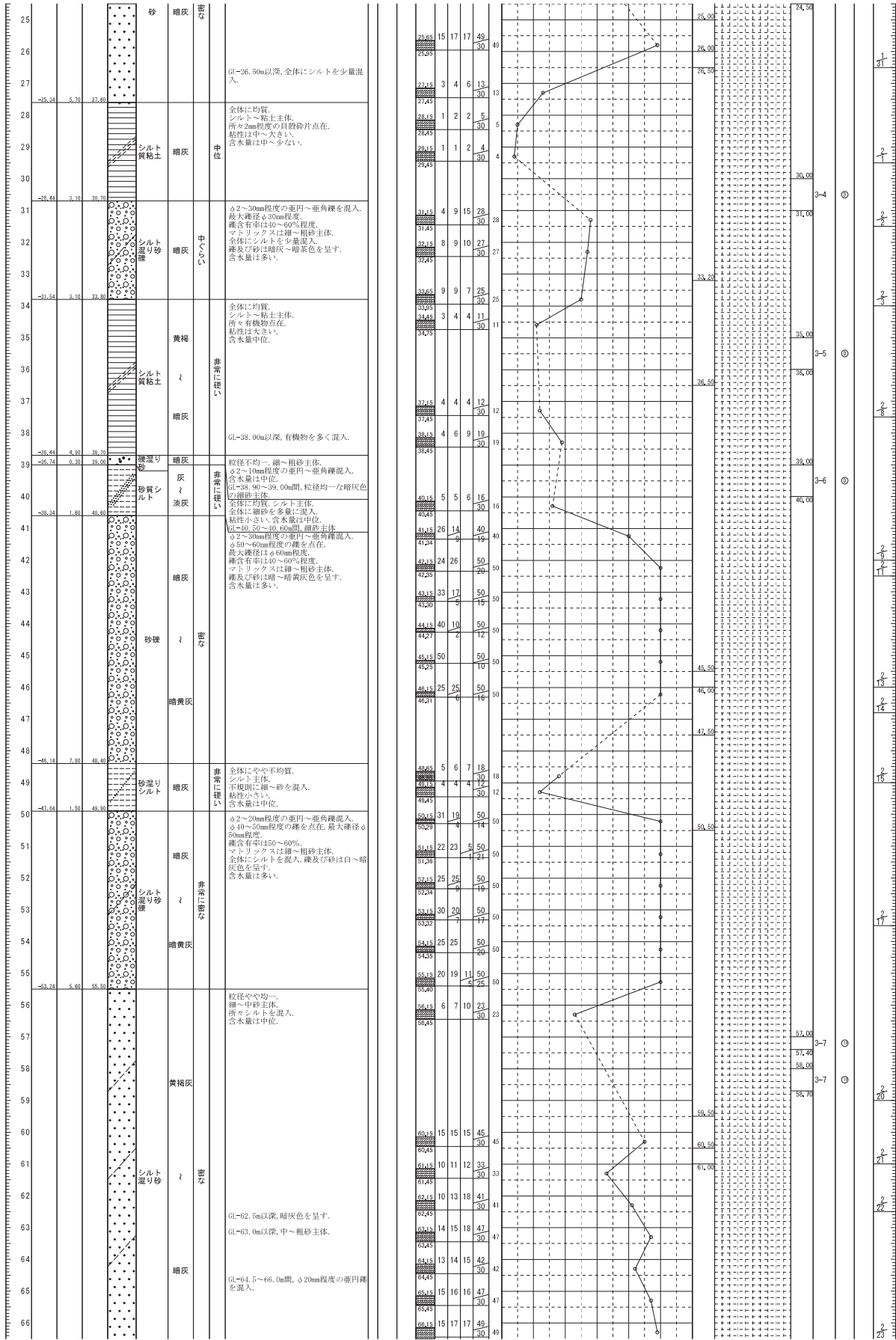
27	27.45	8	9	9	26	30	28
28	27.45	1	2	1	4	30	4
29	28.45						
30	30.15	1	1	1	3	30	3
31	30.45						
32	31.15	13	8	9	30	30	30
33	31.45						
34	33.15	10	14	19	43	30	43
35	33.45						
36	35.15	5	5	5	15	30	15
37	35.45	3	4	4	11	30	11
38	36.15						
39	38.15	4	6	6	15	30	15
40	40.15	4	24	23	50	29	52
41	40.44	29	21	5	50	15	100
42	41.05	31	19	4	50	14	107
43	42.21	25	25	9	50	19	79
44	43.29	30	20	5	50	15	100
45	44.40	25	25	4	50	14	107
46	45.24	17	15	18	50	29	52
47	46.41	5	6	8	19	30	19
48	47.15						
49	49.15	5	5	5	15	30	15
50	49.45						
51	50.15	10	11	29	50	30	50
52	50.45	20	22	8	50	22	68
53	51.10	32	18	5	50	15	100
54	52.40	30	20	6	50	16	94
55	53.20	35	15	3	50	13	115
56	54.10	29	21	5	50	18	83
57	55.28	12	16	18	46	30	46
58	56.45						
59	58.15	10	11	22	43	30	43
60	58.45	15	15	15	45	30	45
61	59.15						
62	61.15	15	20	15	50	28	54
63	62.15	24	26	50			75
64	63.35	10	13	24	47	30	47
65	64.15	23	27	50			75
66	65.15	28	22	7	50	17	88
67	66.15	20	21	9	50	24	63
68	66.30						
	68.43	5	6	6	17	30	17

(JR-73)

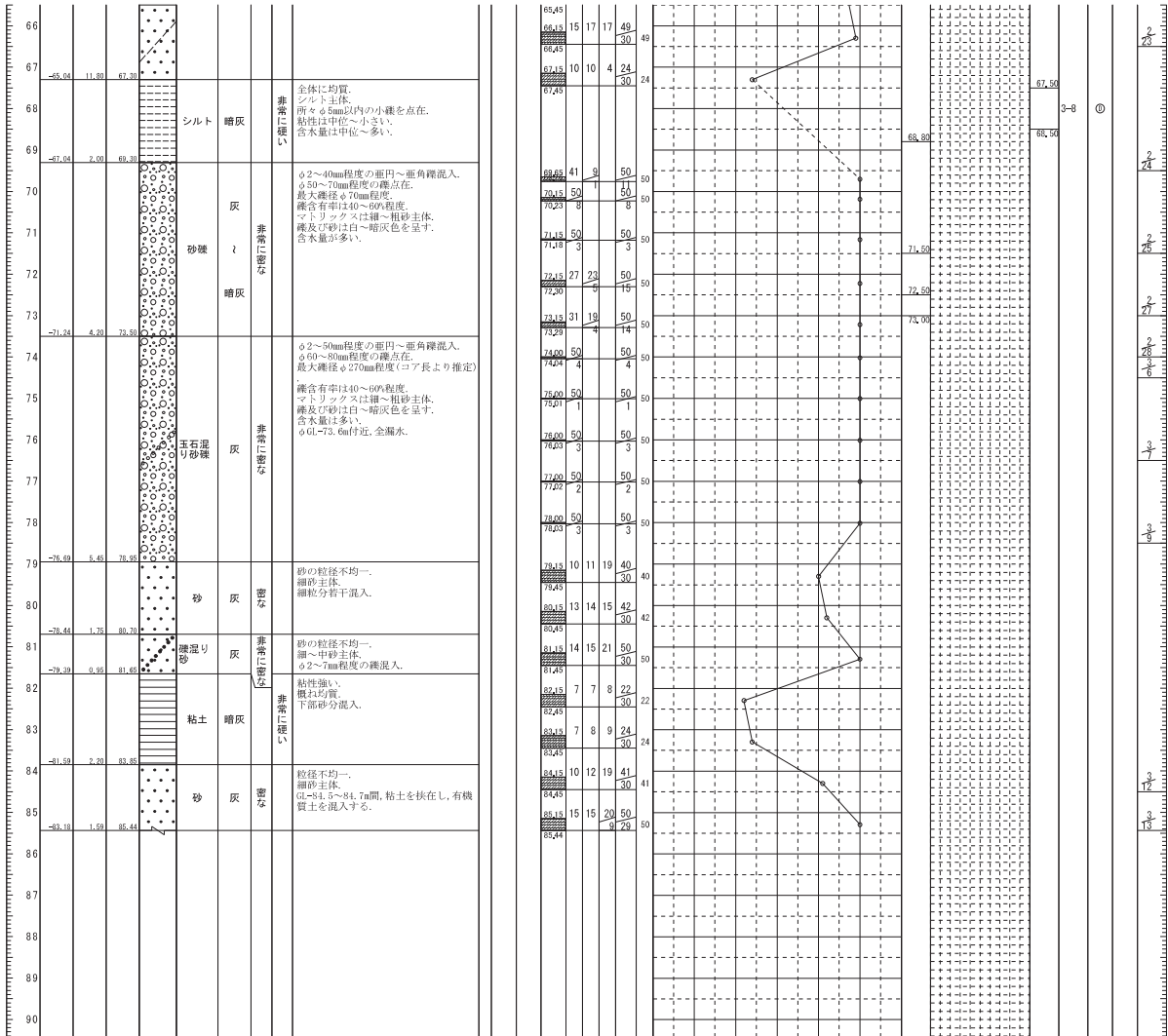


(JR-73)









(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ サクソソフンPS検層
- ⑫ キャリパー検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

( JR-74 )

ボーリング柱状図

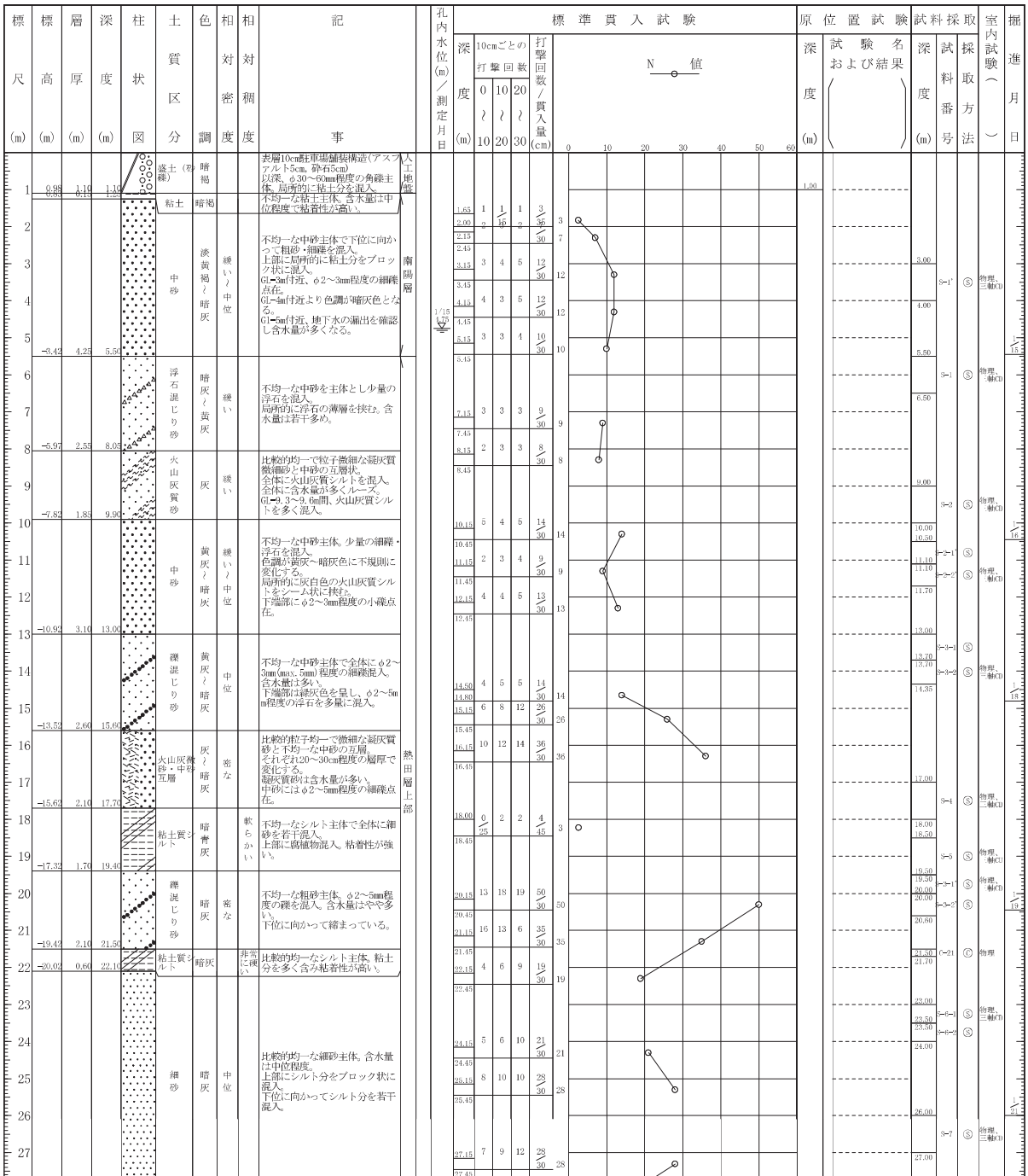
調査名

ボーリングNo											
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置										北緯
発注機関	調査期間										東経
調査業者名	主任技師					現代人	コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	TP +2.08m	角	180° 上 90°	方	北 0° 270° 東 90° 西 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	ハンマー 落下用具	
総掘進長	84.00m	度		向					エンジン	ポンプ	

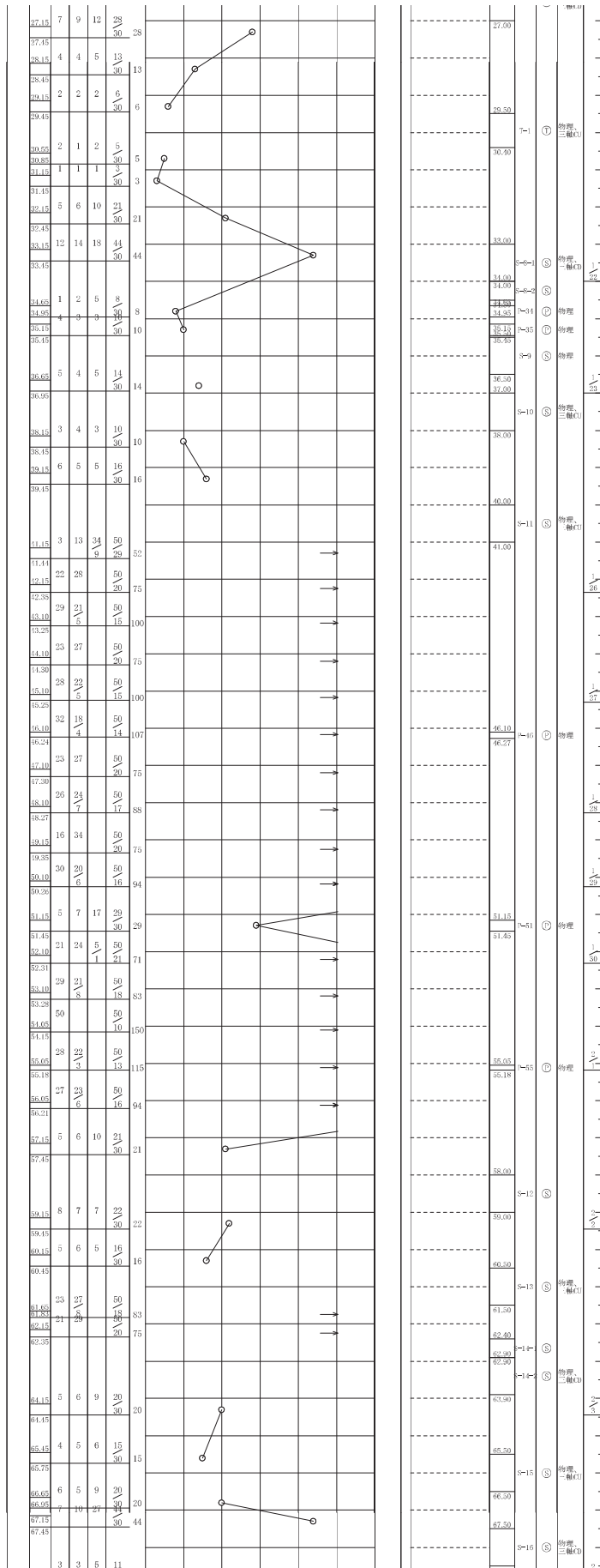


27	-25.83	5.88	27.30	シルト質 細砂	暗灰	中位	不均一な細砂主体で全体にシルト分を混入。
28	-26.42	0.60	28.30	シルト質 砂	暗灰		不均一なシルト主体で粘着性が高い。全体に細砂を混入。
29	-26.92	0.50	29.00	シルト	暗灰	散らかい 中位	不均一なシルト主体。下位に向かって若干均一となる。貝殻片を混入し、局所的に多量に混入。上下部付近で細砂を不規則に混入。
30				シルト	暗灰		
31				シルト	暗灰		
32	-30.02	3.10	32.10	シルト質 細砂	暗灰	中位	不均一な中～粗砂主体。貝殻片・貝殻片を混入し、局所的に多量に混入。含水層は少ない。
33	-31.12	1.10	33.30	雑混じり 砂	暗灰		不均一な中～粗砂主体。 φ2~5mm (max. 10mm) 程度の礫を混入し局所的に多量混入。含水層は多い。
34	-32.83	0.60	34.20	シルト	暗青	中位	不均一なシルト主体。細砂・腐植物を若干混入。
35	-32.83	0.60	34.20	シルト	暗青	中位	不均一なシルト主体。シルトの薄層を互層状に挟む。腐植物を少量混入。局所的にシルト分が卓越し、砂質シルト状を呈す。
36	-33.72	0.90	35.80	シルト質 細砂	暗灰	硬い	
37				シルト	暗灰	硬い	
38				シルト	暗灰	硬い	
39				シルト	暗青	硬い	
40				シルト	暗青	硬い	
41	-39.32	5.60	41.40	砂	暗灰	非常に密な	比較的一なシルト主体で粘土分を含み粘着性が高い。局所的に細砂をシーム状・互層状に挟む。中間部で砂の混入が若干多くなる。局所的に腐植物を多量に混入して暗褐色を呈す。
42				砂	暗灰	非常に密な	
43				砂	暗灰	非常に密な	
44				砂	暗灰	非常に密な	
45				砂	暗灰	非常に密な	
46				砂	暗灰	非常に密な	
47				砂	暗灰	非常に密な	
48				砂	暗灰	非常に密な	
49	-46.72	7.40	48.20	粘土質 砂	灰	非常に密な	φ5~30mm (max. 60mm) 程度の礫主体。下位に向かって礫径が大きくなる。マトリックスは不均一な中～粗砂主体。全体に良く混入している。含水層は中位程度。GI=44.7m付近、30cm程度の層厚でシルト分を多く混入。上部で若干の透水発生。GI=47.5m付近、100L程度の透水発生。GI=48.0~48.8m間、透水著しい(250~300L)。
50	-47.12	0.40	49.20	砂	灰	非常に密な	φ10~30mm (max. 60mm) 程度の礫主体。全体に粘土分を混入。
51	-48.77	1.65	50.20	砂	灰	非常に密な	φ10~50mm (max. 70mm) 程度の礫主体。マトリックスは不均一な中～粗砂主体。全体に透水が見られ、局所的に100L程度の透水。
52	-49.53	0.75	51.60	シルト質 細砂	青灰	中位	不均一な中砂主体で全体にシルト分を混入。下部は砂が卓越する。
53				砂	灰	非常に密な	
54				砂	灰	非常に密な	
55				砂	灰	非常に密な	
56				砂	灰	非常に密な	
57	-54.77	5.25	56.20	シルト	青灰	非常に硬い	不均一なシルト主体で固結化が進行。上部は緑灰色を呈す。下部にφ2mm程度の細砂層を挟む。
58	-55.32	0.55	57.40	シルト	青灰	非常に硬い	
59				砂質 シルト	暗青	非常に硬い	不均一なシルト主体で固結化が進行。細砂の薄層を互層状に挟む。GI=59.0m以降、砂分の混入は少ない。粘着性は中位程度。
60				砂質 シルト	暗青	非常に硬い	
61	-59.42	4.10	61.50	シルト	暗灰	非常に密な	不均一な中砂主体。全体にシルト分を混入する。不規則に腐植物・貝殻片を混入する。含水層は中位程度。上部は細砂が卓越する。下部はシルト分を多く混入する。
62				シルト 混じり 細砂	暗灰	非常に密な	
63				砂 混じり シルト	暗灰	非常に硬い	
64	-61.82	2.40	63.80	砂 混じり シルト	暗灰	非常に硬い	
65				砂 混じり シルト	暗灰	非常に硬い	
66				砂 混じり シルト	暗灰	非常に硬い	
67	-64.92	3.10	67.00	細砂	暗灰	非常に密な	不均一な細砂主体。下部で不規則にシルト分を少量混入する。含水層は少ない。
68	-66.42	1.50	68.50	細砂	暗灰	非常に密な	

熱田層下部

第二礫層

海部累層

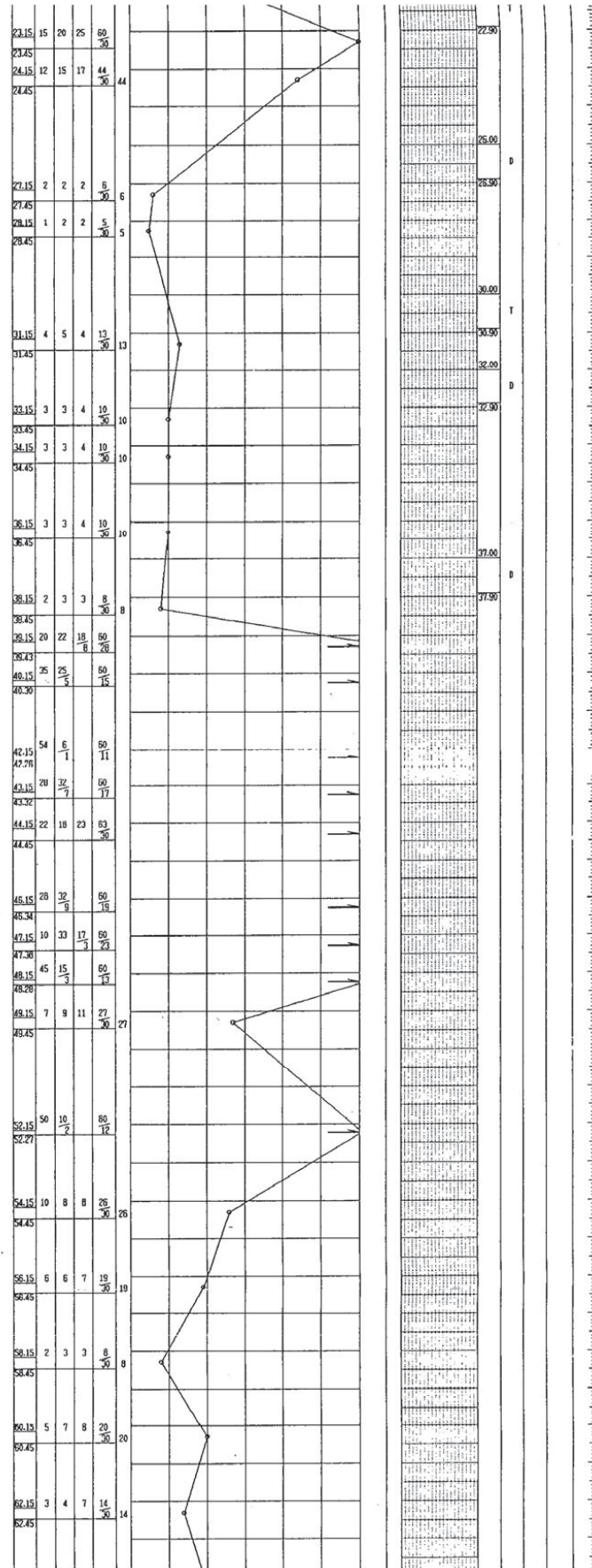


深さ (m)	試料採取位置 (m)		土質	状態	説明	試験結果					物理試験		
	左	右				水分 (%)	液性指数	塑性指数	圧縮率 (%)	圧縮係数		圧縮率 (%)	
68	-66.42	1.50	シルト	暗灰	不均一なシルト主体。粘土分を含まず、砂分・有機物を若干混入する。	68.03	3	5	11/30	11	88.50	S-16	物理
69			シルト	暗灰	不均一なシルト主体。粘土分を含まず、砂分・有機物を若干混入する。	68.94	3	3	9/30	9	89.00	S-17	物理
70			シルト	暗灰	不均一なシルト主体。粘土分を含まず、砂分・有機物を若干混入する。	70.15	3	3	9/30	9	70.00		
71	-68.87	2.43	シルト	暗灰	不均一なシルト主体。粘土分を含まず、砂分・有機物を若干混入する。	70.43	50	50	50/10	150	71.00	⑦	物理
72	-69.00	4.20	シルト	暗灰	不均一なシルト主体。粘土分を含まず、砂分・有機物を若干混入する。	71.23	37	13	50/14	107	71.15	⑧	物理
73			砂	暗灰	非常に密な。φ20~50mm程度の礫を主体とし、マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。G <sub>L</sub> =72.7m付近、少量の逸水が見られる。	72.10	50	50	50/10	150	72.00	⑨	物理
74			砂	暗灰	非常に密な。φ20~50mm程度の礫を主体とし、マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。G <sub>L</sub> =72.7m付近、少量の逸水が見られる。下位に向かって粒径が大きくなり、φ30~40mm (max. 100mm) 程度、G <sub>L</sub> =74.5m付近より、逸水著しく、1,300L程度が逸水。	72.24	50	50	50/10	150	73.15	⑩	物理
75	-72.92	3.83	玉石混り砂	暗灰	非常に密な。φ20~50mm程度の粗礫を主体とし、φ80~100mm程度の玉石が散在する。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。	73.03	59	8	50/8	188	73.05	⑪	物理
76			玉石混り砂	暗灰	非常に密な。φ20~50mm程度の粗礫を主体とし、φ80~100mm程度の玉石が散在する。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。	74.01	59	7	50/7	214	73.15		
77	-75.42	2.50	砂	暗灰	非常に密な。φ50~60mm程度のチャート・流紋岩質の粗礫主体。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。	74.11	59	7	50/7	214	74.05	⑫	物理
78			砂	暗灰	非常に密な。φ50~60mm程度のチャート・流紋岩質の粗礫主体。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。	75.12	59	5	50/5	300	75.05		
79			砂	暗灰	非常に密な。φ50~60mm程度のチャート・流紋岩質の粗礫主体。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。	76.00	59	5	50/5	300	76.10		
80			砂	暗灰	非常に密な。φ50~60mm程度のチャート・流紋岩質の粗礫主体。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。						80.00		PS検層
81			砂	暗灰	非常に密な。φ50~60mm程度のチャート・流紋岩質の粗礫主体。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。								
82			砂	暗灰	非常に密な。φ50~60mm程度のチャート・流紋岩質の粗礫主体。マトリックスは不均一な中~粗砂主体で全体に良く締まっている。								
83	-80.52	5.10	砂	暗灰	比較的に均一なシルト主体。固結化が進行。細砂の薄層を挟み、幅3~4cm間隔で褐色化する。								
84	-81.92	1.40	シルト	暗灰	比較的に均一なシルト主体。固結化が進行。細砂の薄層を挟み、幅3~4cm間隔で褐色化する。								

(JR-75)

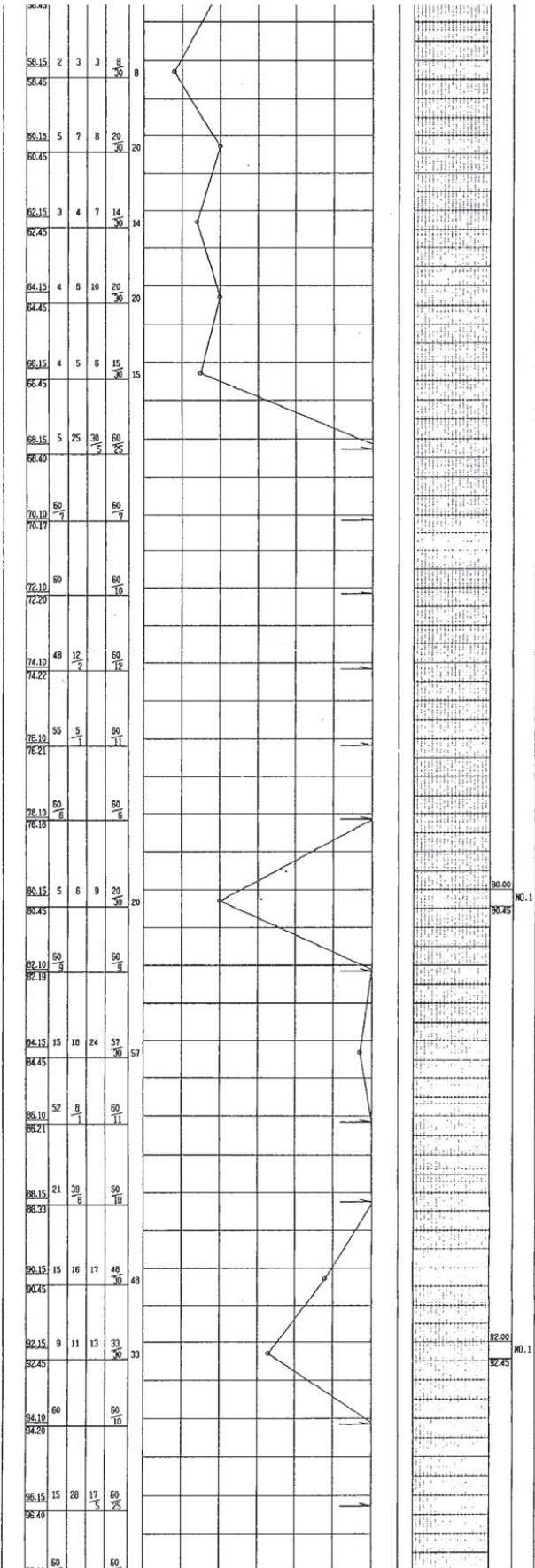


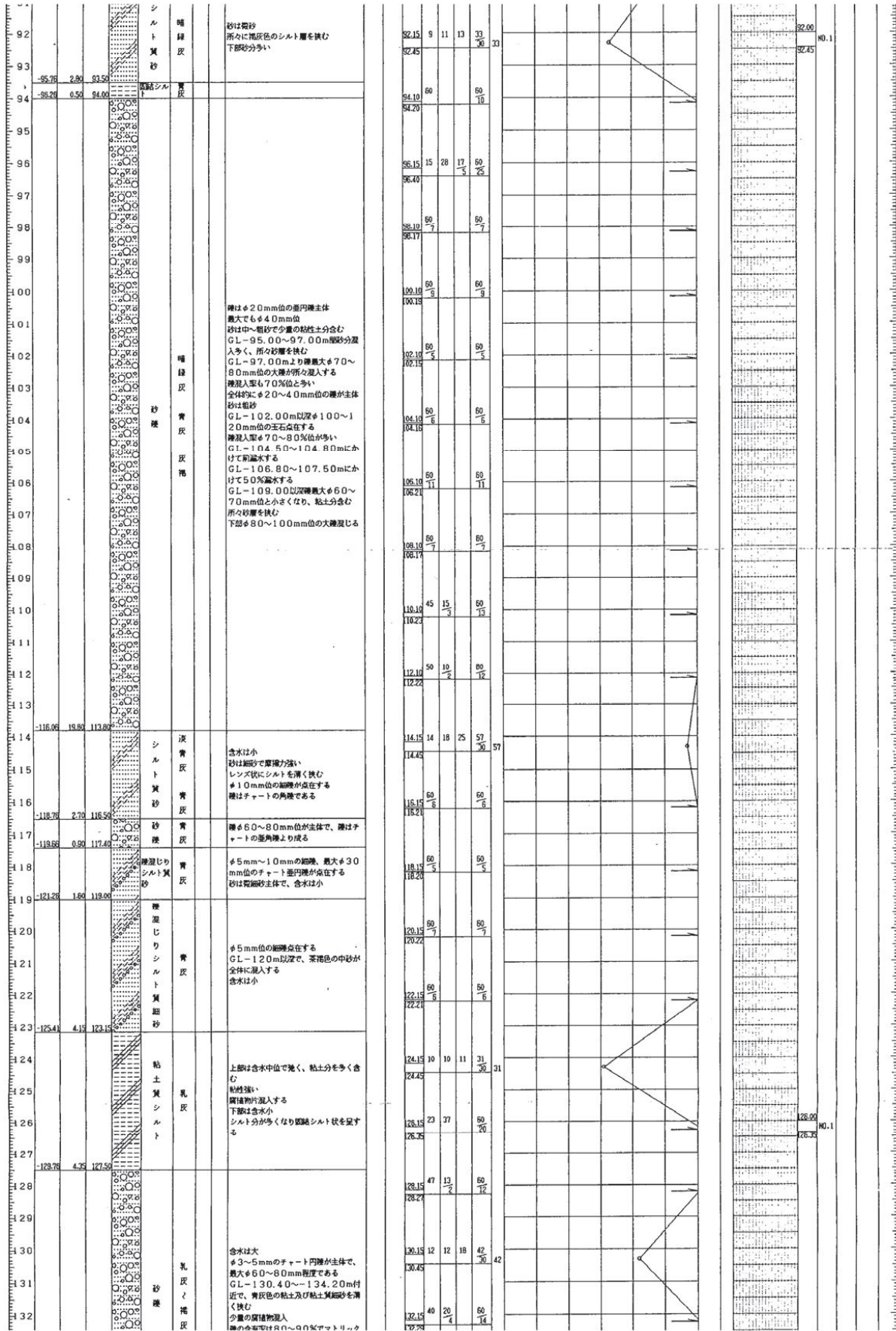
2.3	-24.78	1.90	22.50	砂	暗灰	全体的に中砂混じる GL-2.3.5.0m以深粒子均一となる GL-2.5.0.0m以深全体的にシルト 分含む
2.4				細砂	暗灰	
2.5						
2.6	-28.06	3.30	25.80	砂混じり シルト	暗灰	砂は細砂 貝殻片混入する 地層は全体的に均質である
2.7	-28.26	1.30	27.00			
2.8				シルト	暗灰	地層は全体的に均質である 貝殻片混入
2.9						
3.0	-32.26	3.00	30.00	シルト質 砂	暗灰	上部貝殻片混入 砂は細砂 所々φ2~5mmの小礫混じる
3.1	-33.26	1.00	31.00	シルト	暗灰	GL-3.1.7.0m付近まで半固結状で ある 均質な地層である
3.2	-34.76	1.50	32.50	砂質シルト	暗灰	砂は細砂である
3.3	-35.26	0.50	33.00	シルト	暗灰	均質な地層である 僅少量の腐植物混入
3.4				シルト	暗灰	
3.5	-37.06	1.90	34.90	シルト混 じり砂	暗灰	砂は細砂である
3.6	-38.16	1.10	35.90	シルト	暗灰	均質な地層で腐植物少量混入
3.7	-38.96	0.90	36.70	シルト質 砂	暗灰	砂は細砂 腐植物混入する
3.8	-39.76	0.90	37.50	シルト	暗灰	均質な地層で僅少量の腐植物混入
3.9	-40.86	1.10	38.60	砂	暗灰	礫φ2~3.0mm位 最大φ5.0mm程度 全体的にφ2.0mm位の雲母主体 砂は中~粗砂
4.0				砂	暗灰	
4.1	-43.26	2.40	41.00	砂混じり シルト	暗灰	礫はφ1.0mm位
4.2	-44.26	0.20	41.20			
4.3				砂	暗灰	礫φ2~4.0mm位 全体的にφ1.0~2.0mm位の物が主体 最大φ5.0~6.0mm位 礫の混入率6.0~7.0%程度 砂は粗砂が主体 礫は雲母主体が混入に多い 角礫も混入する GL-4.4.0.0~4.5.0mにかけて 少量の漏水有り GL-4.6.5.0~4.7.5.0mにかけて 粗砂混入が多い
4.4				砂	暗灰	
4.5				砂	暗灰	
4.6				砂	暗灰	
4.7				砂	暗灰	
4.8				砂	暗灰	
4.9	-51.06	7.60	48.90	シルト質 砂	暗灰	砂は細砂 所々シルト層を挟む
5.0	-51.96	0.90	49.70	砂質 シルト	暗灰	GL-5.0m常時振動測定
5.1	-53.16	1.20	50.90	シルト	暗灰	
5.2				砂	暗灰	礫φ2~4.0mm位 砂は粗砂が主体 礫は雲母主体である 混入率6.0%程度 GL-5.2.5.0~5.3.5.0mにかけて 漏水する 所々φ1.0mm位の大礫混じる 下部少量の粘性土分含む
5.3				砂	暗灰	
5.4	-56.36	3.20	54.10	シルト	暗灰	半固結状である
5.5	-56.86	0.50	54.60	砂混 じり シルト	暗灰	砂は細砂 僅少量の腐植物混入 所々シルト質砂を挟む 地層は比較的均質である
5.6				砂	暗灰	
5.7	-59.26	2.40	57.00	シルト	暗灰	地層はやや不均質 腐植物少量混入する
5.8	-51.06	1.90	58.90	シルト	暗灰	
5.9				シルト	暗灰	
6.0				シルト 混 じり 砂	暗灰	砂は粒子均一な細砂 貝殻片少量混入 GL-6.1.0.0m以深φ5mm位の小 礫混じる
6.1	-64.06	3.00	61.80	シルト 混 じり 砂	暗灰	
6.2				シルト	暗灰	地層は均質で僅少量の腐植物混入 粗砂を所々レンズ状に挟む
6.3	-65.76	1.70	63.50	シルト	暗灰	





57	-58.25	2.40	57.00	シルト	暗青灰	地層はやや不均質 腐植物少量混入する
58	-51.00	1.80	58.00	シルト	暗青灰	砂は粒子均一な細砂 貝殻片少量混入 GL-61.00m以深φ5mm位の小 礫混じる
59	-54.05	2.00	61.80	シルト	暗青灰	地層は均質で極少量の腐植物混入 腐植物を所々レンズ状に挟む
60	-55.75	1.70	63.50	シルト	暗青灰	砂は粒子均一な細砂 腐植物少量混入
61	-57.70	2.00	65.50	砂質シルト	暗青灰	砂は細砂 腐植物少量混入
62	-70.50	2.80	68.30	砂	暗青灰	層φ2~50mm位 混入率70~80% 最大φ100~150mmの玉石混じる 砂は粗砂 GL-74.00m以深最大φ70~ 80mm位 GL-77.00~77.50m間漏水す る GL-79.00~79.50m間漏水す る
63	-82.05	11.50	79.80	砂質シルト	青灰	砂は細砂 半硬状である GL-80.50~81.00mにかけシ ルト質砂状を呈する
64	-83.95	1.90	81.70	細砂	暗青灰	全体が中に砂混じる 浮石少量混入する GL-82.70~83.50mにかけ てφ5~10mmの小礫混じる
65	-86.95	2.90	84.60	砂	暗青灰 暗緑灰	層φ2~40mm位が主体 最大φ70~80mm位の大礫混じる 砂は粗砂 混入率50~60%程度 87.50m以深は砂分混入多く、礫最 大φ50mm位と小さくなる
66	-91.55	4.80	89.40	凝り砂	暗青灰	砂は中~粗砂 層はφ5~10mm位の小礫 青灰色のシルトを挟む
67	-92.95	1.30	90.70	シルト	暗緑灰	砂は粗砂 所々に褐色色のシルト層を挟む 下部砂分多い
68	-95.75	2.80	93.50	シルト	暗青灰	
69	-95.70	0.50	94.00	凝りシルト	暗青灰	
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						





ボーリング柱状図

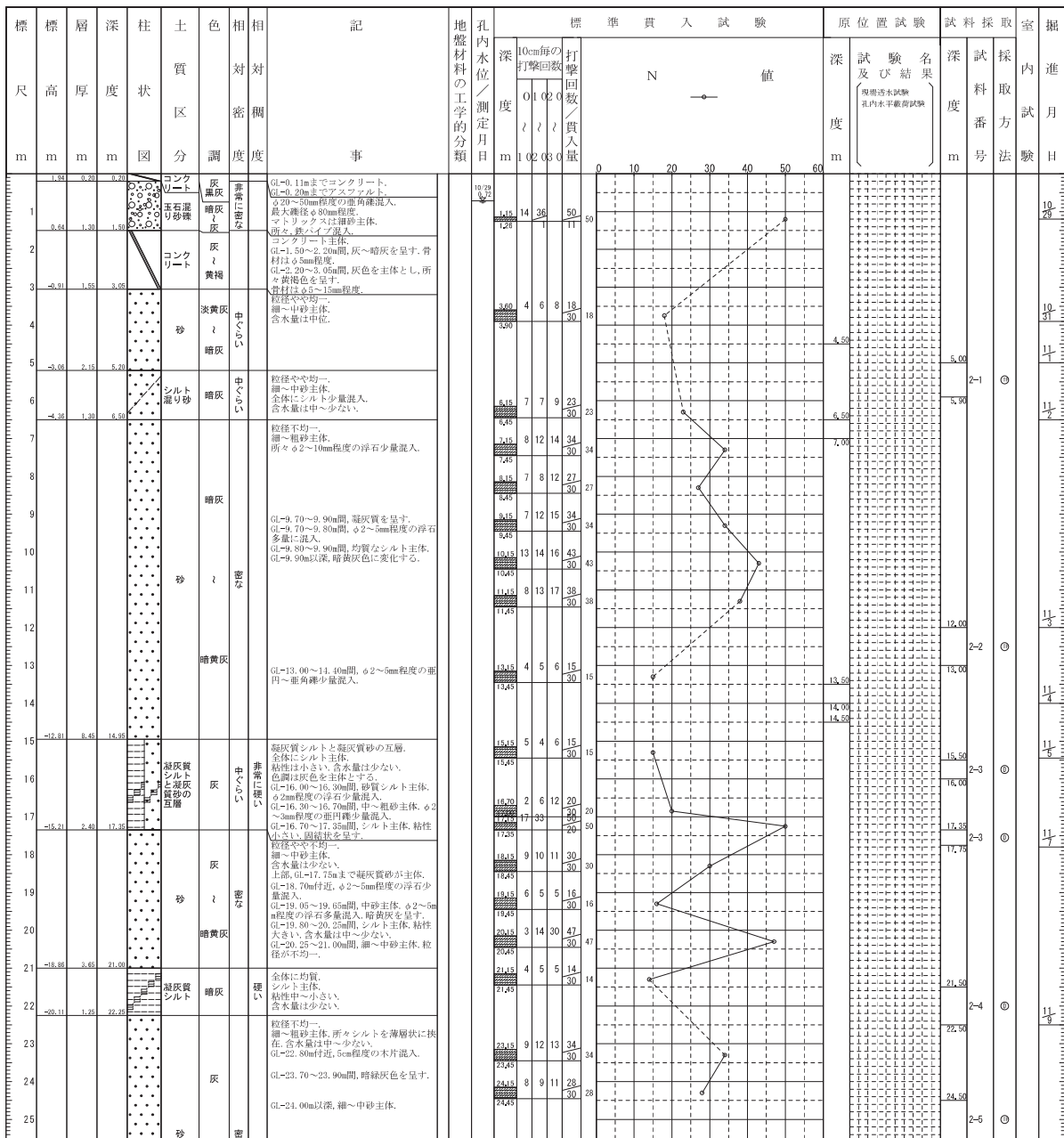
調査名

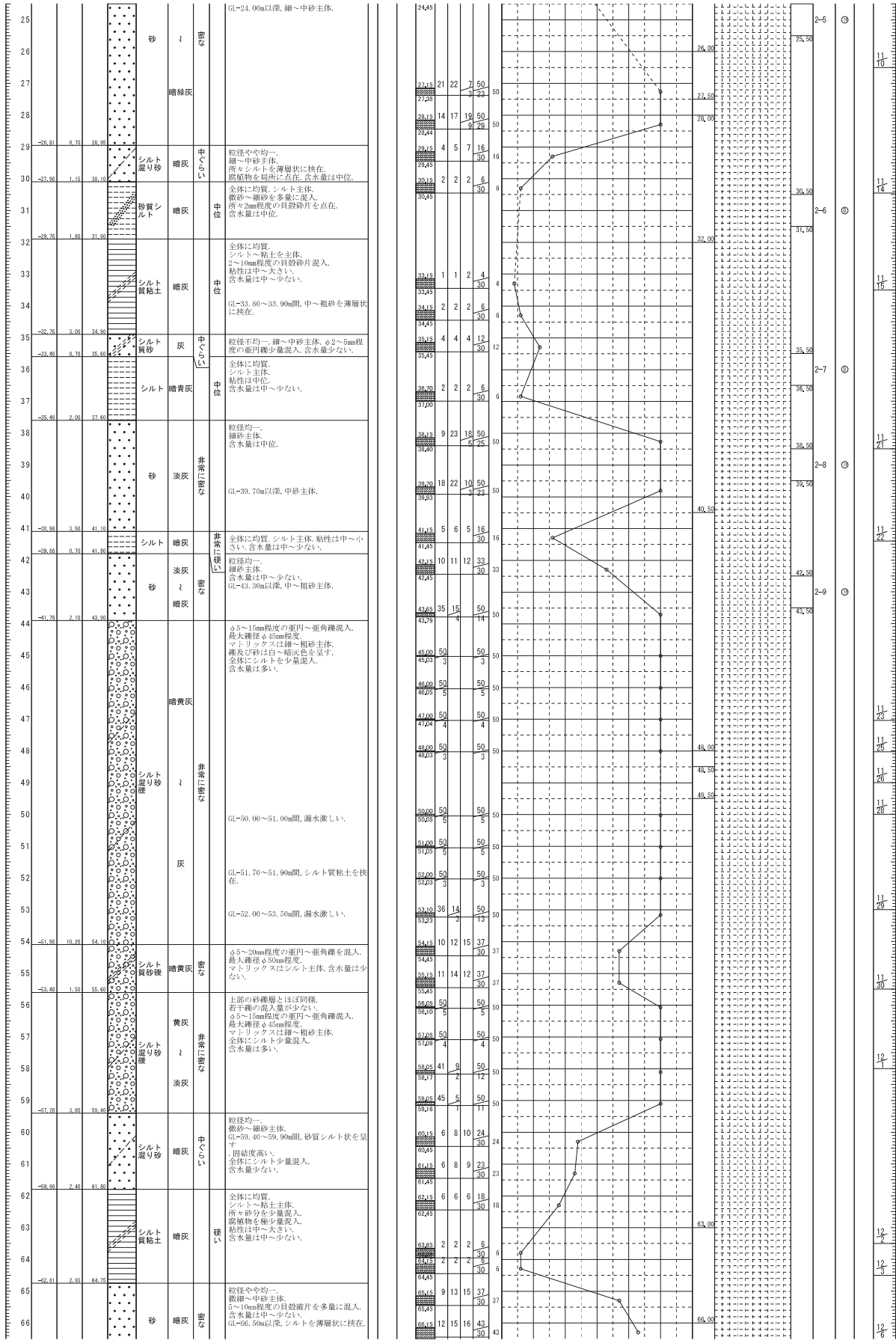
事業・工事名

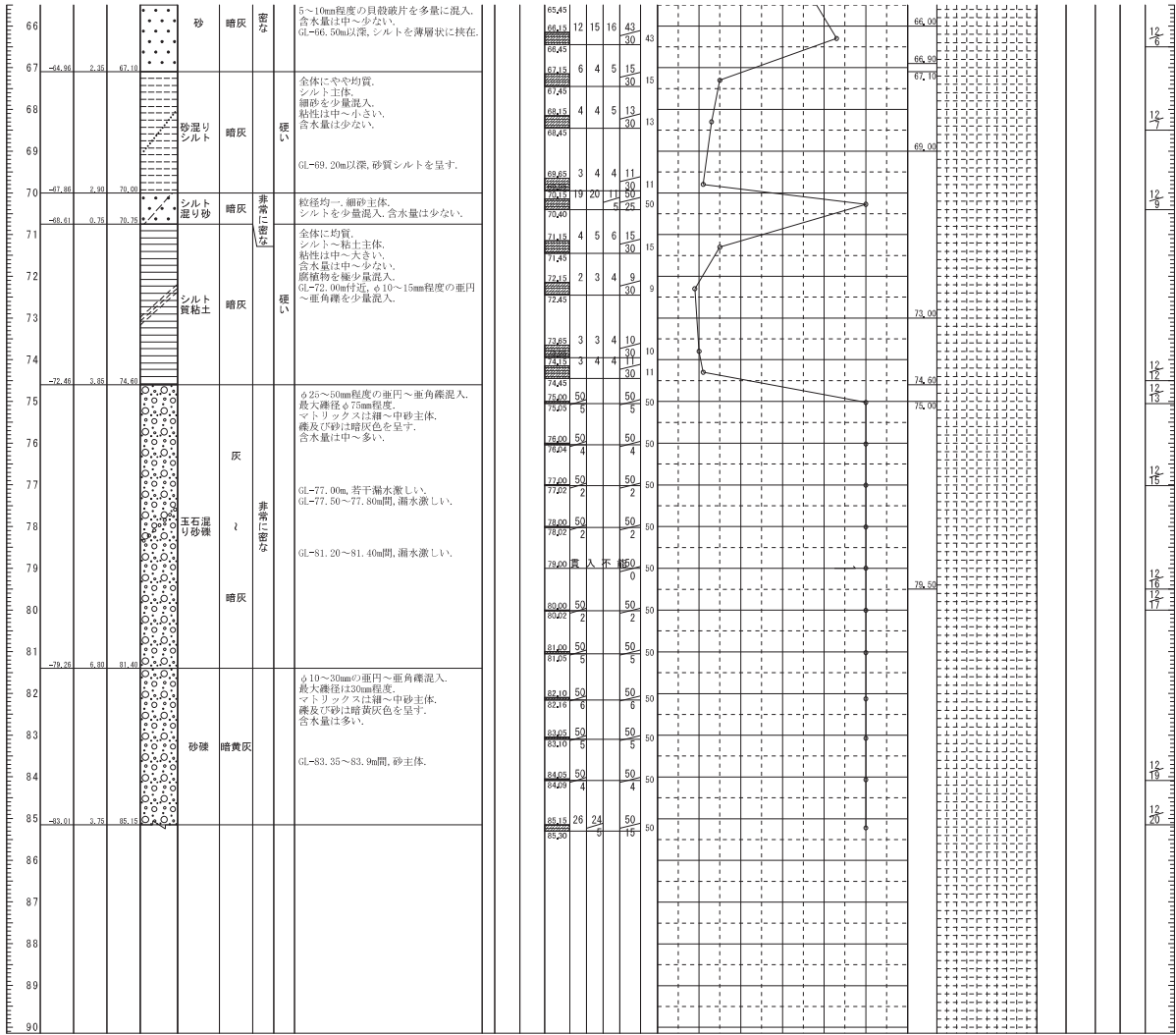
ボーリングNo.

シートNo.

Header information table including borehole name, location, date, and survey details.







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デンソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ サス'ンションPS検層
- Ⓖ キャリハ-検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

(JR-77)

ボーリング柱状図

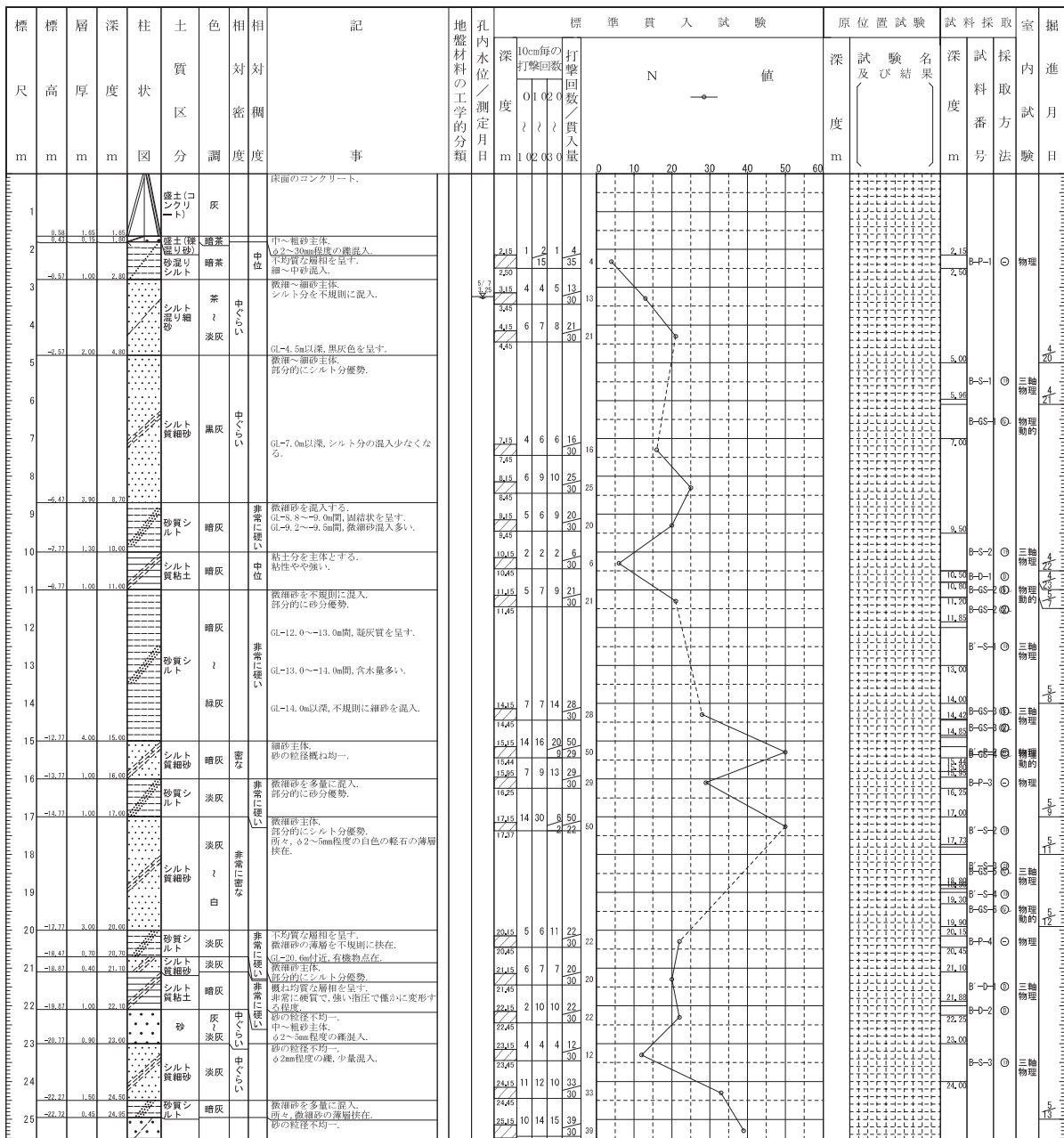
調査名

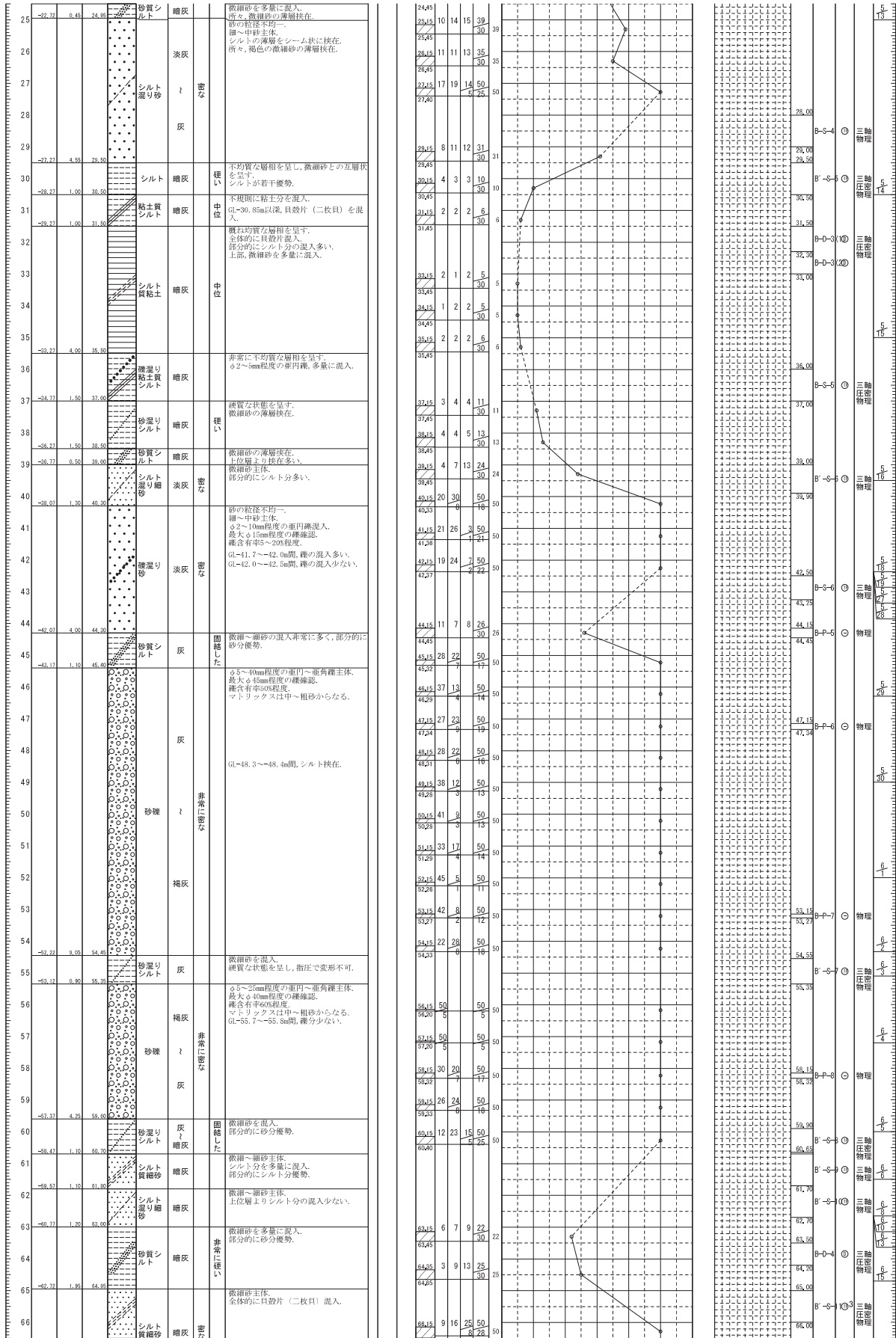
事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

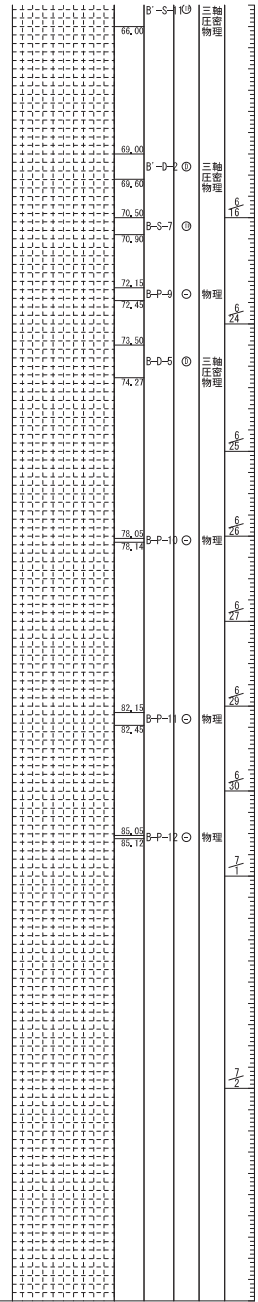
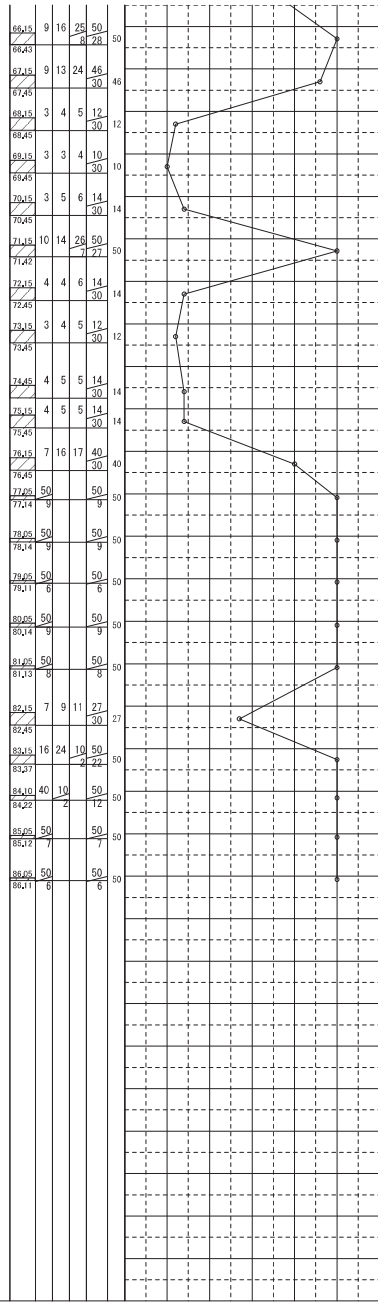
ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コ隆定者	
ボーリング責任者	コ隆定者		ハンマー 落下用具		
ボーリングNo.	ボーリングNo.		ポンプ		
孔口標高	TP	2.23m	角	180° 上 90° 下 0°	
総掘進長	91.00m	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	エンジン		試錐機		







66		シルト質細砂	暗灰	密な	GL-66.6~66.9m間、貝殻の混入非常に多い。
67	-65.41	2.75	67.28		
68		砂混りシルト	暗灰	硬い	GL-67.5~67.7m間、シルトの薄層をシルト状に挟む。微細砂を混入。
69		シルト質粘土	暗灰	非常に密な	微細砂主体。シルト分混入多く、部分的にシルト優勢。
70	-68.67	3.20	70.50		
71	-69.17	0.50	71.46		
72		シルト質粘土	暗灰	固結した	不均質な層相を呈す。微細砂多量に混入。
73	-70.22	1.10	72.46		
74	-70.82	0.28	73.30		
75		粘土質シルト	暗灰	非常に硬い	根ね均質な層相を呈す。粘質性強い。微細砂主体。
76	-73.97	3.10	76.20		
77	-74.21	0.30	76.40		
78		シルト質粗砂	暗灰	密な	砂の粒径不均一。シルト分不規則に混入。φ10~30mm程度の重目~重角礫主体。最大φ80mm程度の礫確認。礫含有率70%以上。マトリックスはシルト混り砂からなる。砂の粒径は不均一。
79		砂礫	褐灰	非常に密な	GL-80.0m以下、φ50mm程度の礫(チャート)混入多い。
80					
81					
82	-79.77	5.50	82.00		
83	-81.07	1.30	83.30		
84		砂礫	褐灰	非常に密な	根ね均質な層相を呈す。非常に硬質で、圧圧での変形不可。
85					
86	-83.77	2.70	86.00		
87		砂礫	褐灰	非常に密な	(施層のための余振り区間)
88					
89					
90					
91	-88.77	5.00	91.00		
92					
93					
94					
95					
96					



(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

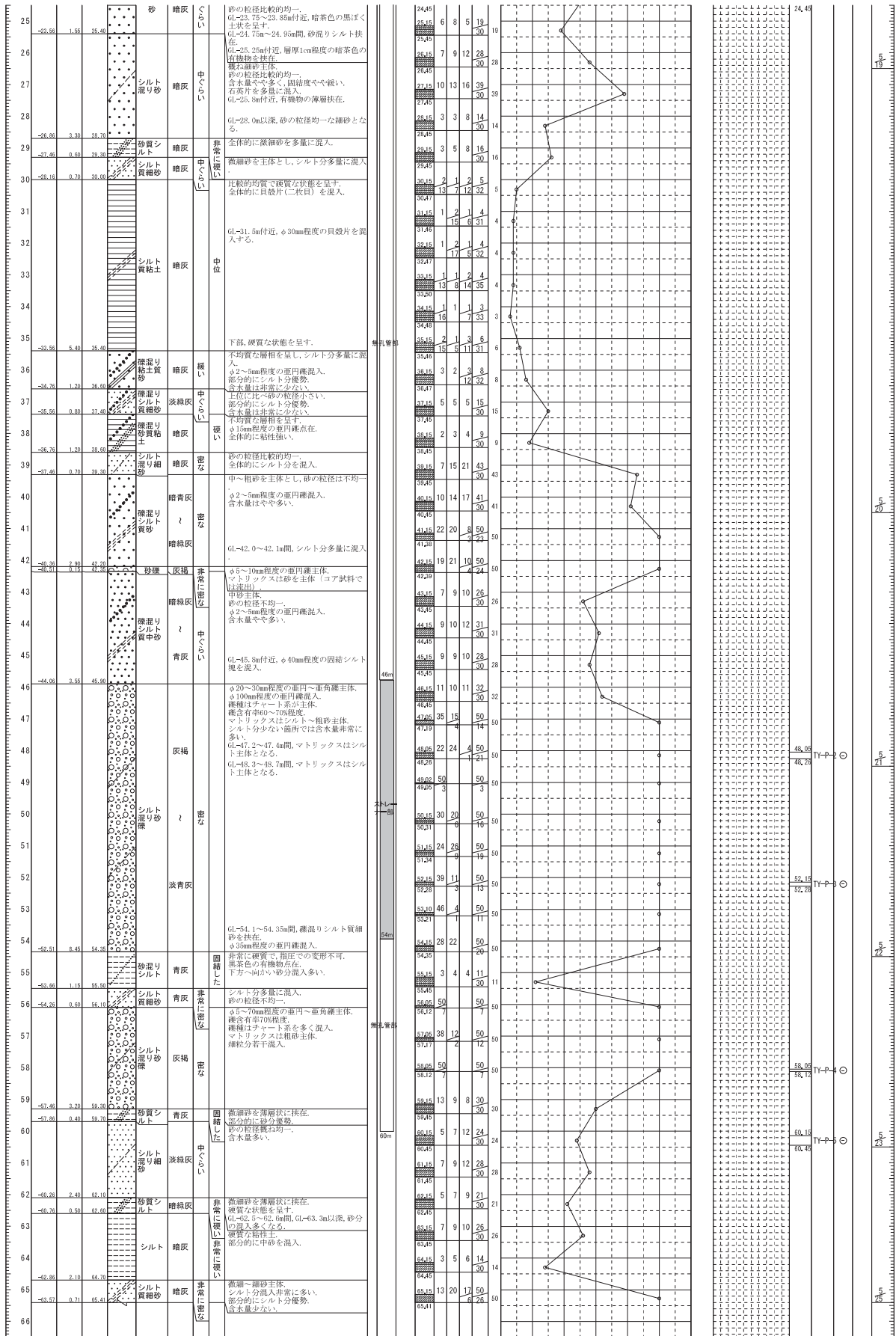
3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

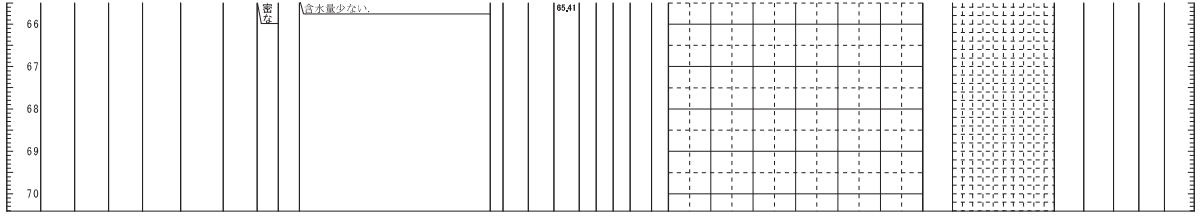
- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ ガス・ソリッドPS検層
- ⑫ キャリバー検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

( JR-78 )





( JR-79 )



(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ ガス・ソノトロンPS検層
- Ⓒ キャリバー検層
- Ⓓ 密度検層
- ⓪ 温度検層
- Ⓛ ルジオン試験
- Ⓚ 現場透水試験
- Ⓚ 孔内水平載荷試験

( JR-79 )

ボーリング柱状図

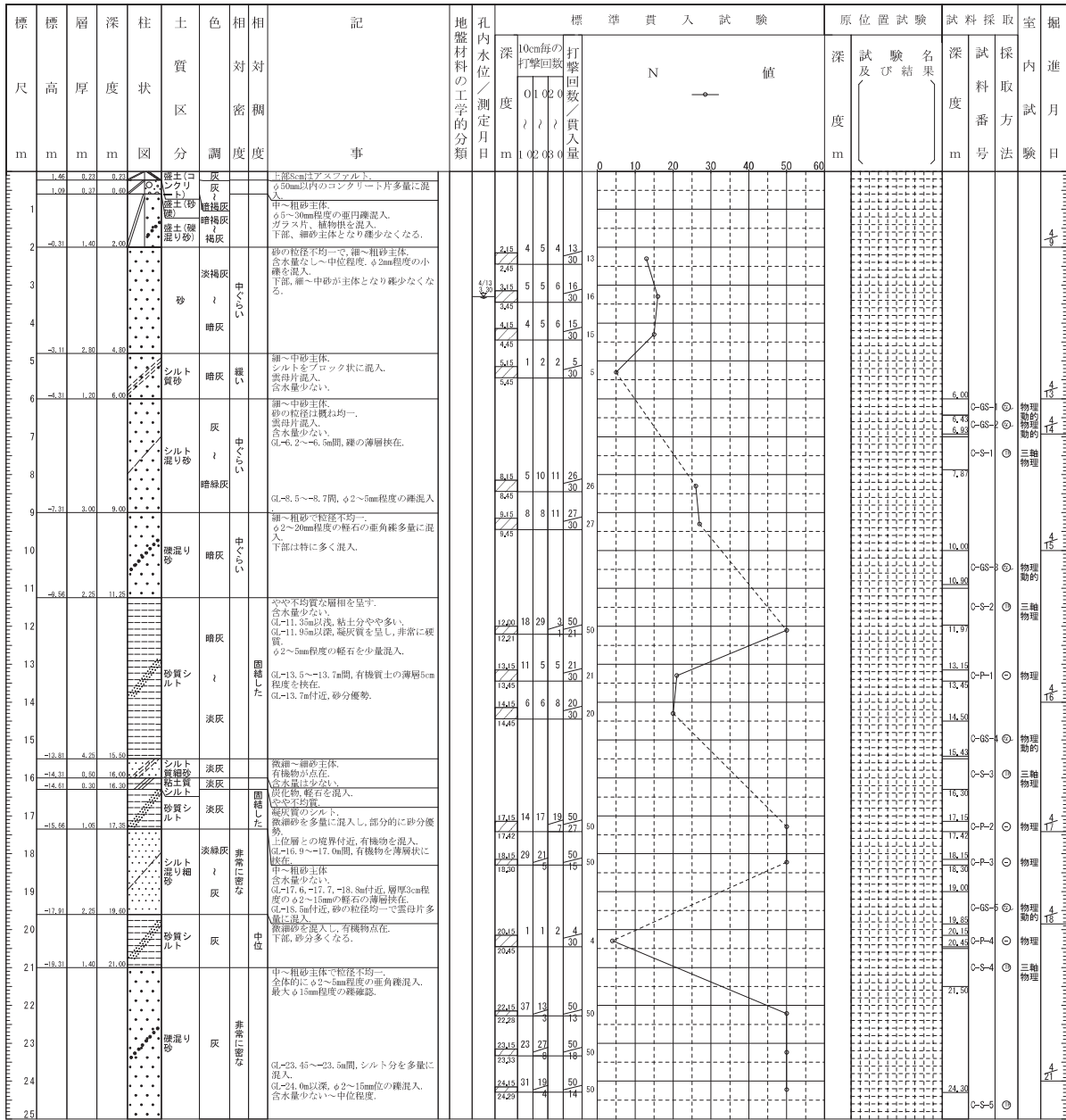
調査名

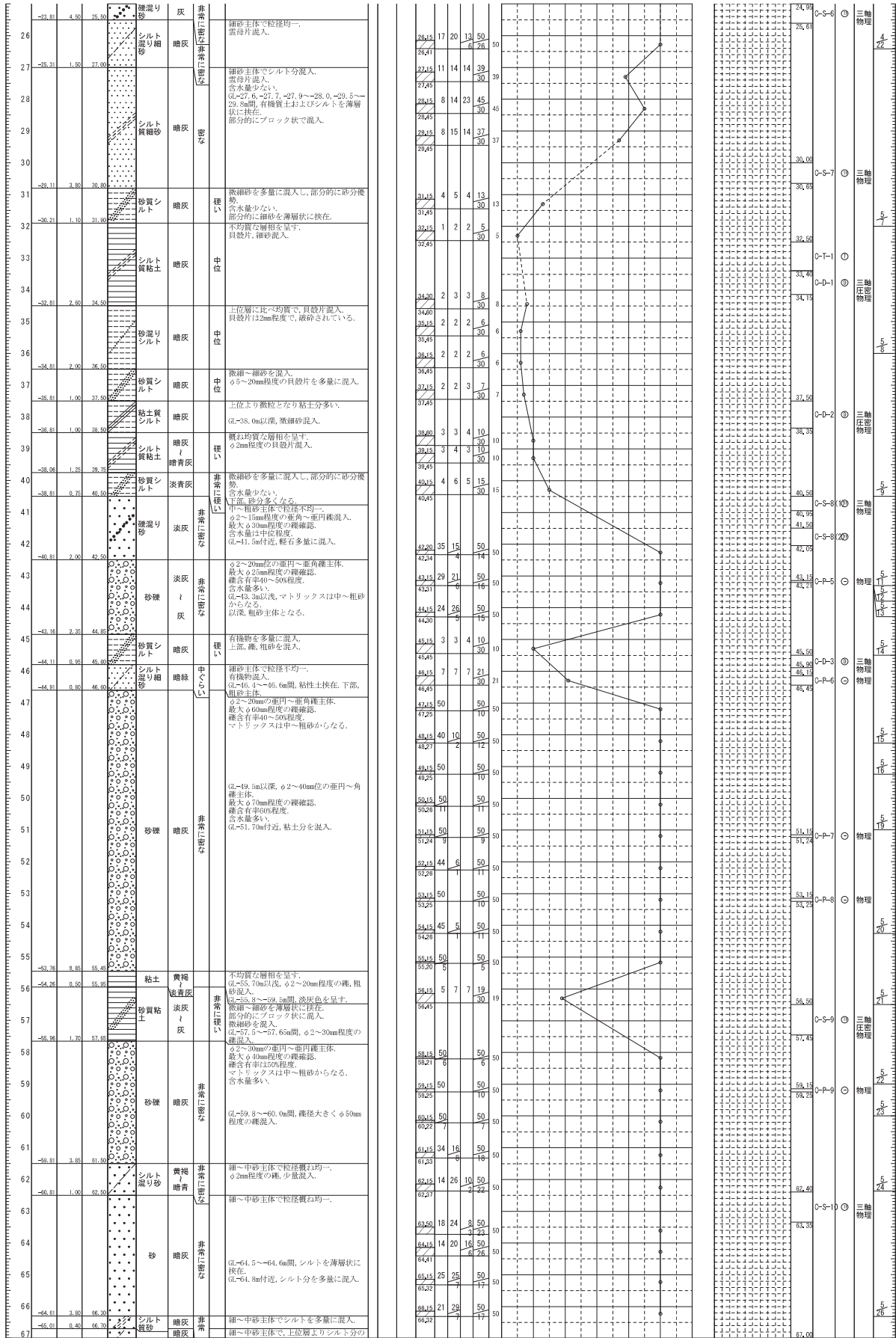
事業・工事名

ボーリングNo.

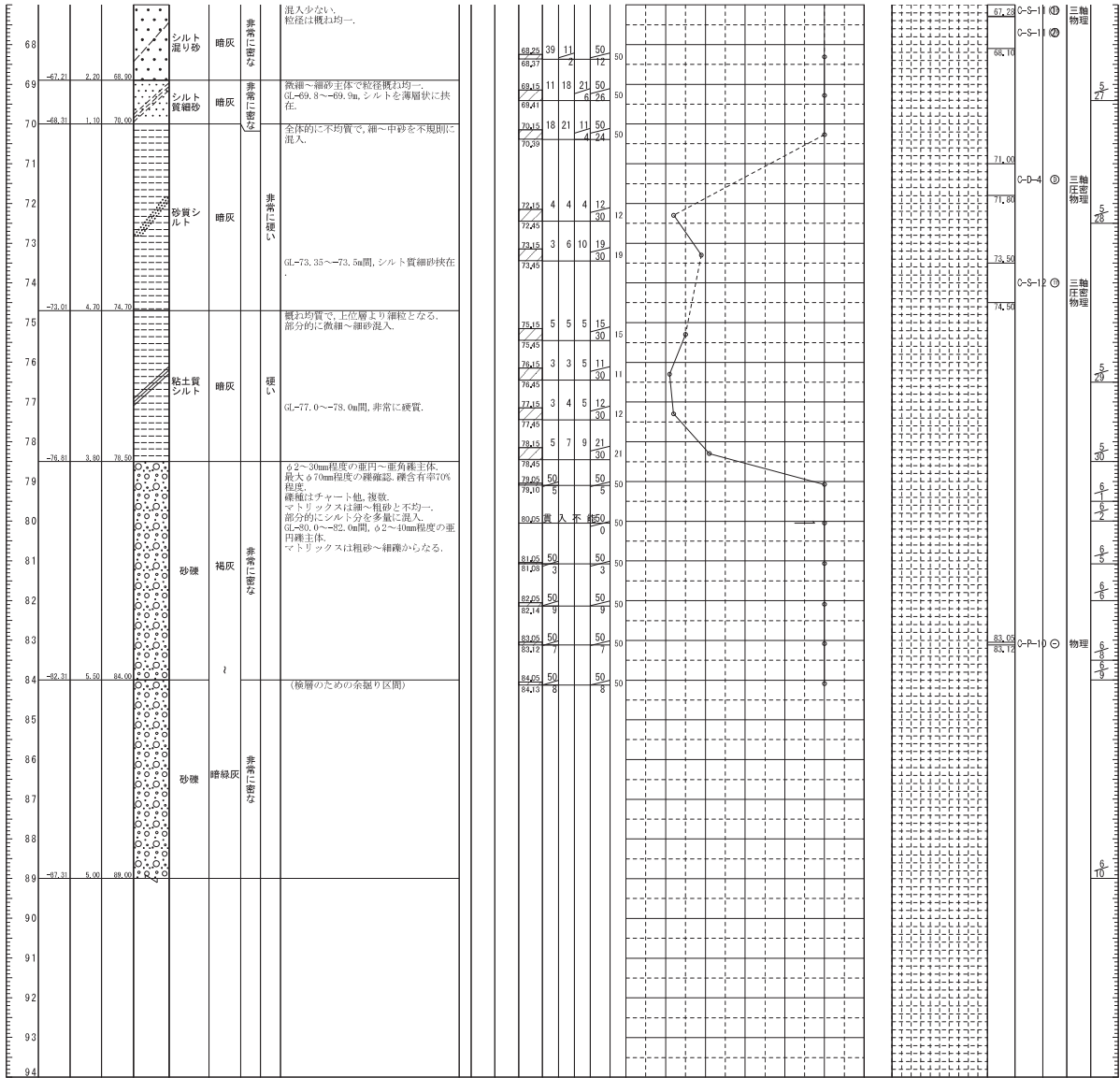
シートNo.

Header information table including borehole name, location, date, and personnel details.









( JR-80 )

### ボーリング柱状図

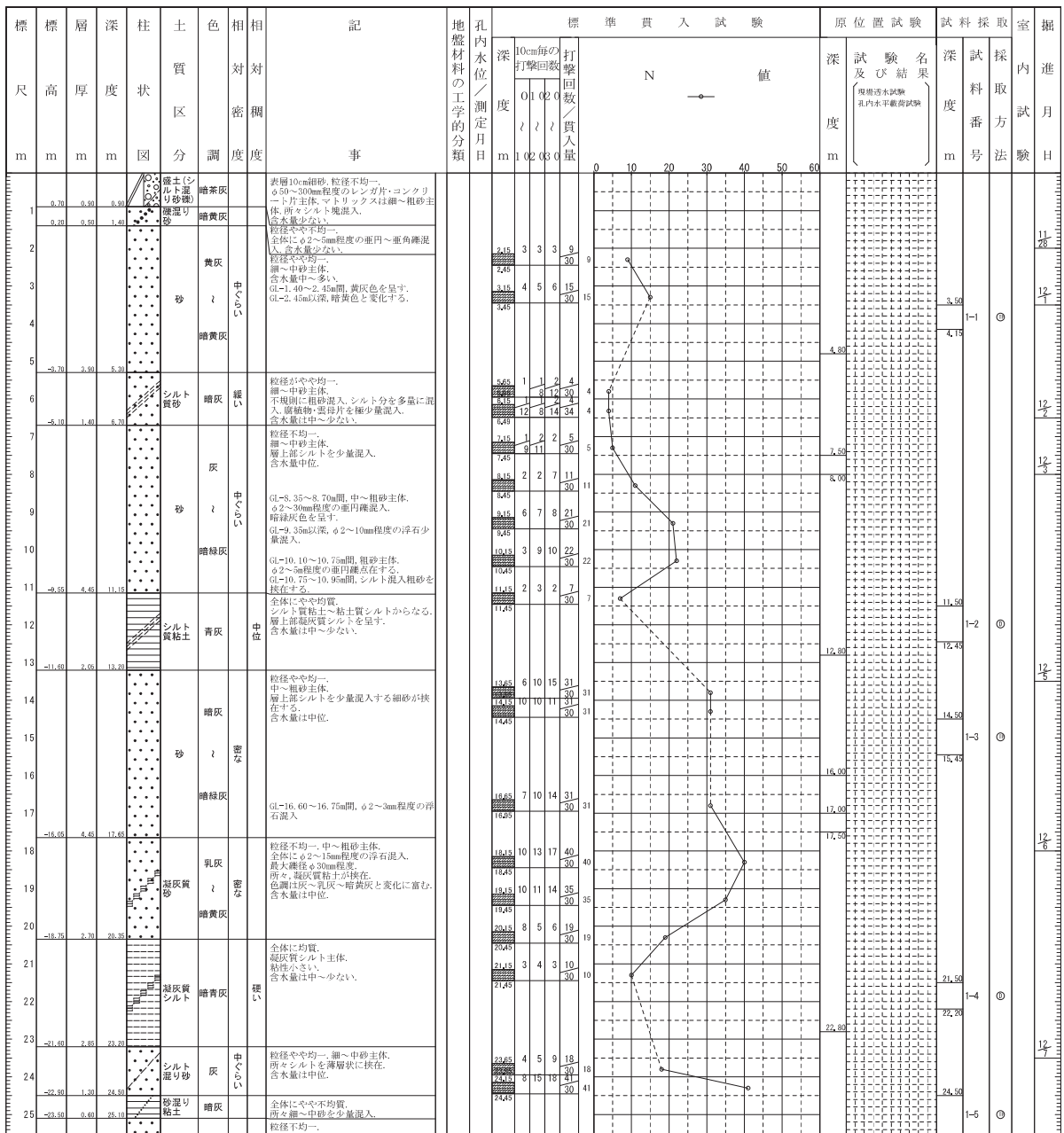
調査名

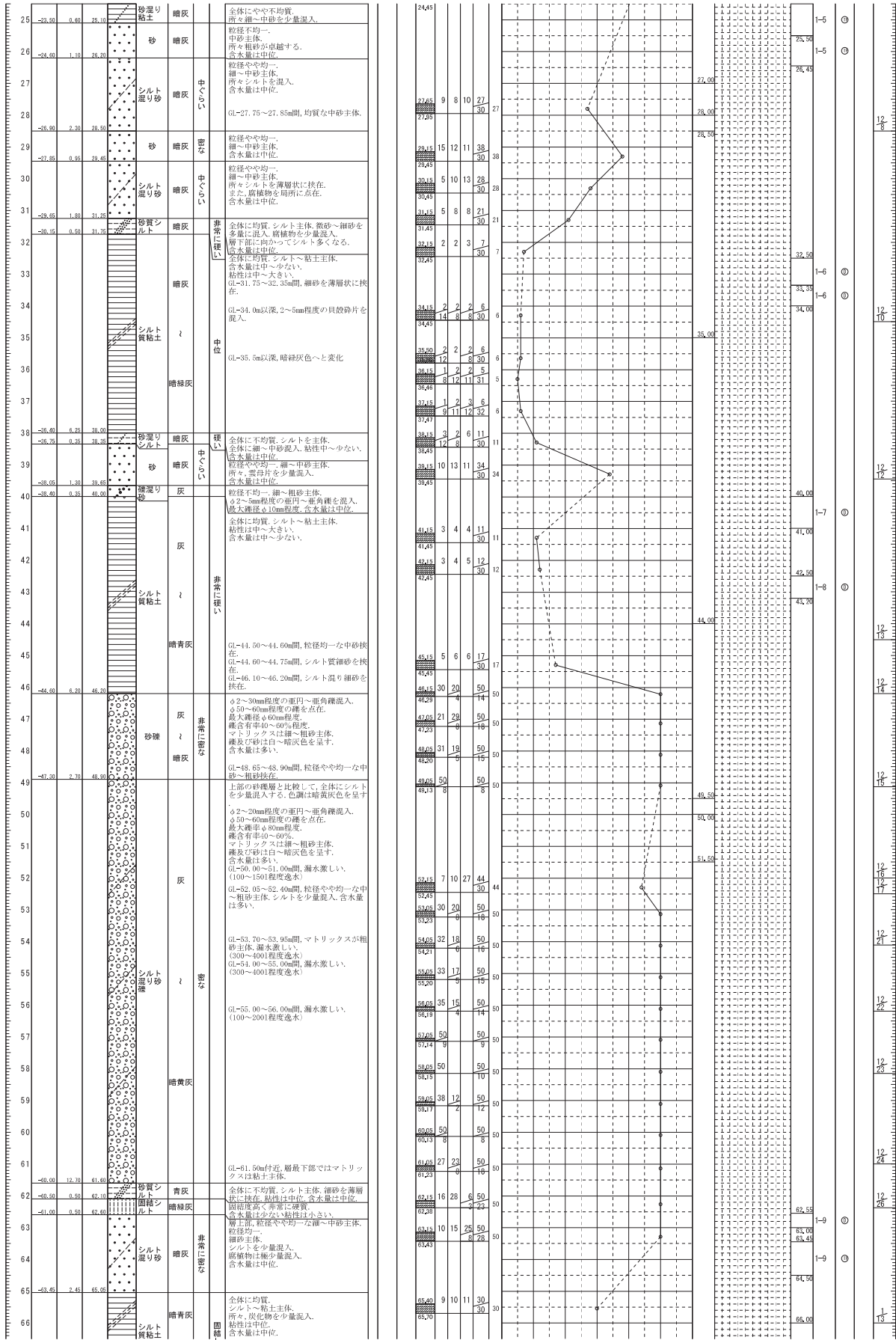
事業・工事名

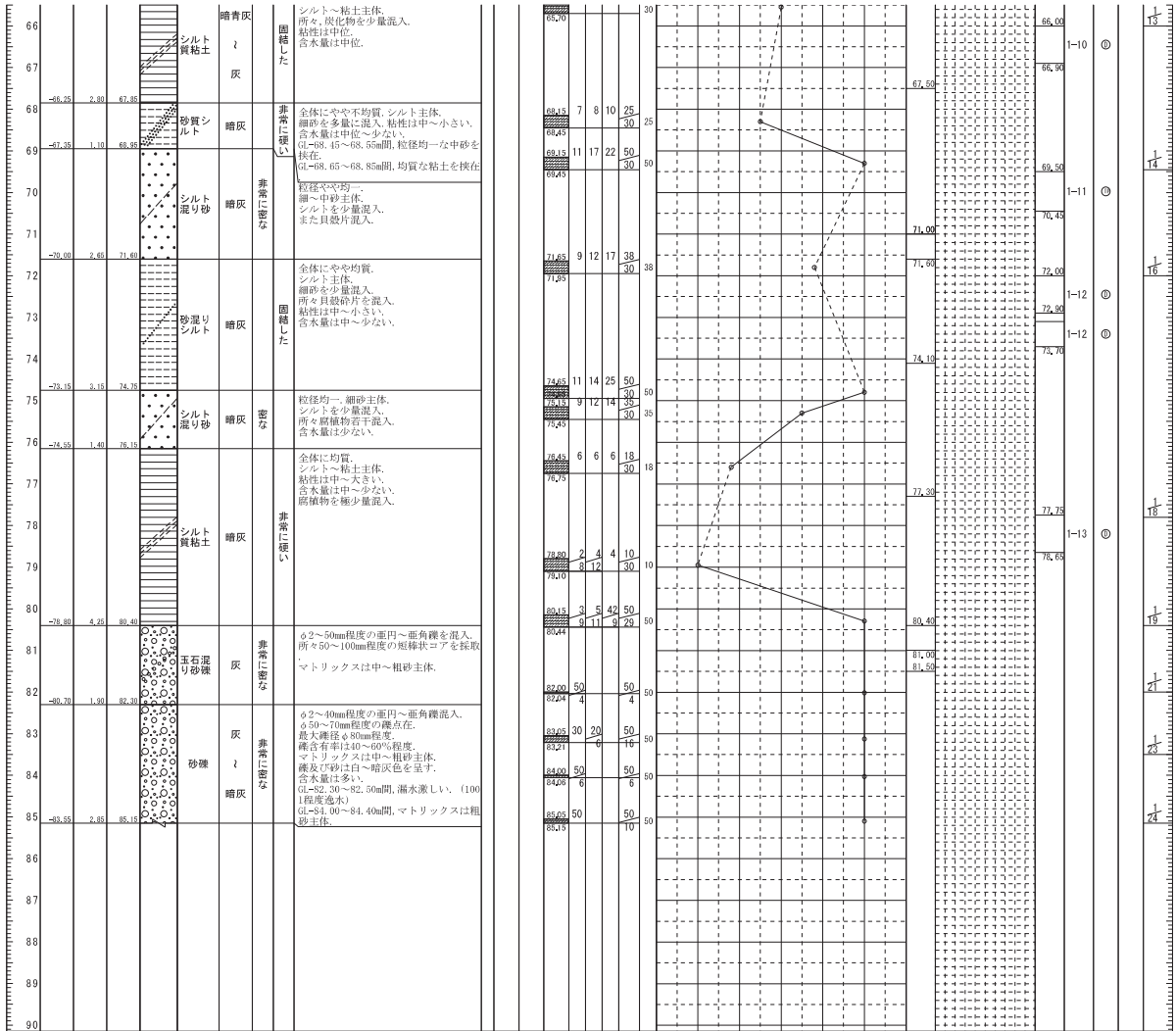
ボーリングNo.                       

シートNo.

ボーリング名		調査位置				北緯	
発注機関		調査期間				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	T P 1.60m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	85.15m	度		向		使用機種	ハンマー ポンプ
						試験機	エンジン







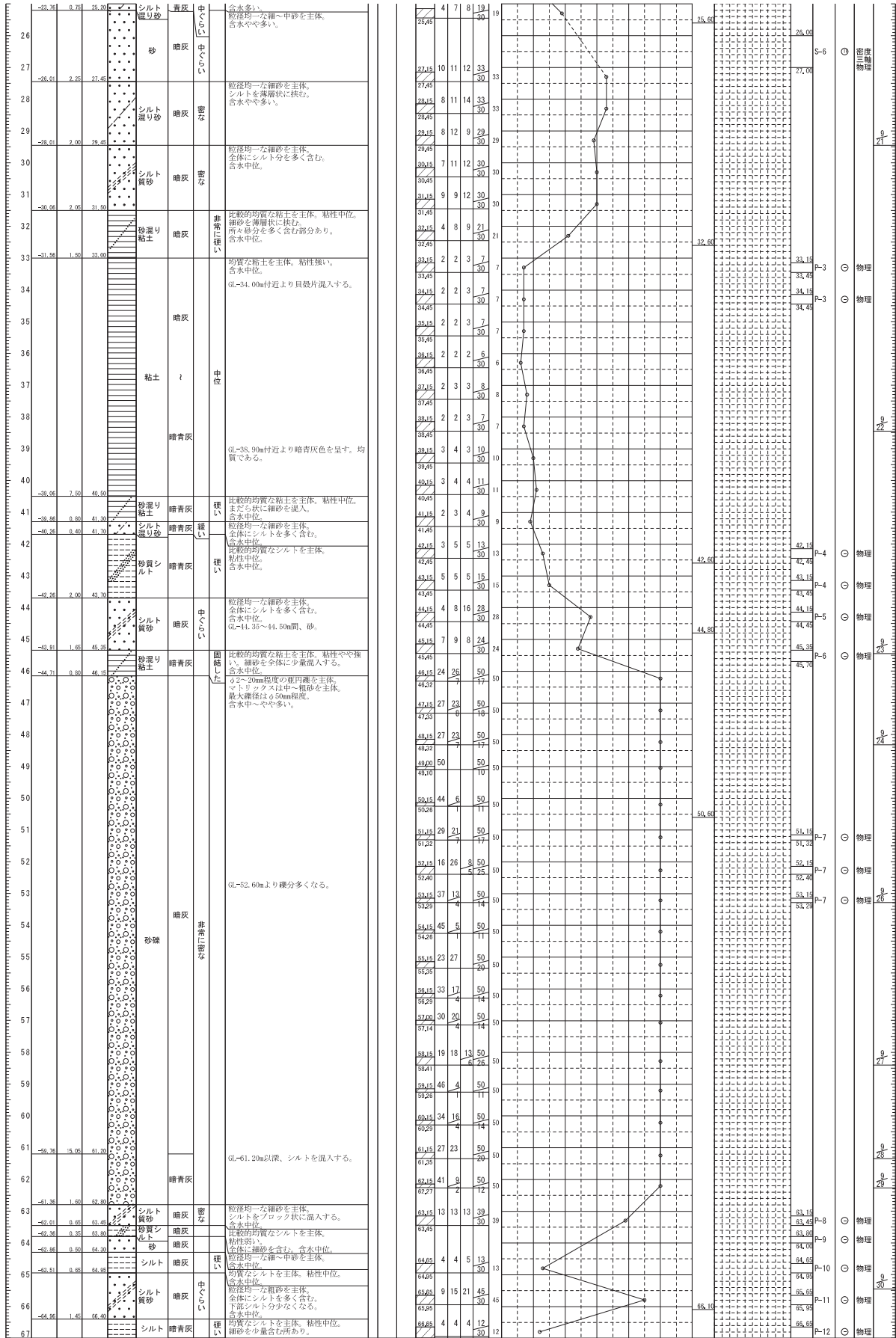
(注) 1. 試料採取方法の記号

2. 試料採取深度と採取比

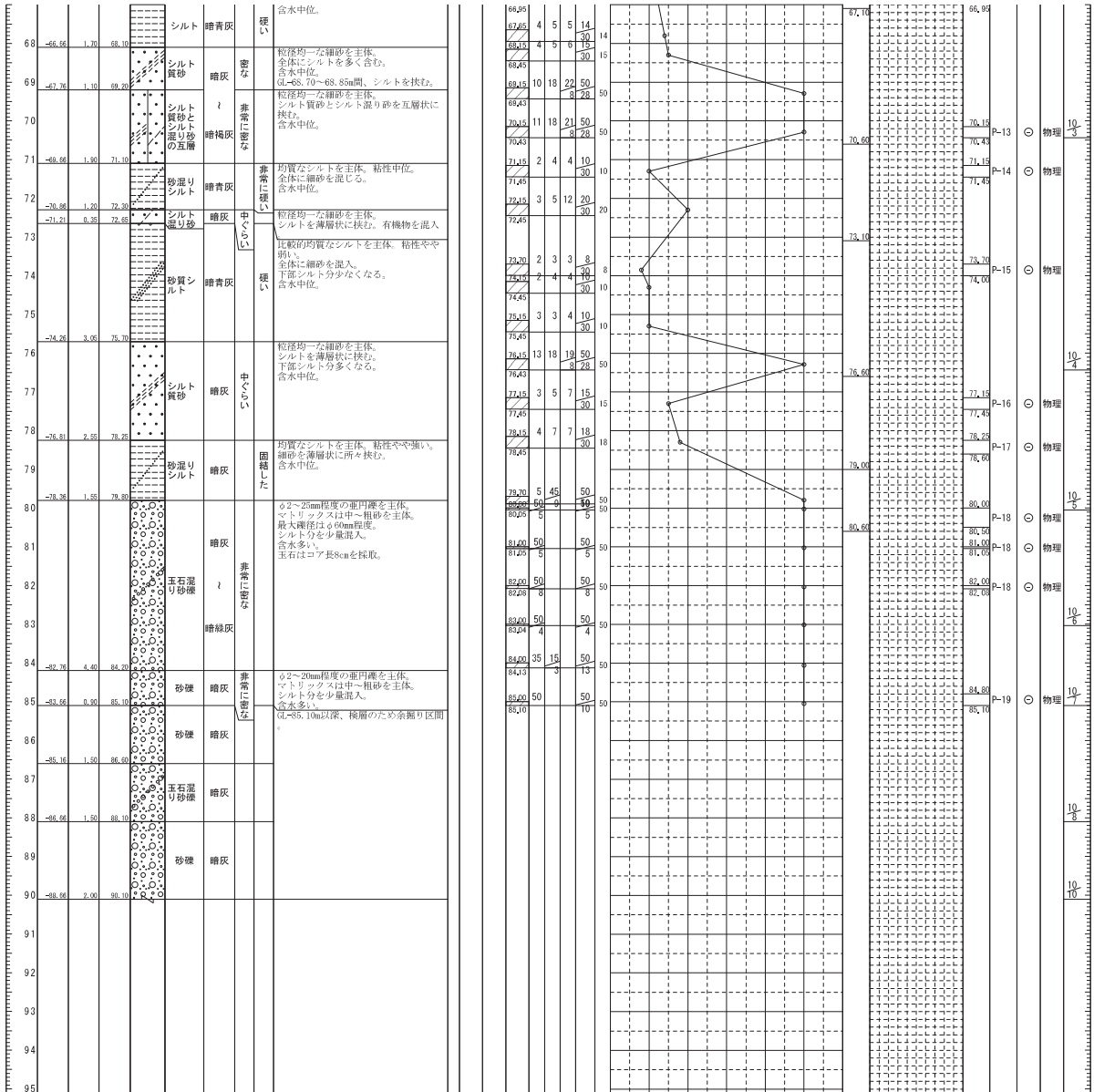
3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

( JR-81 )









( JR-82 )

ボーリング柱状図

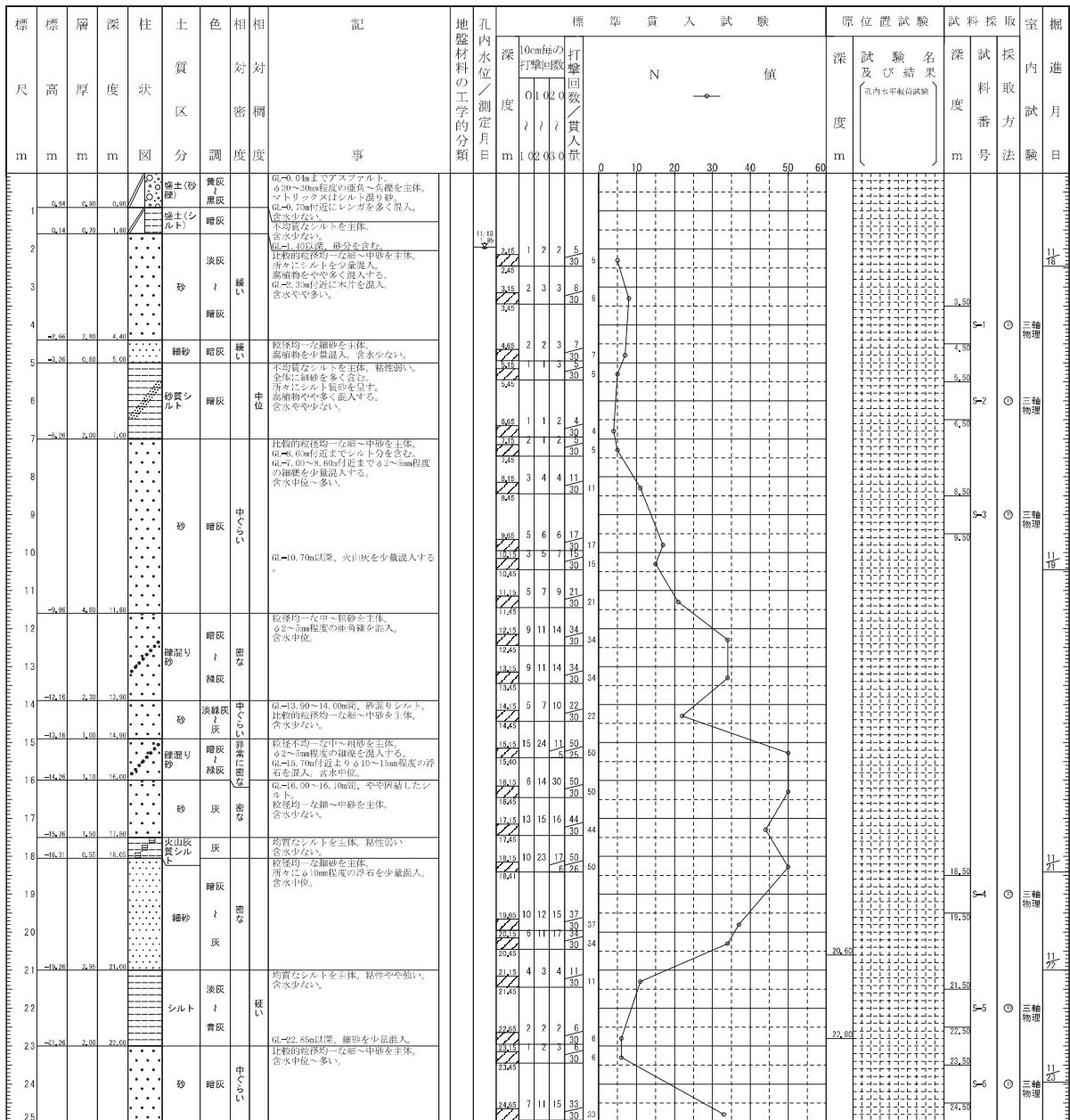
調査名

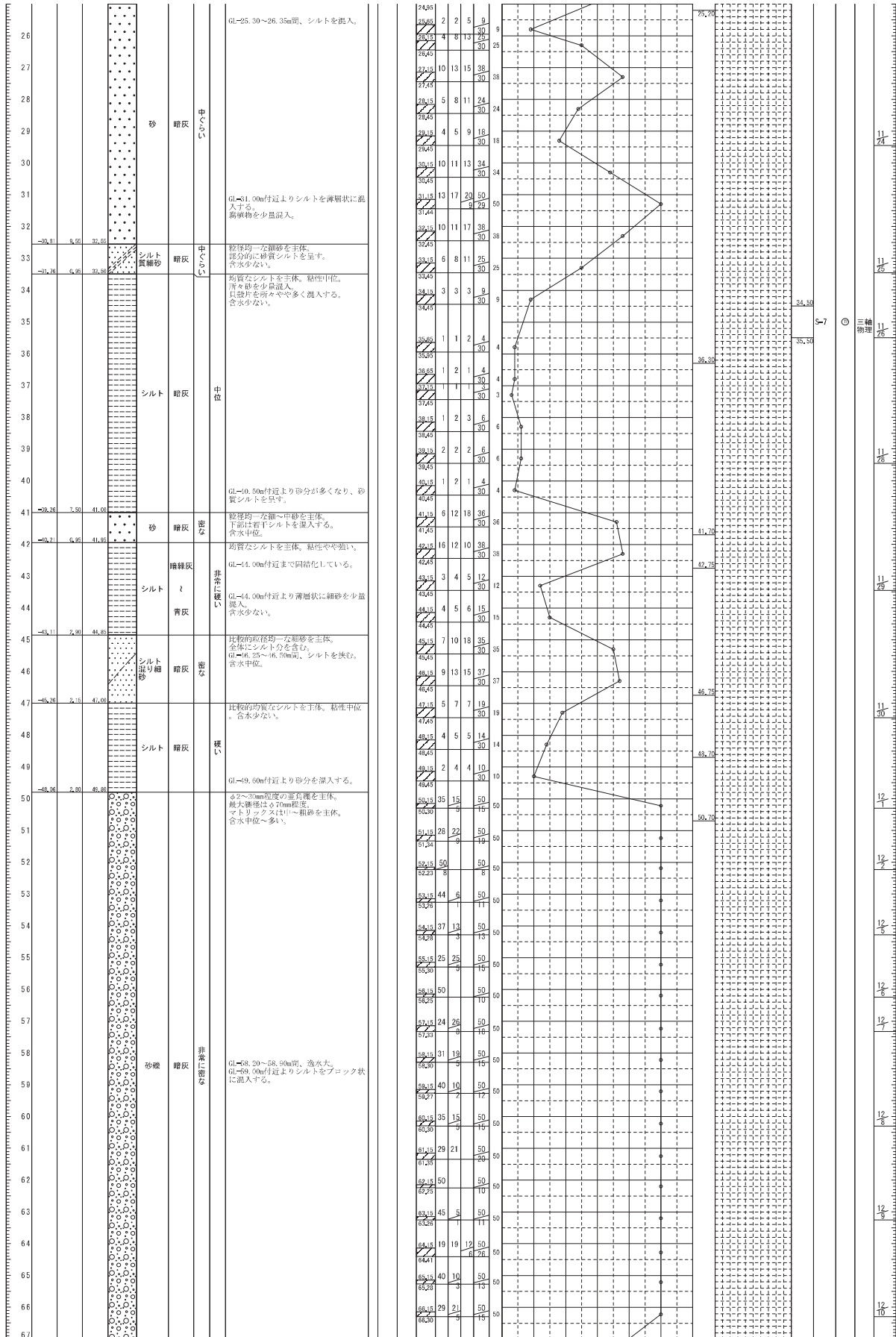
事業・工事名

ボーリングNo.

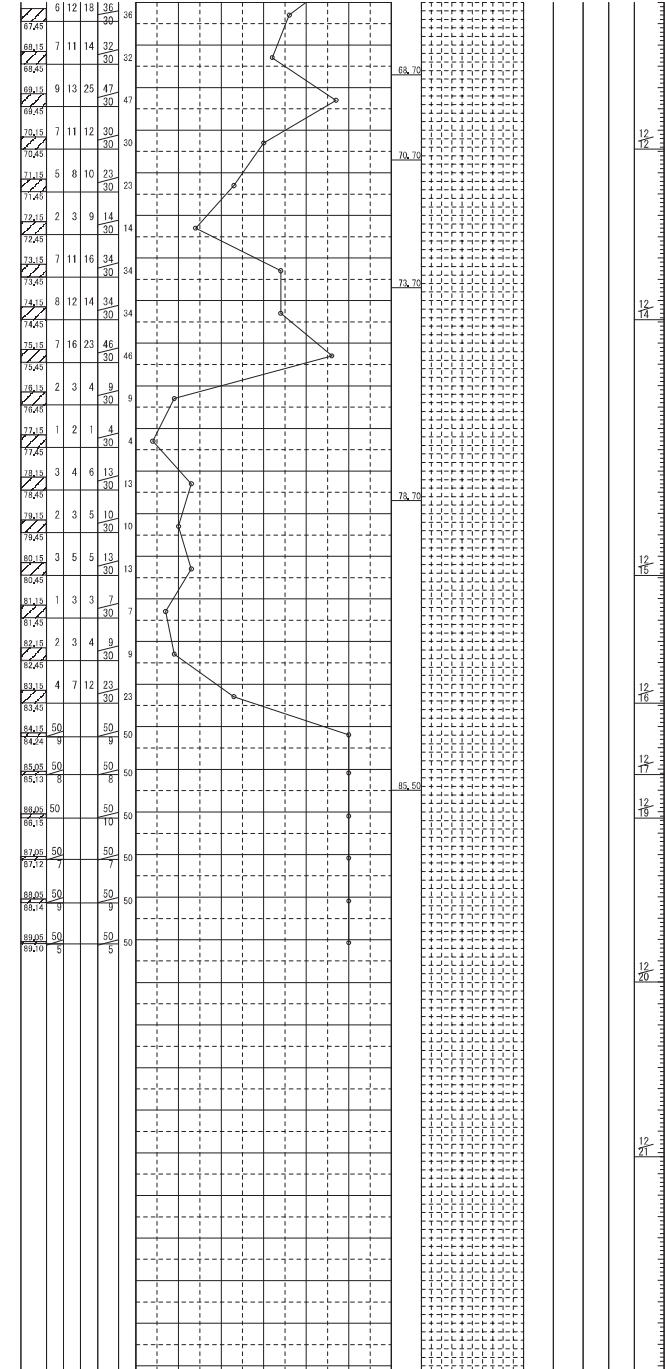
シートNo.

ボーリング名	調査位置	北緯
発注機関	調査期間	東経
調査業者名	主任技師	現場代理人
孔口標高	角	コ
総掘進長	度	ポンプ
T P 1.74m		ハンマー落下用具
180° 90° 0° 0° 90° 180°		エンジン
0° 北 0° 東 90° 南 90° 西		
0° 鉛直 90°		





6.8	-66.71	11.25	67.00	砂礫	暗灰	非常な層に属する	高径約1.5m～中砂を主体、含水やや多い。
6.9	-67.36	9.45	68.50	砂	暗灰		
7.0	-66.71	6.90	70.40	シルト	青灰	非常に硬い	均質なシルトを主体、粘性中位、固結化している。含水少ない。
7.1					暗灰		
7.2	-70.81	1.80	72.35	シルト混り砂	暗灰	通常の粒径約1.5m～中砂を主体、全体はシルトをブロック状に混入する。有機物を少量混入する。GI-73.50m付近から貝殻片を混入する。下部はシルト分の混入が多く、シルト質砂を混す。	
7.3							
7.4							
7.5							
7.6	-73.86	3.20	75.66		暗灰		均質なシルトを主体、粘性中位、GI-75.50～76.00m間、細砂を薄層状に混入する。時々有機物を混入する。含水少ない。
7.7							
7.8							GI-78.00～79.00m間は若干、細砂を混入。
7.9							
8.0	-78.71	4.95	80.40	シルト	青灰	硬い	
8.1							
8.2							
8.3	-81.21	2.50	82.95	砂質シルト	暗灰	非常に硬い	不均質なシルトを主体、粘性強い、細砂を全体に多く含む。含水中位
8.4	-81.86	0.65	83.60				φ5～10mm程度の並目～並角礫を主体、最大粒径はφ10mm程度。マトリックスは中砂～粗砂を主体、玉石はコア長で最大140mm程度を確認。含水中位。GI-86.50m付近、過水大。
8.5							
8.6							
8.7							
8.8	-86.36	4.90	86.00	砂礫	暗灰	非常に硬い	φ5～30mm程度の並目～並角礫を主体、最大粒径はφ45mm程度。マトリックスは中砂～粗砂を主体、全体にシルト分を含む。含水多い。GI-88.10m以深、検層のための余剰り区間。
8.9	-87.36	1.10	89.10	砂礫	暗灰		GI-90.50m付近、過水大。
9.0							
9.1							
9.2	-90.86	3.50	92.66	砂礫	暗灰		GI-92.00m付近、過水大。
9.3							
9.4	-95.36	1.50	94.10	固結シルト	暗灰		
9.5							
9.6							
9.7							
9.8							
9.9							



( JR-83 )

ボーリング柱状図

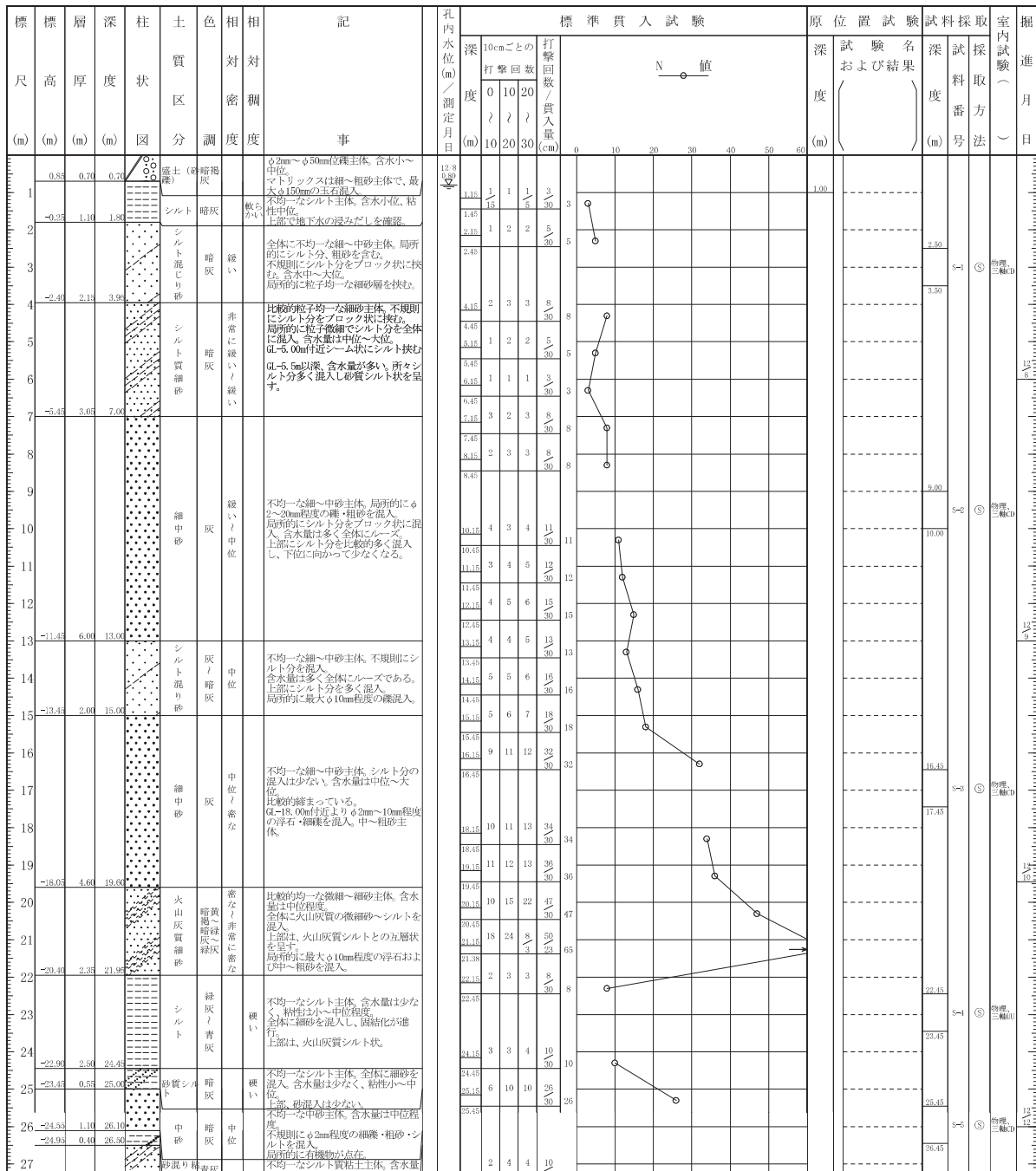
調査名

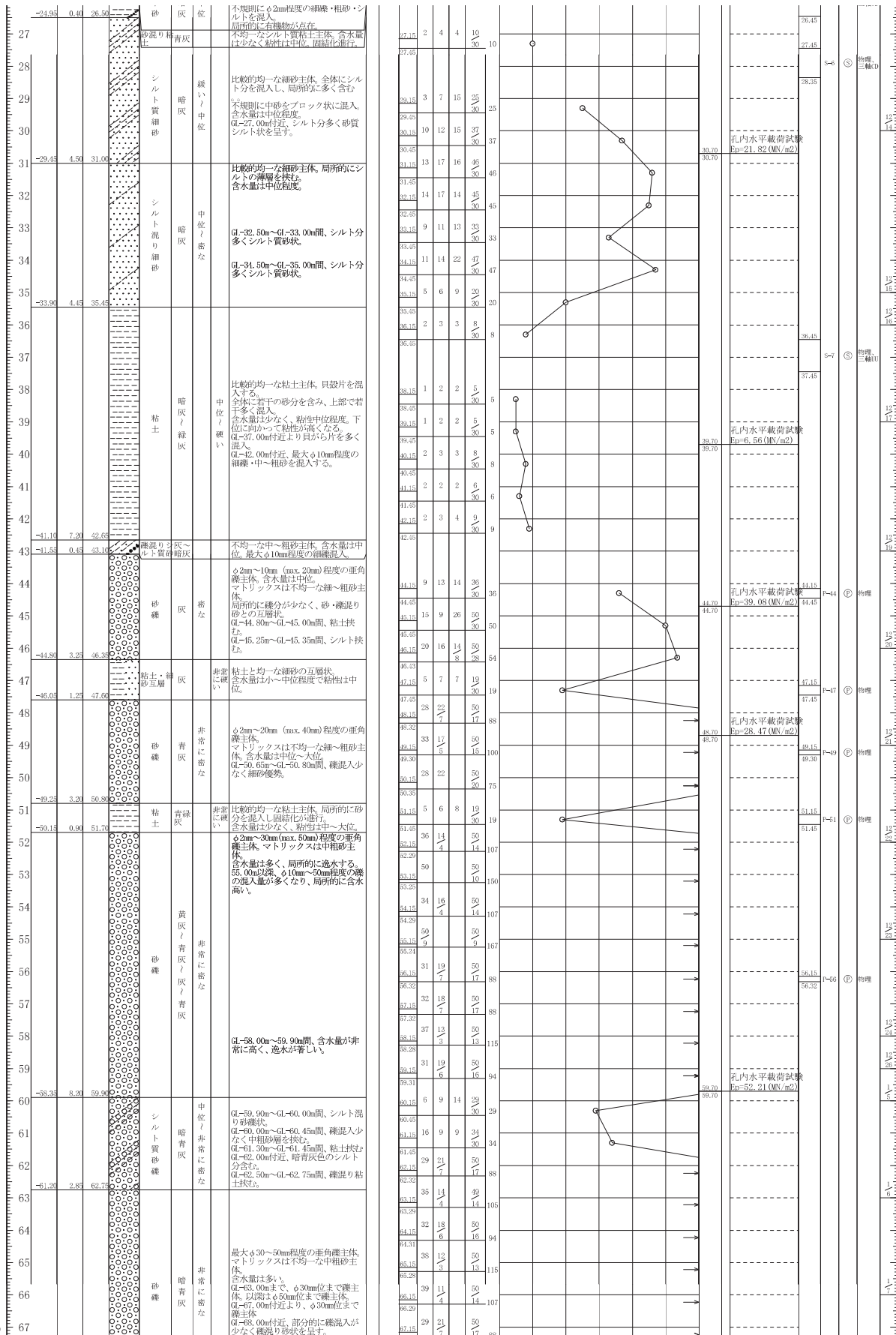
ボーリングNo

事業・工事名

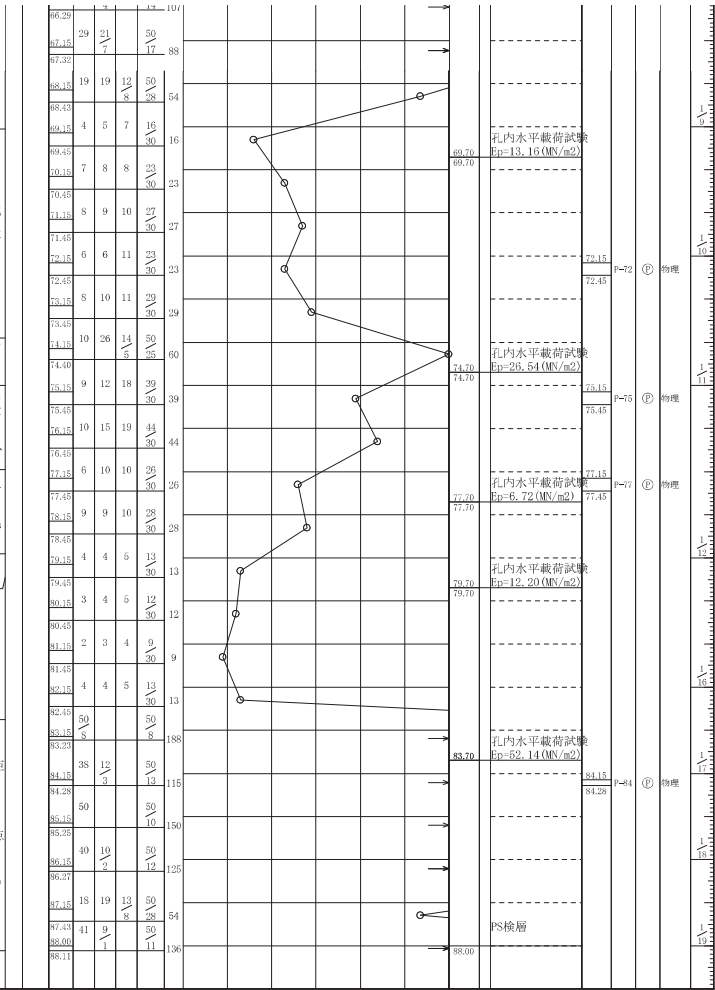
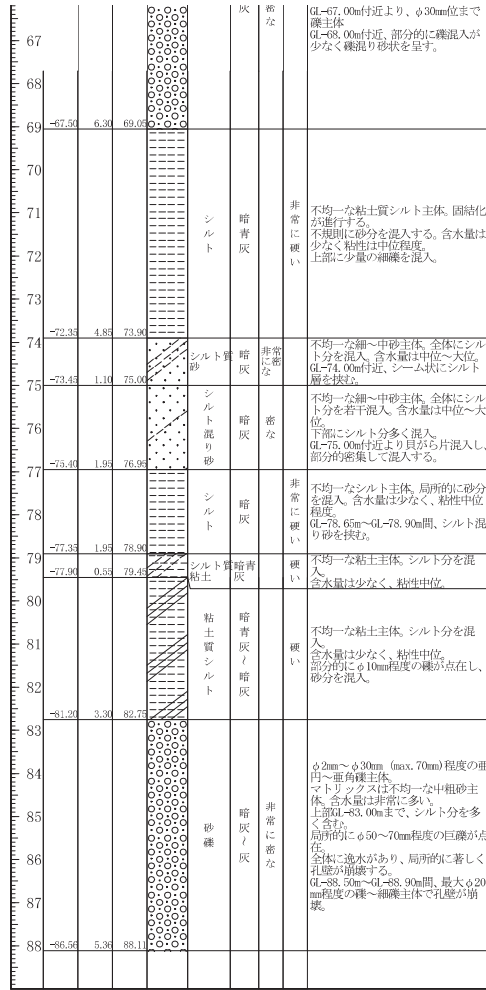
シートNo

Header information table including borehole name, location, agency, and equipment details.



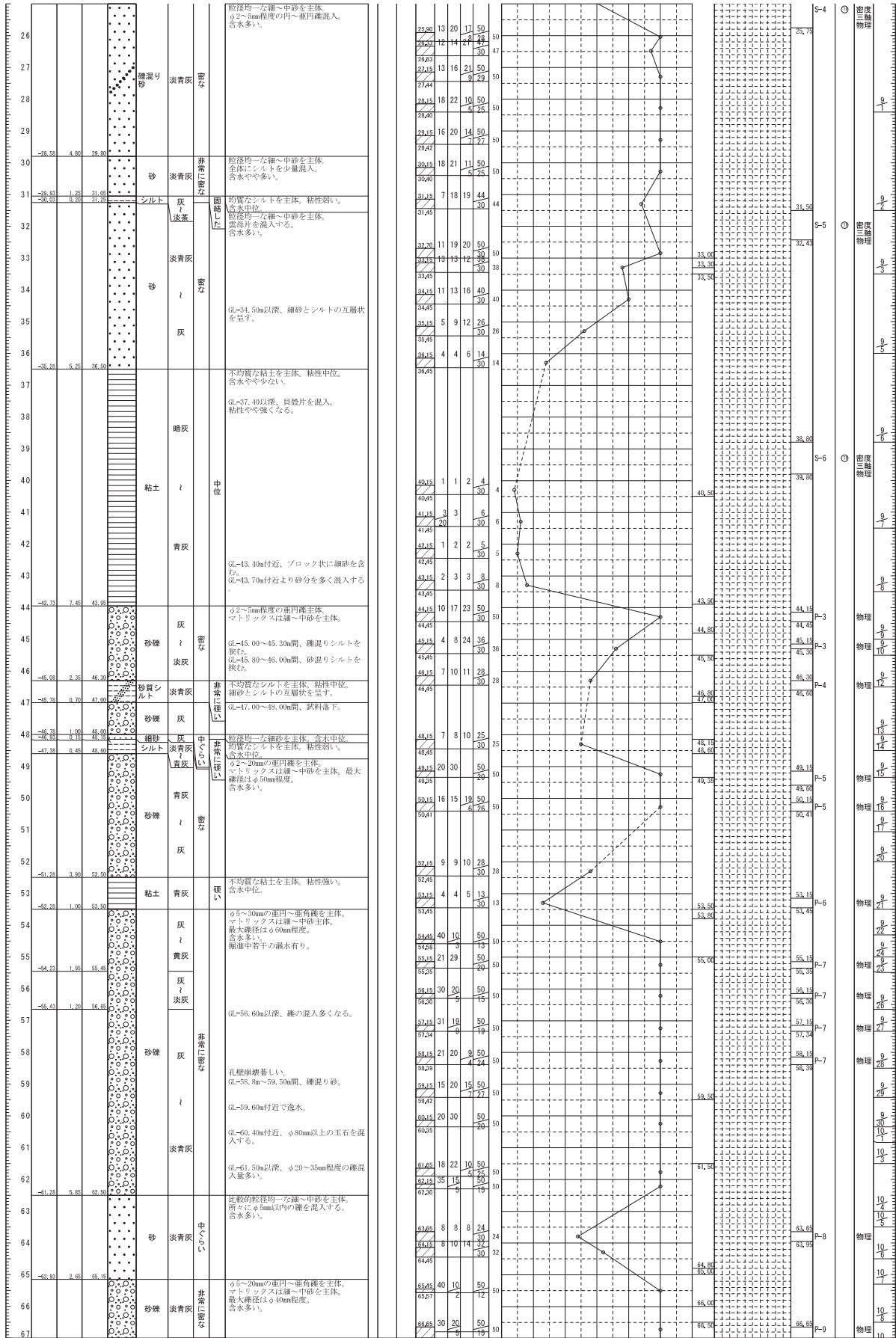




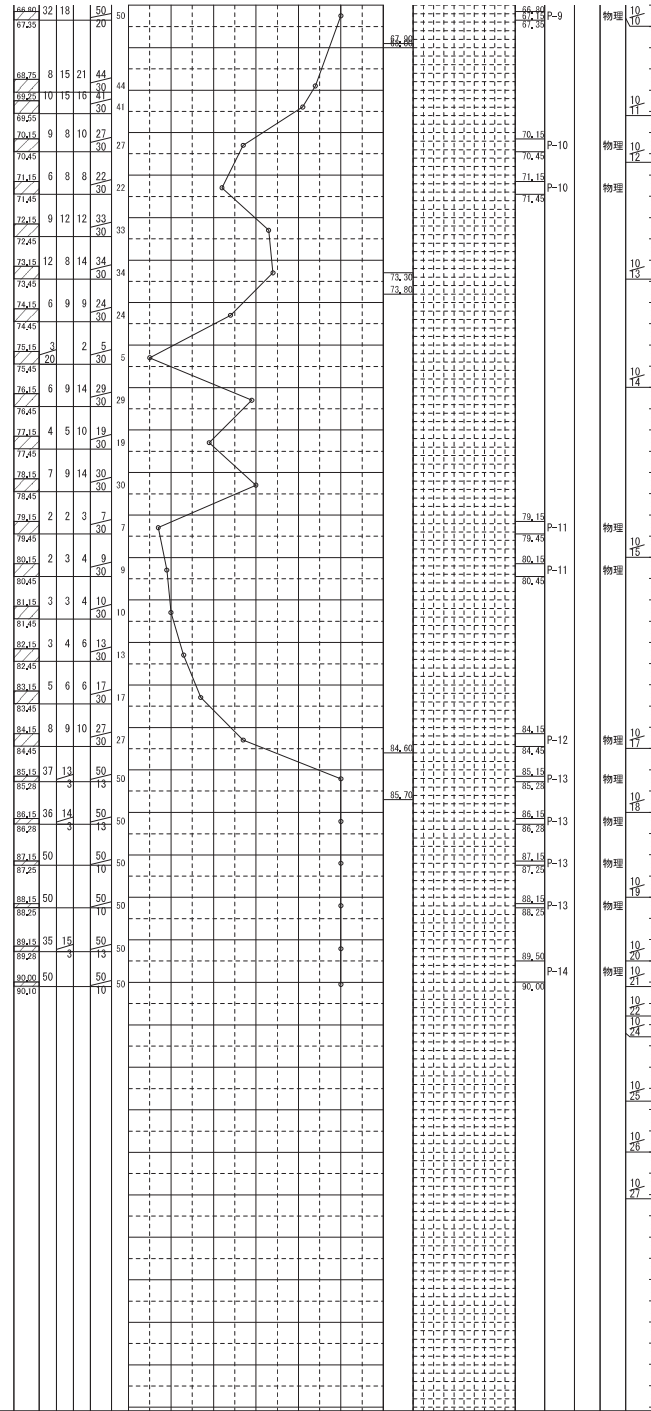


( JR-84 )





68	-66.13	2.20	67.93	砂礫	淡青灰	非常に密な	比較的粒径均一な細～中砂を主体、所々にφ3～5mm程度の礫を混入する。含水多い。
69	-68.38	2.25	69.63	砂	淡青灰	密な	GL-69.6～69.85m間、濃混り砂。
70					淡青灰		GL-70.40～70.60m間、比較的硬質なシルトを挟む。
71					青灰		GL-70.70m以深、含水多い。
72	-71.28	2.30	72.58	砂混りシルト	暗茶	固結した	比較的均質なシルトを主体、粘性強い。木片混入する。全体に細砂を薄層状に挟む。含水中位。
73	-72.08	0.80	73.28	シルト	青灰	非常に硬い	均質なシルトを主体、粘性中位。固結状である。含水少ない。
74					暗青灰		比較的均質なシルトを主体、粘性中位。
75	-74.28	2.20	75.58	砂混りシルト	暗青灰	非常に硬い	細砂を薄層状に挟む。含水中位。木片混入。
76					暗灰		GL-77.00m付近、貝殻片を混入する。
77					暗青灰		均質なシルトを主体、粘性やや強い。所々に有機物混入。含水少ない。
78	-77.78	3.30	79.08	シルト	灰	硬い	GL-82.40m付近、薄く細砂を挟む。
79					灰		GL-83.30m付近、ブロック状に細砂を挟む。
80	-82.78	5.00	84.08	シルト混り砂	暗緑灰	中ぐらい	比較的粒径均一な細～中砂を主体、全体にシルトを含む。含水やや多い。
81	-83.68	0.90	84.98	砂礫	灰	非常に密な	φ5～30mm程度の重円礫を主体、マトリックスは中～粗砂主体。最大粒径はφ60mm程度。含水多い。
82					灰		GL-88.00m付近にて急水。
83					灰		GL-89.00mよりφ70mm程度を混入。
84	-88.28	4.60	89.58	玉石混り砂礫	灰	非常に密な	φ5～30mm程度の重円礫を主体、マトリックスは中～粗砂主体。玉石はφ80mm程度を混入。
85	-88.88	0.60	89.38	玉石混り砂礫	灰	非常に密な	コア長130mmの玉石を確認。
86					灰		GL-91.00m付近、透水100%
87					灰		GL-92.80m付近、透水50～80%
88	-93.88	5.00	95.38				



( JR-85 )